沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第28集

首　里　城　跡

－書院・鎖之間地区発掘調査報告書－

首里城跡

－書院・鎖之間地区発掘調査報告書－

二〇〇五年（平成十七）三月

沖縄県立埋蔵文化財センター

2005年（平成17）３月

沖縄県立埋蔵文化財センター

沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第28集

首　里　城　跡

－書院・鎖之間地区発掘調査報告書－

2005年（平成17）３月

沖縄県立埋蔵文化財センター

序

本報告書は、国営沖縄記念公園首里城地区整備に伴い平成13・14年度に委託を受けて実施した、埋蔵文化財発掘調査の成果をまとめたものです。当該年度は、琉球国王が日常の政務を執る書院、王子などが薩摩からの客人を接待したところとされる鎖之間と呼ばれる建物が建っていた地点を中心に調査しました。

調査の結果、書院の柱跡、書院・鎖之間両建物にともなう庭園遺構、貝殻を敷き詰めた特殊な遺構などが発見されました。庭園遺構には、沖縄本島北部から運び込まれた玉石や、ソテツなどの植物を植えた際に掘った穴、庭園を構成している岩山などがあります。また、鎖之間創建以前のものと考えられる遺構もみつかり、首里城内の建物の歴史的変遷をさぐる上で貴重な資料となりました。これらの遺構に伴出して海外貿易で活躍した琉球王国を象徴するかのように、舶載陶磁器が多く出土しました。

本報告書が沖縄の歴史・文化を解明する資料として多くの方々に活用されますとともに、埋蔵文化財の保護と活用について関心を持っていただければ幸いです。

末尾ながら発掘調査および資料整理作業にあたり、ご指導・ご協力を賜った関係各位に深く感謝申しあげます。

平成１７年３月

沖縄県立埋蔵文化財センター
所長　安里　嗣淳

例　言

1　本報告書は、首里城公園整備に伴い平成 13・14 年度に実施した、書院・鎖之間地区の埋蔵文化財発掘調査の成果をまとめたものである。

2　発掘調査および資料整理は、沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所より委託を受け、沖縄県立埋蔵文化財センターが実施した。

3　出土遺物の同定及び資料整理にあたってのご指導は下記の諸先生方によるものであります。記して深謝いたします。

中国・タイ・ベトナム・朝鮮半島・沖縄・本土産陶磁器……大橋康二（佐賀県立博物館　副館長）
中国・タイ・ベトナム産陶磁器……森本朝子（福岡市教育委員会）
ベトナム産陶磁器……矢島律子（町田市立博物館　学芸員）
脊椎動物遺体……金子浩昌（東京国立博物館　客員研究員）
貝類……名和　純（潟の生態史研究会　会員）
石製品……神谷厚昭（元沖縄県立真和志高校　教諭）

4　本書に掲載した地図は、国土地理院の１／ 25,000 の地形図である。

5　遺構実測図の縮尺は基本的に１／ 40 に統一した。遺物の実測図は基本的に１／３に統一した。ただし、これに拠らないものもある。

6　本報告書の編集は、伊集ゆきの他の協力を得て羽方誠が行った。各節の執筆は以下のとおりである。

羽方　　誠……第１章、第２章、第３章、第４章、第５章
金子　浩昌……第４章第７節６-②（脊椎動物遺体）

7　本書に掲載された出土遺物の写真撮影は光嶋香・田村浩子が行った。

8　発掘調査で得られた出土品、図面・写真等の記録は、全て沖縄県立埋蔵文化財センターにおいて保管している。

報　告　書　抄　録

ふりがな	しゅりじょうあと
書名	首里城跡
副書名	書院・鎖之間地区発掘調査報告書
巻 次	
シリーズ名	沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第 28 集
編著者名	羽方誠、金子浩昌
発行機関	沖縄県立埋蔵文化財センター
所在地	〒 903-0125　沖縄県中頭郡西原町字上原 193 番地の 7
発行年月日	平成 17 年 3 月 25 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積	調査原因
首里城跡（しゅりじょうあと）	沖縄県（おきなわけん） 那覇市（なはし） 首里当蔵町（しゅりとうのくらちょう）	472018		26° 12′ 51″	127° 43′ 51″	平成１３年 ９月１７日 ～ 平成１４年 ３月１５日 ・ 平成１４年 ５月 13 日 ～ 平成１４年 １０月 31 日	平成１３年度 ８５０㎡ 平成１４年度 ８４０㎡	国営首里城 公園整備

所収遺跡名	種類	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
首里城跡		中　世 ～ 近　代	建物跡、庭園跡、階段跡、貝殻敷き、石敷き	陶磁器（中国・タイ・ベトナム・朝鮮半島・本土・沖縄）瓦・石製品・金属製品・自然遺物	

目　次

序
例言
報告書抄録

第１章　調査に至る経緯 …… 1
　第１節　調査に至る経緯 …… 1
　第２節　調査体制 …… 1

第２章　位置と環境 …… 5
　第１節　地理的環境 …… 5
　第２節　歴史的環境 …… 5

第３章　調査経過 …… 7

第４章　遺構と遺物 …… 13
　第１節　詰所地区の遺構と遺物 …… 13
　第２節　書院地区の遺構と遺物 …… 28
　第３節　鎖之間北側地区の遺構と遺物 …… 51
　第４節　鎖之間南側地区の遺構と遺物 …… 85
　第５節　城壁地区の遺構 …… 105
　第６節　撹乱層等の遺物 …… 124
　第７節　遺物の種類別概観 …… 127
　　１ 中国産陶磁器 …… 127
　　２ タイ・ベトナム・朝鮮半島産陶磁器 …… 127
　　３ 本土・沖縄産陶磁器 …… 127
　　４ 石製品・金属製品・土製品・骨製品 …… 127
　　５ 円盤状製品・瓦・玉・銭貨 …… 148
　　６ 自然遺物
　　①貝類 …… 148
　　②脊椎動物遺体 …… 170

第５章　結語 …… 212

付　編　書院・鎖之間地区の自然科学分析 …… 254

図目次

第１図　沖縄本島の位置 …… 3
第２図　首里城跡の位置及び周辺の遺跡 …… 4
第３図　旧首里城図 …… 6
第４図　首里城跡 書院･鎖之間地区遺構平面図 …… 9
第4-2図　旧琉球大学校舎配置図 …… 10
第５図　詰所地区　遺構平面図 …… 12
第６図　観察用畦　北壁土層図 …… 14
第７図　観察用畦　西壁土層図 …… 14
第８図　石敷１、石積10　断面図 …… 15
第９図　石列4　立面図 …… 15
第10図　石積９　立面図 …… 15
第11図　石積10　立面図 …… 15
第12図　石積11　立面図 …… 15
第13図　石積12　立面図 …… 15
第14図　トレンチ27　東壁土層図 …… 16
第15図　トレンチ26　西壁土層図 …… 16
第16図　石敷き１、貝殻敷き　断面図 …… 16
第17図　詰所地区出土遺物（１） …… 18
第18図　詰所地区出土遺物（２） …… 20
第19図　詰所地区出土遺物（３） …… 22
第20図　詰所地区出土遺物（４） …… 24
第21図　詰所地区出土遺物（５） …… 26
第22図　書院地区遺構平面図 …… 27
第23図　C～E-5グリッド　観察用畦　西壁土層図 …… 29
第24図　C～E-7グリッド　観察用畦　西壁土層図 …… 29
第25図　D-3グリッド　観察用畦　東壁土層図 …… 29
第26図　ピット25～31　平面図 …… 30
第27図　ピット29～31　断面図 …… 30
第28図　ピット25～28　土層図 …… 30
第29図　C・D－２・３グリッド　遺構平面図 …… 32
第30図　石列５　立面図 …… 32
第31図　トレンチ20　南壁土層図 …… 32
第32図　ピット16～18･21･22･24･25　平面図 …… 34
第33図　ピット16～18･21･22･24　土層図･断面図 …… 34
第34図　ピット19・20　平面図 …… 34
第35図　ピット19・20　土層図 …… 34
第36図　E-４・５グリット　遺構平面図 …… 36
第37図　石９・10　断面図 …… 36

第38図　石６　断面図 ……36
第39図　石５　断面図 ……36
第40図　石11　断面図 ……36
第41図　石７・８　断面図 ……36
第42図　E―6・7グリッド　遺構平面図 ……38
第43図　ピット1～6・8・9　土層図 ……38
第44図　ピット10　断面図 ……39
第45図　ピット23　土層図 ……39
第46図　E・F―5・6グリッド　遺構平面図 ……40
第47図　階段２、石５　断面図 ……40
第48図　階段２　立面図 ……41
第49図　階段２　断面図 ……41
第50図　トレンチ4　南壁土層図 ……43
第51図　トレンチ5　東壁土層図 ……43
第52図　トレンチ19　北壁土層図 ……43
第53図　トレンチ10　東壁土層図 ……43
第54図　トレンチ6　東壁土層図 ……43
第55図　トレンチ7　南壁土層図 ……43
第56図　トレンチ9　南壁土層図 ……43
第57図　トレンチ8　東壁土層図 ……43
第58図　トレンチ25　東壁土層図 ……45
第59図　トレンチ24　西壁土層図 ……45
第60図　トレンチ14　東壁土層図 ……45
第61図　トレンチ28　北壁土層図 ……46
第62図　E―1～7グリッド　立面図 ……46
第63図　E―1グリッド　遺構平面図 ……47
第64図　書院地区出土遺物 ……48
第65図　鎖之間地区　遺構平面図 ……50
第66図　トレンチ29　南壁土層図 ……52
第67図　トレンチ29　東壁土層図 ……52
第68図　D―9グリッド　観察用畦　土層図 ……53
第69図　D・E―8グリッド　観察用畦　土層図 ……53
第70図　C・D―7～10グリッド　遺構平面図 ……56
第71図　C―8グリッド　観察用畦　南壁土層図 ……56
第72図　C―7～10グリッド　断面図 ……56
第73図　トレンチ21　東壁土層図 …… 59
第74図　石列３・４、石敷き４　断面図 ……59
第75図　トレンチ１～３　東壁土層図 ……59
第76図　トレンチ30　東壁土層図 ……59
第77図　階段１　平面・立面・断面図 ……60
第78図　鎖之間北側地区出土遺物（１）……62
第79図　鎖之間北側地区出土遺物（２）……64
第80図　鎖之間北側地区出土遺物（３）……66
第81図　鎖之間北側地区出土遺物（４）……68
第82図　鎖之間北側地区出土遺物（５）……69
第83図　鎖之間北側地区出土遺物（６）……70
第84図　鎖之間北側地区出土遺物（７）……72
第85図　鎖之間北側地区出土遺物（８）……74
第86図　鎖之間北側地区出土遺物（９）……76
第87図　鎖之間北側地区出土遺物（10）……78
第88図　鎖之間北側地区出土遺物（11）……79
第89図　鎖之間北側地区出土遺物（12）……80
第90図　鎖之間北側地区出土遺物（13）……82
第91図　鎖之間南側地区　遺構平面図 ……84
第92図　トレンチ13　南壁土層図 ……86
第93図　トレンチ13　東壁土層図 ……86
第94図　石積1 立面図 ……88
第95図　トレンチ16　東壁土層図 ……88
第96図　トレンチ16　西壁土層図 ……88
第97図　石積３ 立面図 ……90
第98図　石積２ 立面図 ……90
第99図　トレンチ11　東壁土層図 ……90
第100図　トレンチ17　東壁土層図 ……90
第101図　石積４　立面図 ……91
第102図　トレンチ18　北壁土層図 ……91
第103図　トレンチ13　西壁土層図 ……91
第104図　トレンチ13　北西壁土層図 ……91
第105図　トレンチ13　北壁土層図 ……92
第106図　トレンチ11　西壁土層図 ……92
第107図　トレンチ12　南壁土層図 ……92
第108図　鎖之間南側地区出土遺物（１）……94
第109図　鎖之間南側地区出土遺物（２）……96
第110図　鎖之間南側地区出土遺物（３）……98
第111図　鎖之間南側地区出土遺物（４）……100
第112図　鎖之間南側地区出土遺物（５）……102
第113図　鎖之間南側地区出土遺物（６）……104
第114図　石積７　外壁立面図１ ……107
第115図　石積７　外壁立面図２ ……107
第116図　石積７　外壁立面図３ ……108
第117図　石積７　外壁立面図４ ……109
第118図　石積７　外壁立面図５ ……109
第119図　石積７　外壁立面図６ ……110
第120図　石積８　外壁立面図 ……110
第121図　石積７　外壁立面図７ ……111
第122図　石積７　外壁立面図８ ……111
第123図　石積８　内壁立面図 ……112
第124図　石積７　内壁立面図１ ……112
第125図　石積７　内壁立面図２ ……112
第126図　石積７　内壁立面図３ ……112
第127図　石積７　内壁立面図５ ……112
第128図　石積７　内壁立面図４ ……113
第129図　石積７　内壁立面図６ ……113
第130図　石積７　内壁立面図７ ……113
第131図　石積７　内壁立面図８ ……114
第132図　石積７・８　外壁立面図 ……114
第133図　玉 ……156
第134図　D-8トレンチ21埋土出土の頭骨片から復元した ……178
第135図　魚類計測値分布 ……179
第136図　今帰仁城跡とのサイズ比較 ……188
第137図　魚類最少個体数分布 ……188
第138図　ブタ中足骨計測分布 ……188
第139図　ブタ部位別年齢分布 ……189

図版目次

図版１　平成13年度 調査区北側 調査前(東から) …… 8
図版２　平成13年度 調査区南側 調査前(西から) …… 8
図版３　平成13年度 調査区北側
遺構検出状況(西から)…… 8
図版４　平成13・14年度　調査区全景(東から)…… 8
図版５　平成13・14年度　調査区全景(北東から)…… 8
図版６　平成13・14年度　調査区全景(北西から)…… 8
図版７　現場事務所内での作業 …… 9
図版８　真榮平房敬氏による聞き取り調査 …… 9
図版９　神谷厚昭氏による石質調査 …… 9
図版10　発掘調査作業員 …… 9
図版11　詰所地区全景（南西から)……13
図版12　詰所地区全景（西から)……13
図版13　石敷１、石積10～12（南東から） ……15
図版14　石積11、12（西から） ……15
図版15　石列４、石積９（北西から)……15
図版16　石列４、石積９（上から)……15

図版17　貝殻敷き（南から）……16
図版18　貝殻敷き（北から）……16
図版19　貝殻敷き（北から）……16
図版20　書院地区　全景（東から）……28
図版21　書院地区　全景（北東から）……28
図版22　ピット25～31（東から）……31
図版23　作業風景 ……31
図版24　ピット25～31（東から）……31
図版25　C･D－2･3グリッド全景（上から） ……32
図版26　石列５･トレンチ20（北東から）……33
図版27　石列５ ……33
図版28　石列５（東から） ……33
図版29　石列５（北から） ……33
図版30　ピット16～18･21･22･24（西から）……34
図版31　ピット24（北から） ……34
図版32　ピット22（北から） ……34
図版33　ピット17・18（北から）……35
図版34　ピット20（北から） ……35
図版35　ピット19（北から） ……35
図版36　E－4･5グリッド　遺構検出状況（北から） ……37
図版37　石９（北から） ……37
図版38　石５（南から） ……37
図版39　石６（北から） ……37
図版40　ピット１（北から） ……39
図版41　ピット５（北から） ……39
図版42　ピット８（北東から） ……39
図版43　階段２、石５（北から） ……42
図版44　階段２（北西から） ……42
図版45　階段２（北から） ……42
図版46　石積13（上から） ……47
図版47　石敷き３　調査状況（西から）……47
図版48　石敷き３　遺物出土状況（南から）……47
図版49　トレンチ21　作業風景（南西から） ……51
図版50　D－8グリッド　掘り下げ途中状況（東から） ……51
図版51　ピット15（南から） ……57
図版52　ピット14（南から） ……57
図版53　石積６（西から） ……59
図版54　D－9･10グリッド　遺構検出状況（東から） ……59
図版55　階段１（西から）……60
図版56　階段１（北東から）……61
図版57　鎖之間南側地区　全景（北西から）……85
図版58　I－10･11グリッド 遺構検出状況（北東から） ……86
図版59　トレンチ16　東壁(西から）……88
図版60　トレンチ16　西壁(北東から）……88
図版61　石積２・３（南から）……90
図版62　トレンチ11　東壁(北西から）……90
図版63　石積４（南東から）……91
図版64　トレンチ11西壁･トレンチ13北壁土層(南東から)……92
図版65　石積７　外壁１（南から）……115
図版66　石積７　外壁２（南から）……115
図版67　石積７　外壁３（南から）……115
図版68　石積７　外壁４（南から）……115
図版69　石積７　外壁５（南から）……115
図版70　石積７　外壁６（南から）……116
図版71　石積７　外壁７（南東から）……116
図版72　石積７　外壁８（東から）……116
図版73　石積７　外壁９（南東から）……116
図版74　石積７　外壁10（南から）……117
図版75　石積７　外壁11（南から）……117
図版76　石積７　外壁12（南から）……117
図版77　石積７　外壁13（南から）……117
図版78　石積７　外壁14（南から）……117
図版79　石積７　外壁15（南から）……117
図版80　石積７　外壁16（南東から）……117
図版81　石積７　外壁17（南東から） ……118
図版82　石積８　外壁１（南から）……118
図版83　石積８　外壁２（南から）……118
図版84　石積８　外壁３（南から）……118
図版85　石積７　外壁（東から）……119
図版86　石積７（東から） ……119
図版87　石積７･８（東から） ……119
図版88　石積７･８（東から） ……119
図版89　石積７･８（北東から） ……120
図版90　石積８（北東から）……120
図版91　石積８　内壁１（北から）……120
図版92　石積８　内壁２（北から）……120
図版93　石積８　内壁３（北から）……120
図版94　石積８　内壁４（北から）……121
図版95　石積７･８　内壁（北西から） ……121
図版96　石積７　内壁（北西から）……121
図版97　石積７　内壁２（北から）……121
図版98　石積７　内壁３（北から）……121
図版99　石積７　内壁４（北から）……121
図版100　石積７　内壁５（北から）……121
図版101　石積７　内壁６（北から）……121
図版102　石積７　内壁７（北から）……121
図版103　石積７　内壁８（北から）……122
図版104　石積７　内壁９（北から）……122
図版105　石積７　内壁10（北から）……122
図版106　石積７　内壁11（北から）……122
図版107　石積７　内壁12（北から）……122
図版108　石積７　内壁13（北から）……122
図版109　石積７　内壁14（北から）……122
図版110　石積７　内壁15（北西から）……122
図版111　石積７　内壁16（北西から）……122
図版112　石積７　内壁17（北西から）……123
図版113　石積７　内壁18（西から）……123
図版114　石積７　内壁19（西から）……123
図版115　石積７　内壁20（西から）……123
図版116　石積７　内壁21（北西から）……123
図版117　石積７　内壁22（北西から）……123
図版118　石積７　内壁23（北から）……123
図版119　石積７　内壁24（北から）……123
図版120　クリーニング前の銭貨 ……148
図版121　銭貨 ……149
図版122　貝（１）巻貝 ……166
図版123　貝（２）巻貝 ……167
図版124　貝（３）巻貝 ……168
図版125　貝（４）二枚貝 ……169
図版126　骨１ ……202
図版127　骨２ ……203
図版128　骨３ ……204
図版129　骨４ ……205
図版130　骨５ ……206
図版131　骨６ ……207
図版132　骨７ ……208
図版133　骨８ ……209
図版134　骨９ ……210
図版135　骨10 ……211
図版136　書院・鎖之間地区発掘調査出土遺物 ……214
図版137　書院・鎖之間地区発掘調査　全景 ……214
図版138　詰所地区調査状況（１）……215

図版139　詰所地区調査状況（2）……216
図版140　書院地区調査状況（1）……217
図版141　書院地区調査状況（2）……218
図版142　書院地区調査状況（3）……219
図版143　書院地区調査状況（4）……220
図版144　書院地区調査状況（5）……221
図版145　書院地区調査状況（6）……222
図版146　鎖之間北側地区調査状況（1）……223
図版147　鎖之間北側地区調査状況（2）……224
図版148　鎖之間北側地区調査状況（3）……225
図版149　鎖之間南側地区調査状況（1）……226
図版150　鎖之間南側地区調査状況（2）……227
図版151　鎖之間南側地区調査状況（3）……228
図版152　詰所地区出土遺物1　外面 ……229
図版153　詰所地区出土遺物1　内面 ……230
図版154　詰所地区出土遺物2　外面 ……231
図版155　詰所地区出土遺物2　内面 ……232
図版156　書院地区出土遺物　外面･内面 ……233
図版157　鎖之間北側地区出土遺物1　外面 ……234
図版158　鎖之間北側地区出土遺物1　内面 ……235
図版159　鎖之間北側地区出土遺物2　外面 ……236
図版160　鎖之間北側地区出土遺物2　内面 ……237
図版161　鎖之間北側地区出土遺物3　外面 ……238
図版162　鎖之間北側地区出土遺物3　内面 ……239
図版163　鎖之間北側地区出土遺物4　外面 ……240
図版164　鎖之間北側地区出土遺物4　内面 ……241
図版165　鎖之間北側地区出土遺物5　外面･内面 ……242
図版166　鎖之間北側地区出土遺物6
　　外面･内面･側面 ……243
図版167　鎖之間南側地区出土遺物1　外面 ……244
図版168　鎖之間南側地区出土遺物1　内面 ……245
図版169　鎖之間南側地区出土遺物2　外面･内面 ……246
図版170　鎖之間南側地区出土遺物3　外面 ……247
図版171　鎖之間南側地区出土遺物3　内面 ……248
図版172　撹乱層等の出土遺物1　外面 ……249
図版173　撹乱層等の出土遺物1　内面 ……250
図版174　撹乱層等の出土遺物2　外面 ……251
図版175　撹乱層等の出土遺物2　内面 ……252
図版176　玉　上面･側面 ……253

表目次

第1表　詰所地区出土遺物一覧（1）……19
第2表　詰所地区出土遺物一覧（2）……21
第3表　詰所地区出土遺物一覧（3）……23
第4表　詰所地区出土遺物一覧（4）……25
第5表　書院地区出土遺物一覧 ……49
第6表　鎖之間北側地区出土遺物一覧（1）……63
第7表　鎖之間北側地区出土遺物一覧（2）……65
第8表　鎖之間北側地区出土遺物一覧（3）……67
第9表　鎖之間北側地区出土遺物一覧（4）……71
第10表　鎖之間北側地区出土遺物一覧（5）……73
第11表　鎖之間北側地区出土遺物一覧（6）……75
第12表　鎖之間北側地区出土遺物一覧（7）……77
第13表　鎖之間北側地区出土遺物一覧（8）……81
第14表　鎖之間北側地区出土遺物一覧（9）……83
第15表　鎖之間南側地区出土遺物一覧（1）……95
第16表　鎖之間南側地区出土遺物一覧（2）……97
第17表　鎖之間南側地区出土遺物一覧（3）……99
第18表　鎖之間南側地区出土遺物一覧（4）……101
第19表　鎖之間南側地区出土遺物一覧（5）……103
第20表　鎖之間南側地区出土遺物一覧（6）……104
第21表　撹乱層等の出土遺物一覧（1）……124
第22表　撹乱層等の出土遺物一覧（2）……125
第23表　撹乱層等の出土遺物一覧（3）……126
第24表　遺物出土状況 ……128
第25表　青磁出土状況 ……130
第26表　白磁出土状況 ……132
第27表　染付出土状況 ……133
第28表　その他の国外産陶磁器出土状況 ……134
第29表　褐釉陶器出土状況 ……136
第30表　本土産磁器出土状況 ……138
第31表　本土産陶器出土状況 ……139
第32表　沖縄産施釉陶器出土状況（上焼）……140
第33表　沖縄産無釉陶器出土状況（荒焼）……142
第34表　陶質土器出土状況 ……143
第35表　瓦質土器出土状況 ……144
第36表　土器出土状況 ……144
第37表　タイ産土器出土状況 ……144
第38表　金属製品出土状況 ……145
第39表　円盤状製品出土状況 ……146
第40表　石製品出土状況 ……146
第41表　貝製品出土状況 ……146
第42表　骨製品出土状況 ……146
第43表　銭貨出土状況 ……150
第44表　詰所地区銭貨出土状況 ……152
第45表　瓦・塼出土状況 ……154
第46表　玉観察一覧 ……156
第47表　玉出土状況 ……157
第48表　貝類出土状況（1）巻貝 ……158
第49表　貝類出土状況（2）二枚貝 ……162
第50表　魚類出土量 ……180
第51表　魚骨計測一覧 ……184
第52表　ブタ年齢分布 ……189
第53表　ニワトリ出土量 ……190
第54表　ニワトリ計測一覧 ……192
第55表　ウマ出土量 ……193
第56表　ウマ歯出土一覧 ……193
第57表　ウマ計測一覧 ……193
第58表　ヤギ計測一覧 ……193
第59表　カニ出土一覧 ……194
第60表　カエル出土一覧 ……194
第61表　ウミガメ出土一覧 ……194
第62表　ヘビ出土一覧 ……194
第63表　トリ出土一覧 ……194
第64表　ジネズミ類出土一覧 ……194
第65表　モグラ類出土一覧 ……194
第66表　ネズミ出土一覧 ……194
第67表　ネコ出土一覧 ……194
第68表　イルカ出土一覧 ……194
第69表　ジュゴン出土一覧 ……194
第70表　ウシorウマ出土一覧 ……194
第71表　ヤギ出土一覧 ……194
第72表　種不明出土一覧 ……194
第73表　ウシ出土量 ……195
第74表　ウシ歯出土一覧 ……195
第75表　ウシ計測一覧 ……195
第76表　ブタ出土量 ……196
第77表　ブタ計測一覧 ……200
第78表　ブタ歯出土一覧 ……201

第１章　調査に至る経緯

第１節　調査に至る経緯

国指定史跡である首里城跡は 1986（昭和 61）年の閣議決定により、外郭城壁に囲まれた部分が「ロ号国営公園」に指定され、国の都市公園整備事業として復元整備されることとなった。

その後各地区の復元整備は着々と進められ、復元整備の際の基礎資料となる遺構を確認するための発掘調査も毎年のように行われてきた。今回書院・鎖之間地区の整備に際し、沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所が沖縄県教育委員会に発掘調査を委託した。そこで沖縄県立埋蔵文化財センターが平成 13・14 年度に発掘調査を行うこととなった。

第２節　調査体制

発掘調査は平成 13・14 年度に、資料整理は主に平成 16 年度に沖縄県立埋蔵文化財センターが行った。その体制は以下の通りである（職名等は当時）。

平成 13 年度（発掘調査・資料整理）

事業主体者	沖縄県教育委員会	教育長	津嘉山朝祥
事 業 所 管	沖縄県立埋蔵文化財センター	所長	知念勇
事 業 総 括	同　上	副所長兼庶務課長	知念廣義
事 業 事 務	同　上	副所長兼庶務課長	知念廣義
	同　上	庶務課　主事	城間千賀、上原浩
事 業 実 施	同　上	調査課長	島袋洋
	同　上	調査課　充指導主事	西銘章
	同　上	同　上　専門員	安座間充、喜多亮輔、羽方誠、森田直哉
	同　上	同　上　嘱託員	柏木祐、矢沢秀雄、山本正昭

発掘調査作業員

安次富マサ子、浦崎直和、大宜見より子、大嶺愛子、金城一哲、島袋文子、清水俊宏、玉城史子、津波古美津江、照屋栄子、當銘広予、中村フサ子、永吉弘子、西島本成子、比嘉清惠、比嘉剛、松浦美果、水田貴之、宮城澄子、諸見里幸子、吉田篤史

資料整理作業員

上原千陽、梅田倫代、金城恵子、佐和田美和子、島仲美香、棚原順子

発掘調査協力者（職名等は当時のもの）

知念源政（那覇市首里在住）　親泊安政（那覇市首里在住）　末吉幸太郎（浦添市在住）
大城宜信（那覇市首里在住）　石川政雄（那覇市首里在住）

平成 14 年度（発掘調査・資料整理）

事業主体者	沖縄県教育委員会	教育長	津嘉山朝祥
事 業 所 管	沖縄県立埋蔵文化財センター	所長	安里嗣淳
事 業 総 括	同　上	副所長兼庶務課長	安冨祖英紀
事 業 事 務	同　上	副所長兼庶務課長	安冨祖英紀
	同　上	庶務課主任	西江幸枝
	同　上	庶務課主事	城間千賀

事業実施	沖縄県立埋蔵文化財センター	調査課長	盛本勲
	同　上	専門員	羽方誠
	同　上	嘱託員	天久朝海、岸本竹美、崎原恒寿、仲宗根瑞香、松永洋平、矢沢秀雄

発掘調査作業員

安次富マサ子、岩田智子、上間清美、浦崎直和、大宜見より子、大城安志、大嶺愛子、金城一哲、島袋文子、城間明、玉城史子、津波古美津江、照屋栄子、當銘広予、富山勇、仲宗根瑞香、中村フサ子、永吉弘子、西島本成子、比嘉清惠、水田貴之、宮城悦子、宮城澄子、諸見里幸子、吉田篤史

資料整理作業員

青山奈緒、池原直美、金城恵子、喜多亮輔、久保田有美、国場のりえ、新城ゆかり、平良貴子、玉寄智恵子、照屋利子、友利映子、外間瞳、宮城奈緒、吉川由紀

発掘調査協力者（職名等は当時のもの）

真榮平房敬（那覇市文化財保護審議会　委員）　神谷厚昭（沖縄県立真和志高校　教諭）

資料整理協力者（職名等は当時のもの）

渡辺誠（名古屋大学　名誉教授）　大橋康二（佐賀県立九州陶磁文化館　副館長）
名和純（潟の生態史研究会　会員）　大澤正巳（株式会社九州テクノリサーチ・TAC センター　顧問）

平成 16 年度（資料整理）

事業主体者	沖縄県教育委員会	教育長	山内彰
事業所管	沖縄県立埋蔵文化財センター	所長	安里嗣淳
事業総括	同　上	副所長兼庶務課長	赤嶺正幸
事業事務	同　上	副所長兼庶務課長	赤嶺正幸
	同　上	庶務課主査	比嘉美佐子
	同　上	庶務課主任	西江幸枝
事業実施	同　上	調査課長	盛本勲
	同　上	専門員	羽方誠
	同　上	嘱託員	伊集ゆきの、仲地和美

資料整理作業員

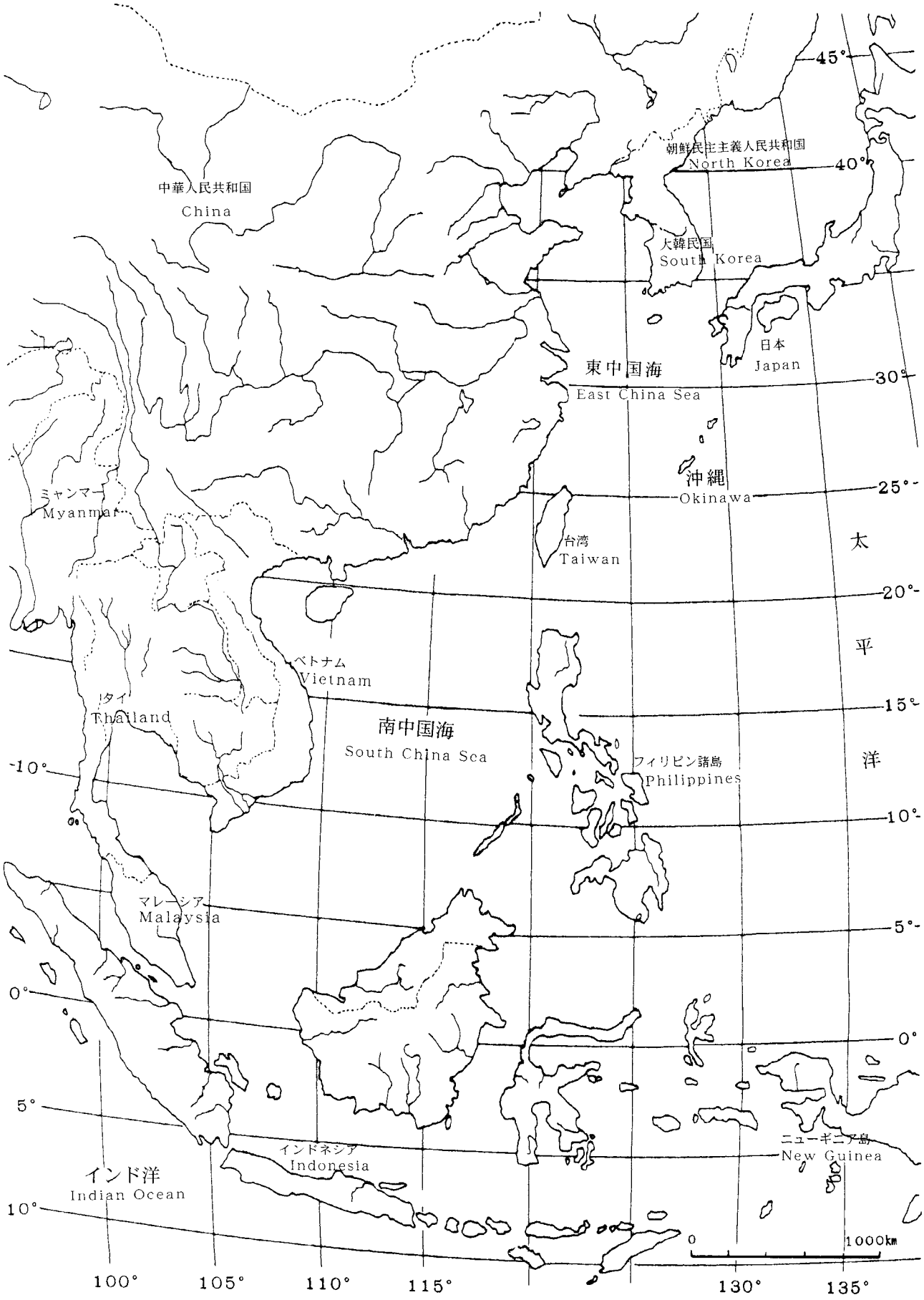
赤嶺雅子、石嶺敏子、伊波まさみ、上原美穂子、金城克子、喜屋武朋子、久保田有美、国場のりえ、砂川真弓、高良三千代、高野ひろみ、玉城恵美利、當山実、比嘉洋子、譜久里昌代、藤田奈穂美

資料整理作業協力者

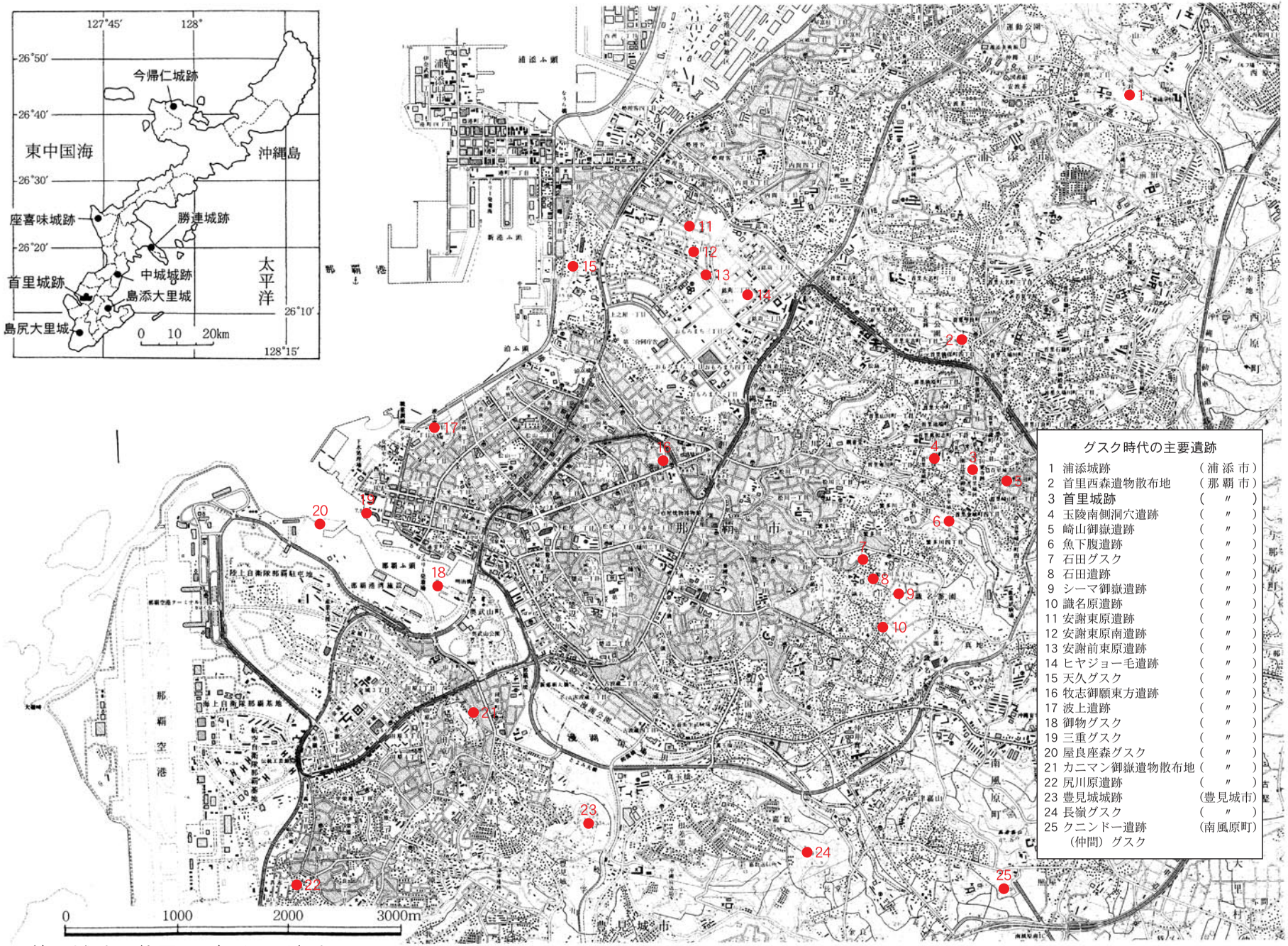
池原直美、瑞慶覧尚美、玉寄智恵子、宮平真由美、又吉純子、新垣利津代、上原美穂子、大村由美子、荻堂さやか、国場のりえ、崎原美智子、平良貴子、比嘉孝子、比嘉登美子、譜久村泰子

資料整理指導（職名等は当時のもの）

大橋康二（佐賀県立九州陶磁文化館　副館長）　神谷厚昭（元沖縄県立真和志高校　教諭）
金子浩昌（東京国立博物館　客員研究員）　名和純（潟の生態史研究会　会員）
仲座久宜（沖縄県立博物館　主任）


中華人民共和国
China
朝鮮民主主義人民共和国
North Korea
大韓民国
South Korea
日本
Japan
東中国海
East China Sea
沖縄
Okinawa
台湾
Taiwan
ミャンマー
Myanmar
ベトナム
Vietnam
タイ
Thailand
南中国海
South China Sea
フィリピン諸島
Philippines
マレーシア
Malaysia
インドネシア
Indonesia
インド洋
Indian Ocean
ニューギニア島
New Guinea
太
平
洋
45°
40°
30°
25°
20°
15°
10°
5°
0°
5°
10°
100°
105°
110°
115°
130°
135°
0
1000km

第１図　沖縄本島の位置



グスク時代の主要遺跡

1	浦添城跡	（浦添市）
2	首里西森遺物散布地	（那覇市）
3	首里城跡	（〃）
4	玉陵南側洞穴遺跡	（〃）
5	崎山御嶽遺跡	（〃）
6	魚下腹遺跡	（〃）
7	石田グスク	（〃）
8	石田遺跡	（〃）
9	シーマ御嶽遺跡	（〃）
10	識名原遺跡	（〃）
11	安謝東原遺跡	（〃）
12	安謝東原南遺跡	（〃）
13	安謝前東原遺跡	（〃）
14	ヒヤジョー毛遺跡	（〃）
15	天久グスク	（〃）
16	牧志御願東方遺跡	（〃）
17	波上遺跡	（〃）
18	御物グスク	（〃）
19	三重グスク	（〃）
20	屋良座森グスク	（〃）
21	カニマン御嶽遺物散布地	（〃）
22	尻川原遺跡	（〃）
23	豊見城城跡	（豊見城市）
24	長嶺グスク	（〃）
25	クニンドー遺跡（仲間）グスク	（南風原町）

第２図　首里城跡の位置及び周辺の遺跡

第２章　位置と環境

第１節　地理的環境

首里城が立地するのは、那覇市北東部の標高 100 ～ 130 ｍの台地（通称首里台地）上である。この台地は島尻層群（砂岩・泥岩）を基盤に、その上を覆う琉球石灰岩から成っている。首里台地に降った雨水は琉球石灰岩中を浸透し、不透水層である島尻層群に達したあと、両者の不整合部分から湧水として再び地上に現れる。首里城周辺には湧水点が 30 ヶ所以上あり、現在も住民に利用されている。

首里城の東方約１㎞のところにある弁ヶ岳（標高 165.7 ｍ）から連なる丘陵が北西方向に延び、その北裾を末吉川（安謝川の上流）が流れ、首里の北境となっている。首里台地の東南部にもほぼ東西に丘陵が延び、その西端に崎山御嶽がある。首里台地の南に広がる急斜面の裾の谷間には、金城川（安里川の上流）が流れ、首里の南境となっている。首里城はこのような丘陵・川・急斜面に囲まれた自然の要塞の中にある。

首里城は幾重もの城壁に囲まれており、大きく外郭と内郭とに分けられる。正殿をはじめとする主要な建物は内郭にあり、書院・鎖之間は内郭の南端に位置する。書院・鎖之間は、正殿や北殿・南殿といった御庭を取り囲む建物より一段高い所に位置し、その標高差は４ｍほどである。書院・鎖之間は東西に並んで建てられており、両建物の北側はそれぞれ南殿・番所の２階部分とつながっていた。また書院の東側には、御物当詰所が接続していた。書院・鎖之間の南側には琉球石灰岩の地形を山に見立てた庭園が広がっている。現在この山に立って南の方角を見ると、金城川流域の急斜面地に広がる町並を見渡すことが出来る。

参考文献
沖縄県教育委員会『沖縄県歴史の道調査報告書―国頭・中頭方西海道（Ⅰ）・弁ヶ岳参詣道―』
1985 年３月
首里城研究グループ『首里城入門―その建築と歴史―』1997 年７月

第２節　歴史的環境

首里城の創建年代については不明な部分が多い。ただし「安国山樹華木碑記」（1427 年建立）の記述から、15 世紀の初め頃には、首里城の原形が出来上がっていたと考えられる。第二尚氏王統第４代尚清王は 1543 ～ 1546 年にかけて、継世門とそれに連なる城壁を整備し、首里城の外郭が完成した。

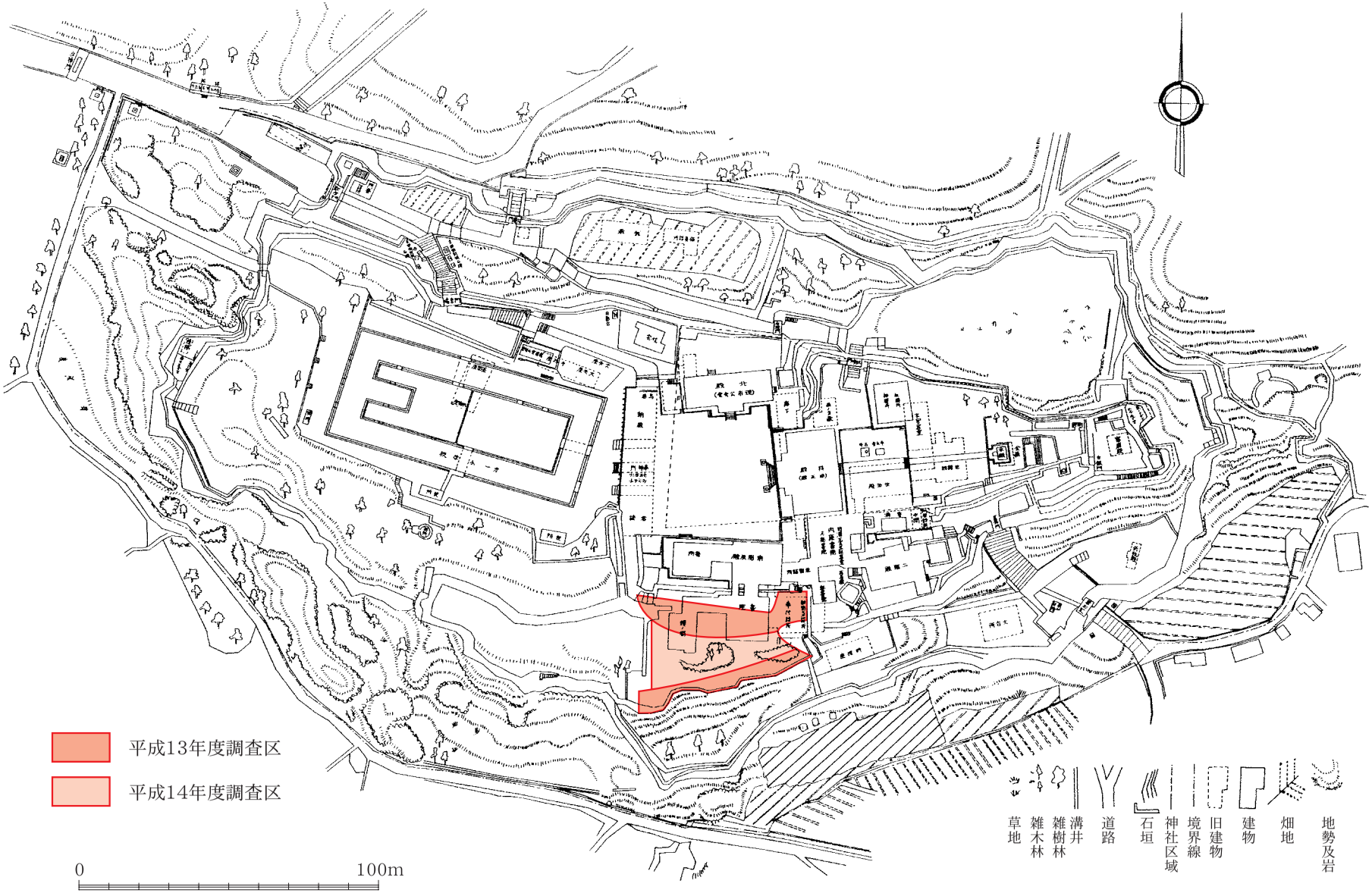
書院の創建年代は不明であるが、古記録によると 1622 年には「御書院当官」という記述があることから、この頃にはすでに書院が存在していたと考えられる。鎖之間の創建年代についても不明であるが、18 世紀末の記録『御座飾帳』には鎖之間での座敷飾り等の様子が記されている。書院に連続する形で建つ奉行詰所・御物当詰所の創建年代については不明である。

1877（明治 12）年の廃藩置県によって、450 年に及ぶ琉球王府の時代に幕がおろされた後、首里城内には熊本鎮台沖縄分遣隊が駐留した。その後も各種の学校が首里城内を利用していくなかで、城内の建物などが少しずつ改変されていった。1931（昭和６）年頃に作成された「首里城平面図」（坂田良之進原図）を見ると、奉行詰所・御物当詰所は破線で描かれており、この頃すでに建物は存在していなかったことがわかる。書院・鎖之間については、1937（昭和 12）年頃に解体され、その建築部材は南殿の修築に利用された。

1945（昭和 20）年に終結した沖縄戦直後の首里城は、見渡す限りの瓦礫の山であった。戦後の復興が進む中、1950（昭和 25）年に琉球大学が建てられた。かつて書院・鎖之間があった所には、法文校舎およびその別館Ａが建ち、旧地形は大きく改変された。

1982（昭和 57）年に琉球大学の移転が終了すると、首里城内外の文化財等の整備が本格化していった。

参考文献
真榮平房敬「近代の首里城」『甦る首里城』1993 年３月
首里城研究グループ『首里城入門―その建築と歴史―』1997 年７月



第３図　旧首里城図(昭和６年頃　坂谷良之進原図　沖縄県立図書館蔵)

第３章　調査経過

１　平成 13 年度　（調査期間：平成 13 年 9 月 17 日～平成 14 年 3 月 15 日　　調査面積：850 ㎡）

調査区は大きく北側と南側に分かれていた。これは首里城公園内管理用道路によって、調査区が南北に二分されていたからである。まず調査区全体の除草を行い、不発弾の有無を確認するために磁気探査を行った。次に調査区全体に５m四方のグリッドを設定し、北→南にアルファベット、東→西に算用数字を付けた。そして調査区の各地点にトレンチ・土層観察用畦を設け、人力による掘り下げを開始した。

①調査区北側

B－1･2グリッド付近では､調査開始前から一部に石灰岩の岩盤が露出しており､その上に薄く堆積した表土を除去するのみであった｡A～C－3グリッドの西側については､旧琉球大学の法文校舎建設のために大きく削平されていた｡残されていた東側について掘り下げを行ったところ､石敷き２･貝殻敷き･石積み等が検出された。

Ｃ－4 ～11 グリッドの北側についても、法文校舎建設のため削平されていた。Ｃ･Ｄ －4 ～6 グリッドについては、表土を数センチ除去した時点で岩盤が現れるとともに、柱跡と考えられるピットが検出された。

Ｃ －8 ～10 グリッドには調査開始当初から、法文校舎別館 A のコンクリートブロック塀が露出していた。その周辺を掘り下げた結果、コンクリート基礎やそれに伴う造成層が確認されたことから、首里城の遺構は削平されていると考えられた。そこで新たにトレンチを設け掘り下げを行った所、石敷き４・石積み・造成層等を確認した。Ｃ －10 ･11 グリッドからは階段１が検出された。

②調査区南側

調査開始当初から、ここには東西に走る石積み（城壁）が確認されていた。そこで表土を除去したあと、石積みの内側にトレンチを数箇所設定し､石積みの下部構造を調査した。石積みの外側は急斜面地となっており、樹木が鬱蒼と茂っていた。石積みの外側に接して表面の腐植土を除去したところ、サンゴ片を多く含んだ黒褐色の土が現れた。

Ｅ －1 ･2 グリッドでは岩盤が露出しており、岩盤上にたまった腐植土や周辺の表土を除去した。その結果、石敷き３と石積み 13 を検出した。

Ｉ－10 グリッドでは、樹木があった部分や、沖縄戦時の被弾痕と考えられる撹乱部分を中心にトレンチ 11・13 を設定し、掘り下げを行った。その結果複数の石積みを検出した。またトレンチ掘削中に獣･魚骨を大量に含む層を検出したため、土をふるいにかけ選別を行った。

２　平成 14 年度　（調査期間：平成 14 年 5 月 13 日～平成 14 年 10 月 31 日　　調査面積：840 ㎡）

前年度の調査の際、首里城公園管理用道路があった所が調査対象地区となった。道路のアスファルト及び道路北側の造成土は、国営沖縄記念公園事務所首里出張所のほうで大部分を撤去していたため、その部分に磁気探査をかけ、人力による発掘調査を開始した。

Ｅ－4 ～6 グリッドでは、ピットや 50 ㎝前後の石を複数検出した。このピットや石のすぐ南側には、岩盤が露出した一段高い部分が広がっており、そこでは岩盤を掘りぬいて造ったピットや階段を検出した。

Ｅ－ 7 ～ 10 グリッドでは、岩盤を深くえぐる溝が縦横に走っていることが確認された。この溝は旧琉球大学の法文校舎別館Ａの基礎跡であった。溝と溝との間には一部土が残っていたが、首里城当時の地表面はすでに削平されていた。

調査がある程度完了した時点で、掘削土運搬用の通路として残しておいた、管理用道路南側の造成土を重機で除去し、北側で検出した遺構の続きを調査した。

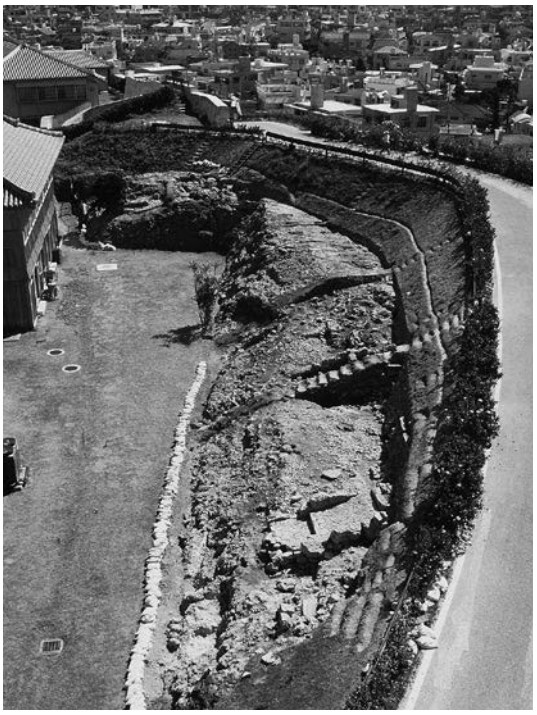
発掘調査の途中、首里城公園内（京の内地区）で遺構の復元・整備工事が開始されることとなり、発掘調査区内の調査終了部分に仮設道路が設置されることとなった。

３　平成１６年度

平成 13・14 年度の発掘調査で得た遺物・図面等は調査終了後に沖縄県立埋蔵文化財センターに持ち帰り、平成 16 年度から本格的な資料整理を実施した。調査で得られた遺物は遺物収納コンテナに換算して約 200 箱であった。遺物の洗浄・ナンバーリング・分類・集計・実測・撮影・トレース・版組等を行いこの報告書を刊行した。遺物・図面等はすべて沖縄県立埋蔵文化財センターの収蔵庫・記録保存室に保管されている。

図版１　平成13年度　調査区北側　調査前(東から)

図版２　平成13年度　調査区南側　調査前(西から)



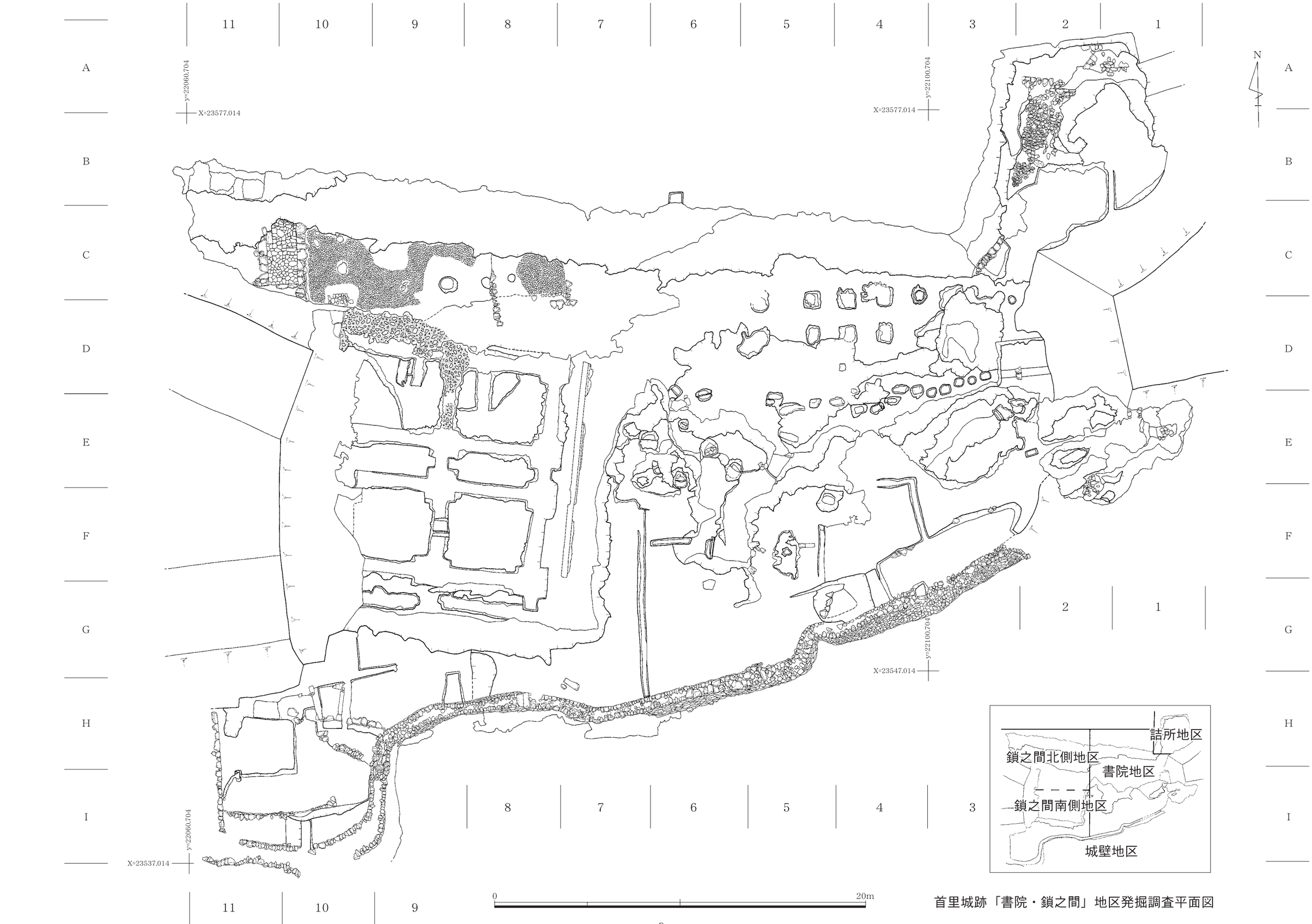
図版３　平成13年度　調査区北側　遺構検出状況(西から)

図版４　平成13･14年度　調査区全景(東から)

図版５　平成13･14年度　調査区全景(北東から)

図版６　平成13･14年度　調査区全景(北西から)

調査区の移り変わり



第４図　首里城跡書院・鎖之間地区遺構平面図(縮尺1/180)

首里城跡「書院・鎖之間」地区発掘調査平面図

第４－２図　旧琉球大学校舎配置図（沖縄県教育委員会『首里城跡』1995年より）

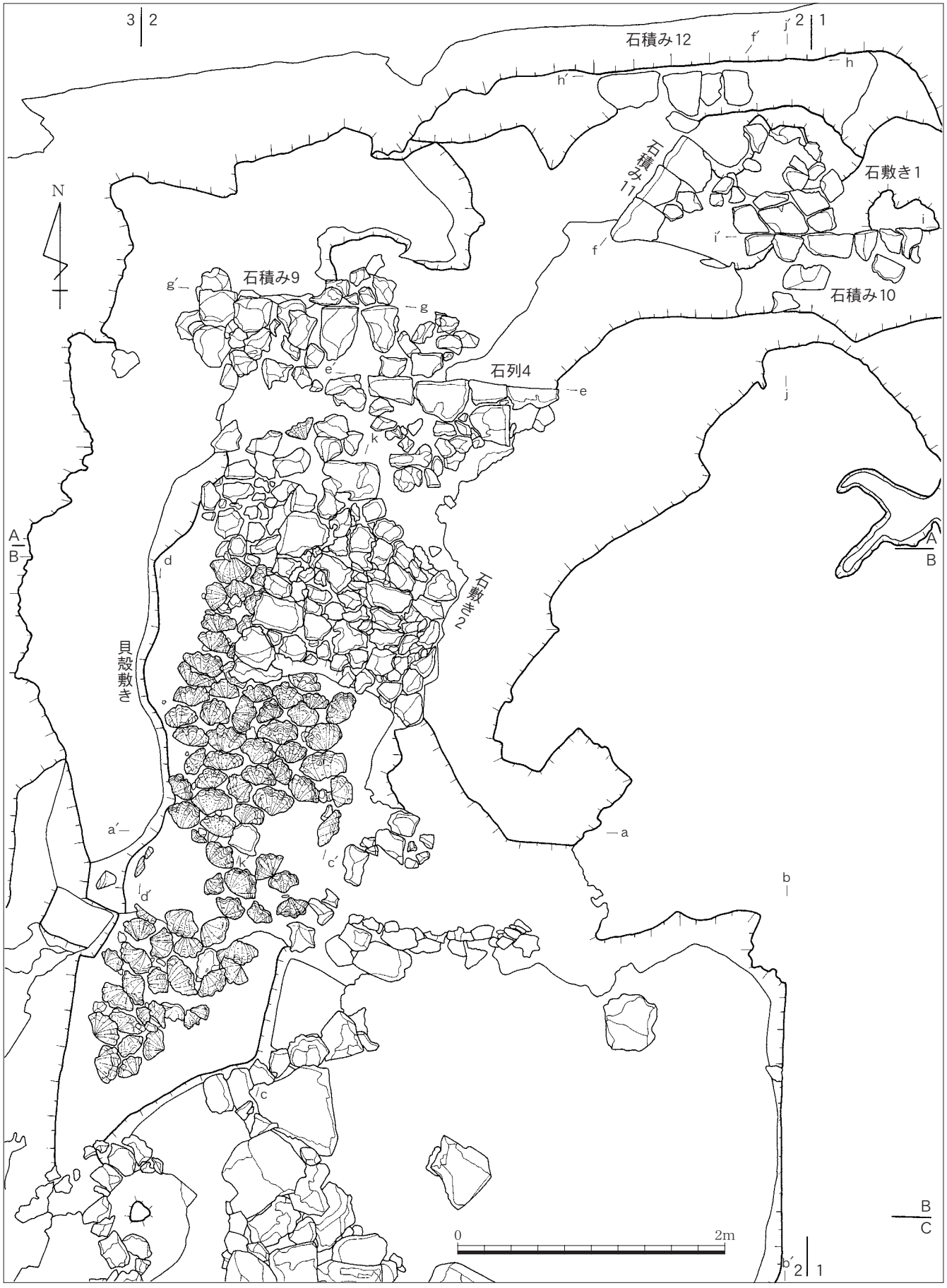
図版７　現場事務所内での作業

図版８　真榮平房敬氏による聞き取り調査

図版９　神谷厚昭氏による石質調査

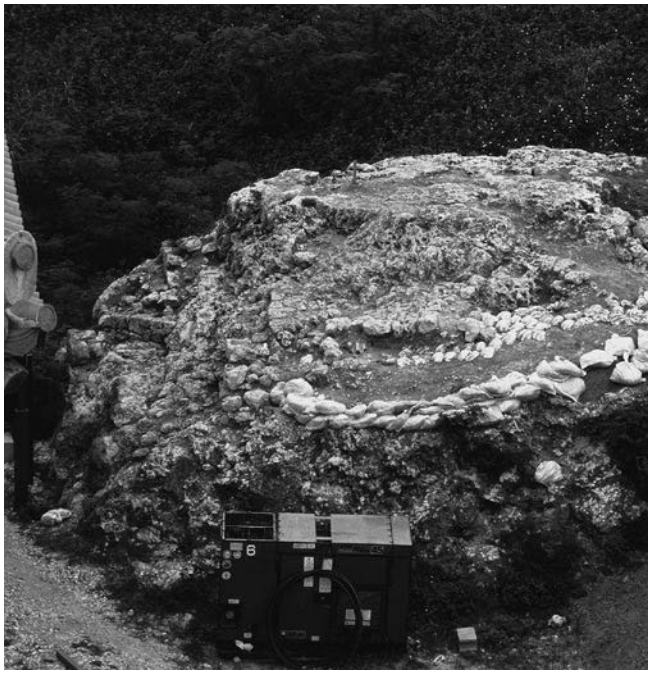
図版10　発掘調査作業員

発掘調査にかかわった人々



第5図　詰所地区　遺構平面図(縮尺1/40)

図版11　詰所地区全景(南西から)



図版12　詰所地区全景(西から)

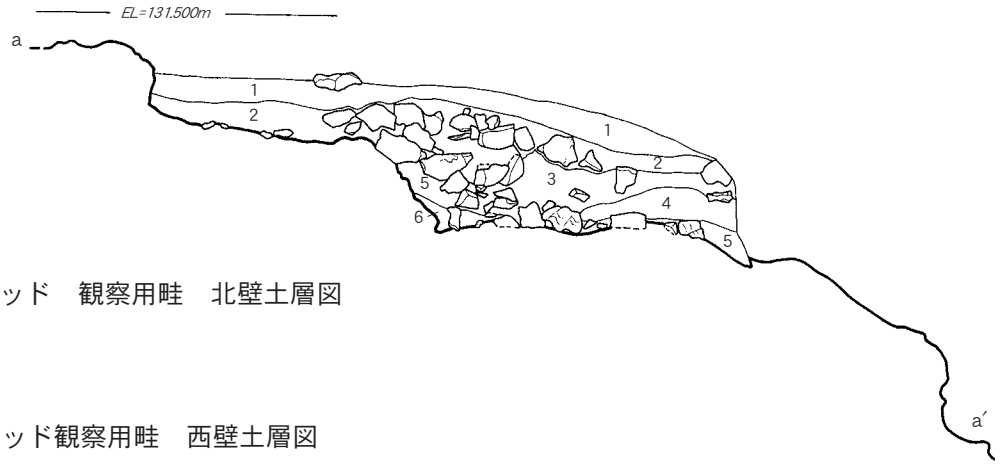
第４章　遺構と遺物

今回の発掘調査は調査面積が広範囲に及び、検出された遺構も多岐にわたっている。そこでかつて存在した首里城の建物の位置をもとに、調査区を五つの地区に分けて、第１～６節で各地区の遺構・遺物を報告する。また第７節では遺物の集計表等を掲げ、種類ごとに遺物を概観する。

第１節　詰所地区の遺構と遺物

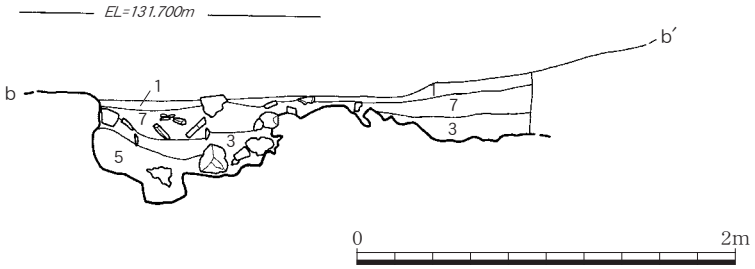
調査区の北東隅、Ａ～Ｃ－１～３グリッドの範囲にあたる。古図面によると、ここには御物当詰所、奉行詰所と呼ばれる建物があったとされている。詰所地区は、岩盤が露出している部分が多く、表土を除去した時点では、建物が存在したことを示す礎石・柱穴等は検出されなかった。岩盤はＢ－１・２グリッド付近が最も高く、標高は約 132.7 ｍでほぼ平坦である。ここから北側にいくとＡ－２グリッド部分から、標高差約３ｍをもって急激に傾斜している。この傾斜面の途中に、**石積み 10 ～ 12**、**石敷き１**を検出した。これらは傾斜面を昇り降りするための階段を構成する部分と考えられる。

またＢ－１・２グリッドの岩盤平坦面から西に行くと、暗褐色の砂礫土が堆積したテラス状部分がある。この部分からは**石積み９**、**石列４**、**石敷き２**が検出された。この石敷き２については多くの部分が欠損していたが、欠損部分の下からは、ヒレジャコの貝殻を敷き詰めた遺構（**貝殻敷き**）を検出した。石敷き２及び貝殻敷きについては、西側が大きく削平されていた。これは旧琉球大学の法文校舎を建設する際の工事が原因と考えられる。この削平された部分の土層を観察したところ、貝殻敷きと地山の赤土との間には暗褐色土があり、この暗褐色土中には意図的に割られた銭貨が多く含まれていることが分かった。これと同様な銭貨は、詰所地区を覆う表土や砂礫土からも出土した。



第６図　B-1･2･3グリッド　観察用畦　北壁土層図

第７図　A-2･C-2グリッド観察用畦　西壁土層図



図番号	グリッド	土層名称	層序	色調	厚さ(cm)	土質・混入物	備考
6	B-1・2・3	観察用畦北壁	1	暗褐色	8～18	粘質土	表土。
			2	黒褐色	8～16	砂質土。大礫を含む。	
			3	黒灰色	6～28	砂質土。大礫、黒瓦・赤瓦、褐釉陶器を含む。	
7	A-2・C-2	観察用畦西壁	4	暗褐色	8～16	砂質土。小礫・骨を含む。	3層との層境は不明瞭。
			5	黒褐色	6～28	砂質土。	
			6	赤褐色	4～13	粘質土。	地山
			7	黒褐色	4～16	砂質土。赤磚、黒瓦を含む。	

１　石積み 10 ～ 12、石敷き１（A －２グリッド　第８・11 ～ 13 図　図版 13・14）

急斜面の岩盤を昇り降りするための階段を構成する遺構と考えられる。石積みについては、石灰岩を 1、2 段積んでおり、階段の蹴上げを成すと考えられるが、石積み 10・12 については天端がはっきりとしないため問題も残る。また石積み 12 の北側は、垂直に近い角度で岩盤が削られている。

石敷き１は、石積み 11 の天端に合わせて石をはめこんでおり、一部岩盤を削って代用している。

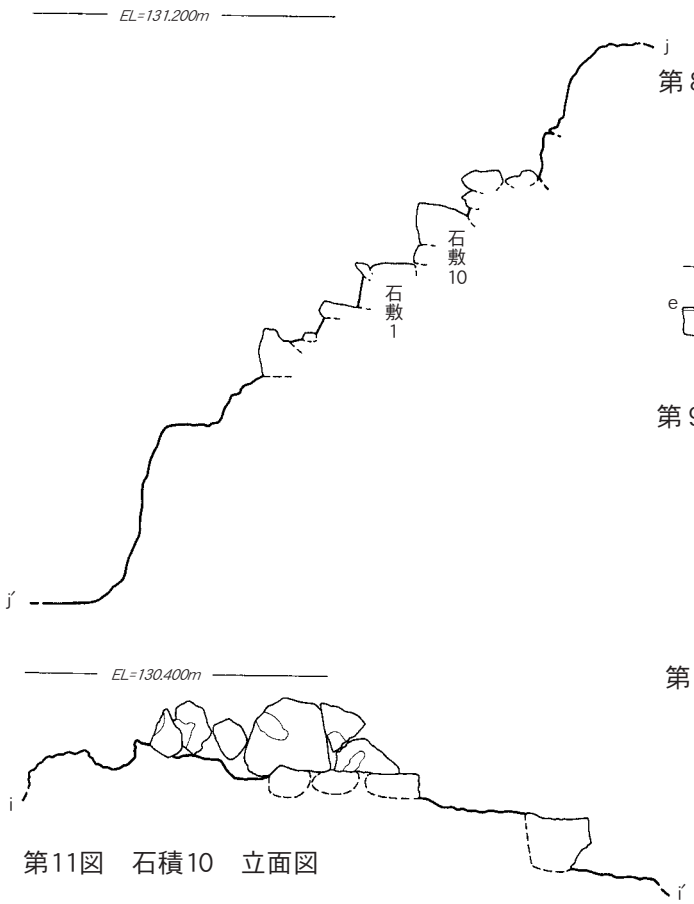
以上の遺構については、南殿跡の発掘調査の際に既に確認されていた遺構である（注１）。直接遺構に伴う遺物がないためその築造年代については明らかではないが、隣接する石敷き２などと関連している可能性があることから、それらとほぼ同時期の遺構であると考えられる。

（注１）　沖縄県教育委員会『首里城跡－南殿・北殿跡の遺構調査報告書－』1995 年

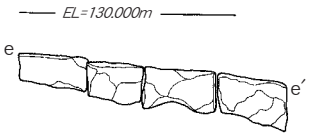
２　石積み９、石列４、石敷き２（A・B －２グリッド　第９・10・16 図　図版 15・16）

急斜面・緩斜面に造られた遺構で、石積み９と石列４は階段の蹴上げと考えられる。石敷き２は、石列４の天端から約 10 度の角度で緩やかに上がりながら南に伸びている。東西幅は約 1.5 ｍで、西端を成すと考えられる部分には他よりやや大きい石を用いている。北側は削平されているため、南北方向の範囲は不明である。

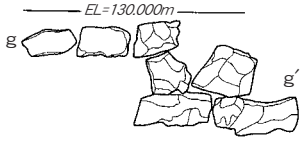
これらの遺構を覆う砂礫土中からは多くの遺物が出土し（第 17 ～ 21 図、図版 152 ～ 155）、近代に属する陶磁器も少量あるが、大部分が 15 ～ 17 世紀頃のものである。その他にも翡翠製の石製品、武具等の金属製品、銭貨が多く出土した。



第８図　石敷１、石積10　断面図

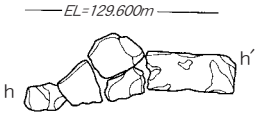


第９図　石列４　立面図



第10図　石積９　立面図

第12図　石積11　立面図



第13図　石積12　立面図

第11図　石積10　立面図

図版13　石敷１、石積10～12(南東から)

図版14　石積11、12(西から)

図版15　石列４、石積９(北西から)

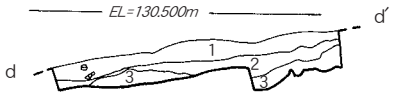
図版16　石列４、石積９(上から)

図版17　貝殻敷き(南から)

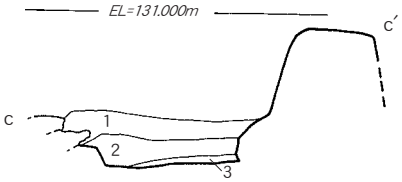
図版18　貝殻敷き(北から)

図版19　貝殻敷き(北から)

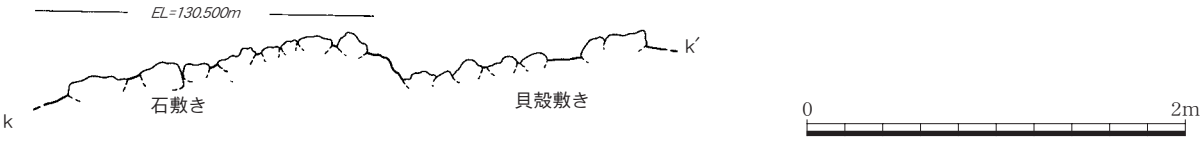
第14図　トレンチ27　東壁土層図



第15図　トレンチ26　西壁土層図



第16図　石敷１、貝殻敷き　断面図



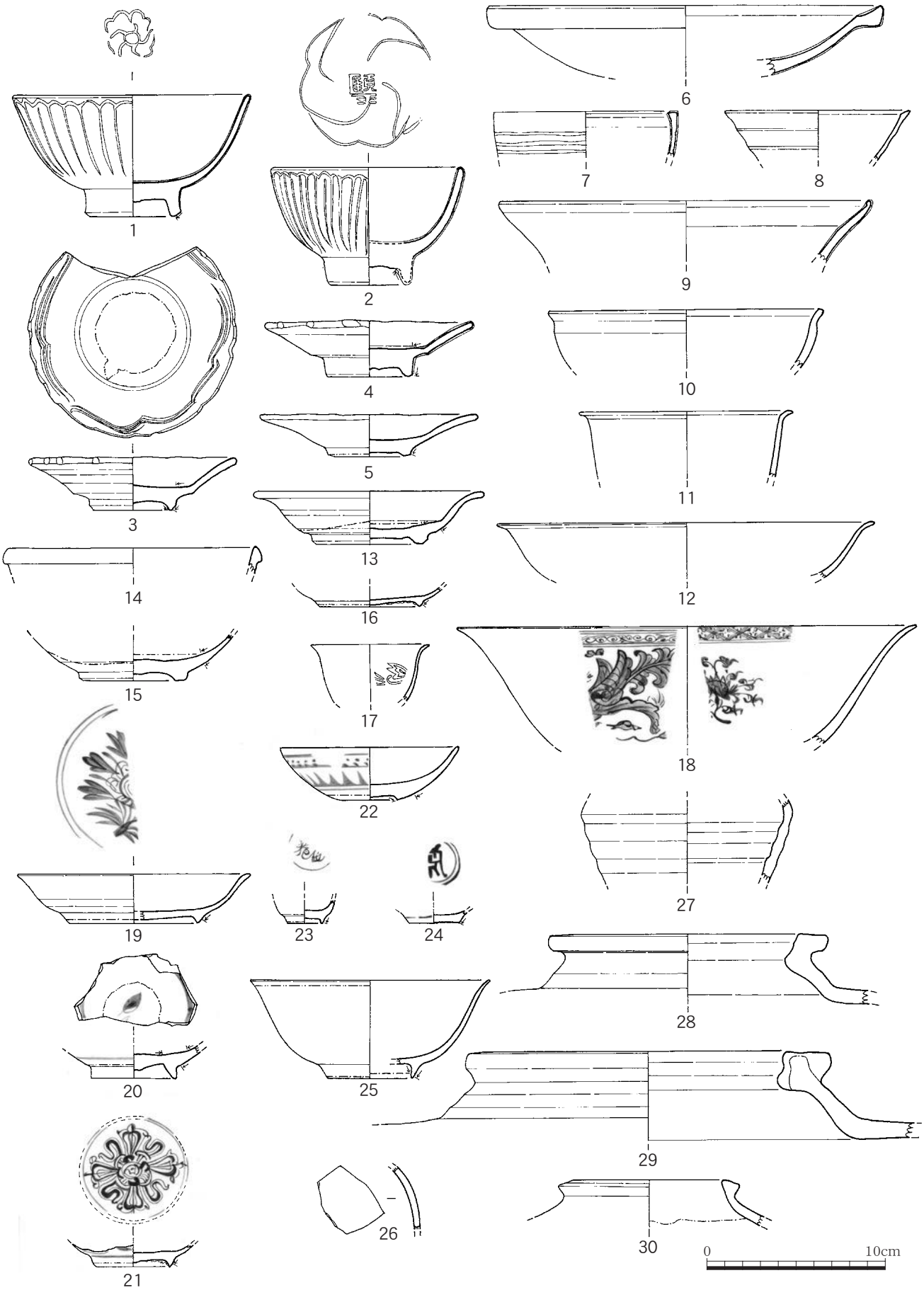
図番号	グリッド	土層名称	層序	色調	厚さ(cm)	土質・混入物	備考
14	B-2	トレンチ27 東壁	1	暗褐色	2～14	粘質土。銭貨を含む。	
15		トレンチ26 西壁	2	暗褐色	2～16	地山の土を少量含む。	
			3	赤褐色	2～10		地山。

3　貝殻敷き（Ｂ－２グリッド　第 16 図　図版 17 ～ 19・138）

長さ４m、幅 1.4 mの範囲にヒレジャコの貝殻を敷き詰めた遺構である。殻長は 30 ㎝前後のものが多く、表面のヒレは削られているようである。一部が石敷き２の下にあり、約 10 度の角度で南に向かって上がっている。貝殻敷きの元々の範囲は、後世の削平のため不明である。

この遺構の直下には、褐釉陶器、金属製品、意図的に割られたと考えられる銭貨を含む層が確認された（トレンチ 27 の１層　第 14 図　図版 139)。初鋳年が最も新しい銭貨は永楽通宝（明　1408 年）であった。

貝殻敷きの築造年代については、石敷き２の下位に造られていることや、遺構を覆っていた砂礫土中の遺物（Ｂ－２グリッド観察用畦　３・４層　第 21 図　図版 154・155)、および貝殻敷き直下の層から出土した銭貨の年代等から、15 ～ 16 世紀頃と考えられる。

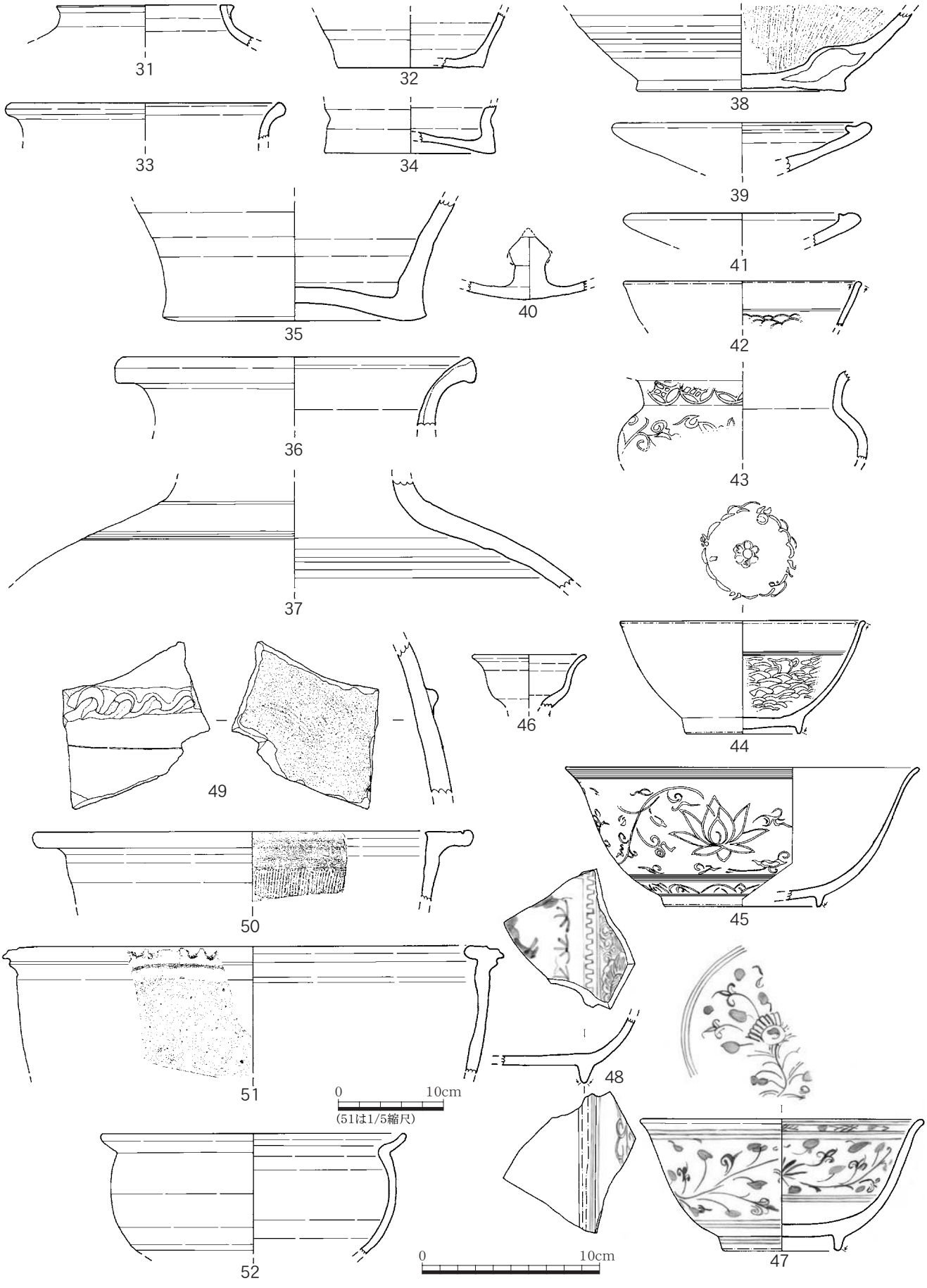


第17図　詰所地区出土遺物(１)砂礫土

第１表　詰所地区出土遺物一覧（１）

単位：cm /g

図番号		種類	器種	部位	口径・長さ	器高・高さ	底径・幅	重さ	所　見	出土地点
第17図　図版152	1	中国産青磁	碗	口～底部	13.4	6.9	5.4	－	高台内は露胎。外面に線刻蓮弁文、内面に印花文。15 世紀後半～16 世紀中頃。	C- 3 砂礫土
	2				10.9	6.7	4.8	－	高台内は釉掻き取り。外面に線刻蓮弁文。内面に花文、「顧氏」銘。15 世紀中頃～末。	
	3		皿		11.7	3.0	4.5	－	底部内面、高台内は露胎。底部内面に重ね焼きの跡。内面に線刻文。15 世紀後半～16 世紀中頃。	
	4				11.5	3.1	4.8	－	底部内面、高台内は露胎。底部内面に重ね焼きの跡。15 世紀後半～16 世紀中頃。	A- 2 砂礫土
	5				12.2	2.4	4.7	－	畳付～高台内は露胎。15 世紀後半～16 世紀中頃。	C- 3 砂礫土
	6		盤	口縁部	22.4	－	－	－	14 世紀後半～15 世紀中頃。	
	7		器種不明		10.4	－	－	－	香炉か。外面に沈線文。15 世紀頃。	A- 2 砂礫土
	8	白磁	碗か		10.4	－	－	－	胎土は白色でやや砂質。中国産か。16 ～ 17 世紀。	
	9	青磁	皿		21.0	－	－	－	中国産か。明代か。	C- 3 砂礫土
	10	中国産白磁	不明		15.4	－	－	－	碗か。明代。	
	11				12.0	－	－	－	碗か。景徳鎮窯系。15 ～ 16 世紀。	
	12		皿		21.2	－	－	－	景徳鎮窯系。16 世紀。	
	13			口～底部	13.0	3.0	6.0	－	底部内面は釉掻き取り。底部外面は露胎。16 世紀か。	
	14		碗	口縁部	13.6	－	－	－	13 ～ 14 世紀か。	
	15			底部	－	－	6.7	－	底部内・外面は露胎。福建省招武窯。16 世紀頃。	
	16		皿		－	－	5.6	－	畳付は露胎で砂粒が付着。景徳鎮窯系。16 世紀。	A- 2 砂礫土
	17		小杯	口縁部	6.7	－	－	－	内面に陽刻文。景徳鎮窯系。16 世紀後半～17 世紀。	
	18	中国産染付	鉢		25.8	－	－	－	景徳鎮窯系。15 世紀か。	C- 3 砂礫土
	19		皿	口～底部	13.1	2.9	7.3	－	畳付は露胎。景徳鎮窯系。16 世紀前半～中頃。	
	20			底部	－	－	4.8	－	底部内面は蛇の目状に釉掻き取り。底部外面は露胎。漳州窯系。16 世紀後半～17 世紀初め。	A- 2 砂礫土
	21				－	－	4.2	－	畳付は露胎で砂粒が付着。内面に十字花文。景徳鎮窯系。16 世紀前半～中頃。	C- 3 砂礫土
	22			口～底部	10.0	3.0	3.0	－	胎土は明橙色でやや砂質。釉は失透性で発色が悪い。畳付は露胎。外面に蕉葉文、内面にも文様あり。景徳鎮窯系。16 世紀前半～中頃。	
	23		小杯	底部	－	－	2.0	－	畳付～高台内は露胎。底部内面に銘。17 世紀頃。	
	24		不明		－	－	4.8	－	小杯か。底部外面は露胎。内面に梵字文。景徳鎮窯系。16 世紀末～17 世紀。	
	25	中国産瑠璃釉	碗	口～底部	13.4	5.5	4.8	－	畳付は露胎。16 世紀。	
	26	陶器	不明	胴部	－	－	－	－	袋物。内面は露胎。九州産か。江戸後期か。	A- 2 砂礫土
	27	中国産褐釉陶器	瓶		－	－	－	－	内面はケズリに近いナデ。磁荘窯系。明代。	C- 3 砂礫土
	28		壺	口縁部	15.6	－	－	－	口縁部平坦面に目跡。明代。	
	29				20.6	－	－	－	明代。	
	30				8.4	－	－	－	東南アジア産の可能性もある。明代頃。	

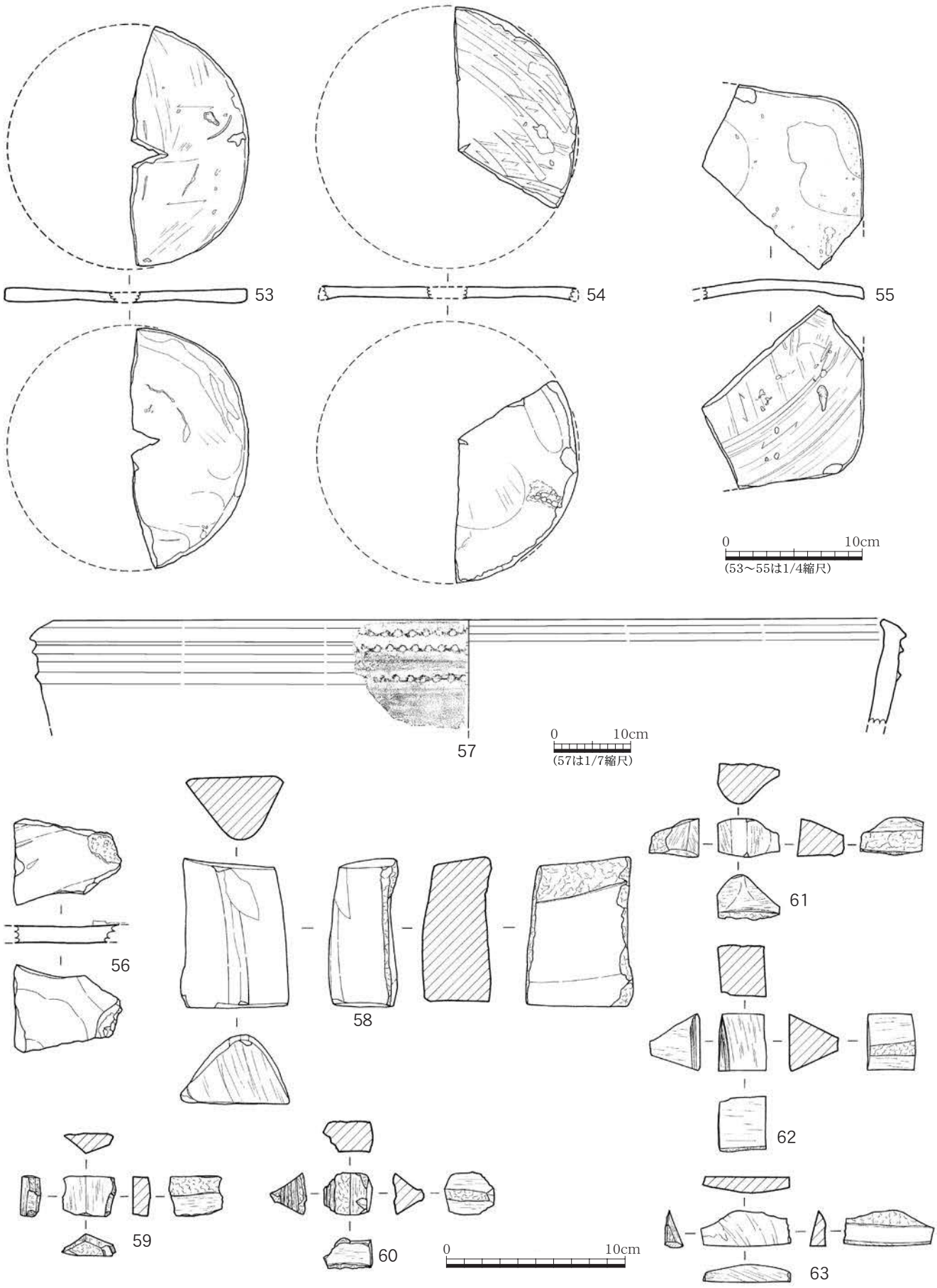


第18図　詰所地区出土遺物(２)砂礫土

第２表　詰所地区出土遺物一覧（２）

単位：cm /g

図番号		種類	器種	部位	口径・長さ	器高・高さ	底径・幅	重さ	所　見	出土地点
第18図　図版152・153	31	中国産褐釉陶器	壺	口縁部	9.9	－	－	－	明代。	A- 2 砂礫土
	32			底部	－	－	8.2	－	底部外面に砂粒が目立つ。中国産ではない可能性もある。明代。	B - 2 砂礫土
	33	タイ産褐釉陶器		口縁部	15.8	－	－	－	15 ～ 16 世紀。	A- 2 砂礫土
	34	中国産褐釉陶器		底部	－	－	9.6	－	内面は露胎。底部外面に目跡あり。中国産ではない可能性もある。明代。	C- 3 砂礫土
	35				－	－	14.5	－	底部外面はまばらに施釉し、目跡あり。明代。	
	36	タイ産褐釉陶器		口縁部	20.2	－	－	－	外面は一部施釉、内面は露胎。シーサッチャナライ窯系。15 ～ 16 世紀。	A- 2 砂礫土
	37			胴部	－	－	－	－	頸部に突線文。15 ～ 16 世紀。	C- 3 砂礫土
	38	中国産陶器	擂鉢	底部	－	－	11.8	－	擂り目は、胴部に反時計回りに施したあと、底部に施す。焼成時の器壁の膨張・割れがある。施釉されていた可能性がある。明代。	B - 2 砂礫土
	39	タイ産土器	蓋		14.6	－	－	－	表・裏面ともナデ。	C - 3 砂礫土
	40				－	－	－	－	撮み部分。裏面はケズリ。	
	41	陶器			13.4	－	－	－	器形はタイ産半練土器の蓋によく似る。東南アジア産か。	
	42	ベトナム産白磁	碗	口縁部	13.4	－	－	－	口唇部は露胎。内面に陽刻の青海波文。15 ～ 16 世紀。	A- 2 砂礫土
	43	白磁	香炉	胴部	－	－	－	－	白化粧土→線刻文様→透明釉。沖縄産（17 世紀末～ 18 世紀前半）かベトナム産（15 世紀前半）。	C- 3 砂礫土
	44	ベトナム産白磁	碗	口～底部	13.8	6.4	6.4	－	畳付～高台内・口唇部は露胎。印花文と陽刻の青海波文。14 世紀後半～ 15 世紀。	
	45	白磁			19.9	7.9	8.7	－	畳付～底部内面は露胎。沖縄産（17 世紀末～ 18 世紀前半）かベトナム産（15 世紀前半）。	
	46	沖縄産上焼	小碗	口縁部	6.5	－	－	－	上焼。	A- 2 砂礫土
	47	中国産色絵	碗	口～底部	16.1	6.8	7.4	－	白化粧土→透明釉→一次焼成→上絵付け→二次焼成。内・外面に草花文。16 世紀頃。	C- 3 砂礫土
	48	本土産染付	皿	底部	－	－	－	－	畳付は露胎。肥前有田産。1820 ～ 1860 年。	
	49	褐釉陶器	甕か	胴部	－	－	－	－	胎土は橙～黄灰色で、白色・黒色・半透明粒を少し含む。内面に青海波状の叩き痕。外面に刻み目突帯文と沈線。中国産か。	
	50	沖縄産陶器	擂鉢	口縁部	24.8	－	－	－	擂り目の上端をナデ消す。	
	51	陶器	鉢		46.5	－	－	－	中国産か。明代。	
	52	陶質土器	鍋		17.2	－	－	－	胴部径は 17.2 cm。	

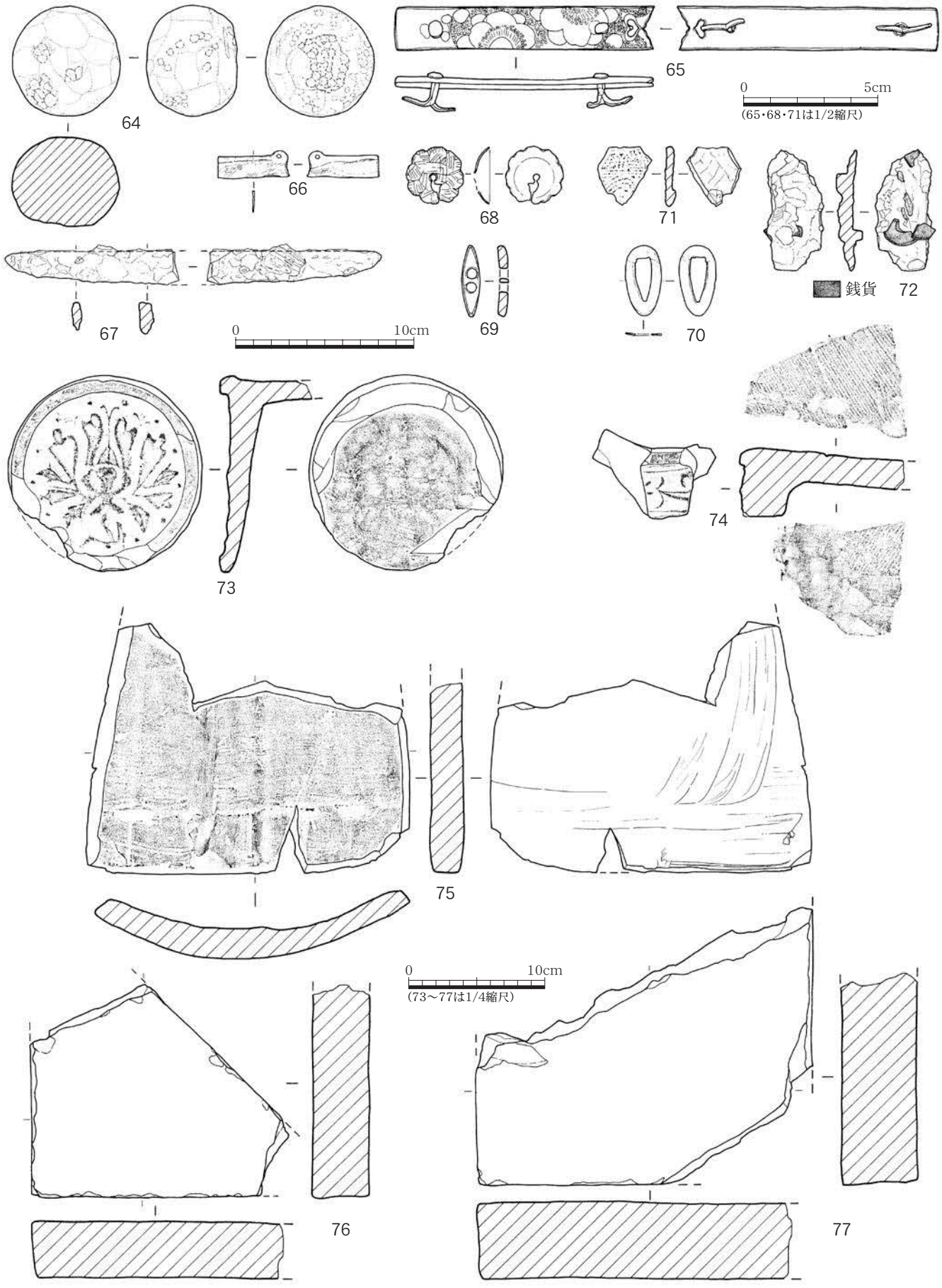


第19図　詰所地区出土遺物(３)砂礫土

第３表　詰所地区出土遺物一覧（３）

単位：cm /g

図番号		種類	器種	部位	口径・長さ	器高・高さ	底径・幅	重さ	所　見	出土地点
第１９図　図版１５３	53	土器	蓋	－	18.3	－	－	－	上・下面とも雑なナデ。	C-3 砂礫土
	54			－	19.2	－	－	－	上面はケズリ・ナデ。下面は圧痕。	
	55		器種不明	－	－	－	－	－	蓋か。胎土は瓦質で黄灰色。上面に圧痕。下面はケズリ。	
	56			－	－	－	－	－	蓋か。胎土は瓦質で黄灰色。銅製品（金箔有り）の破片が付着。	
	57	瓦質土器	鉢	口縁部	108.0	－	－	－	刻み目文。	A-2 砂礫土
第１９図　図版１５４	58	石製品	不明	－	8.6	3.9	6.0	286.6	自然面・加工面（ケズリ・割り）がある。翡翠製。	C-3 砂礫土
	59			－	2.2	1.3	3.0	10.3	加工面（ケズリ・割り）がある。翡翠製。	A-2 砂礫土
	60			－	2.4	1.7	2.7	12.4		
	61			－	2.2	2.7	3.5	24.5		C-3 砂礫土
	62			－	3.2	3.1	2.7	10.7		A-2 砂礫土
	63			－	2.0	1.0	5.0	10.7		
第２０図　図版１５４	64	石製品	石球	完形	6.2	5.0	6.0	249.2	やや扁平な球形。前面に敲打痕。砂岩（ニービの骨）製。	A-2 砂礫土
	65	金属製品	八双金具		9.70	1.50	1.58	12.2	外面に魚々子文・牡丹文の線刻。外面に金箔。２か所に鋲が残る。厚さ0.28mm。青銅製。	C-3 砂礫土
	66		不明		1.50	－	4.02	3.5	一方の面に金箔。青銅製。	
	67		刀子	破片	9.7	1.0	2.0	20.8	鉄製。	
	68		不明		2.16	0.54	2.10	1.4	外面に線刻文様と、直径 2mm の穴がある。厚さ 0.4mm。青銅製。	A-2 砂礫土
	69		笠鞐	完形	3.90	0.60	0.98	7.9	直径 5mm の穴が２個ある。全面に金箔。青銅製。	B-2 砂礫土
	70		切羽		3.90	－	2.10	1.6	厚さ 0.5mm。長さ 25.2mm、幅 9.5mm の穴。青銅製。	C-3 砂礫土
	71		不明	不明	2.24	0.65	1.65	11.4	厚さ 2mm。外面に複雑な沈線文様を鋳出している。内面はやや粗い。青銅製。	
	72		小札	破片	6.70	－	2.70	－	木片らしきものと古銭片が付着。	
	73	瓦	軒丸瓦		14.5	－	－	－	凸・凹面ともナデ。明朝系。	
	74		軒平瓦		－	－	－	－	凹・凸面とも糸切り・ナデ痕があり、砂粒が付着。唐草文。大和系。	
	75		平瓦		－	－	－	－	凹面は布目、凸面はナデ。叩くと金属音がするくらい焼き締まるが、焼きひずみがある。明朝系。	
	76	塼	－		－	4.4	－	－	上・側面はナデ。下面に圧痕。	
	77				－	5.8	24.1	－	上・下・側面ともナデ。	

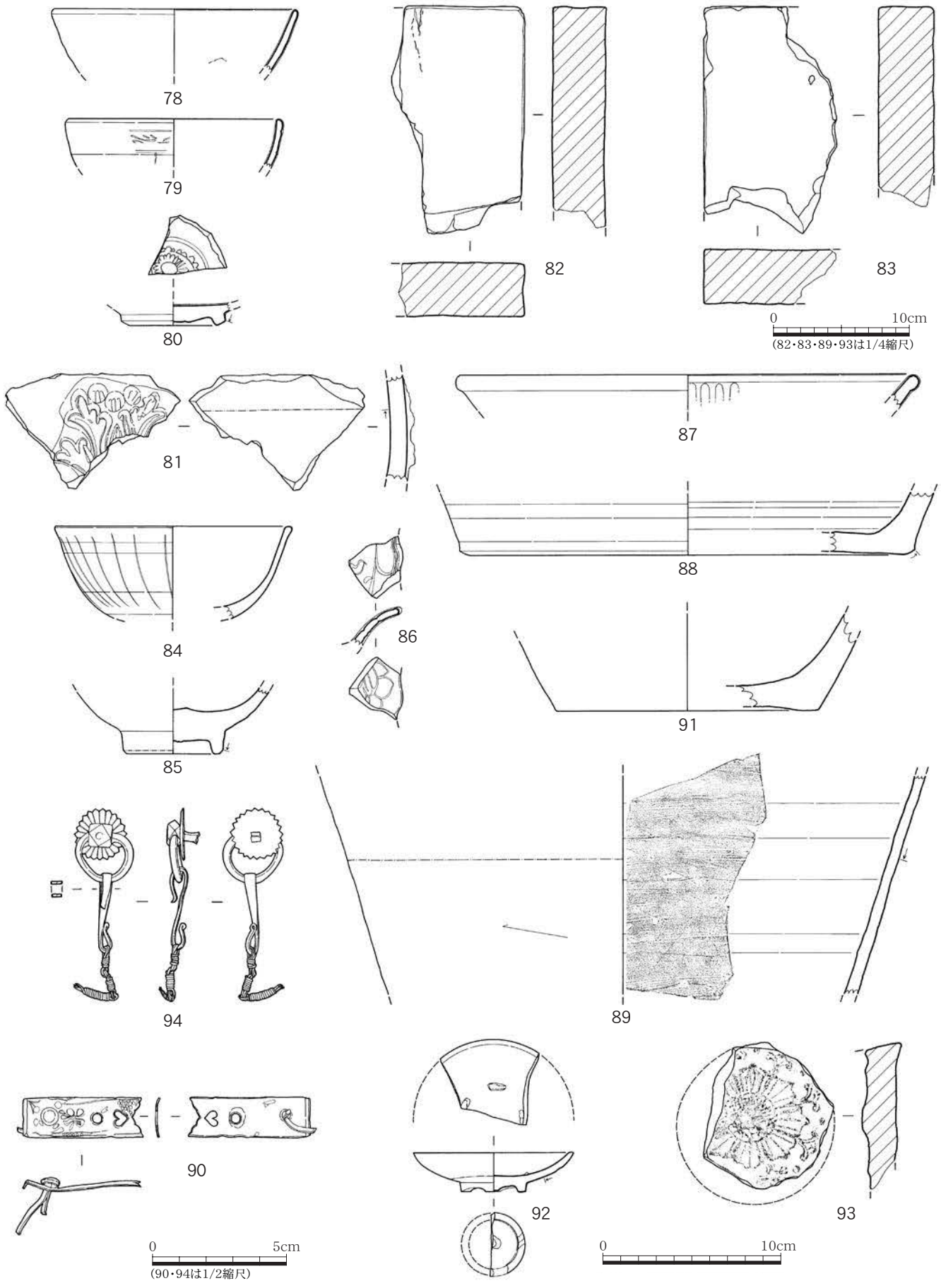


第20図　詰所地区出土遺物(４)砂礫土

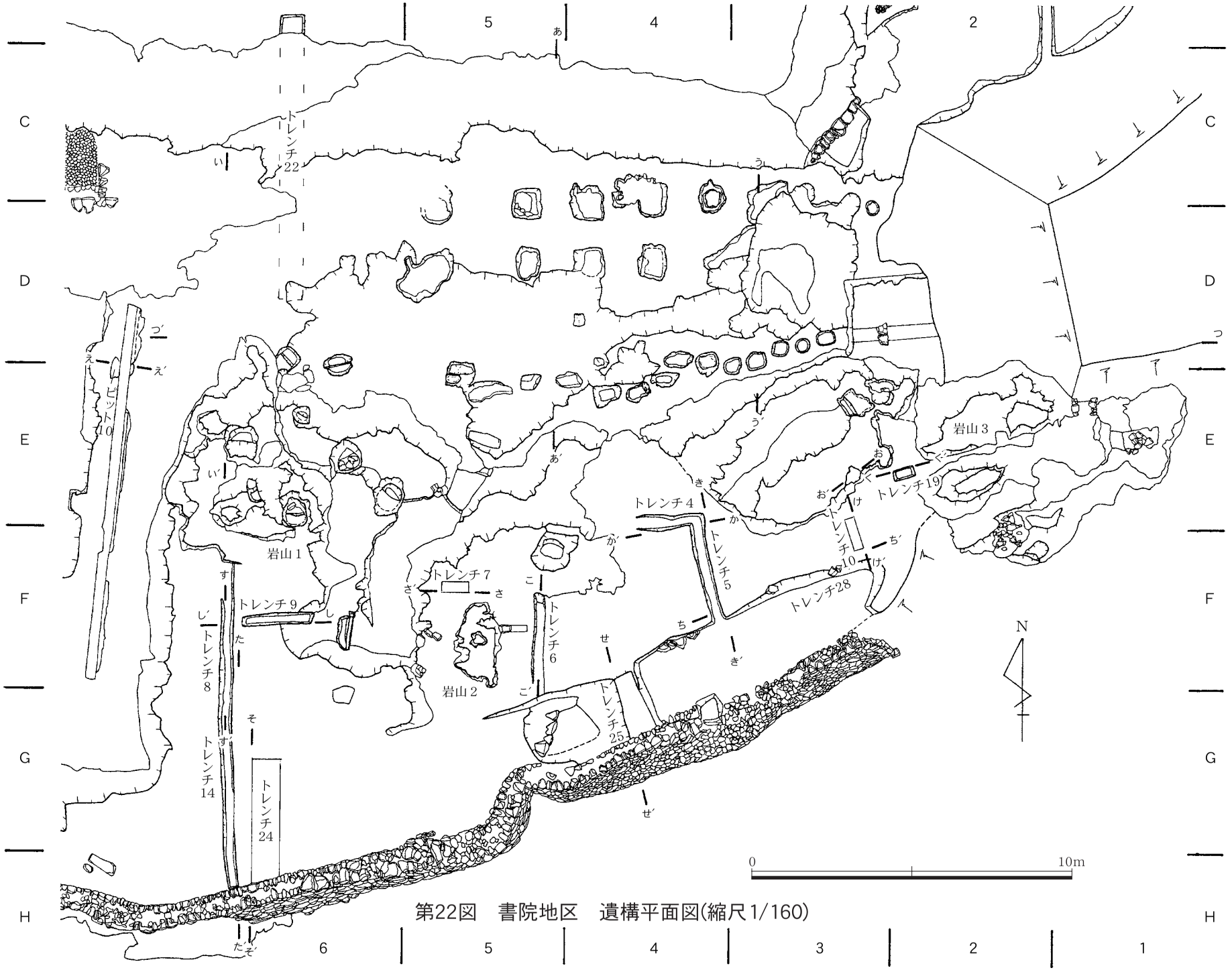
第４表　詰所地区出土遺物一覧（４）

単位：cm /g

図番号		種類	器種	部位	口径・長さ	器高・高さ	底径・幅	重さ	所　見	出土地点
第21図　図版154	78	中国産青磁	碗	口縁部	13.8	－	－	－	龍泉窯系 14 世紀後半～ 15 世紀。	B-2 3層
	79				12.2	－	－	－	外面に波頭文・連弁文らしき文様。16 世紀。	
	80		皿	底部	－	－	5.8	－	畳付～高台内は露胎。底部内面に線刻の花文。15 世紀頃。	
	81	褐釉陶器	甕か	胴部	－	－	－	－	外面に貼付け花文。中国産か。明代か。	
	82	塼	－	破片	－	4.0	－	－	上面はナデ、側面はナデと圧痕、下面は圧痕。	
	83				－	4.1	－	－	外面・側面はナデ、下面は圧痕。	
	84	中国産青磁	碗	口縁部	13.2	－	－	－	外面に線刻連弁文。15 世紀後半～ 16 世紀。	B-2 4層
	85			底部	－	－	5.3	－	畳付～高台内は露胎。15 ～ 16 世紀。	
	86		皿	口縁部	－	－	－	－	内・外面に花文。龍泉窯系。14 世紀後半～ 15 世紀前半。	
	87				26.0	－	－	－	内面に連弁文。龍泉窯系。14 世紀後半～ 15 世紀前半。	
	88	褐釉陶器	壷	底部	－	－	25.4		東南アジア産か。内面は露胎。15 ～ 16 世紀。	
	89			胴部	－	－	－	－	底部外面は露胎。タイ産か。明代か。	
	90	金属製品	八双金具	完形	4.50	0.80	1.45	4.0	外面に魚々子文・牡丹文・金箔。鋲が 1 本付く。	
	91	瓦質土器	器種不明	底部	－	－	14.8	－	壺か。内外面ともナデ。	C-3 サンゴ片層
	92	中国産白磁	皿	口～底部	9.0	2.2	3.6	－	底部外面は露胎。底部内面に目跡。15 世紀後半～ 16 世紀。	
	93	瓦	軒丸瓦	破片	－	－	－	－	高麗系。	
	94	金属製品	不明	破片	－	－	－	9.0	鋲、飾り板、輪、Ｓ字型の部品、針金から成る。鋲、飾り板の表面に金箔らしきものがわずかに残る。	



第21図　詰所地区出土遺物(５)78～83　B-2　3層、84～91　B-2　4層、92～94　サンゴ片層



第22図　書院地区　遺構平面図(縮尺1/160)

図版20　書院地区　全景(東から)

図版21　書院地区　全景(北東から)

第２節　書院地区の遺構と遺物

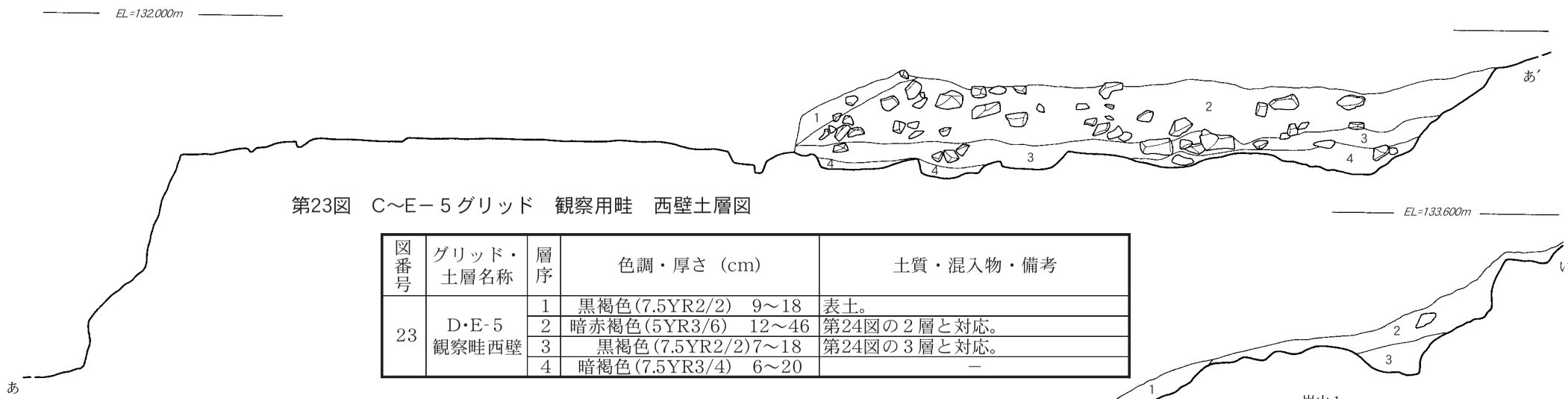
調査区中央～東側、Ｃ～Ｇ－１～６グリッドにあたる。ここには書院と呼ばれる建物と、書院の南側に広がる庭園があったとされる。調査開始当初、書院があった所には黒色の表土が数センチ堆積しており、表土を除去すると、すぐに石灰岩の岩盤が現れた。この岩盤は、標高 131.2 ｍの高さで平坦にならされており、この平坦面において東西方向に２列にならぶ**ピット 25 ～ 31** を検出した。

このピット 25 ～ 31 より北は、旧琉球大学の法文校舎建設のため、岩盤ごと大きく削平されている。またピット群の東側にも不整形に岩盤が落ち込んでいる部分があり、ここにはコンクリートやビニール片を含む客土が堆積していた（第 25 図　図版 140 右上)。この落ち込みのさらに東には、岩盤が削られ基壇状となっている部分がある。この基壇状部分には、サンゴ片を多く含む黒褐色砂質土（１層）が約 20 ㎝堆積しており、**石列５**が検出された。

ピット 25 ～ 31 の南側には、一面に黒褐色砂質土が堆積していた（第 23 図　図版 140 左上)。この土を少しずつ掘り下げていくと、岩盤を掘り下げたピット群（**ピット群１**）や、50 ㎝前後の砂岩・緑色片岩等の石などが現れた。

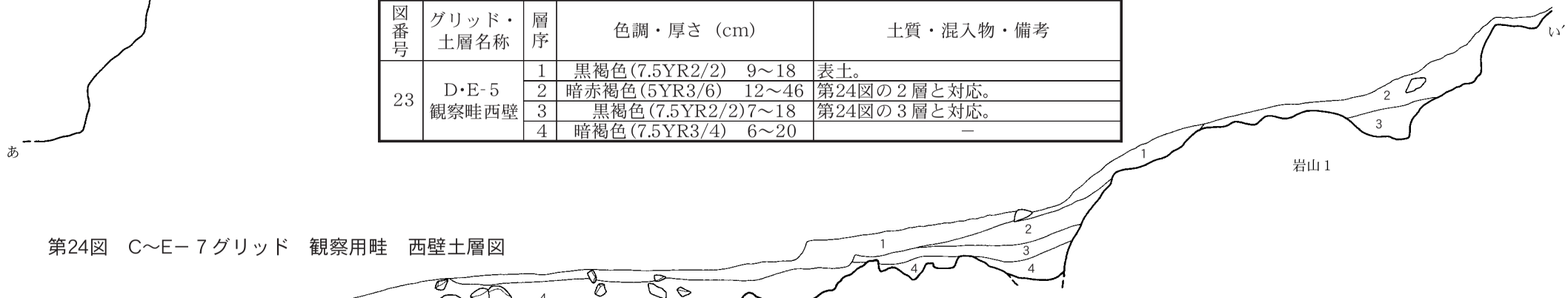
これらのピット群・石のさらに南側は高さ２ｍ以上の岩盤の山となる。当初この**岩山**は沖縄戦以後の客土に覆われていた。客土を除去すると、岩山は大きく３つに分かれていることがわかった。特に一番西に位置する岩山１周辺からは、岩盤を掘りぬいたピットが複数みつかった（**ピット群２**)。

また岩山１と真中の岩山２との間には、岩盤を削って造った通路状の階段（**階段２**）がみつかった。岩山２と東端の岩山３との間には土が堆積していたため、ここを中心にトレンチを設定し、下層の状況を調査した（第 50 ～ 61 図　図版 144・145)。岩山のさらに南にはほぼ平坦な地面が続き、内郭を取り囲む石積みに至る。

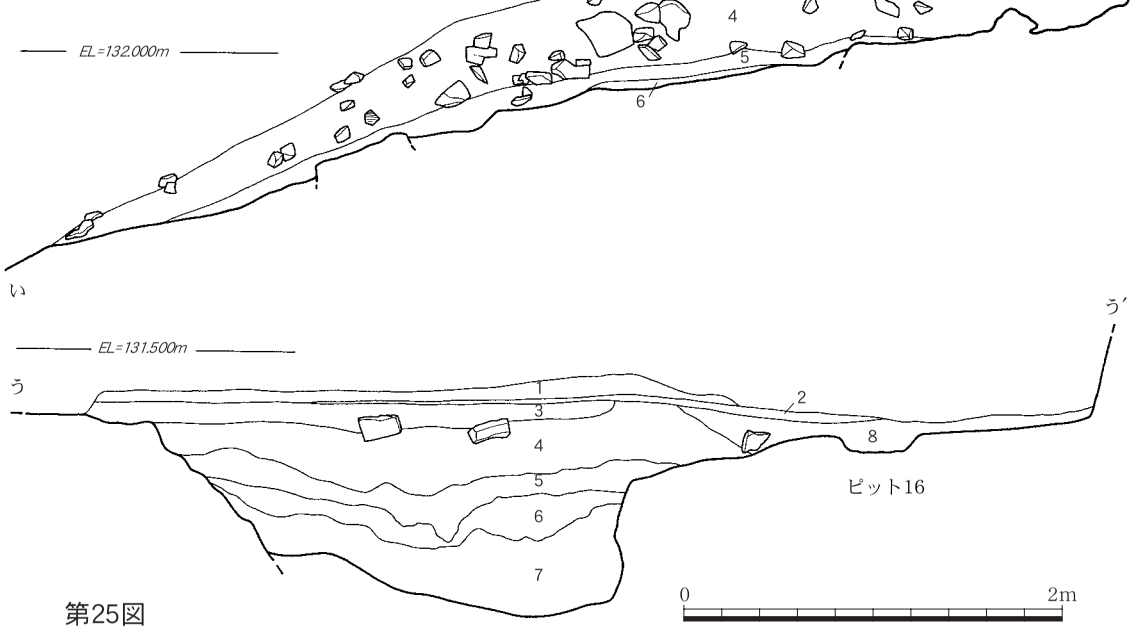


第23図　C～E－５グリッド　観察用畦　西壁土層図

図番号	グリッド・土層名称	層序	色調・厚さ（cm）	土質・混入物・備考
23	D･E-5 観察畦西壁	1	黒褐色(7.5YR2/2)　9～18	表土。
		2	暗赤褐色(5YR3/6)　12～46	第24図の２層と対応。
		3	黒褐色(7.5YR2/2)7～18	第24図の３層と対応。
		4	暗褐色(7.5YR3/4)　6～20	－

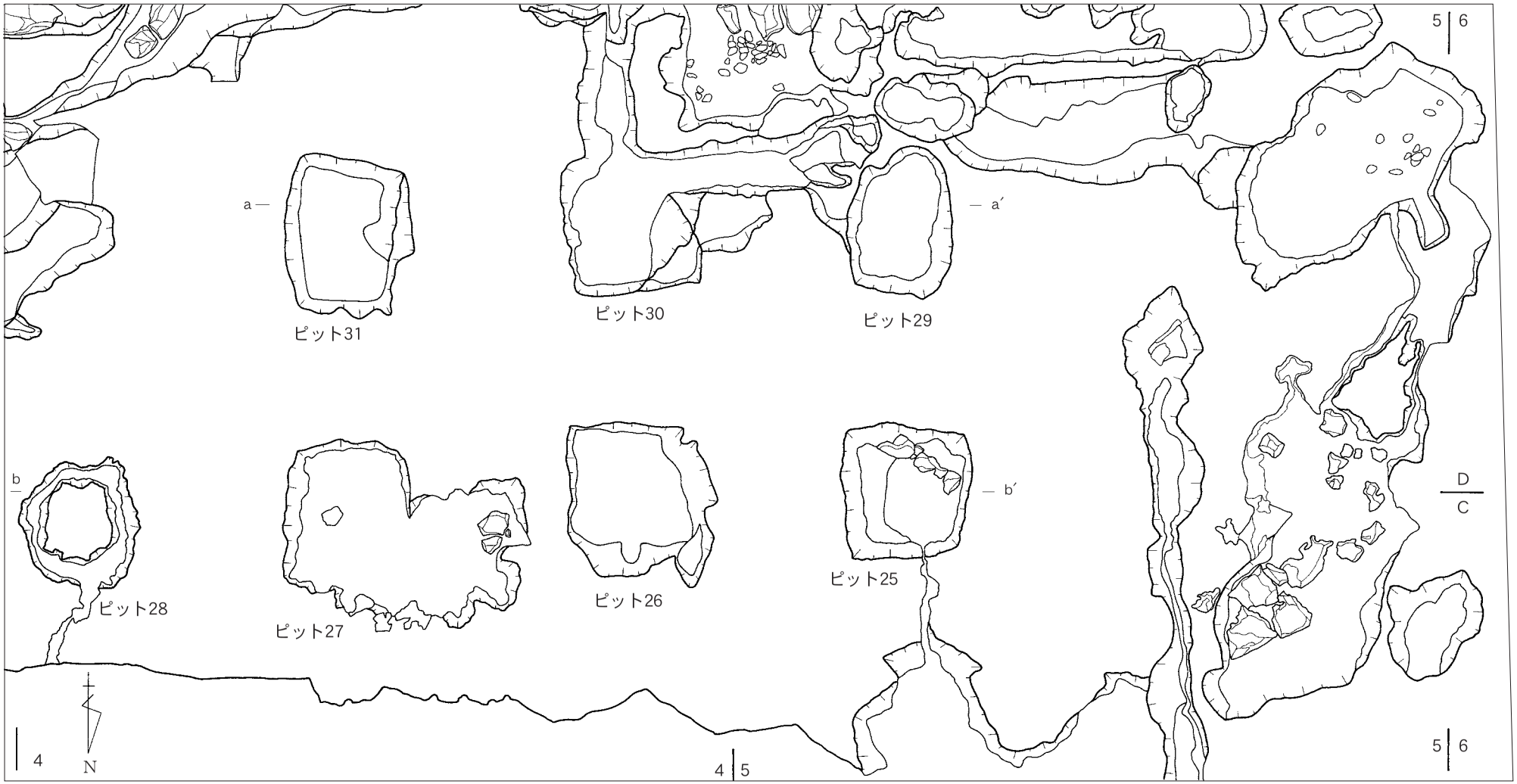


第24図　C～E－７グリッド　観察用畦　西壁土層図



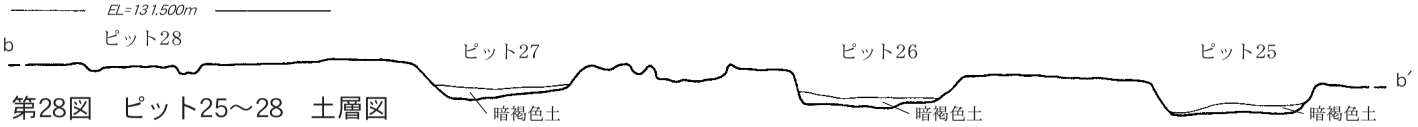
第25図
D－３グリッド　観察用畦　東壁土層図

図番号	グリッド・土層名称	層序	色調・厚さ（cm）	土質・混入物・備考
24	C～E-7　観察用畦西壁	1	青灰色(5BG5/1)　6～20	クチャ。第67図1層と対応。
		2	暗褐色(10YR3/3)　6～52	5cm程の石灰礫が多く混じる。第23図の２層と対応。
		3	黒褐色(10YR2/2)　6～20	第23図の3層と対応。
		4	暗褐色(7.5YR)　14～42	5～10cm程の石灰礫が多く混じる。第23図の４層と対応。
		5	黒褐色(5YR2/2)　4～14	第67図の5層と対応か。
		6	赤褐色　4～6	地山。
25	D-3　観察用畦東壁	1	褐色　5～11	砂質土。管理用道路造成土。
		2	黒灰色　2～4	砂質土。
		3	310	ガラス、コンクリート、ブロック、瓦釘、石灰岩礫を含む。
		4	暗褐色　16～32	粘質土で固く締まる。
		5	8～30	赤瓦、石灰岩、ビニール片を含む。
		6	黒褐色　6～24	砂質土。鉄釘を含む。
		7	黄灰色　18～46	黄灰色砂礫層。石灰岩の岩盤が風化したものか。
		8	4～18	－



第26図　ピット25～31　平面図

第27図
ピット29～31　断面図



第28図　ピット25～28　土層図

0　2m

図版22　ピット25～31(東から)

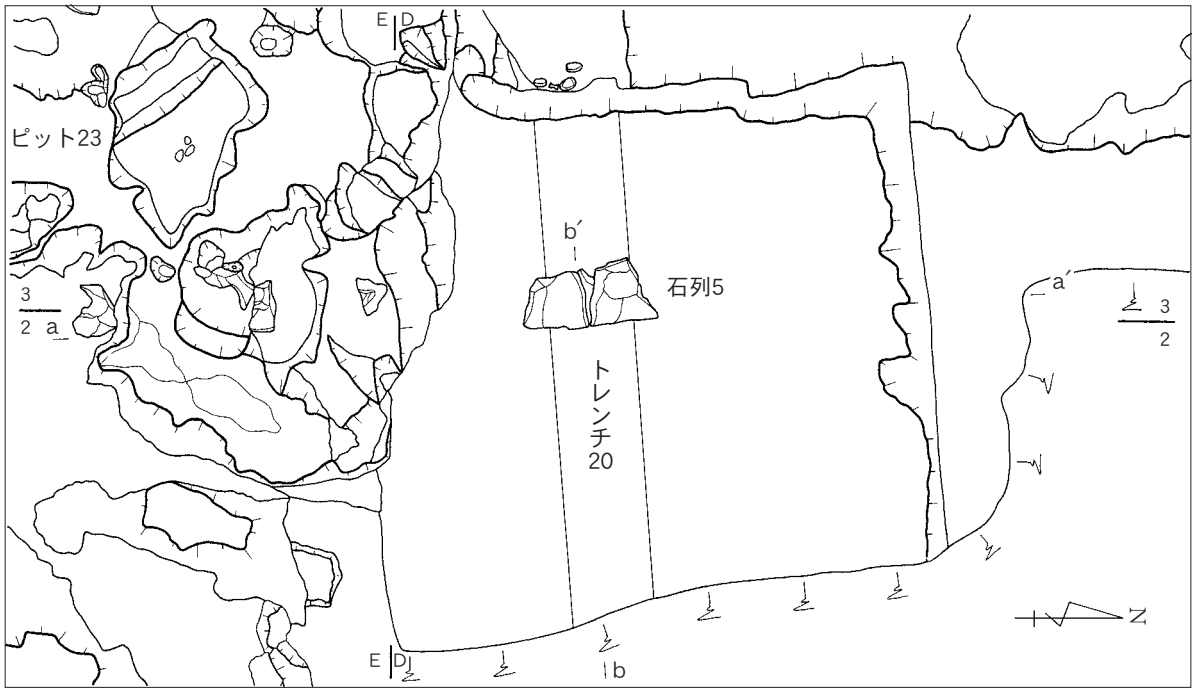
図版23　作業風景

図版24　ピット25～31(東から)

1　ピット 25 ～ 31（C・D－4・5 グリッド　第 26・27・28 図　図版 22 ～ 24）

ピット 25 ～ 27・29 ～ 31 は、平面形が一辺１m前後の方形で、深さは約 20 ㎝である。ピット 30 は、環状に掘りくぼめており、深さは約５㎝である。ピットの中心点間の距離は、東西方向で平均 1.93 m、南北方向で平均 1.87 m、全体で平均 1.9 mの間隔で整然と並んでいる。またピットの西と南にもピットらしきものがあるが、平面形がやや不整形であり、前述のピットと一連のものかは不明である。

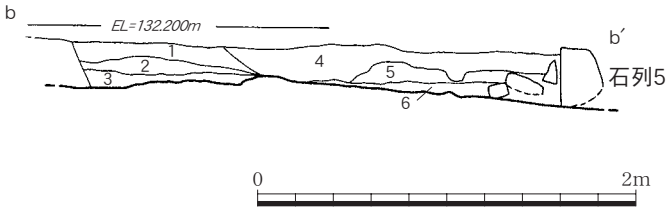
ピット内には表土と同じような暗褐色土が堆積していたが、遺物は確認できなかった。古図面によるとピットがある部分は書院建物の南側にあたり、『琉球建築』（田辺泰 1937 年）に描かれている間取り図の柱の位置とおおよそ一致する。書院の建物が解体された後、ここに新たな建物を建てたという記録はなく、また旧琉球大学の校舎が建てられていた位置からも外れている。よってこれらのピットは書院の柱跡と考えられる。またピット 25 ～ 27・29 ～ 31 は、平面形が方形であることから、本来ピット内には方形の礎石が置かれていた可能性が高い。ピット 30 については、あたかも円形の礎石を造るかのように岩盤を環状に掘りくぼめていることから、直接柱を立てた可能性がある。



第29図　C･D－2･3グリッド　遺構平面図

第30図　石列5　立面図

第31図　トレンチ20　南壁土層図



図番号	グリッド・土層名称	層序	色調・厚さ（cm）	土質・混入物
31	D-2・3 トレンチ20 南壁	1	黒褐色(10YR3/3)6～10	砂質土。
		2	明黄褐色(10YR6/6)3～9	砂質土。石灰岩小礫を多く含む。
		3	黒褐色(10YR2/3)2～8	砂質土。
		4	黒褐色(10YR3/3)10～20	砂質土。サンゴ片を多量に含む。
		5	明黄褐色(10YR7/6)6～12	サンゴ片層。
		6	黒褐色（7.5YR3/2)4～8	砂質土。20cm前後の石灰岩を多く含む。

図版25　C･D－2･3グリッド　全景(上から)

2　石列５（D－３グリッド　第 29 ～ 31 図　図版 25 ～ 29・140）

東側に面をもった石が２個並んだ遺構である。石列に対し直交するようにトレンチを設定し掘り下げた結果、石は岩盤直上に据えられていることが分かった。石列の裏込め石は検出されなかった。

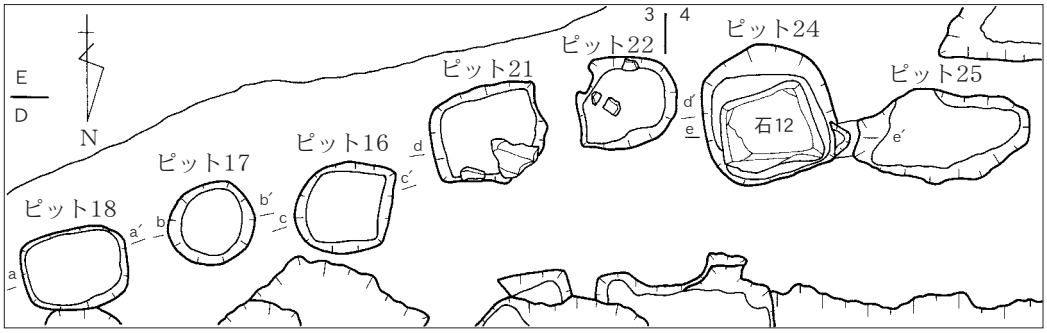
石列のすぐ南側には岩山３があるが、この岩山上にも東側に面をもった石が１個ある。この石と石列５は同一直線上にあることから、一連の遺構である可能性がある。もしそうであれば、石を数段積んだ石積みとなる。「旧首里城図」（第３図）によると、この部分には石積みらしきものが描かれているのでその可能性は高い。

図版26　石列５・トレンチ20(北東から)

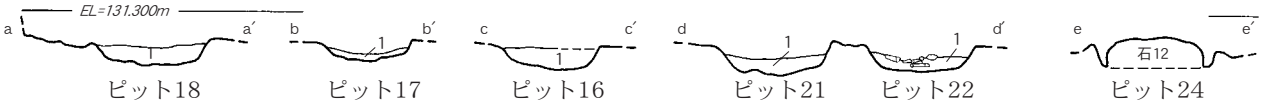
図版27　石列５

図版28　石列５(東から)

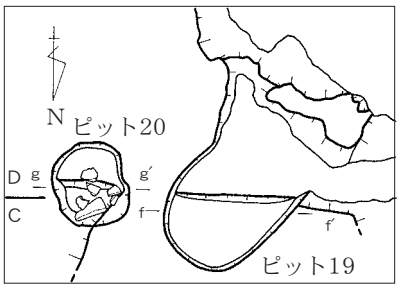
図版29　石列５(北から)



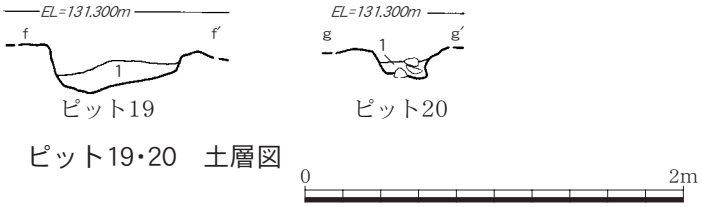
第32図　ピット16～18・21・22・24・25　平面図



第33図　ピット16～18・21・22・24　土層図・断面図



第34図　ピット19・20　平面図

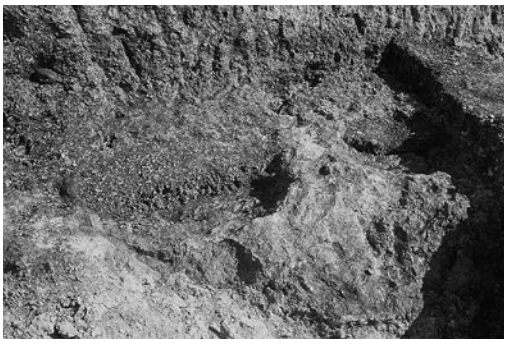


第35図　ピット19・20　土層図

図版30　ピット16～18・21・22・24・25(西から)

図版31　ピット24(北から)

図版32　ピット22(北から)


図版33　ピット17･18(北から)

図版34　ピット20(北から)

図版35　ピット19(北から)

図番号	グリッド	土層名称	層序	色調	厚さ(cm)	土質・混入物	備考
33	D-3	ピット16	1	暗褐色	10	サンゴ片が少し混じる。	
		ピット17	1	暗褐色	3～4	サンゴ片が少し混じる。	
		ピット18	1	暗褐色	10	サンゴ片混じり。	
		ピット21	1	暗褐色	6～9	サンゴ片が少し混じる。	
		ピット22	1	暗褐色	6	サンゴ片が少し混じる。	
35	C-2	ピット19	1	暗褐色	4～14	サンゴ片混じり。	
		ピット20	1	暗褐色	6～8	サンゴ片・炭混じり。	

3　ピット群１（E－3～7グリッド　第32～34・42～44図　図版30～35・40）

主に岩山１～３の北側に沿って検出されたピット１・2・10・16～18・19・20～22・24～28である。ピット24内には、ピットよりひとまわり小さい砂岩が据えられている。砂岩については、割れ口以外にとくに人の手が加わった部分はなく、自然面を残している。首里城内の建物に使われる礎石は、通常円形・方形に整形される。またこの場所が庭園であったことを考えると、ピット24内の砂岩は飛び石として使われた可能性がある。またその他のピットにも、石が置かれていた可能性が高い。

ピット16～18・21のすぐ南には、後述する岩山３の急斜面が壁のように迫っている。この急斜面部分の岩盤表面には、岩盤を削った時の削り痕が、縦方向の筋となって残っている。この岩盤を削った行為は、岩山３を造るためというよりも、むしろ飛び石を置くための場所を確保するためであったと考えられる。

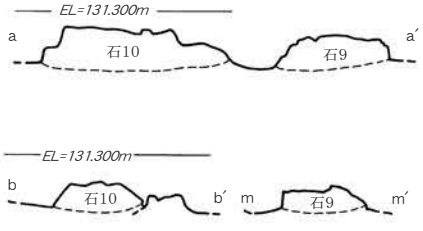
ピット群１からの出土遺物はわずかであり、遺構の時期を特定することはできない。特徴的な出土遺物に、ピット２出土の石材がある。その形から、硯の未製品と考えられる。

4　ピット群２（E－3・6グリッド　第42・43・45図　図版41・42・143）

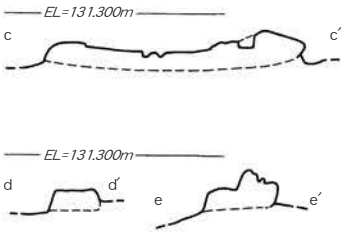
主に岩山上で検出されたピット３～6・8・9・23で、ピット群１と同様、岩盤を掘り込んでいる。平面形・大きさは様々であるが、ピット群１に比べ深さがある。またピット群１の底面は平坦であるのに対し、ピット群２は擂鉢状である。古写真・古図面をみると、庭園部分には、ソテツ等が植えられていることから、これらのピットは、ソテツ等の植物を植える際、植物が根を張って安定するように掘った穴と考えられる。

ピット群２からの出土遺物は少なく、そのほとんどが18世紀後半以降の新しい時期のものである。

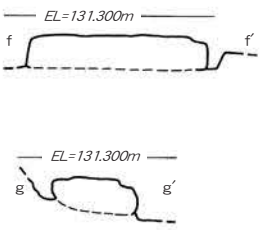
第36図　E−4･5グリッド　遺構平面図



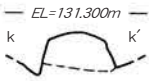
第37図　石9･10　断面図

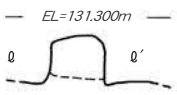


第38図　石6　断面図

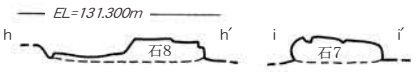


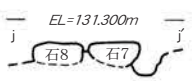
第39図　石5　断面図





第40図　石11　断面図





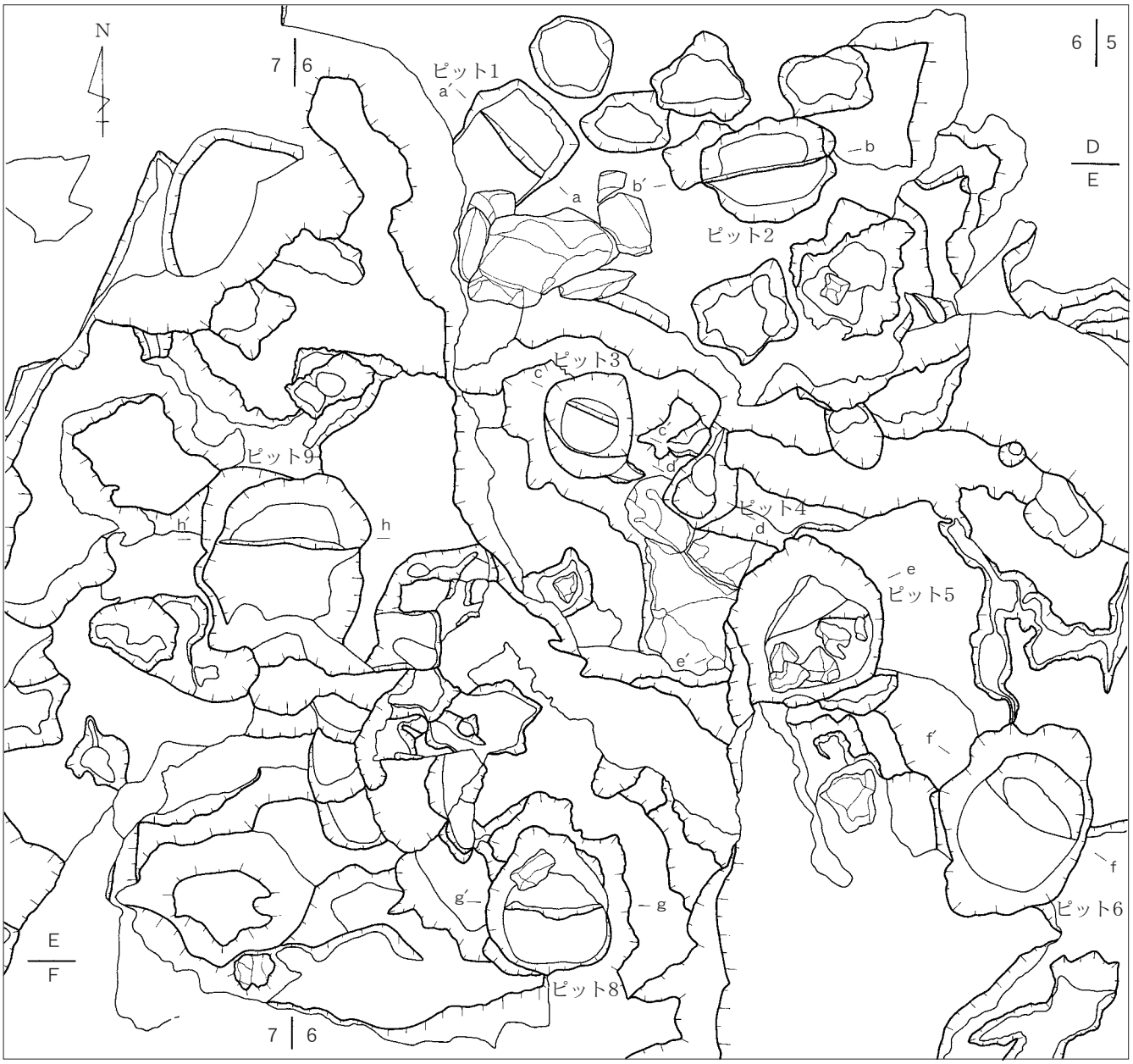
第41図　石7･8　断面図

図版36　E－４・５グリッド　遺構検出状況(北から)

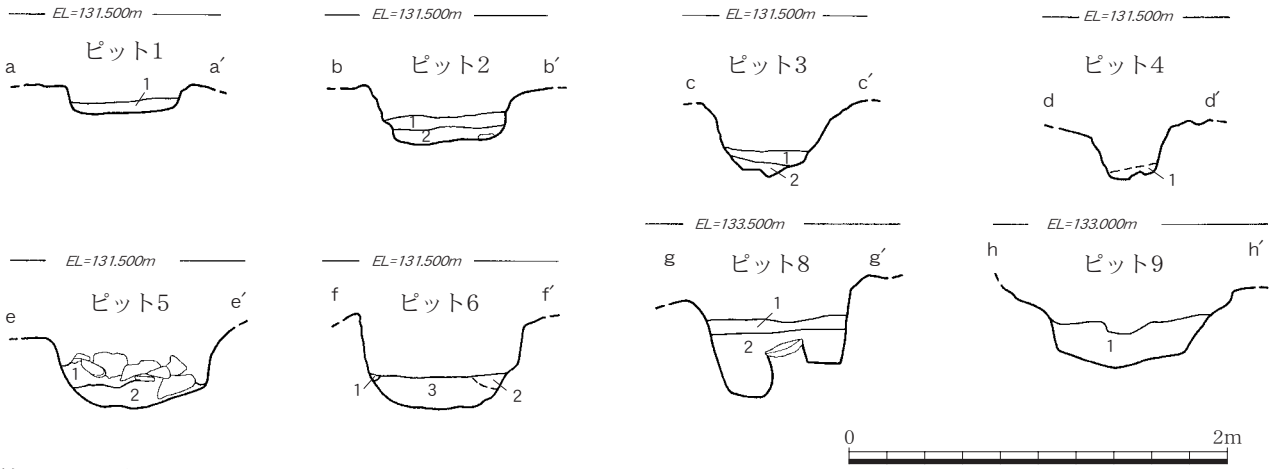
図版37　石９(北から)

図版38　石５(南から)

図版39　石６(北から)

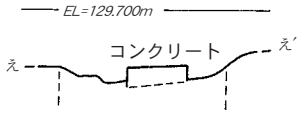


第42図　E−6･7グリッド　遺構平面図

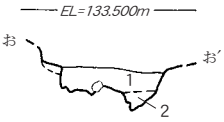


第43図　ピット1〜6･8･9　土層図

図番号	グリッド	土層名称	層序	色調	厚さ(cm)	土質・混入物	備考
43	D-6	ピット1	1	黒褐色(10YR2/2)	6	サンゴ片混じり。	ピット3・5・6の1層と対応。
	E-6	ピット2	1	暗褐色(10YR3/3)	7	−	ピット3・4の1層・ピット5の2層と対応。
			2	褐色(10YR4/6)	7	−	
		ピット3	1	黒褐色(10YR2/2)	4～7	サンゴ片混じり。	
			2	暗褐色(10YR3/3)	7	−	
		ピット4	1	暗褐色(10YR3/3)	5	−	
		ピット5	1	黒褐色(10YR2/2)	6～14	サンゴ片混じり。	
			2	暗褐色(10YR3/3)	10～15	−	
		ピット6	1	黒褐色(10YR2/2)	2	サンゴ片混じり。	
			2	赤褐色(5YR4/6)	5	−	
			3	暗褐色(10YR3/3)	18	サンゴ片混じり。	
		ピット8	1	黒褐色	7	サンゴ片混じり。	
			2	暗褐色(10YR3/3)	18～34	−	ピット9の1層と対応。
		ピット9	1	暗褐色(10YR3/3)	13～22	−	ピット8の2層と対応。
45	E-3	ピット23	1	暗褐色	13	サンゴ片多く含む。	
			2	暗褐色	5～8	−	



第44図
ピット10　断面図

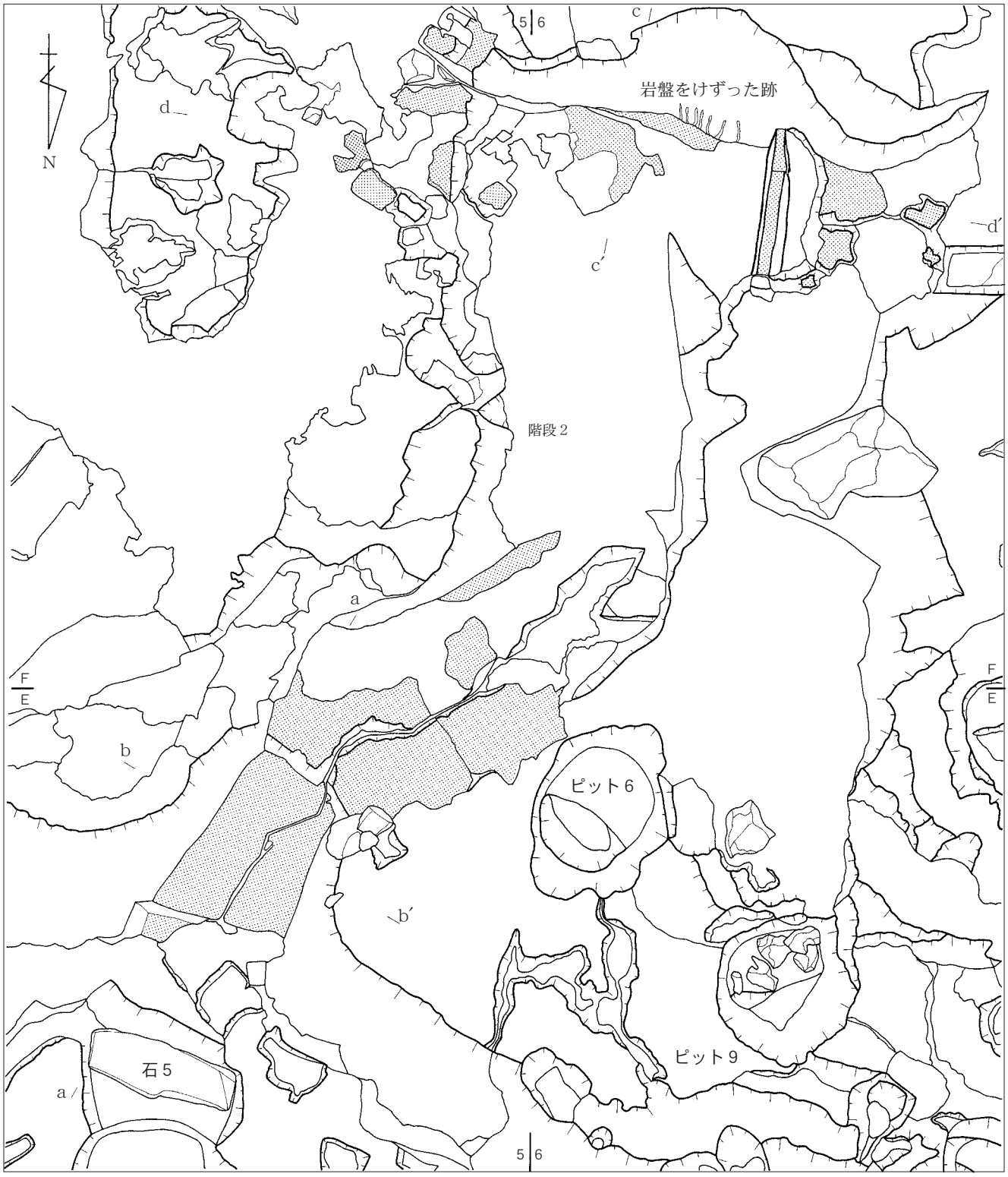


第45図
ピット23　土層図

図版40　ピット1(北から)

図版41　ピット5(北から)

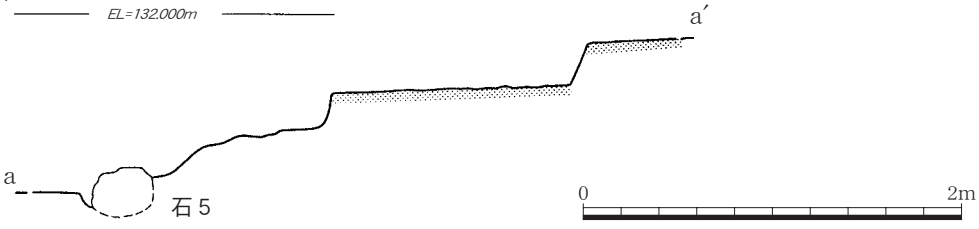
図版42　ピット8(北東から)



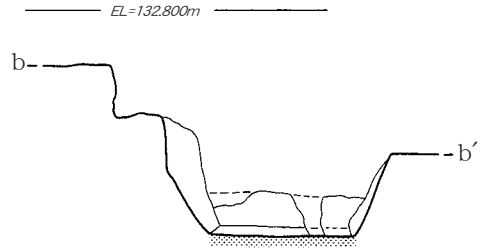
第46図　E・F－５・６グリッド　遺構平面図

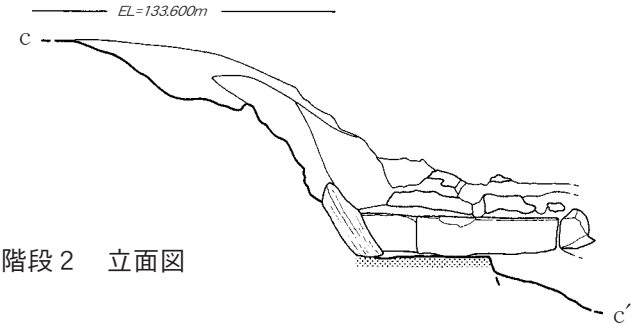
…摩滅した岩盤・石

EL=132.000m

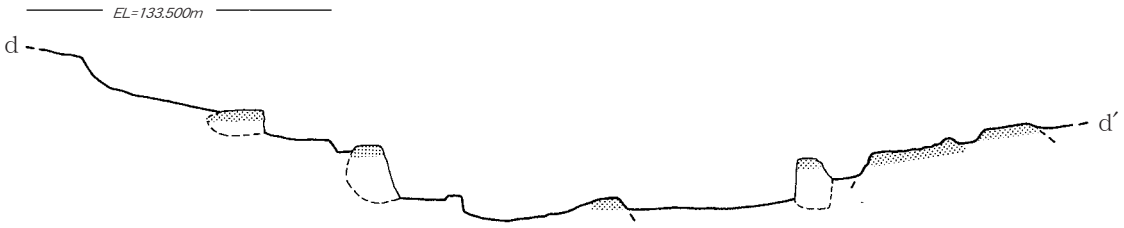


第47図
階段２，石５　断面図





第48図　階段２　立面図



第49図
階段２　断面図

５　石（D－４、E－５・６、H－７グリッド　第 36 ～ 41 図　図版 36 ～ 39・105・141・142）

長さ 30 ～ 140 ㎝の石である。石５～９は、岩盤を掘り込んだピット内に置かれており、元位置を保っていると考えられる。ただし岩盤との間に、サンゴ混じりの黒褐色土を数センチ挟む場合が多いので問題も残る。石５は、後述する階段２の登り口を意識して置かれている。石１～４は、岩山１の裾に立てかけられた状態で検出された。石 14・15 はH－７グリッド、内郭城壁（石積み７）の側にあるが、表土中から検出された石であり、元位置を保っていない可能性がある。

これらの石の多くは、沖縄本島中・北部で産出する砂岩・緑色片岩・ホルンフェルス・安山岩である。おそらく飛び石、観賞用として運ばれてきたと考えられる。

書院地区石一覧表

グリッド	遺構名称	石質	産地	備考
E-6	石１	砂岩	沖縄本島北部	岩山１の裾に立てかけられた状態で検出。
	石２			
	石３	砂岩（ニービの骨）		
	石４	緑色片岩	沖縄本島北部	
E-5	石５	砂岩		岩盤を浅く堀くぼめた部分に据えられる。階段２の登り口に位置する。
	石６	ホルンフェルス	沖縄本島中部（読谷）	岩盤を浅く堀くぼめた部分に据えられる。
	石７	安山岩	沖縄本島北部	岩盤を浅く堀くぼめた部分に据えられる。互いに並んで位置する。。
	石８	ホルンフェルス	沖縄本島中部（読谷）	
	石９	緑色片岩	沖縄本島北部	
	石１０			
	石１１			
D-4	石１２	砂岩		ピット 24 内に据えられる。
	石１３	砂岩（ニービの骨）		
H-7	石１４	砂岩か		互いに並んで位置する。石積み７の近くにある。
	石１５			

図版43　階段２、石５(北から)

図版44　階段２(北西から)

図版45　階段２(北から)

６　岩山１～３（E･F－１～７グリッド　第62図　図版140～142・145）

東西に連なる岩盤が露出した岩山で、西から１・２・３と番号をふった。岩山１の表面には、前述した植栽痕が多く残されていた。最も標高が高い西側部分は133.767ｍで、書院の柱跡と考えられるピットが検出された地点との標高差は約2.6ｍである。大きく３段の平場を持ち、それ以外にも小規模の平場があることから、自然の地形に多少手を加えていることがわかる。

岩山２は３つの岩山の中で最も標高が低く、頂上付近は比較的平坦である。岩山１と２の間には、後述する階段２がある。

岩山３の頂上部の標高は135.772ｍであり、岩山の中で最も高く規模も大きい。書院跡との標高差は約4.7ｍで、大きく２段の平場を持つ。頂上部から一段目の平場には、後述する石敷き２などがある。二段目の平場は岩山２とほぼ同じ高さであり、ここには植栽痕と考えられるピット23がある。

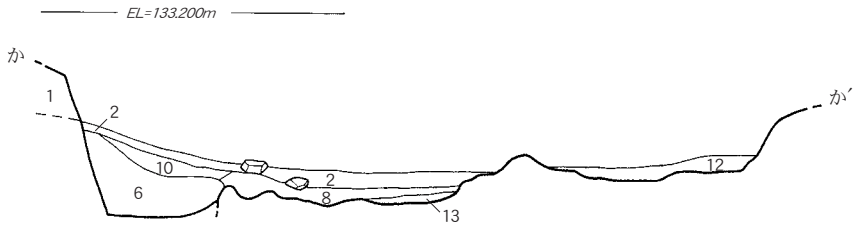
以上の３つの岩山は、書院の南側に広がっていた庭園の背景を構成していたと考えられる。

７　階段２（E－５、F－５・６グリッド　第47～49図　図版43～45・143・144）

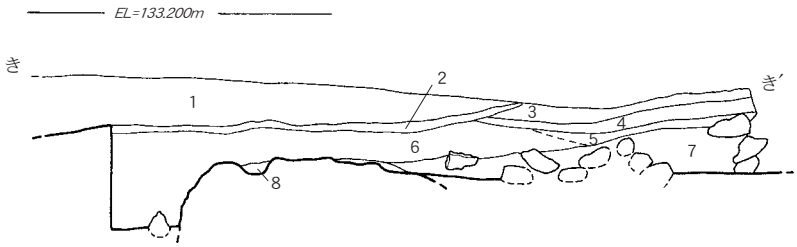
岩山１と２の間を谷状に掘り込み、所々に段をつけた階段である。底面の幅は１ｍ前後で、当時の地表面を成していた部分の岩盤は、風化等で摩滅している。そうではない岩盤がくぼんだ部分には、石をはめこんでいたという情報を、聞き取り調査で得た。

この階段は北から南に向かって６ｍほど登った後、東西２方向に道が分かれているようである。F－６グリッドでは、長方形で板状の石を横に置いて、階段の蹴上げとしている。板状の石については、その横断面形は長方形ではなく、天端の控え部分が湾曲気味に斜めに削られているため、不正五角形になると考えられる。またF－６グリッドでは、階段を造るために岩盤を削った時の痕跡が、縦方向の筋となって残っている。

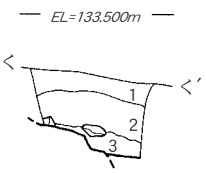
第50図　トレンチ4　南壁土層図



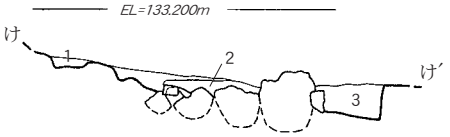
第51図　トレンチ5　東壁土層図



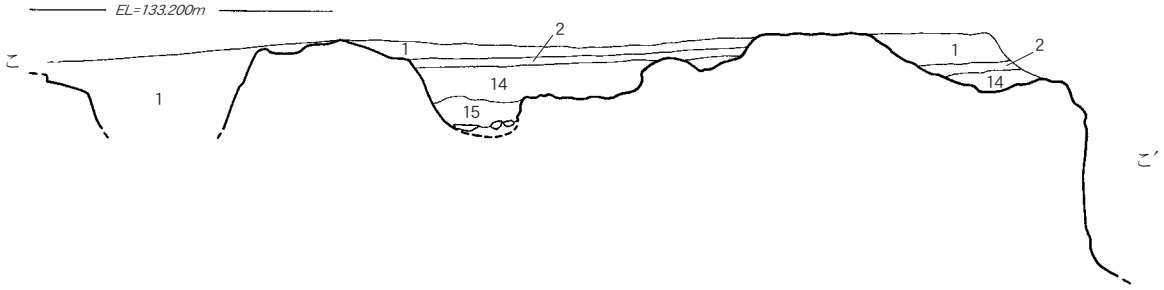
第52図　トレンチ19　北壁土層図



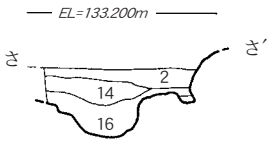
第53図　トレンチ10　東壁土層図



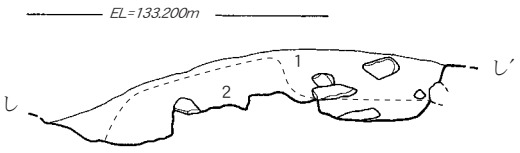
第54図　トレンチ6　東壁土層図



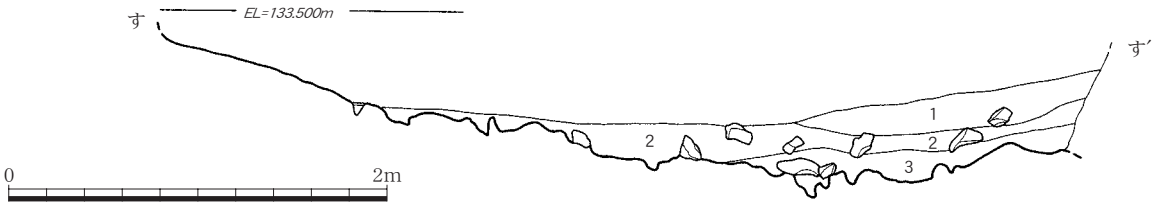
第55図　トレンチ7　南壁土層図



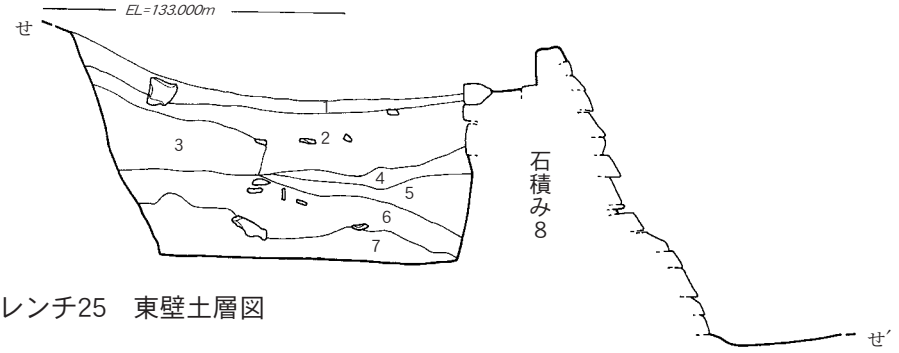
第56図　トレンチ9　南壁土層図



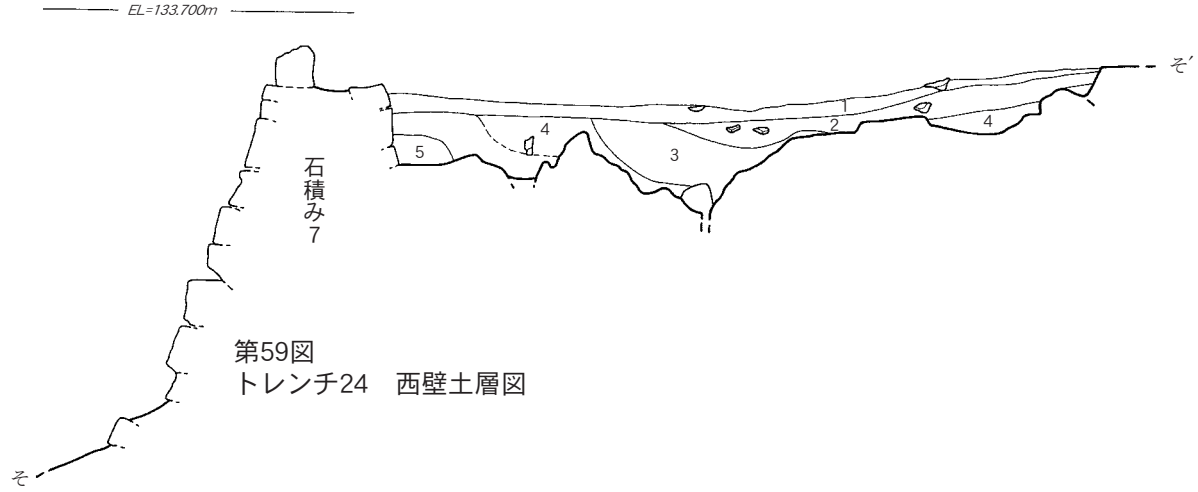
第57図　トレンチ8　東壁土層図



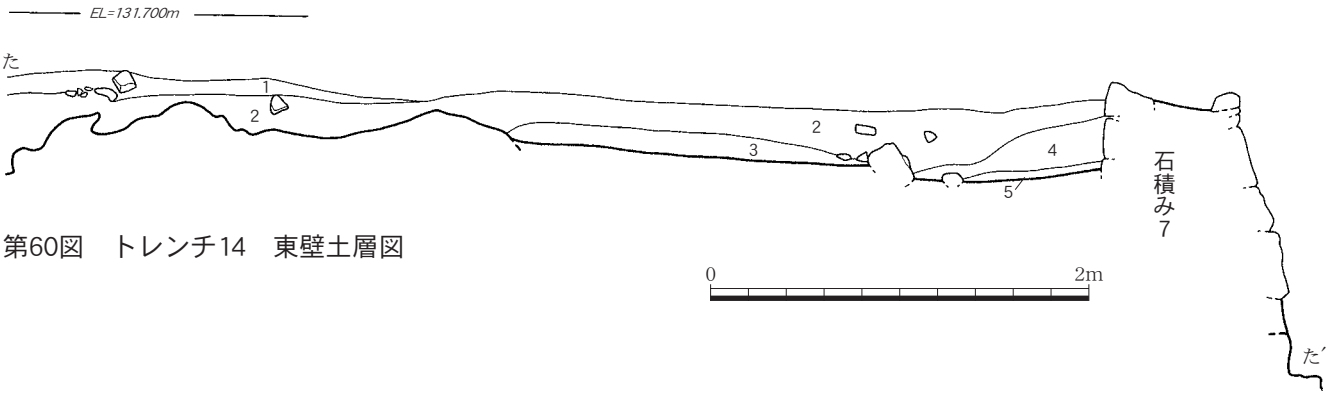
図番号	グリッド	土層名称	層序	色調	厚さ(cm)	土質・混入物	備考
50・51	E-4 F-4	トレンチ4　南壁 トレンチ5　東壁	1		5～32		客土。第61図の１層と対応
			2	黒色（7.5YR2/1）	4～10	砂質土で締まりはない。サンゴ片、ガラスを含む。	
			3	暗褐色（7.5YR3/3）	5～9	砂質土。サンゴ片を含む。	第61図の３層と対応。
			4	赤褐色（2.5YR4/6）	4～8	砂質土。焼土。	第61図の４層と対応。
			5	明褐色（7.5YR5/6）	5～6	砂質土。小礫を多く含む。	
			6	暗褐色（7.5YR3/3）	10～50	砂質土。炭、茶褐色ブロック土、ヤコウガイ、石灰岩礫、獣骨を含む。	
			7	暗褐色（7.5YR3/3）	8～24	砂質土。20cm前後の石灰岩を多く含む。	
			8	黄褐色（10YR5/6）	2～13	砂質土。小礫を含む。	岩盤直上の風化土層。
			10	明赤褐色（5YR5/6）	4～10	粘質土。	
			12	黒色（10YR2/1）	3～8	砂質土。	キメ細かな炭の層。ガラス瓶出土。
			13	赤褐色（5YR4/6）	3～4	粘土。	地山。
52	E-2	トレンチ19　北壁	1	黒褐色	10	砂質土。サンゴ片を多く含む。ガラス瓶(戦後)、タイル、赤瓦を含む。	
			2	褐色	17	砂質土。サンゴ片を少し含む。	
			3	暗褐色	6～10	砂質土	
53	F-3	トレンチ10　東壁	1	黒色	3～9	炭？	昭和54年製の10円玉が出土。
			2	赤褐色	2～7	－	
			3	暗褐色	13～18	サンゴ片混じり。	ガラス片出土。
54	F-5	トレンチ6　東壁	1	－	4～40	－	第51図の1層と対応。
			2	黒色（7.5YR2/1）	4～6	砂質土。サンゴ片を含む。	第51図の2層と対応。
			14	暗褐色（10YR3/3）	6～18	砂質土。サンゴ片を含む。	
			15	暗褐色（7.5YR3/3）	16	砂質土。5cm前後の石灰岩礫を多く含む。	
55	F-5	トレンチ7　南壁	2	黒色（7.5YR2/1）	4～10	砂質土。サンゴ片を含む。	第51図の2層と対応。
			14	－	6～14	－	第51図の14層と対応。
			16	暗褐色（7.5YR3/3）	4～12	砂質土。サンゴ片を含む。	
56	F-6	トレンチ9　南壁	1	暗褐色	6～26	小礫を多く含む。	
			2	－	8～16	－	岩盤の風化層。
57	F-7	トレンチ8　東壁	1	褐色	12～17	礫を多く含む。	
			2	暗褐色	6～23	小礫を多く含む。	
			3	褐色	4～16	－	
58	G-4	トレンチ25　東壁	1	黒褐色（10YR2/2）	4～14	砂質土。	表土。第59図の１層と対応。
			2	暗褐色（10YR3/3）	10～38	砂質土。サンゴ片を多く含む。ガラス含む。	第59図の４層と対応。
			3	黄褐色（7.5YR4/4）	16～38	砂質土。	西に行くと消失。
			4	暗褐色（7.5YR3/4）	4～14	砂質土。	
			5	赤褐色（5YR4/6）	4～34	粘質土で固く締まる。炭が混ざる。	第59図の５層と対応。
			6	黒褐色（7.5YR3/2）	12～30	砂質土。炭、黒色瓦を含む	
			7	石灰岩礫層	4～32	－	40cm前後の石灰岩。



第58図　トレンチ25　東壁土層図



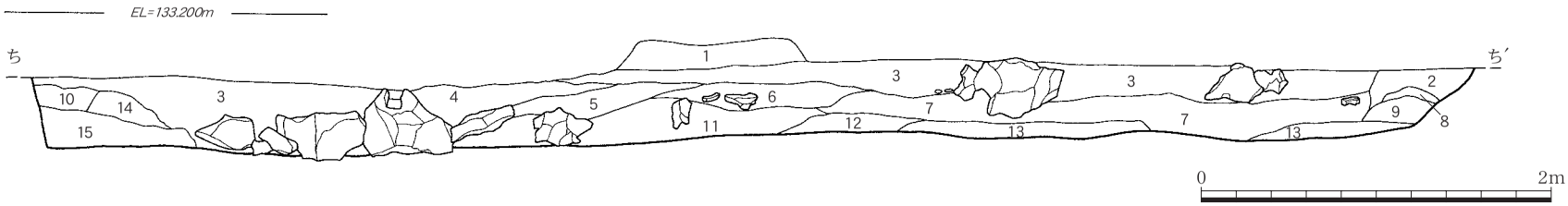
第59図
トレンチ24　西壁土層図



第60図　トレンチ14　東壁土層図

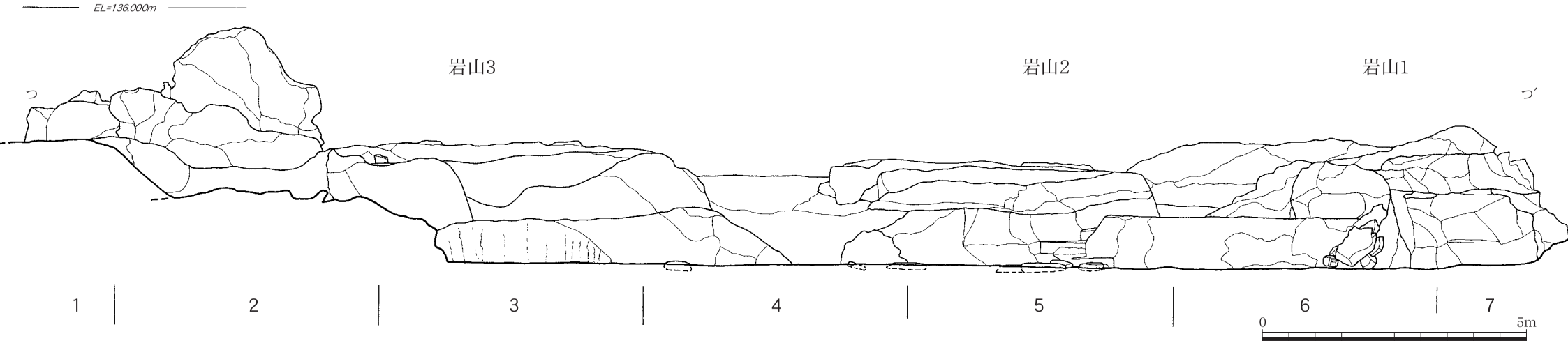
図番号	グリッド	土層名称	層序	色調	厚さ(cm)	土質・混入物	備考
59	G-6・H-6	トレンチ24　西壁	1	−	2〜10	−	表土。第58図の1層と対応。
			2	黄褐色（10YR1.7/1）	6〜14	砂質土。小礫を多く含む。	
			3	黒色（10YR1.7/1）	4〜32	砂質土で締まりはない。炭・黄褐色土・赤褐色土混じり。	
			4	−	6〜32	−	第58図の2層と対応。
			5	−	16	−	第58図の5層と対応。
60	G-7・H-7	トレンチ14　東壁	1	−	4〜12	−	
			2	暗褐色	4〜30	粘質土。石灰岩小礫、ガラス片を含む。	
			3	黒色	4〜13	粘質土。赤褐色土(焼土?)を含む。	
			4	暗褐色	4〜22	砂質土。石灰岩小礫、サンゴ片を少し含む。	
			5	暗褐色	4	砂質土。石灰岩小礫、サンゴ片を少し含む。	

第61図　トレンチ28　北壁土層図



図番号	グリッド	土層名称	層序	色調	厚さ(cm)	土質・混入物	備考
61	F-2・3	トレンチ28　北壁	1	黄褐色	13～17	粘質土。	アスファルト道路造成土。第50・51図の１層と対応。
			2	黒褐色（10YR3/2）	9～18	砂質土。サンゴ片を多く含む。	
			3	黒褐色（7.5YR3/2）	8～22	砂質土。サンゴ片、褐釉陶器を含む。東の方は特にサンゴ片を多く含む。	第50・51図の３層と対応。
			4	赤褐色（2.5YR4/6）	5～23	粘質土。焼土、染付、黒瓦、赤瓦、クチャを含む。	第50・51図の４層と対応。
			5	黒褐色（10YR3/2）	4～16	粘質土。	6層との境は不明瞭。
			6	暗褐色（10YR3/4）	4～16	黒瓦、ガラス、サンゴ片を含む。	
			7	褐色（7.5YR4/4）	13～22	砂質土。サンゴ片を多く含む。	
			8	赤褐色（2.5YR4/6）	4	粘質土。サンゴ片を含む。	
			9	－	16	－	サンゴ片層。
			10	暗褐色（7.5YR3/3）	13	粘質土で固く締まる。サンゴ片を多く含む。	
			11	黒褐色（10YR3/2）	6～25	砂質土。	
			21	灰褐色（10YR4/2）	10	粘質土。炭、焼土を含む。	
			13	明褐色（7.5YR5/6）	8	粘質土で固く締まる。炭、石灰岩小礫、赤瓦。	
			14	明赤褐色（5YR5/6）	8～15	粘質土。	
			15	褐色（7.5YR4/4）	10～20	粘質土。サンゴ片を含む。	

第62図　E－1～7グリッド　立面図(縮尺1/100)

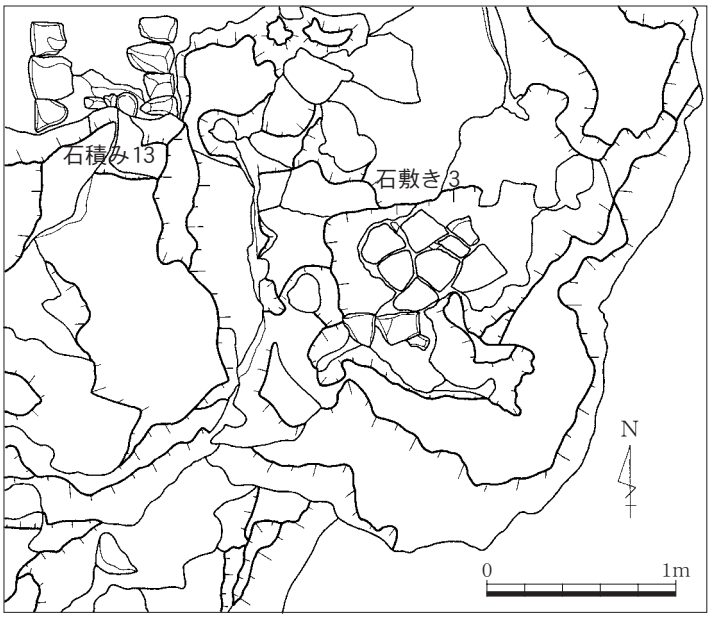


8　石敷き３（E－１グリッド　第 63 図　図版 47・48・145）

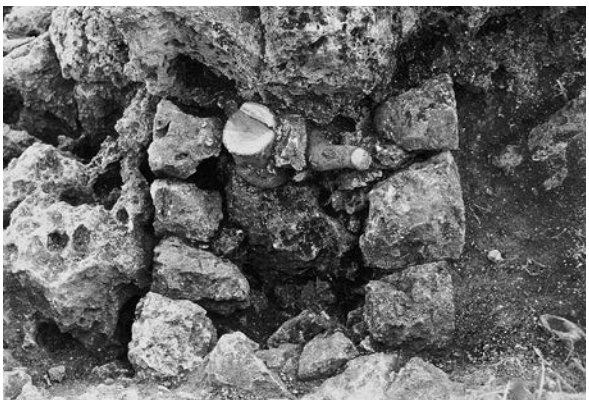
岩山３の岩盤がくぼんだ部分に造られた遺構である。石畳の北側、東側は岩盤に囲まれ、南側は石列に囲まれている。遺構内には、炭を含んだ黒色砂質土が堆積し、19 世紀以降の本土産陶磁器等が出土した。また完形の沖縄産陶器碗が１点出土した。

9　石積み 13（E－１グリッド　第 63 図　図版 46・145）

石積み 13 は、南北方向に走る石列２基からなる。南側は岩山３に取り付き、北側の範囲は調査区外であるため不明である。

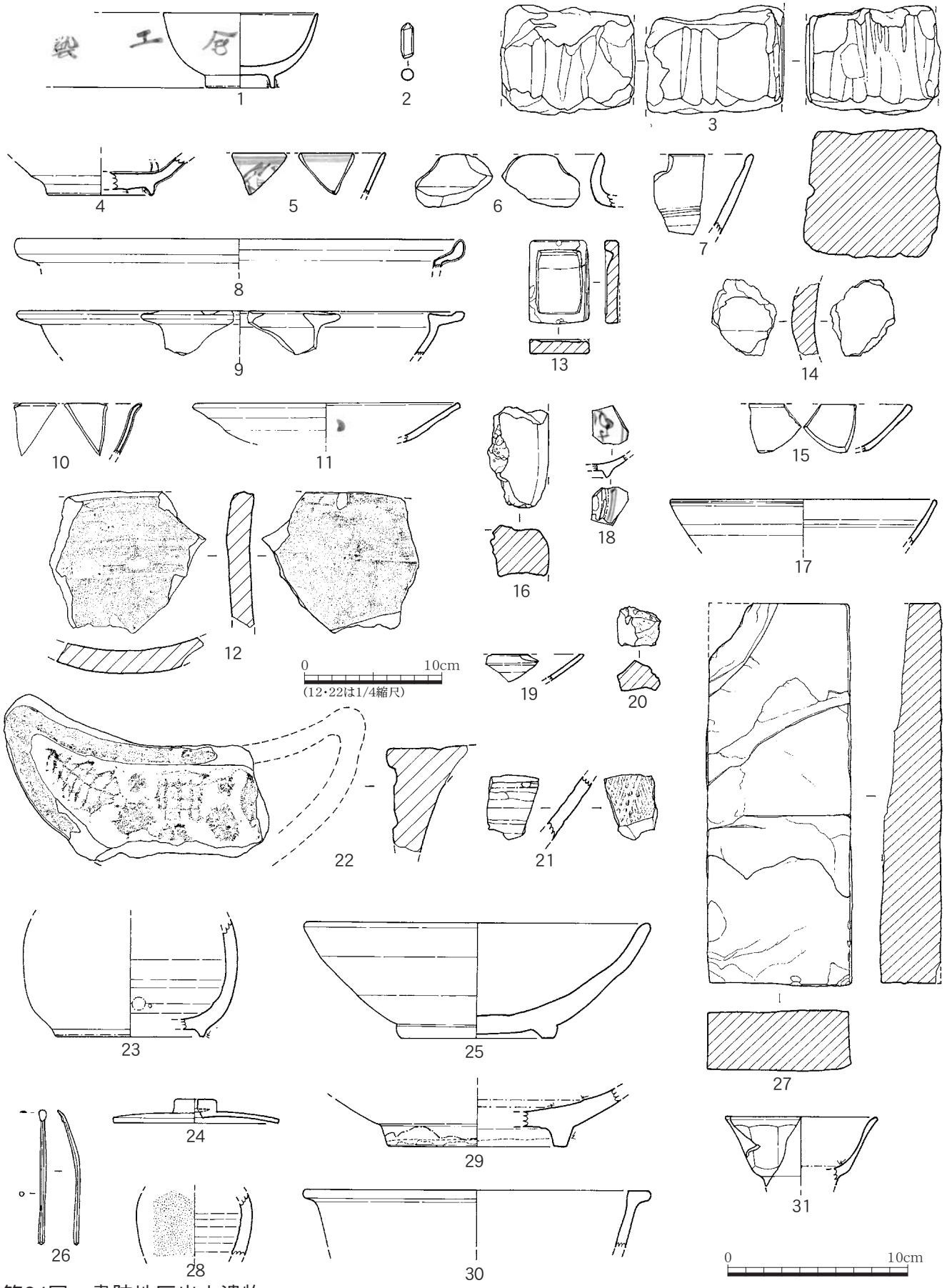


第63図　E－１グリッド　遺構平面図


図版46　石積13(上から)

図版47　石敷き３　調査状況(西から)

図版48　石敷き３　遺物出土状況(南から)



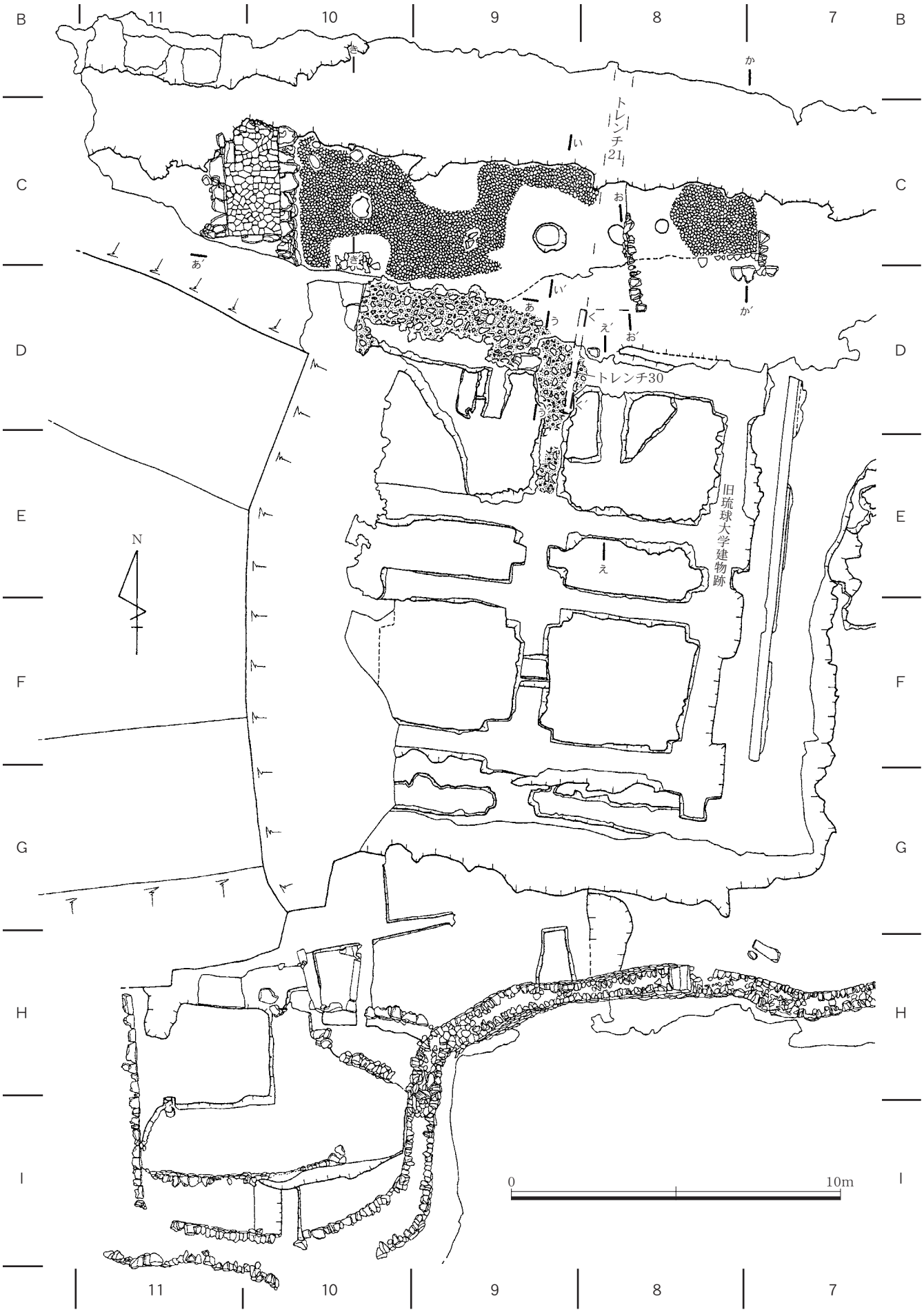
第64図　書院地区出土遺物

1～3　1層、4～7　トレンチ4埋土、8～12　トレンチ5暗褐色土・埋土、13　トレンチ14埋土、14・16　トレンチ24表土、15・17・18　トレンチ24サンゴ片層、19～21　トレンチ25サンゴ片層、22　トレンチ25赤褐色土、23　石敷き3黒色土、26　砂礫土、27　ピット2埋土、28～29　ピット8埋土、30　ピット20埋土、31　ピット19埋土

第５表　書院地区出土遺物一覧

単位：cm /g

図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	器高・高さ	底径・幅	重さ	所　見	出土地点
第64図 図版156	1	陶器	碗	口～底部	8.6	4.2	3.8	－	内・外面に透明釉。畳付にアルミナ。明治以降。	E-6　1層
	2	石製品	不明	完形	1.94	－	0.70	1.6	横断面形は丸みをもった多角形。両端は少しとがらせる。ホルンフェルス製。	
	3		砥石	破片	6.1	7.7	7.4	420	４面に砥ぎ跡。両端は割れている。琉球石灰岩製。	
	4	中国産青磁	皿	底部	－	－	6.0	－	底部外面は蛇の目状の釉剥ぎ。龍泉窯系。14 世紀後半～ 15 世紀中頃。	E-4 ﾄﾚﾝﾁ4 埋土
	5	中国産染付	碗	口縁部	－	－	－	－	景徳鎮窯系。１６世紀前半～中頃。	
	6	土器	甕か		－	－	－	－	黒斑有り。	
	7	沖縄産陶器	碗		－	－	－	－	荒焼。内・外面ともロクロナデ。	
	8	中国産青磁	盤		24.6	－	－	－	龍泉窯系。14 世紀後半～ 15 世紀中頃。	F-4　ﾄﾚﾝﾁ5 暗褐色土
	9	中国産銅緑釉	不明		24.8	－	－	－	皿か。胎土は明黄褐色でやや砂質。明代。	
	10	中国産青磁	碗		－	－	－	－	14 世紀後半～ 15 世紀中頃。	
	11	中国産白磁か	皿		14.8	－	－	－	胎土は浅黄色～にぶい橙色でやや砂質。１６～ 17 世紀。	
	12	瓦	平瓦	破片	－	－	－	－	凹面は布目、凸面はナデ。明朝系。	F-4　ﾄﾚﾝﾁ5 埋土
	13	石製品	硯		4.6	0.8	3.3	21.7	ミニチュア製品。やや雑なつくり。粘板岩製。	G-7　ﾄﾚﾝﾁ 14 埋土
	14	土製品	不明		4.2	1.3	3.6	13.2	内面には、厚さ１mmほどの黒色ガラス質の付着物。内面に植物らしきものの圧痕。	G-6　ﾄﾚﾝﾁ 24 表土
	15	白磁か	皿	口縁部	－	－	－	－	胎土は黄白色でやや砂質。口唇部の釉は風化。	G-6　ﾄﾚﾝﾁ 24 ｻﾝｺﾞ片層
	16	土製品	不明	破片	5.7	2.9	3.4	41.5	一部に黒色ガラス質の付着物。内面に植物らしきものの圧痕。	G-6　ﾄﾚﾝﾁ 24 表土
	17	中国産白磁	皿	口縁部	14.8	－	－	－	16 ～ 17 世紀。	G-6 ﾄﾚﾝﾁ 24 サンゴ片層
	18	中国産染付		底部	－	－	－	－	畳付～高台内は露胎。景徳鎮窯系。	
	19	白磁か	不明	口縁部	－	－	－	－	皿か。16 ～ 17 世紀か。	G-4 ﾄﾚﾝﾁ 25 サンゴ片層
	20	金属製品	不明	破片	2.2	1.7	2.4	16.1	銅滓か。一部に白色の砂粒らしきものが付着している。破面は５面。	
	21	中国産褐釉陶器	擂鉢	胴部	－	－	－	－	外面上部に釉が見える。明代。	
	22	瓦	軒平瓦	破片	－	－	－	－	凹面に瓦当部との接合痕あり。凹・凸面ともナデ。明朝系。	G-4　ﾄﾚﾝﾁ 25 赤褐色土
	23	陶器	瓶	底部	－	－	8.2	－	内面と畳付～高台内は露胎。九州産。19 世紀以降。	E－1　石敷き 3　黒色土
	24	中国産陶器	蓋		9.2	1.4	－	－	つまみ径は 2.5 ｃm。宜興窯系。清代。	
	25	沖縄産陶器	碗	口～底部	19.6	8.2	6.2	805.7	荒焼。完形。畳付に圧痕。	
	26	金属製品	簪	完形	7.6	－	0.425	3.1		D－3　砂礫土
	27	石製品	未製品	破片	21.3	3.4	8.1	1059	上・下面は割れたままであるが、比較的平滑。側面には、切断痕が長軸方向に細かいすじとなって残る。	E -6　ピット 2　埋土
	28	陶器	瓶	胴部	－	－	－	－	胴部径は 6.4 ｃm。内面は露胎。外面はさめ肌状。薩摩産か。18 世紀末～ 19 世紀。	E－6　ピット 8　埋土
	29	沖縄産陶器	鉢	底部	－	－	10.0	－	上焼。底部内面は蛇の目状の釉剥ぎ。畳付にアルミナ。	
	30		鉢	口縁部	19.2	－	－	－	上焼。	C-3　ピット 19　埋土
	31		小碗		8.4	－	－		内・外面とも白化粧。底部内面は蛇の目状の釉剥ぎ。外面は面取り。	C-3　ピット 20　埋土



第65図　鎖之間地区　遺構平面図(縮尺1/160)

図版49　トレンチ21　作業風景(南西から)

図版50　D－8グリッド　掘り下げ途中状況(東から)

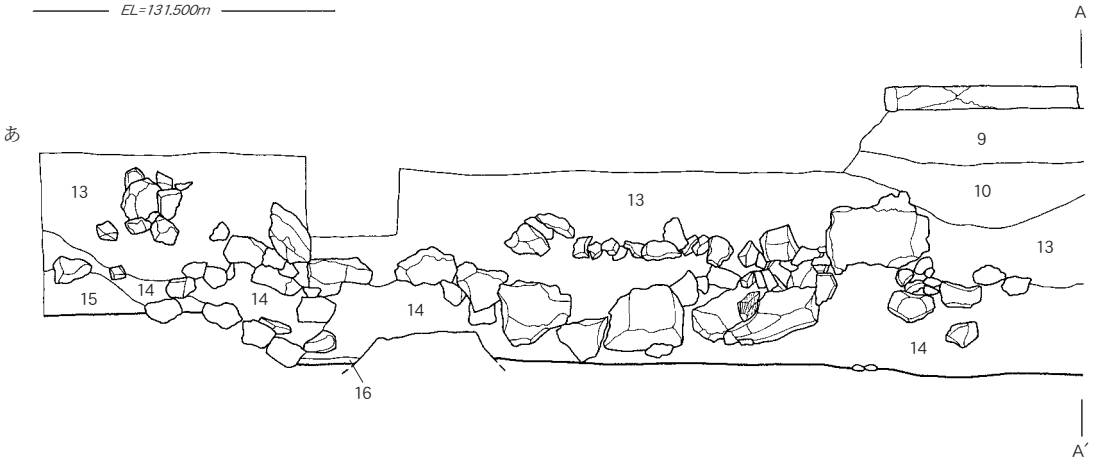
第３節　鎖之間北側地区の遺構と遺物

調査区中央～西側、Ｂ～Ｇ－７～11グリッドにあたる。この地区はかつて琉球大学の法文校舎および別館Ａが建設された場所であった。法文校舎の南端にあたるＢ－７～11グリッド付近の地形は、北に向かって下る緩斜面であった。また別館Ａが建てられたＤ～Ｇ－７～10グリッドでは、別館Ａの基礎工事跡が南北に走る溝として検出された。両建物に挟まれたＣ－７～11グリッドについては、ある程度遺構が残っている可能性があったが、戦後の客土等を除去した時点で、鎖之間の建物跡及び建物が建っていた頃の地表面は検出されなかった。

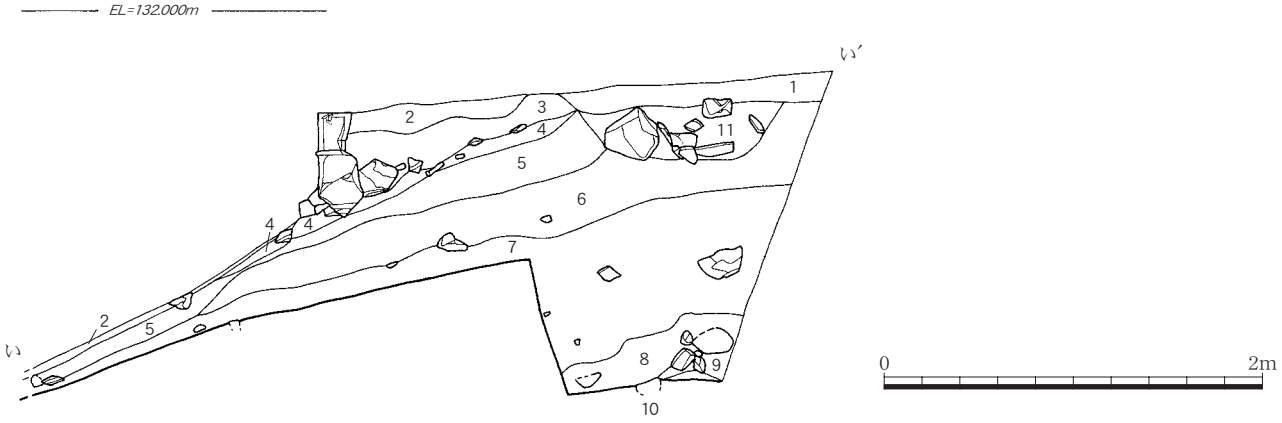
この時点で北側の緩斜面部分からは、10㎝前後の扁平な玉石が検出され始めており、何らかの遺構の存在が予想されたため、下層の状況を調査するためにトレンチを設定した。炭が混じった赤褐色土・石灰岩礫層を掘り下げていくと、既に一部が検出されはじめていた**石敷き４**や、**ピット12～15**、**石列２・３**、**石積み５・６**を検出した。赤褐色土からは15～16世紀を中心とした遺物が多く出土した。

図番号	グリッド	土層名称	層序	色調	厚さ(cm)	土質・混入物	備考
66	D-9・10	トレンチ29南壁	1	青灰色	40	粘土質。	クチャ。首里城公園管理遺跡の造成土。第67図の1層と対応。
			2	暗褐色	10～20	砂質土。コンクリート片含む。	
			3	褐色	8～40	砂質土。	
			5	暗褐色	12	粘質土で固く締まる。ウルを含む。	
			6	黒灰色	8	砂質土。	
			7	暗褐色	10	粘質土で固く締まる。赤褐色粘質土・炭・石灰岩含む。	第76図の1層と対応。
			8	褐色	4～22	砂礫土。石灰岩を多く含む。扁平な川原石を1コ含む。	
			9	褐色	30	砂質土。	
			10	暗褐色	8～28	粘質土。直径5cm前後の細粒サンゴ片・獣骨含む。	
			11	茶褐色	4～6	粘質土。明赤褐色粘質土を多く含む。	
			12	暗褐色	2～26	粘質土で固く締まる。直径4cmの扁平な川原石、赤褐色ブロック土を含む。	
			13	茶褐色	18～68	粘質土で固く締まる。瓦(黒・赤)・炭・石灰岩を含む。	黒灰色粘土・炭と瓦層。第67図の7層と対応。「赤褐色土」。
			14	明黄褐色	26～54	砂礫土。	第67図の8層と対応。
			15	暗灰色	14～24	粘質土。炭、黒瓦を含む。	第67図の9層と対応。
			16	赤褐色	2～3	粘質土。	地山

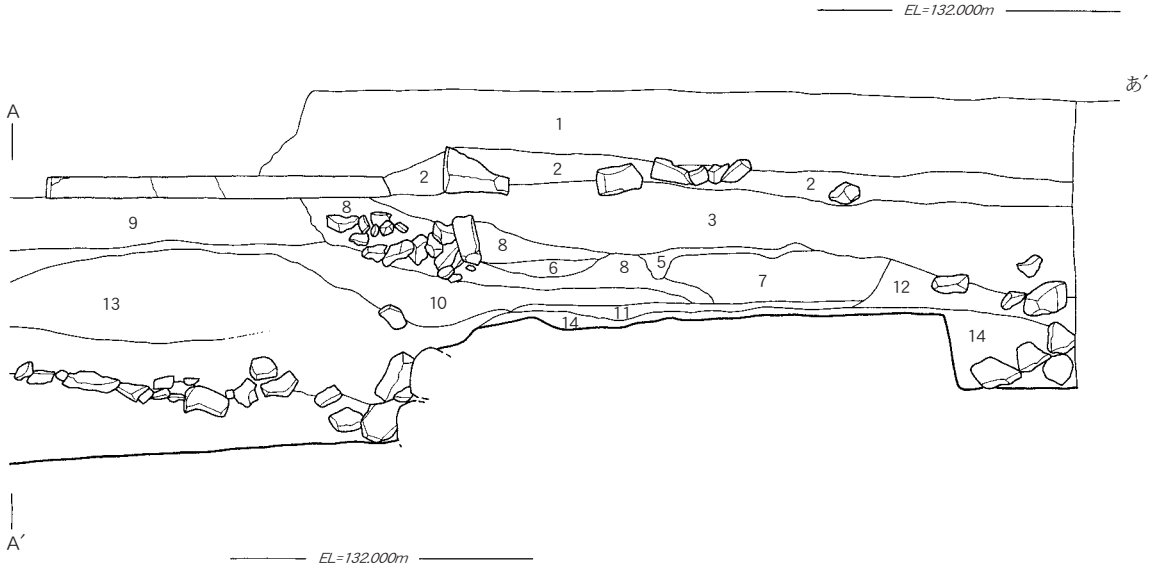
第66図　トレンチ29　南壁土層図

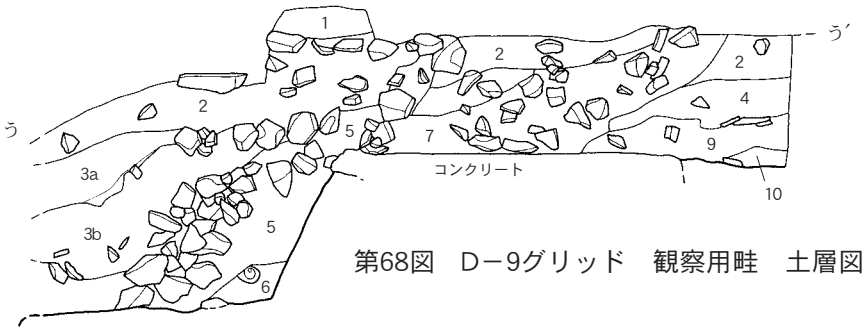


第67図　トレンチ29　東壁土層図



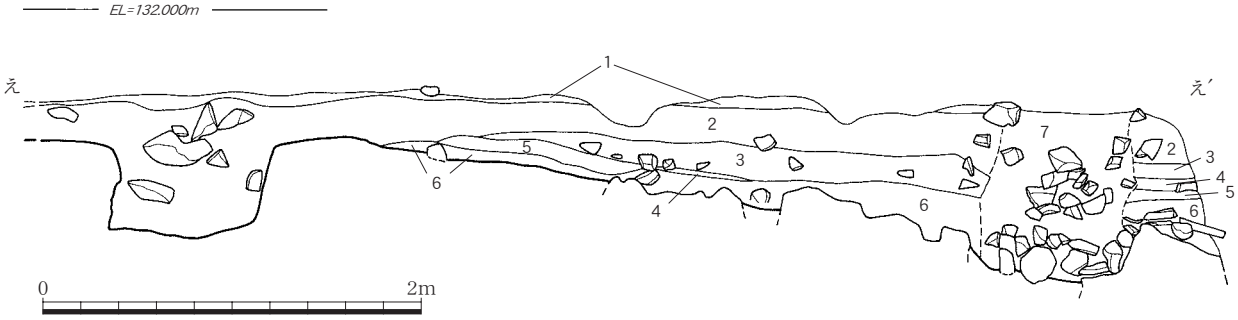
図番号	グリッド	土層名称	層序	色調	厚さ(cm)	土質・混入物	備考
67	C・D-9	トレンチ29東壁	1	青灰色	10～16	粘質土で固く締まる。	クチャ。管理用道路の造成土。
			2	暗褐色	10～14	粘質土で締まりは悪い。	表土。
			3	茶褐色	10～22	砂質土。コンクリート片・瓦・小礫を含む。	旧琉球大学の造成土。
			4	黒褐色	4～8	砂質土。大きな瓦片・石灰岩礫を含む。	
			5	茶褐色	4～32	砂質土。石灰岩大・小礫を多く含む。	
			6	黒褐色	10～45	砂質土。石灰岩・サンゴ片・瓦・染付を含む。	第71図の８層と対応。
			7	赤褐色	5～36	粘質土で固く締まる。瓦(黒・赤)・炭・石灰岩礫を含む。	第68図の3a・3b層・第71図の1～5、9～14層、第73図の2～8層と対応。「赤褐色土」。
			8	明黄褐色	10～25	砂礫土。	第66図の14層、第71図の7層と対応。
			9	暗灰色	14	粘質土で締まりは弱い。炭を含む。	第66図の15層、第68図の5・6層と対応。
			10	赤褐色	－	粘質土。	第71図の16層と対応。地山土。
			11	灰褐色	30	砂質土。	旧琉球大学の造成跡。





第68図　D－9グリッド　観察用畦　土層図

第69図　D･E－8グリッド　観察用畦　土層図



図番号	グリッド	土層名称	層序	色調	厚さ(cm)	土質・混入物	備考
68	D～E-9	観察用畦西壁	1	青灰色(5GB6/1)	16	礫混じり。	第69図の1層と対応。
			2	暗褐色(10YR3/3)	10～38	―	第69図の2層と対応。
			3a	赤褐色	8～28	礫混じり。	第67図の7層と対応。
			3b	赤褐色	24～40	炭混じり赤土。	3aよりも炭と赤土のラインがややはっきりしている。第67図の7層と対応。
			4	黒色	6～25	粘質土。炭混じり赤土。	第69図の3層と対応。
			5	黒褐色(10YR2/2)	10～62	―	第67図の9層と対応。
			6	暗褐色(10YR3/3)	20	小礫混じり。	第67図の9層と対応。
			7	褐色(10YR4/6)	88	砂質土。礫混じり。	
			8	褐色(10YR4/6)	18～56	砂質土。小礫混じり。(風化礫)	
			9	暗褐色(10YR3/3)	16	小礫混じり。	5・6層と対応か。
			10	赤褐色	10		地山。
69	D～F-8	観察用畦東壁	1	青灰色	4～8	暗褐色の部分あり。	第68図の1層と対応。
			2	暗褐色(10YR3/3)	6～70	―	第68図の2層と対応。
			3	黒色	6～18	粘質土。小礫混じり。	第68図の4層と対応。
			4	褐色(10YR4/4)	2～6	―	
			5	黒褐色(10YR2/2)	6～8	―	第68図の5層と対応か。
			6	暗褐色(10YR3/3)	10～67	小礫混じり。	第68図の9層と対応。
			7	褐色(10YR4/6)	46～88	砂質土。礫混じり。	第68図の79層と対応。
71	C-7・C-8	南壁	1	赤褐色	6～28	―	第67図の7層と対応。
			2	赤褐色	10～20	炭を含む。	第67図の7層と対応。
			3	赤褐色	6～28	―	第67図の7層と対応。
			4	赤褐色	6～20	炭を含む。	第67図の7層と対応。
			5	赤褐色	4～24	―	第67図の7層と対応。
			6	黒褐色	4～10	―	砂礫土。
			7	赤褐色	10～30	―	第67図の8層と対応。
			8	赤褐色	8～28	―	第67図の6層と対応。
			9	赤褐色	4～6	―	1層と同一か。第67図の7層と対応。
			10	赤褐色	6～14	炭を含む。	2層と同一か。第67図の7層、第73図の2、8層と対応。
			11	赤褐色	3～18	―	3層と同一か。第67図の7層、第73図の3層と対応。
			12	赤褐色	5～22	炭を含む。	2層もしくは4層と同一か。第67図の7層、第73図の5層と対応。
			13	赤褐色	2～16	―	5層と同一か。第67図の7層、第73図の6層と対応。
			14	暗赤色	2	―	粘質土。13層中の混入。第67図の7層、第73図の4、7層と対応。
			15	―	8～20	―	6層と同一。
			16	赤褐色	16	炭を含む。	第67図の10層と対応。

1　石敷き４（C －８～ 10 グリッド　第 70・72 図　図版 146）

敷き詰められていたのは沖縄本島北部産の砂岩で、長さ10㎝前後の扁平な玉石であった。石敷き４の範囲は、東限が石列３、南限が石列２及び後述する土留め状の石灰岩礫層、西限が階段１である。北限については削平されているため不明である。

石は全体に均一に検出されたわけではなく、まばらな部分もある。このまばらな部分にトレンチ１～３を設定して調査したところ、石敷き４と岩盤との間には、褐色・暗褐色粘質土が堆積していることがわかった。トレンチ内からは 15 ～ 16 世紀頃の陶磁器や玉、貝殻等が出土した。

2　ピット 12 ～ 15（C －８～９グリッド　第 70・72 図　図版 51・52・146）

ピット 12・13 は、ピット内に灰色粘質土が堆積したピットである。ピット 14 は、岩盤を掘り込んだピットである。ピット 15 は、石敷き４の玉石が密集している部分に位置しており、玉石が無く円形に空いていることからピットとした。30 ㎝前後の石灰岩が詰まっている。

これらのピットはほぼ東西方向に並んでいるが、平面形や規模等がやや異なっているため、建物の柱跡のように一連の遺構として捉えるには問題がある。

またピット 15 のさらに西側には、ピット 15 と同様に川原石がない四角の部分があり、ここには石灰岩の集積がある。

3　石列２・3、石積み５（C －７・８グリッド　第 70 ～ 72 図　図版 53）

南北方向の石列３に対し、東西方向の石列２が取り付いている。また石列３は、一段高い所にある東西方向の石積み５の下に取り付いている。石列２・３が造る直角のライン内に石敷き４が見られることから、石列２・３と石敷き４は、一連の遺構である可能性が高い。

4　石積み６（C －８グリッド　第 70・73 図　図版 146）

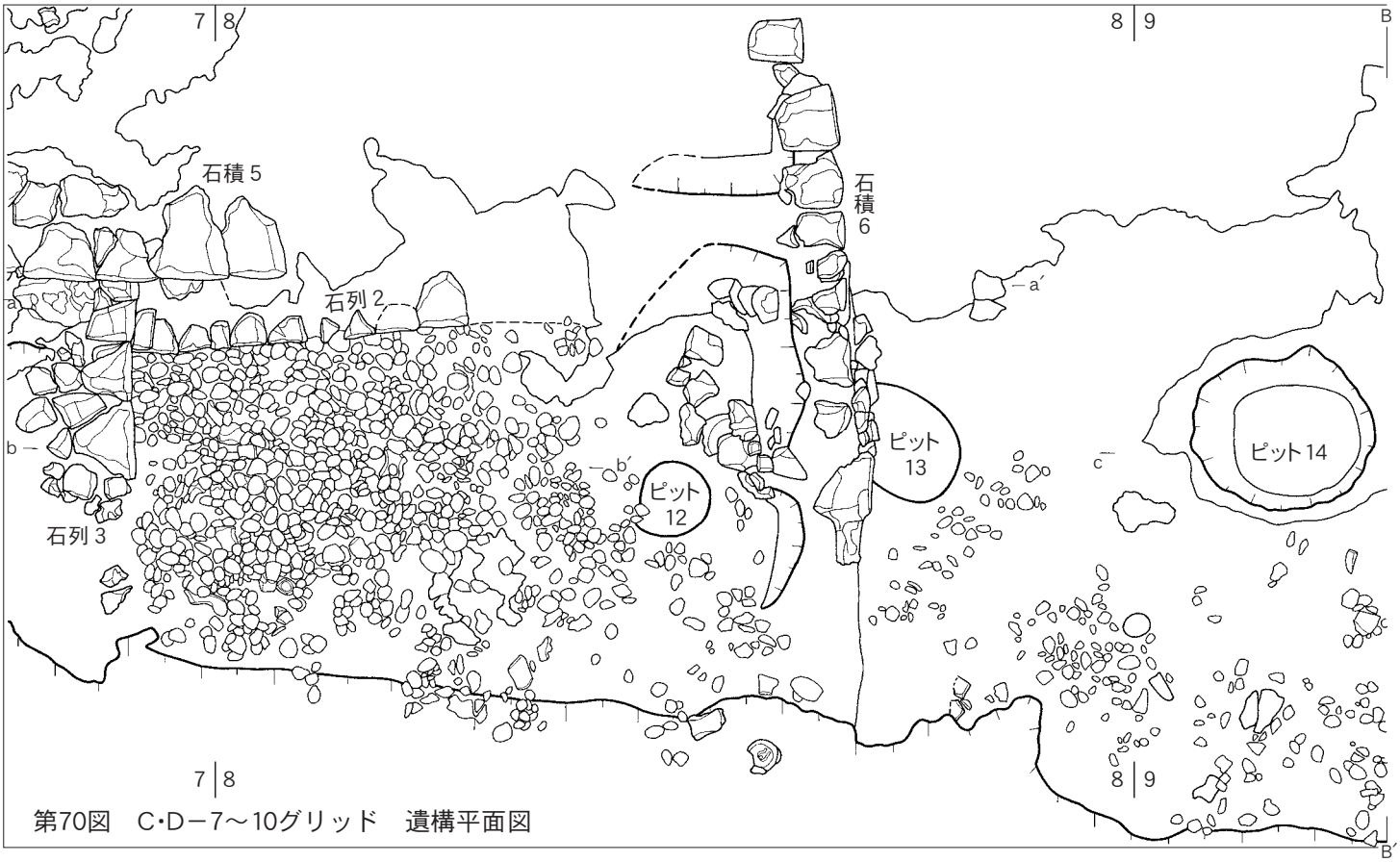
石積み６は、赤褐色土掘り下げ開始当初に一部が現れていた遺構である。第 73 図を見ると、約 15 度の角度で北側に傾斜していることがわかる。また石積み６の直下にある赤褐色土も同様な角度で堆積していることから、赤褐色土の造成に伴って造られた石積みである可能性が高い。

5　赤褐色土（第 66 ～ 68・70・73・76 図　図版 147）

地山に由来すると考えられる赤褐色土を基本に、炭層と互層をなしている。C・D －８～ 10 グリッドを中心に堆積しており、陶磁器、玉石、炭、漆喰等の遺物を多く含んだ造成層である。陶磁器については 15 ～ 16 世紀のものが主体となる。

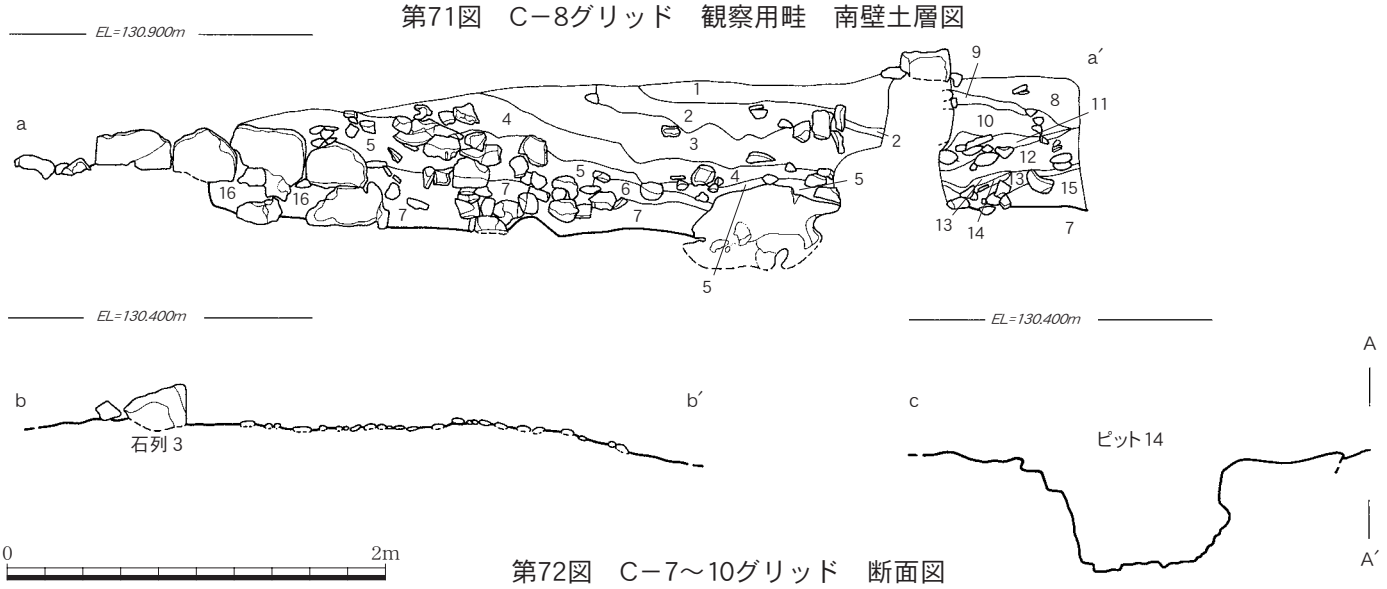
6　石灰岩礫層（第 66 ～ 68 図　図版 54・147）

赤褐色土の直下にある造成層で、30 ㎝前後の石灰岩からなる。C －８～ 10 グリッドではゆるやかに北に傾斜して堆積していたが、D －８～ 10 グリッド付近では、土留め状に積まれている。遺物は含まない。赤褐色土とともに、書院地区より一段下がったC・D －８～ 10 グリッド部分を埋め、書院地区の地盤と同レベルにするための造成層であったと考えられる。

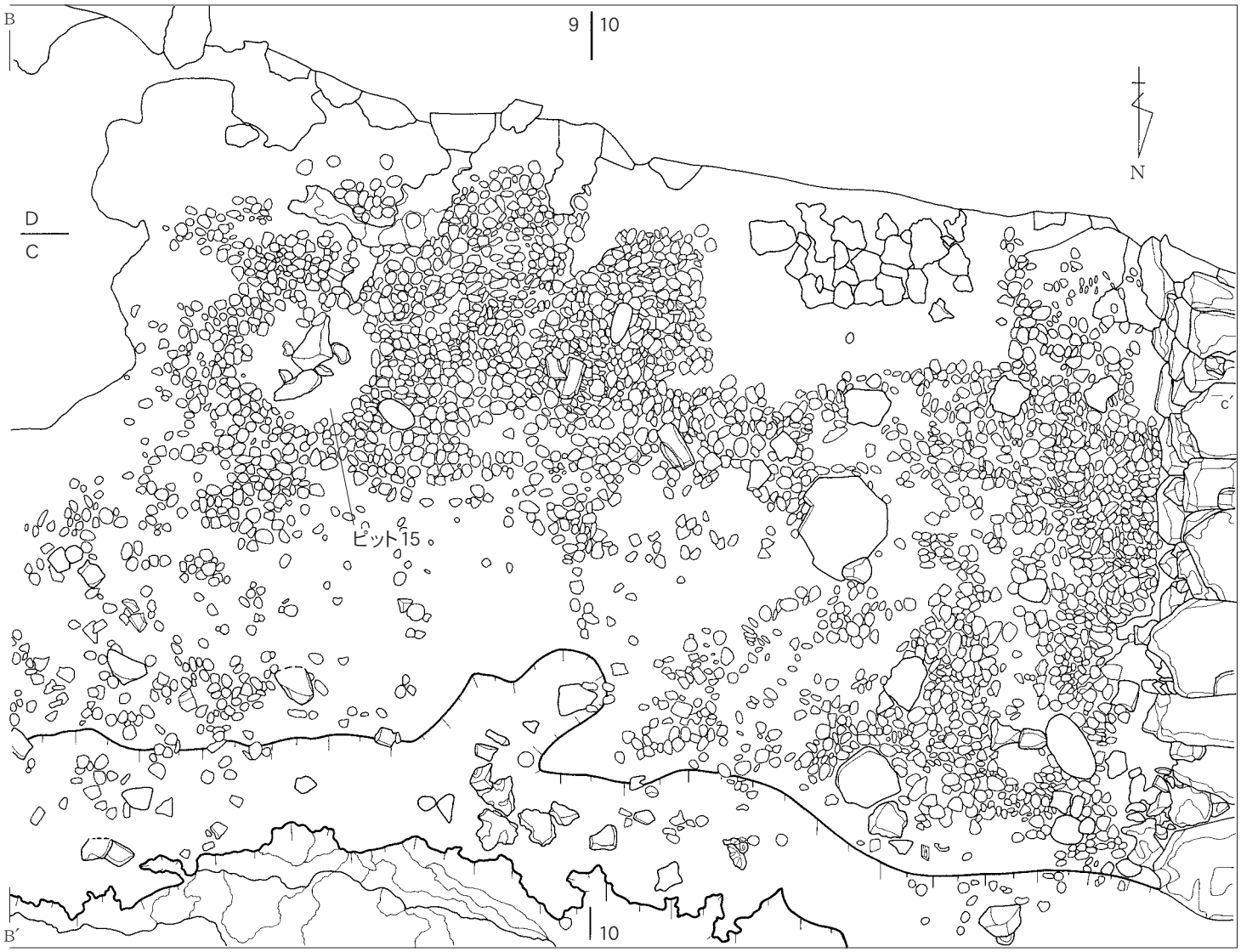


第70図　C･D－7～10グリッド　遺構平面図

第71図　C－8グリッド　観察用畦　南壁土層図



第72図　C－7～10グリッド　断面図



図版51　ピット15(南から)

図版52　ピット14(南から)

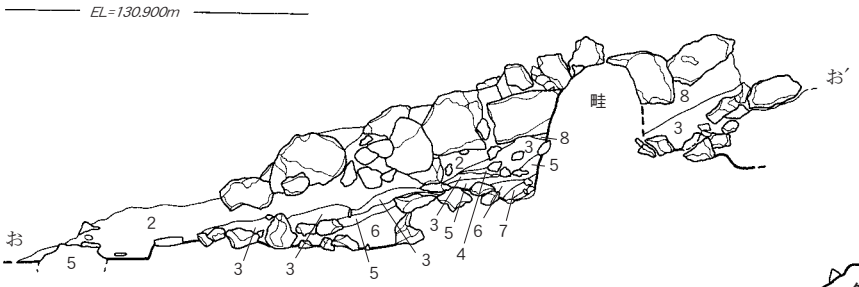
図番号	グリッド	土層名称	層序	色調	厚さ(cm)	土質・混入物	備考
73	C-8	トレンチ21 東壁	2	赤褐色	5～26	炭を含む。	第67図の7層、第71図の10層と対応。
			3	赤褐色	4～16	－	第67図の7層、第71図の11層と対応。
			4	赤色	2	－	3層中の混入。第67図の7層、第71図の14層と対応。
			5	－	5～8	－	第67図の7層、第71図の12層と対応。
			6	－	2～8	－	第67図の7層、第71図の13層と対応。
			7	－	4	－	2層と同一。第67図の7層、第71図の14層と対応。
			8	－	2～20	－	第67図の7層、第71図の10層と対応。
75	B～D-10	トレンチ 1～3 東壁	1	褐色	20～25	粘質土。石灰岩小礫、ヤコウガイ蓋、チョウセンサザエを含む。	
			2	暗褐色	16～24	粘質土。石灰岩小礫(少量)、小骨(魚?)、褐釉陶器を含む。	
76	D-8	トレンチ30 東壁	1	赤褐色	2～3	－	第66図の7層と対応。「赤褐色土」。
			2	黒褐色	3～6	砂質土。	「黒褐色土」。
			3	黒色	3～6	砂質土。炭を多く含む。	「黒色土」。
			4	黒褐色	4～12	砂質土。石灰岩小礫、炭、貝殻を含む。	「黒褐色礫混じり土」。
			5	赤褐色	3～14	粘土。	地山。
			6	赤褐色	2～10	粘質土。炭、石灰岩小礫を多く含む。	1層と同一か。

7　その他の土層

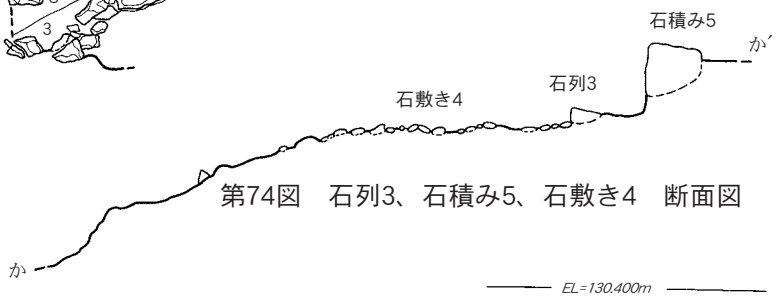
黒色砂礫土は前述の赤褐色土の上に堆積しており、主にＣ・Ｄ－８グリッドを中心に見られる。遺物を多く含んでおり、その時期も 14 世紀～現代と幅広い。

３層（第 69 図の３層）はＤ・Ｅ－８～ 10 グリッドにおいて、ほぼ水平に堆積した黒色粘質土である。炭・焼土と多くの遺物を含む。**４層**は３層直下の暗褐色小礫混じりの土で、16 ～ 17 世紀頃の遺物を含む。

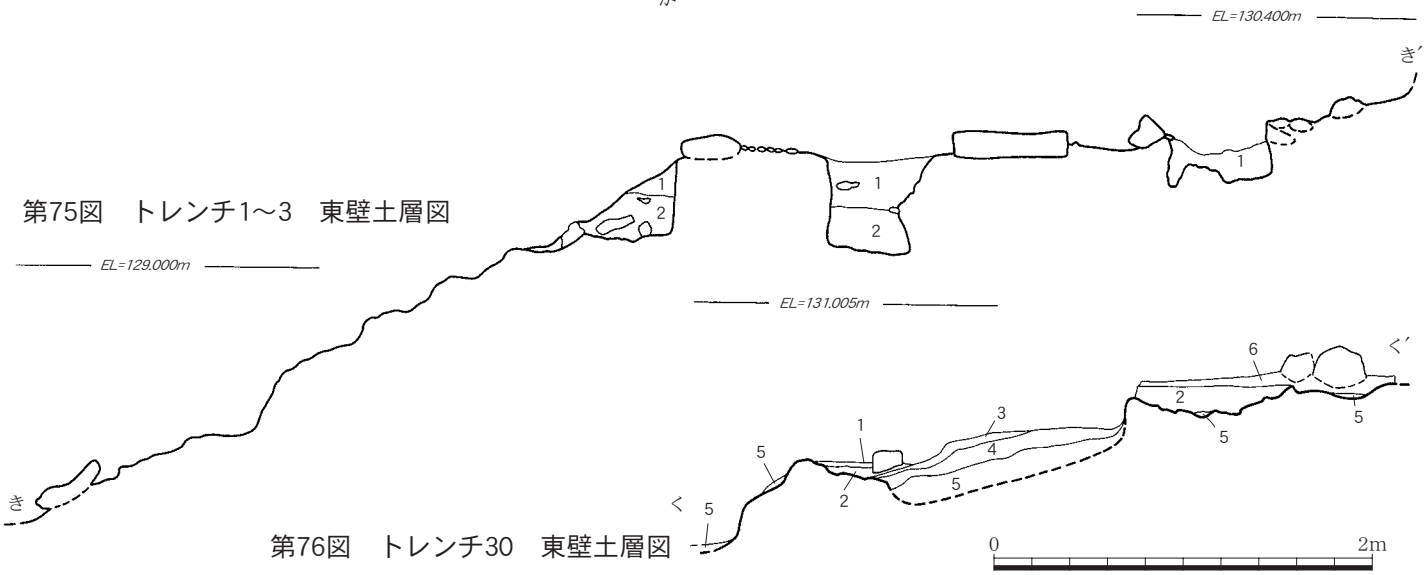
黒褐色土・黒色土・黒褐色礫混じり土(第 76 図の２・３・４層)はＤ－８・９・10 グリッドに堆積している層で、石灰岩礫層の直下にある。15 ～ 16 世紀の遺物を多く含み、前述の４層と対応する可能性がある。



第73図　トレンチ21　東壁土層図



第74図　石列3、石積み5、石敷き4　断面図

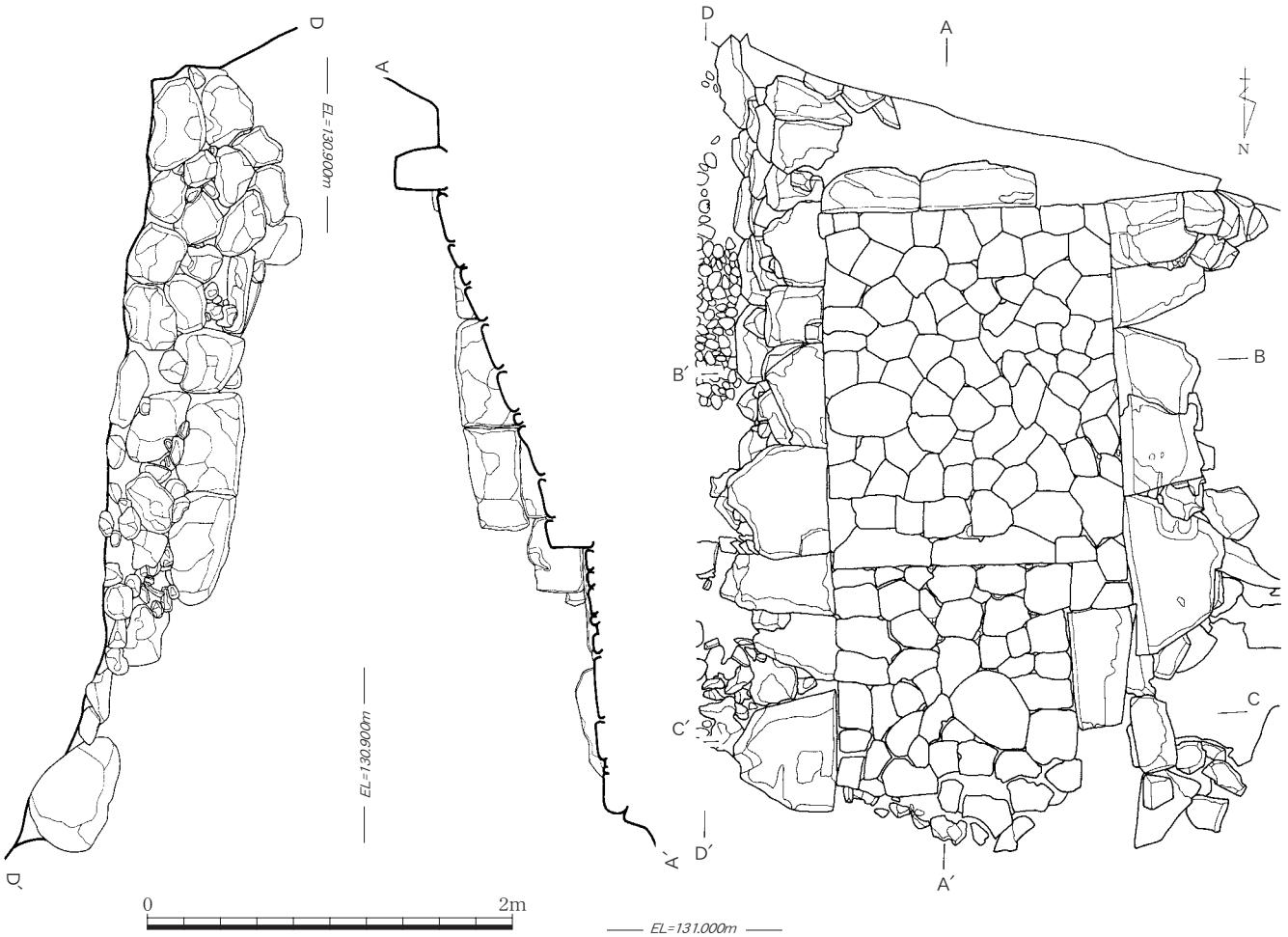


第75図　トレンチ1～3　東壁土層図

第76図　トレンチ30　東壁土層図

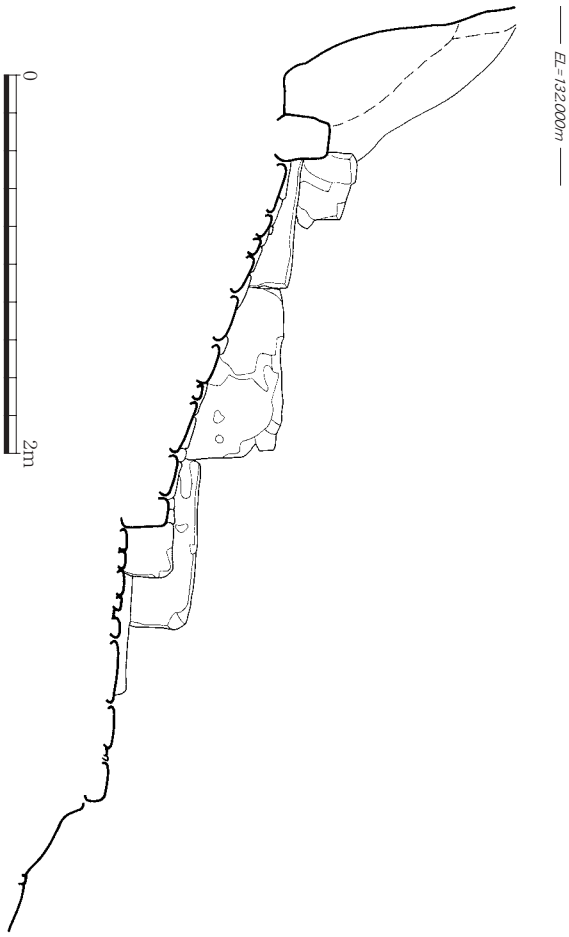
図版53　石積６(西から)

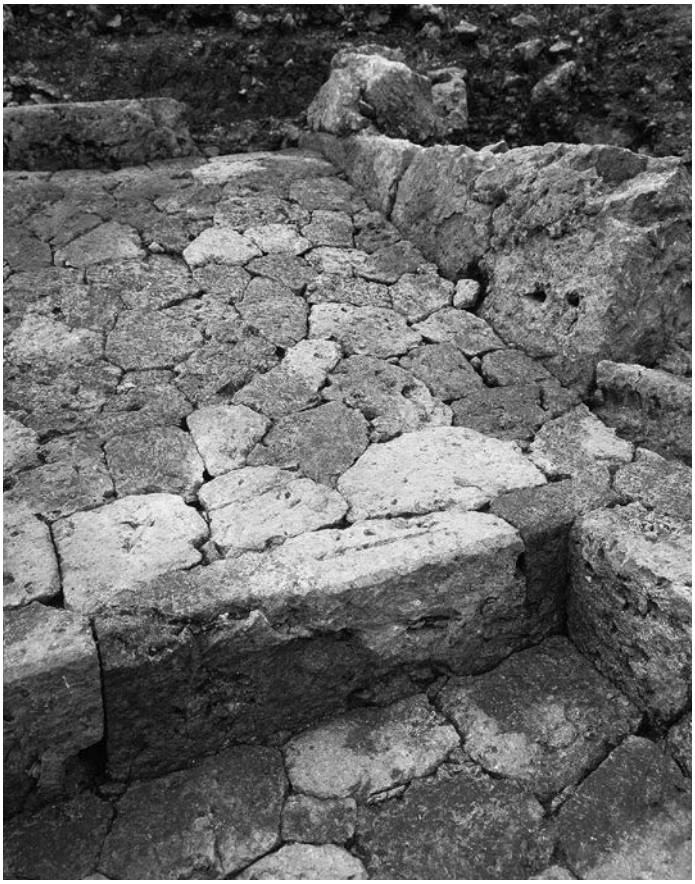
図版54　D－9･10グリッド　遺構検出状況(東から)



図版55　階段１(西から)

第77図　階段1　平面・立面・断面図





図版56　階段１(北東から)

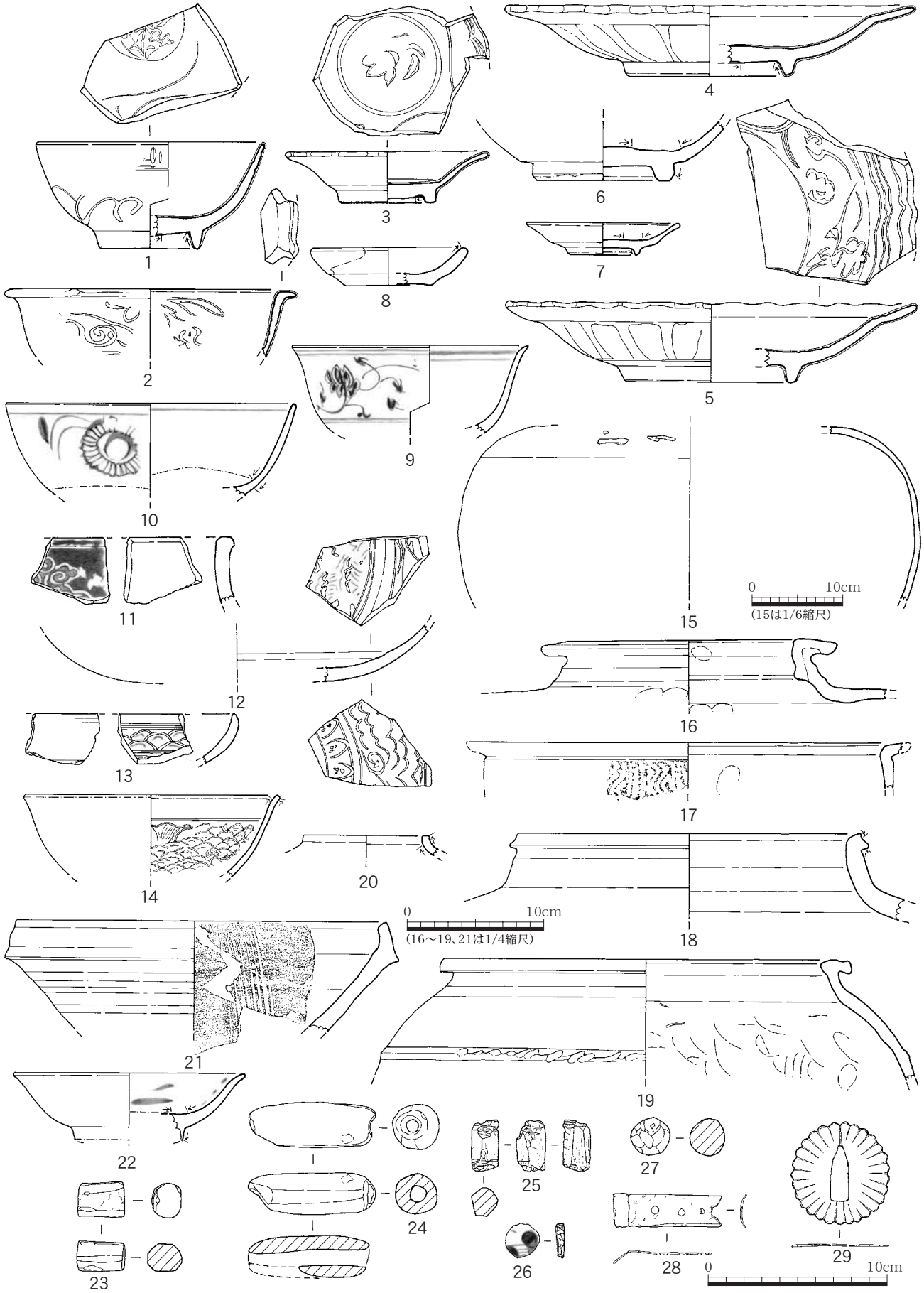
８　**階段１**（C－10・11 グリッド　第 77 図　図版 55・56・148）

両側を石積みで囲い、内側に扁平な石を敷いて石畳としている。石畳の傾斜角度は上段で約 20 度、下段で約５度と大きな差がある。また上段と下段を分ける蹴上げの平面形は一直線ではなく、L 字形に折れている。階段の北側は、後世の削平のため失われている。石畳両側の石積みは、切石を布積みしている。階段の表面はオレンジ色に変色している部分があり、階段を覆っていた土にも焼土が含まれていたことから、火災等によって熱を受けたと考えられる。

階段東側石積みに接して石敷き４があり、石敷きが撹乱されていない状況を考えると、両遺構は同時期に存在していた可能性がある。階段の西側については、後世の削平が岩盤まで達しており、往時の地盤等は確認できなかった。

階段１を検出した位置を旧首里城図（第３図）で見ると、そこは東西に延びる城壁の東端にあたる。その北側には階段らしきものが描かれているが、階段１に比べ少し北に位置しており、また東西方向にのびている。このことから、旧首里城図が描かれた時点で、階段１は地中にあり、人の目にふれることがなかったと考えられる。

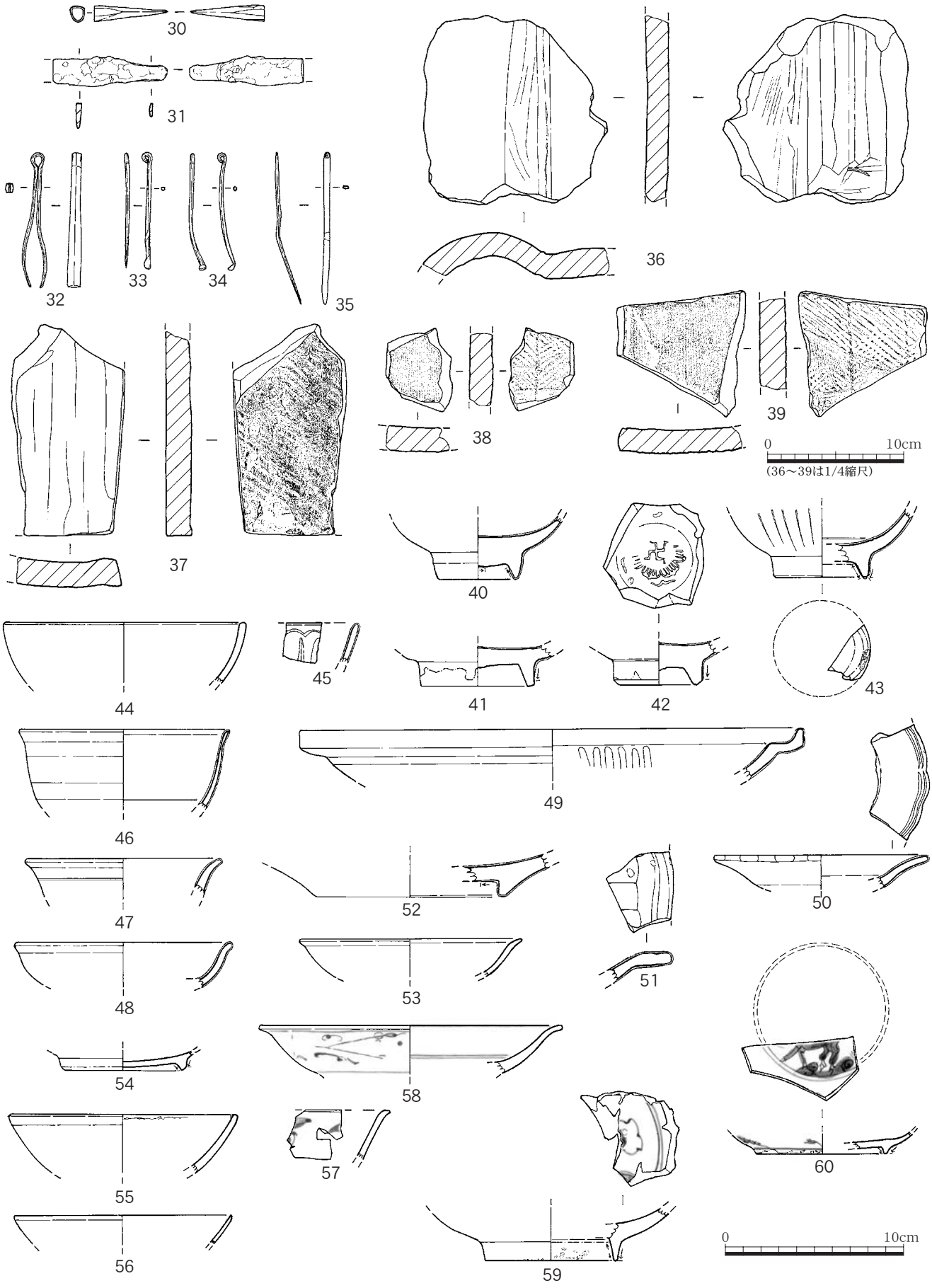
石畳面直上からは瓦が多く出土しており、その中には焼成に失敗してゆがんだり膨張したと考えられる瓦が数点含まれていた。



第78図　鎖之間北側地区出土遺物(１)黒色砂礫土

第６表　鎖之間北側地区出土遺物一覧（１）　　単位：cm/g

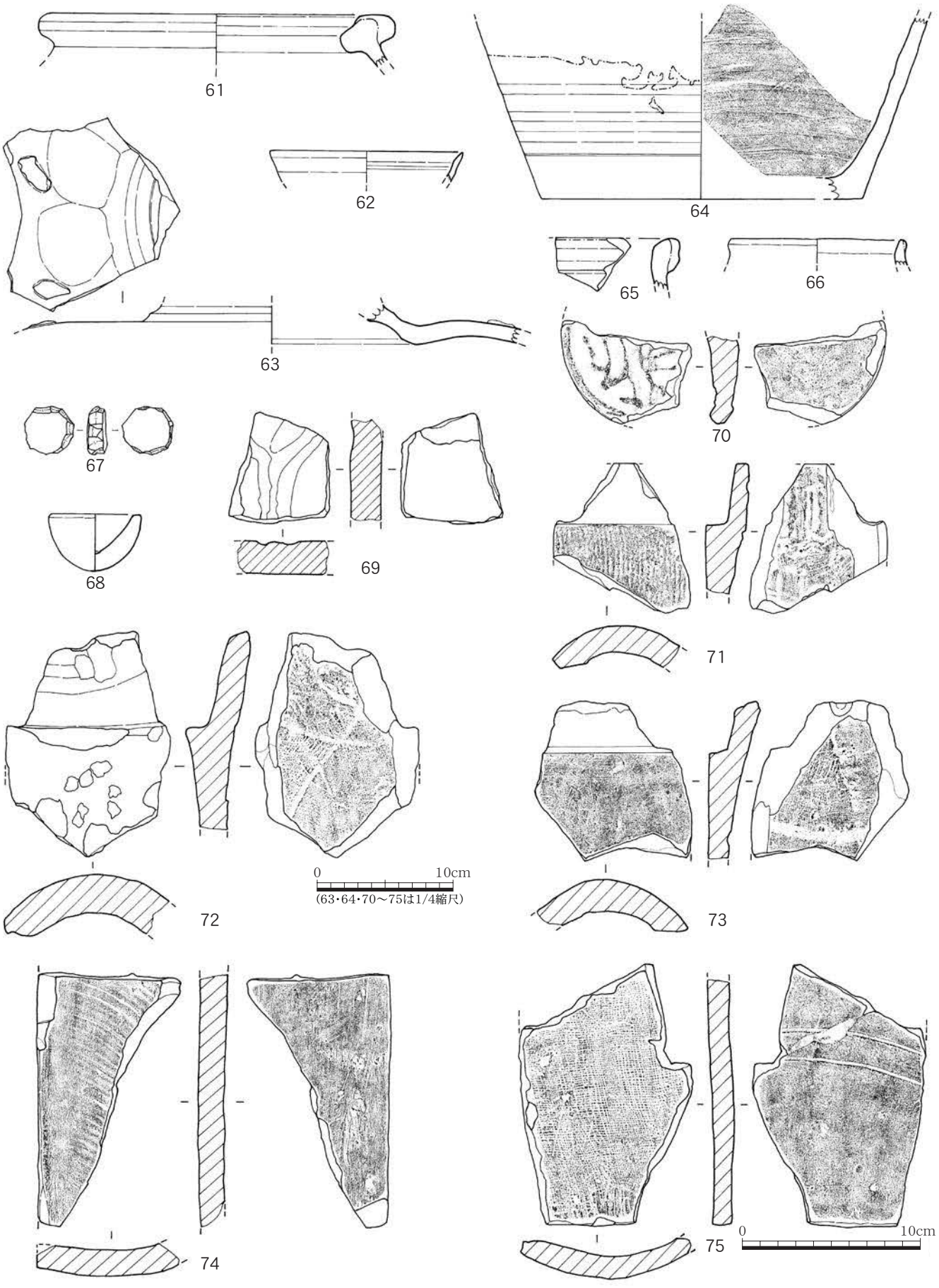
図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	底径・幅	器高・高さ	重さ	所　見	出土地点	
										グリッド遺構	層序
第78図　図版157・158	1	中国産青磁	碗	口～底部	12.9	5.4	6.0	－	釉は厚く掛けられる。外面に雷文帯、内面に印花文。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。	D－8	黒色砂礫土
	2		鉢	口縁部	16.4	－	－	－	内・外面に文様。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀前半。	D-10	
	3		皿	口～底部	11.4	5.4	2.9	－	高台内は釉掻き取り。内面に印花文。15世紀中頃～16世紀前半。	D－8	
	4		盤		23.0	9.4	4.0	－	外面に蓮弁文。高台内は蛇の目状に釉剥ぎ。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中	D-7	
	5				23.0	9.6	4.0	－	高台内は蛇の目状に釉剥ぎ。外面に蓮弁文、内面に草花文。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。		
	6	中国産白磁	皿	底部	－	7.4	－	－	胎土は橙色でやや砂質。畳付～高台内は露胎。底部内面は蛇の目状に釉剥ぎ。16～17世紀前半。	C-10	
	7			口～底部	8.6	4.0	1.8	－	底部内面に蛇の目状に黄白色の付着物があり、その下には線刻の花文。景徳鎮窯系。16～17世紀前半。	D-7	
	8				8.9	5.0	2.1	－	胎土は灰白色でやや砂質。外面の胴部～底部は露胎。明代。	C-9	
	9	中国産染付	碗	口縁部	13.2	－	－	－	外面に草花文。景徳鎮窯系。15世紀。	D-8	
	10				16.2	－	－	－	底部内・外面は露胎。外面に花文。福建系。18世紀。	D-10	
	11	中国産色絵	壷		－	－	－	－	法花。景徳鎮窯系。明代。		
	12	朝鮮半島産青磁	皿	胴部	－	－	－	－	内・外面に白色の象嵌。外面に青海波文、蓮弁文。14世紀頃。	D-7	
	13			口縁部	－	－	－	－	内・外面に白・黒色の象嵌。外面に青海波文。14世紀頃。		
	14	ベトナム産白磁	碗		14.3	－	－	－	口唇部は露胎。外面に青海波文、魚文。15～16世紀頃。	D-8	
	15	中国産褐釉陶器	壷	胴部	－	－	－	－	胴部径56cm。肩部に胎土目（砂粒多い）。明代。	D-7	
	16			口縁部	21.8	－	－	－	明代。	C-10	
	17	タイ産土器			28.8	－	－	－	外面に鋸歯文。内面はナデか。書院地区出土。	C-3	
	18	中国産褐釉陶器			25.2	－	－	－	東南アジア産の可能性もある。明代。	D-10	
	19	沖縄産陶器			30.6	－	－	－	荒焼。外面に刻み目文。内面はナデ・押圧痕。喜名焼か。17世紀後半。	C-9	
	20	陶器	袋物		7.1	－	－	－	口縁部内・外面は露胎。本土～沖縄産。18～19世紀。	D-7	
	21	本土産陶器	擂鉢		26.4	－	－	－	胎土は明黄褐色・白色の交胎。備前系。15世紀末～16世紀中頃。	C-9	
	22	沖縄産陶器	皿		13.0	－	－	－	上焼。底部内面は蛇の目状に釉剥ぎ。	D-7	
	23	土製品	煙管	完形	2.6	1.9	1.6	10.6	煙管の未製品か。塼を転用か。八角形に面取り。	D-10	
	24		土錘	破片	7.1	2.6	1.6	10.6	9mmの穴。	D-8	
	25	骨製品	不明	不明	2.9	1.6	1.4	5.4	断面形は五角形で、表面はケズリ。両端は、多方向から切り込みを入れ、折り取ったように見える。		
	26	円盤状製品		完形	1.9	1.9	0.4	2.2	中国産染付碗の転用品。	D-7	
	27	金属製品	銅弾		2.1	2.2	2.0	35.7	少しいびつな球形。表面は平滑ではない。青銅製。		
	28		八双金具		6.1	1.8	－	7.3	外面に金箔。青銅製。		
	29		鍔		5.7	5.7	0.1	17.0	表面に線刻文。孔は長さ3.13cm、幅1.40cm。青銅製。		



第79図　鎖之間北側地区出土遺物(２)30～39　黒色砂礫土、40～60　3層

第７表　鎖之間北側地区出土遺物一覧（２）　　単位：cm/g

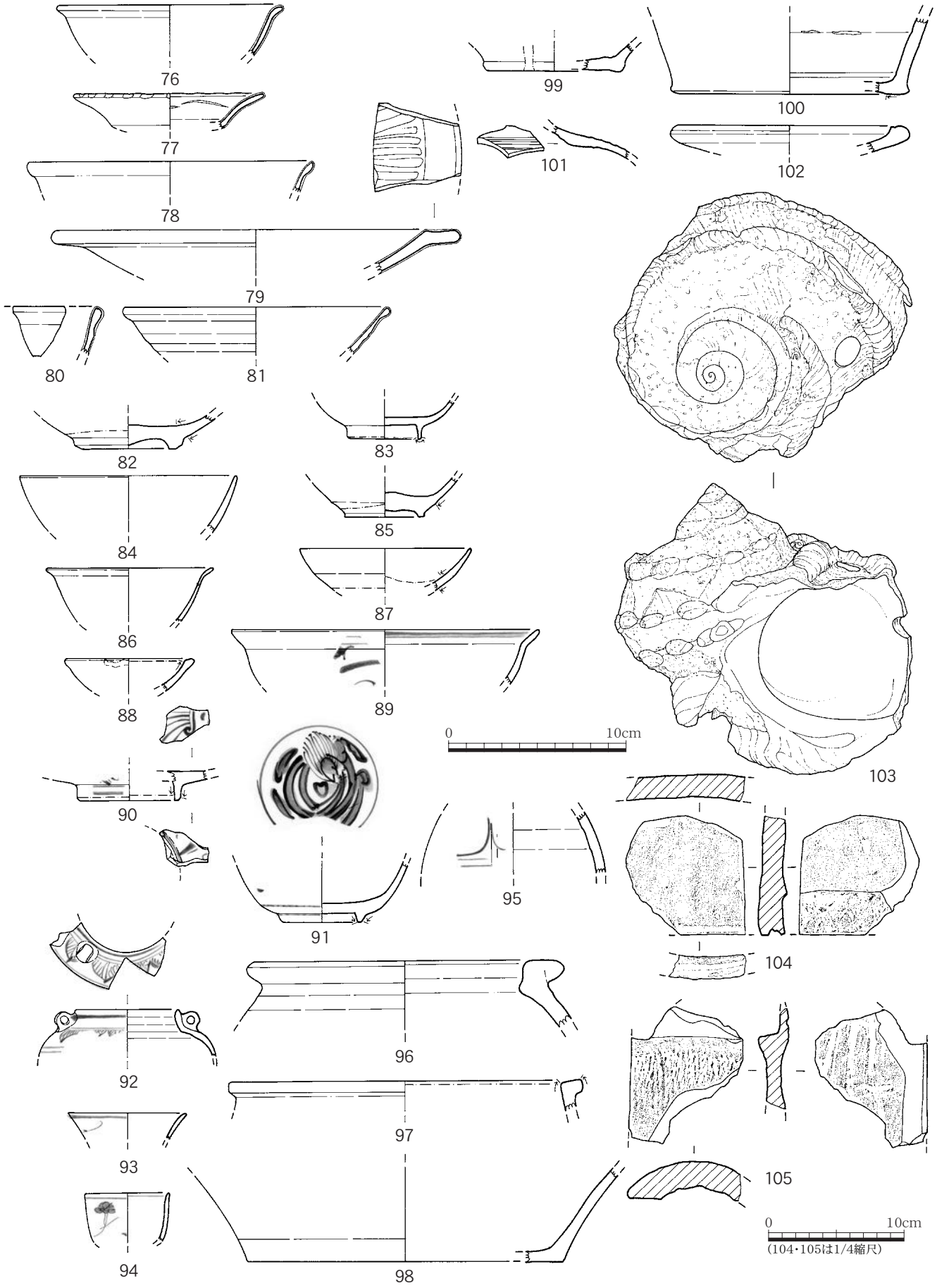
図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	底径・幅	器高・高さ	重さ	所　見	出土地点	
										グリッド遺構	層序
第79図 図版157・158	30	金属製品	不明	完形	4.1	0.8	0.7	2.8	接合痕が残る。青銅製。	D-7	黒色砂礫土
	31		刀子	破片	6.4	1.7	－	9.3	刃先が欠損。鉄製。	D-9	
	32		毛抜き	完形	7.7	1.3	－	11.0	断面形は扁平な五角形。青銅製。	D-7	
	33		不明		6.5	0.6	－	1.5	先端はへら状。青銅製。		
	34				6.5	0.4	－	1.6	先端はさじ形。青銅製。		
	35		縫い針		8.6	0.3	－	2.8	先端はあまり鋭利ではない。直径2mmほどの糸穴。	D-9	
	36	瓦	雁振瓦	破片	－	－	－	－	上面にナデ跡、砂付着。下面に糸切り痕と粗いナデ。大和系。	D-8	
	37		平瓦		－	－	－	－	凹面はナデ、凸面はタタキ。高麗系。		
	38				－	－	－	－	凹面は布目・糸切り痕、凸面はタタキ。高麗系。	D-10	
	39				－	－	－	－			
	40	中国産青磁	碗	底部	－	4.6	－	－	底部内面は蛇の目状に釉剥ぎ。龍泉窯系。15～16世紀前半。	D-9	3層
	41				－	6.4	－	－	高台～高台内は露胎。14世紀後半～15世紀。		
	42				－	5.0	－	－	胎土は灰白色で、白色・黒色・半透明粒を少し含み、砂質。粗製。高台～高台内は露胎。底部内面に「卍」の印花文。15世紀頃。		
	43				－	5.4	－	－	畳付と高台内は露胎。畳付は目跡。外面に蓮弁文。15世紀後半～16世紀。		
	44			口縁部	13.6	－	－	－	15世紀後半～16世紀前半。	D-9 B-2	3層
	45				－	－	－	－	外面に線刻蓮弁文。15世紀中頃～16世紀前半。	D-9	3層
	46				11.8	－	－	－	14世紀中頃～後半。		
	47		皿		10.0	－	－	－	龍泉窯系。14世紀後半～15世紀前半。		
	48				12.2	－	－	－	龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。		
	49		盤		28.4	－	－	－	内面に蓮弁文。14世紀後半～15世紀中頃。		
	50		皿		12.2	－	－	－	15世紀中頃～16世紀前半。		
	51		盤		－	－	－	－	内面に蓮弁文。全面に釉はじき。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀前半。		
	52			底部	－	10.6	－	－	龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。		
	53	中国産白磁	皿	口縁部	12.5	－	－	－	景徳鎮窯系。16世紀。		
	54			底部	－	6.8	－	－	畳付は露胎。景徳鎮窯系。16世紀。		
	55		碗	口縁部	12.5	－	－	－	福建省招武窯系。16世紀頃。		
	56	白磁か	不明		12.2	－	－	－	皿か。中国か朝鮮半島産。16～17世紀前半		
	57	中国産染付	碗		－	－	－	－	明代末～清代初めか。		2層 3層
	58		皿		17.0	－	－	－	外面に草花文。景徳鎮窯系。16世紀頃。		3層
	59		不明	底部	－	7.4	－	－	鉢か。高台内は露胎。畳付に砂粒が付着。漳州窯系か。16世紀後半～17世紀前半。		
	60		皿		－	7.4	－	－	畳付は露胎で砂粒が付着。景徳鎮窯系。16世紀後半以降。		
第80図 図版157・158	61	褐釉陶器	壷	口縁部	20.0	－	－	－	中国産か。明代。	D-9	3層
	62		碗		10.8	－	－	－	産地不明。		
	63		壷	胴部	－	－	－	－	肩部に目跡。中国産か。明代。		
	64	タイ産褐釉陶器		底部	－	23.6	－	－	底部外面には圧痕。内面は露胎。底部外面は白色の泥釉か。15～16世紀。		
	65	褐釉陶器		口縁部	－	－	－	－	口唇部付近はケズリで露胎。内面は白化粧土か。中国か東南アジア産。明代。		
	66	土器			17.0	－	－	－	内・外面ともナデか。		
	67	円盤状製品		完形	2.73	2.7	1.0	10.0	中国産褐釉陶器の転用品。		
	68	石製品	坩堝	口～底部	5.0	－	3.2	28.8	表面は少し汚れているが、特に付着物はない。外面は面取り状のケズリ、内面は平滑なケズリ。底部内面に小さなくぼみ		
	69		砥石	破片	6.1	5.9	1.9	103.8	砂岩製。		
	70	瓦	軒丸瓦		－	－	－	－	明朝系。		
	71		丸瓦		－	－	－	－	凸面は縄目タタキ。内面は布目痕。大和系。		
	72				－	－	－	－	凸面はナデ、内面は布目痕。明朝系。		
	73				－	－	－	－	凸面はナデ、内面は布目痕、分割面はナデもしくはケズリ。明朝系か。		
	74		平瓦		－	－	－	－	凸面は布目痕・糸切り痕、凹面はナデ。分割面はナデ。明朝系か。		
	75				－	－	－	－	凸面は布目痕、凹面はナデ・沈線。明朝系か。		



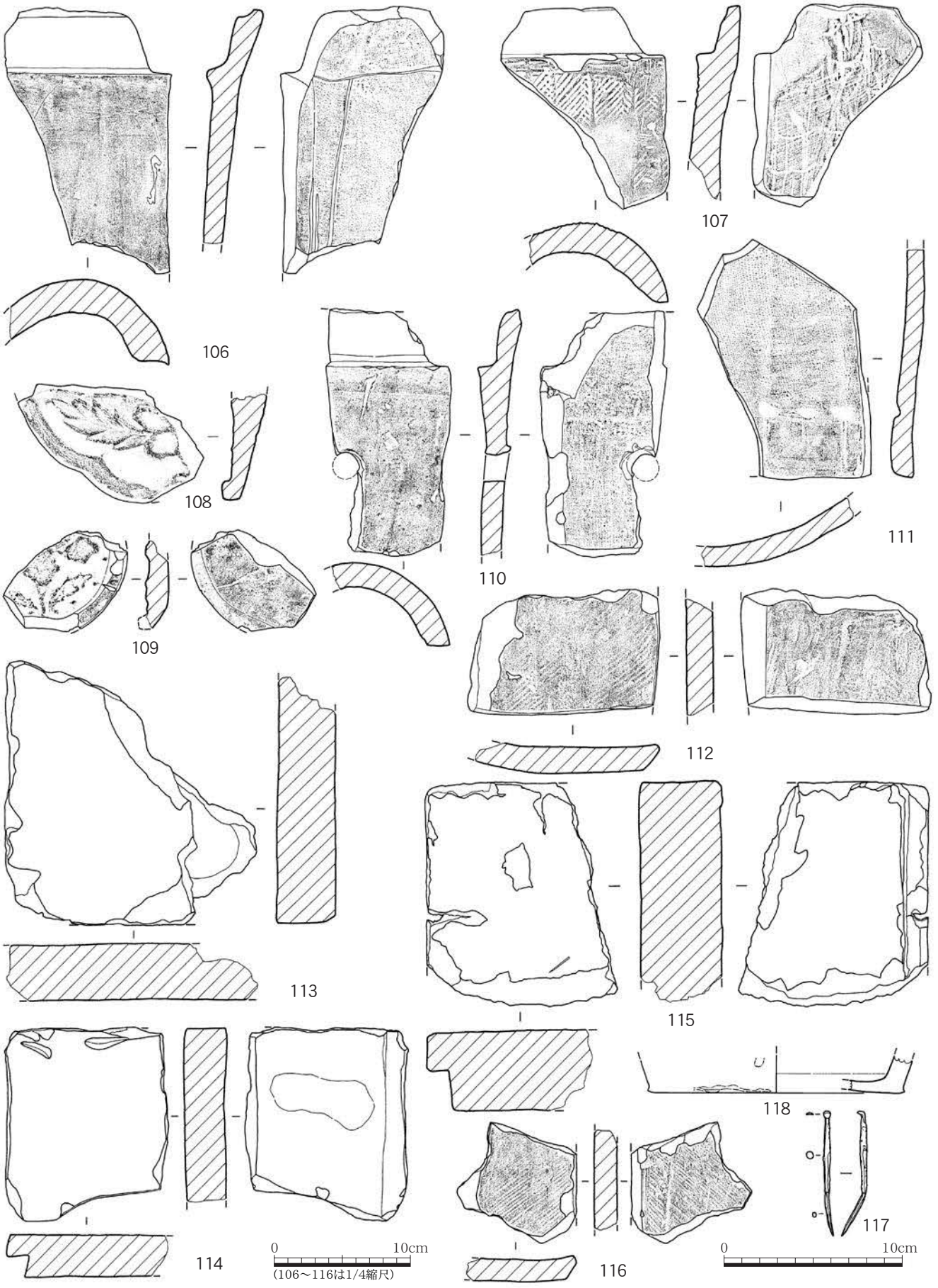
第80図　鎖之間北側地区出土遺物(3)3層

第８表　鎖之間北側地区出土遺物一覧（３）　　単位：cm/g

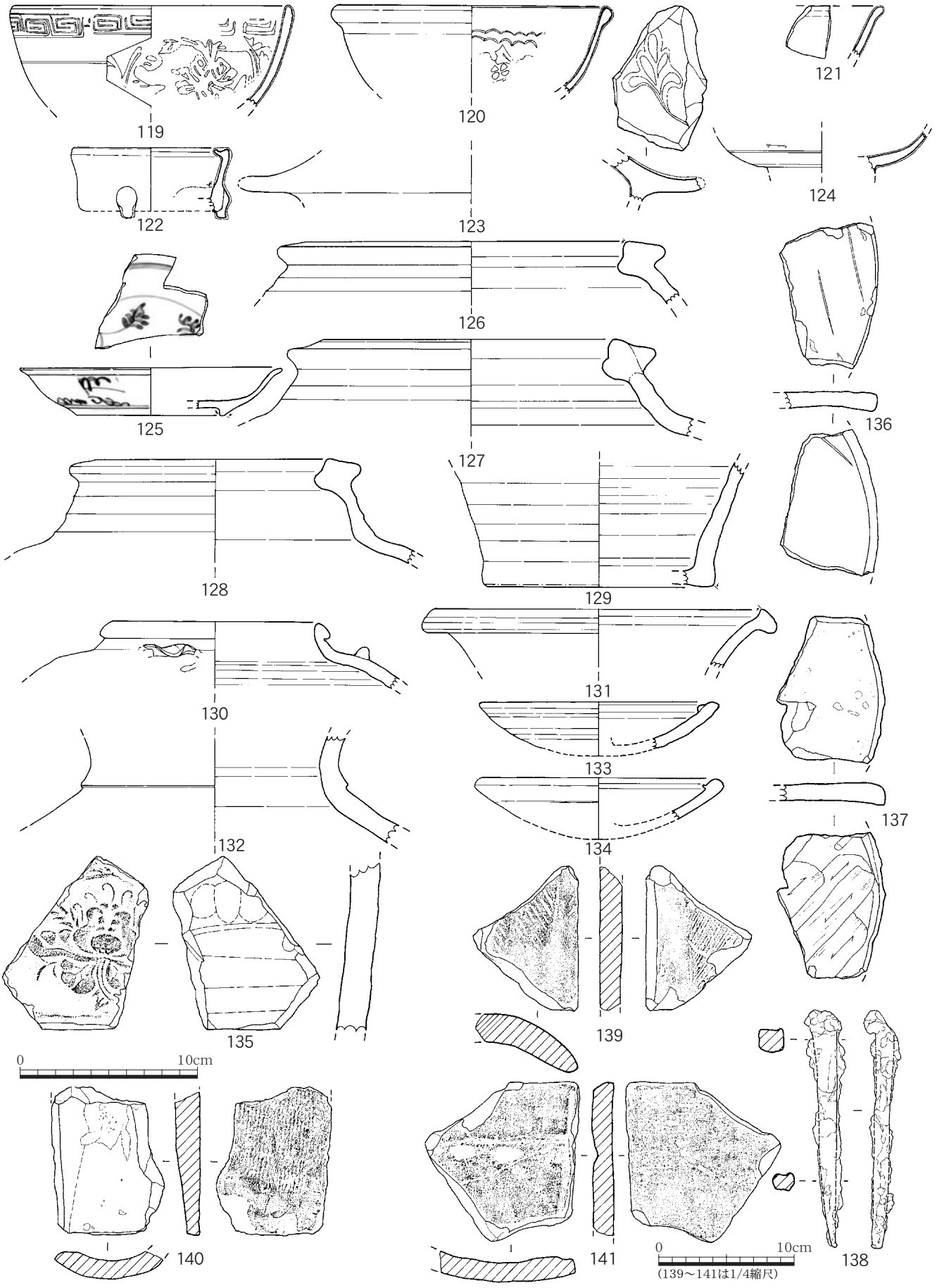
図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	底径・幅	器高・高さ	重さ	所　見	出土地点	
										グリッド遺構	層序
第81図 図版159・160	76	中国産青磁	碗	口縁部	12.8	－	－	－	龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。	D-9	4層
	77		皿		10.8	－	－	－	15世紀後半～16世紀中頃。	E-9	
	78		碗		16.0	－	－	－	龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。	D-9	
	79		盤		23.0	－	－	－	内面に蓮弁文。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。		
	80		碗		－	－	－	－	15～16世紀。		
	81				15.0	－	－	－	胎土はにぶい黄橙色でやや砂質。16世紀か。		
	82	中国産白磁		底部	－	5.3	－	－	底部内・外面は露胎。招武窯系。18世紀。		
	83				－	4.2	－	－	畳付は露胎。景徳鎮窯系。16世紀末～17世紀前半。		
	84			口縁部	12.2	－	－	－	明代末～清代初め。		
	85		不明	底部	－	4.4	－	－	碗か。底部外面は露胎。外面に石灰分が付着。16世紀末～17世紀。		
	86		小杯	口縁部	9.4	－	－	－	景徳鎮窯系。16世紀後半～17世紀初め。		
	87	中国産染付	皿		9.6	－	－	－	底部内・外面は露胎。内・外面に圏線あり。福建系。16世紀後半～17世紀初頭。		
	88	中国産白磁			7.2	－	－	－	胎土は黄白色・灰白色でやや砂質。口唇部～外面は露胎。明代。		
	89	中国産染付	碗		17.4	－	－	－	16～17世紀前半。		
	90		不明	底部	－	5.5	－	－	碗か。畳付は露胎。景徳鎮窯系。15世紀。		
	91		碗		－	4.4	－	－	畳付は露胎。景徳鎮窯系。16世紀末～17世紀前半。		
	92		不明	口縁部	4.8	－	－	－	壷か。外面に蕉葉文。景徳鎮窯系。16世紀。		
	93		小杯		6.6	－	－	－	景徳鎮窯系。16世紀末～17世紀。		
	94				5.0	－	－	－	外面に草花文。景徳鎮窯系。17世紀前半。		
	95	ベトナム産染付	瓶	胴部	－	－	－	－	瓜形。内面は露胎。外面に蓮弁文。15世紀中頃。		
	96	中国産褐釉陶器	壷	口縁部	19.6	－	－	－	明代。	E-9	
	97	褐釉陶器			20.0	－	－	－	中国産か。15～17世紀。	D-9	
	98	陶器		底部	－	17.8	－	－	灰赤色・灰色・白色の交胎。内面は露胎。薩摩産か。17世紀初め頃か。		
	99	褐釉陶器	袋物		－	7.6	－	－	内面と底部外面は露胎。東南アジア産か。		
	100	中国産褐釉陶器	壷		－	13.4	－	－	内面は露胎。明代。		
	101	土器	袋物	胴部	－	－	－	－	外面はケズリ、内面はナデ。東南アジア産。15～16世紀。		
	102	タイ産土器	蓋	口縁部	10.4	－	－	－	胎土に赤色粒を多く含む。		
	103	貝製品	ヤコウガイ	破片	15.3	17.8	16.5	878.1	2cmの穴。		
	104	瓦	軒平瓦		－	－	－	－	瓦当部接着のため、凹面にX形の連続した刻み。凹面・凸面はナデ。唐草文。大和系		
	105		丸瓦		－	－	－	－	凸面は縄目タタキ。内面は布目痕。端部はナデによる面取り。大和系。		



第81図　鎖之間北側地区出土遺物(4)4層



第82図　鎖之間北側地区出土遺物(5)106～115　4層、116～118　黒色土

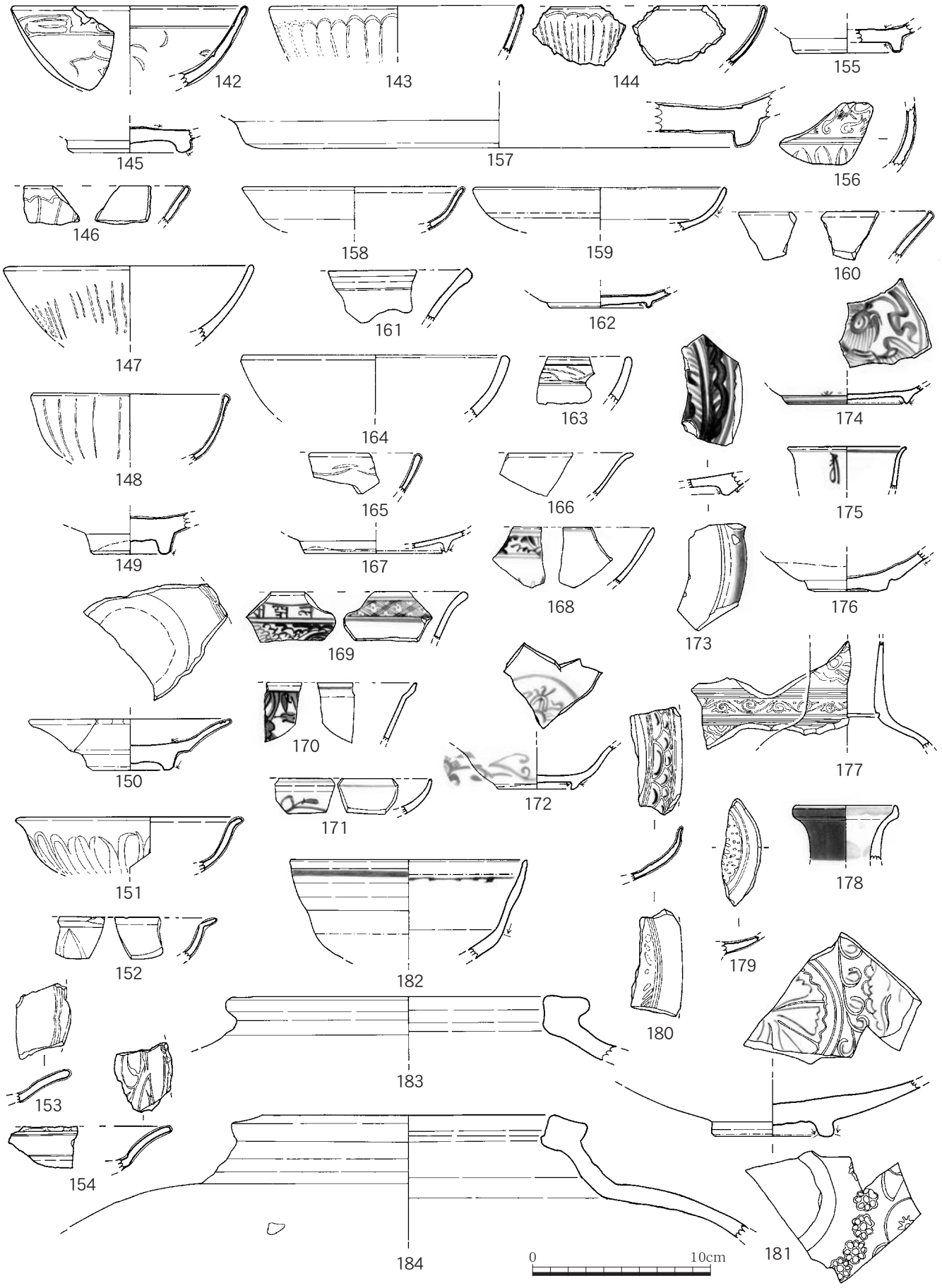


第83図　鎖之間北側地区出土遺物(6)黒褐色土

第９表　鎖之間北側地区出土遺物一覧（４）

単位：cm/g

図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	底径・幅	器高・高さ	重さ	所　見	出土地点	
										グリッド遺構	層序
第82図　図版159・160	106	瓦	丸瓦	破片	－	－	－	－	凸面はナデ、凹面は布目。端部割れ口は無調整。明朝系。	D-9	4層
	107				－	－	－	－	凸面はナデ、矢羽状タタキ。凹面は布目痕、糸切り痕。端部は面取り。高麗系。		
	108		軒平瓦		－	－	－	－	明朝系。		
	109		軒丸瓦		－	－	－	－	明朝系。		
	110		丸瓦		－	－	－	－	約2cmの穴。凸面はナデ、凹面は布目痕。端部は面取り。明朝系。		
	111		平瓦		－	－	－	－	凹面は布目、凸面はナデ。分割面は無調整。硬質。明朝系。		
	112				－	－	－	－	凹面はナデ・糸切り痕・砂粒付着。凸面はナデ・砂粒付着。大和系。		
	113				－	－	4.5	－			
	114				－	－	3.2	－	端部に段。		
	115				－	－	6.2	－	端部に段。上面・側面はナデ。下面は圧痕・ひび。		
	116	瓦	平瓦		－	－	－	－	凹面に糸切り痕・砂粒痕。凸面に糸切り痕・砂粒。大和系。		黒色土
	117	金属製品	簪	完形	7.0	0.4	－	3.1		D-8	黒褐色礫混じり土
	118	中国産褐釉陶器	壷	底部		14.3			露胎。底部外面は圧痕。明代。	D-9	黒色土
第83図　図版159・160	119	中国産青磁	碗	口縁部	16.0	－	－	－	外面に雷文帯。内面に雷文帯・花文。龍泉窯系。15世紀。	D-9	黒褐色土
	120				15.9	－	－	－	内面に花文。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。		
	121				－	－	－	－	14世紀後半～15世紀中頃。		
	122		香炉	口～底部	8.6	－	4.0	－	底部内面は露胎。龍泉窯系。14世紀後半から15世紀前半。		
	123		蓋		26.2	－	－	－	かえり部は露胎。外面に花文。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀前半。		
	124		碗か	胴部	－	－	－	－	14世紀後半～15世紀中頃。		
	125	中国産染付	皿	口～底部	14.8	8.2	2.7	－	畳付は露胎。景徳鎮窯系。15世紀。		
	126	中国産褐釉陶器	壷	口縁部	17.4	－	－	－	明代か。		
	127				16.0	－	－	－	明代。		
	128				16.6	－	－	－			
	129			底部	－	13.0	－	－	底部外面には圧痕。明代。		
	130			口縁部	11.6	－	－	－	内面は露胎。刻み目文。明代。		
	131	タイ産褐釉陶器			18.2	－	－	－	15～16世紀。		
	132			胴部	－	－	－	－	内面は露胎。15～16世紀。		
	133	タイ産土器	蓋		13.5	－	－	－			
	134				14.0	－	－	－			
	135	沖縄産陶器	鉢	胴部	－	－	－	－	荒焼。		
	136	土器	蓋	－	－	－	－	－	上・下面ともナデか。橙色・白色の交胎。		
	137			－	－	－	－	－	上面は圧痕。下面はケズリ。橙色・黄灰色・白色の交胎。		
	138	金属製品	釘	完形	13.5	2.1	1.5	53.2	鉄製。		
	139	瓦	丸瓦	破片	－	－	－	－	凸面は矢羽状タタキ。凹面は糸切り痕。高麗系。		
	140		平瓦		－	－	－	－	凸面は縄目タタキ。凹面は布目痕、砂粒。大和系。		
	141				－	－	－	－	凹面は布目痕、凸面はナデ。明朝系。		

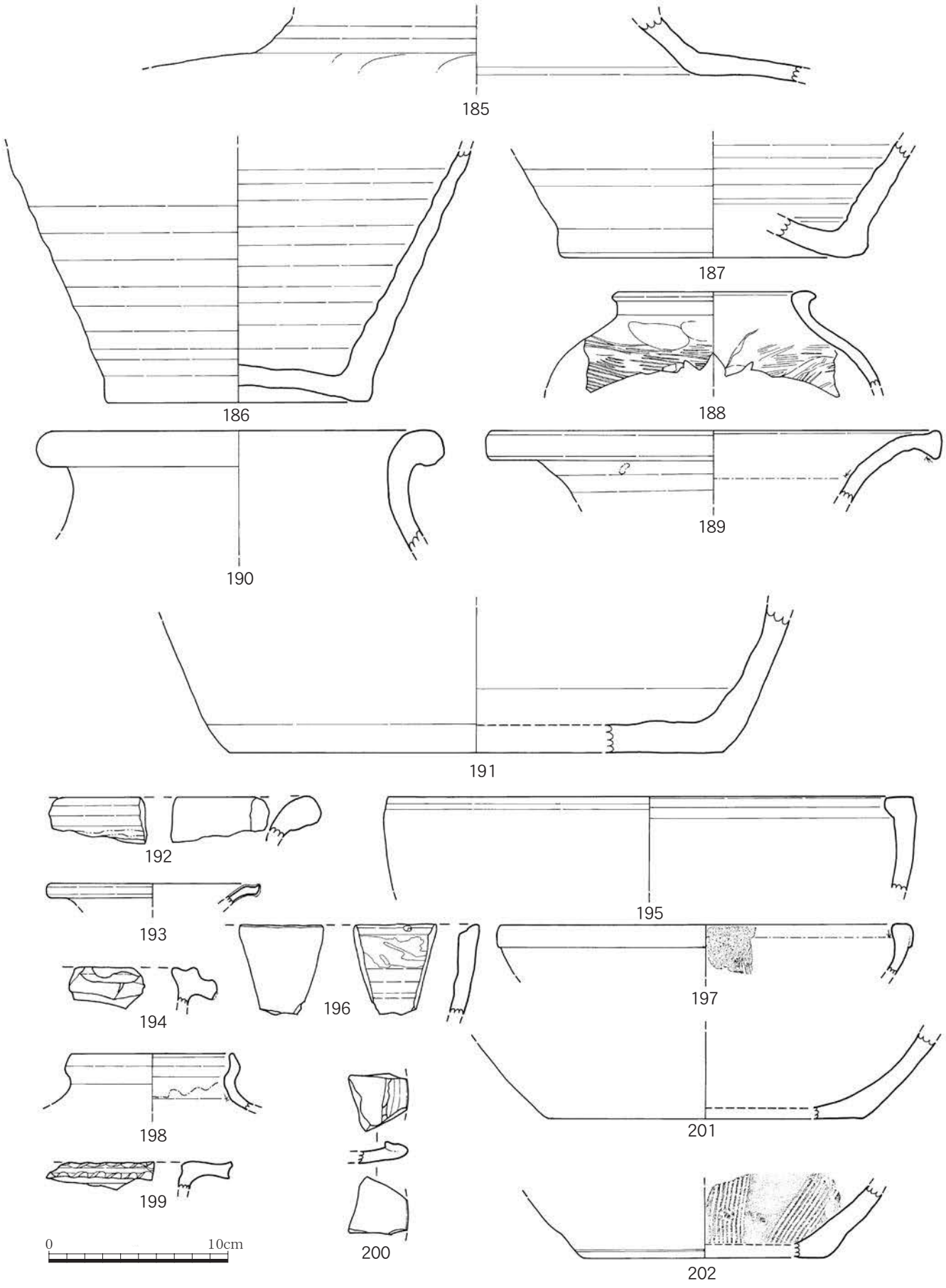


第84図　鎖之間北側地区出土遺物(7)赤褐色土

第10表　鎖之間北側地区出土遺物一覧（５）

単位：cm/g

図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	底径・幅	器高・高さ	重さ	所　見	出土地点	
										グリッド遺構	層序
第84図　図版161・162	142	中国産青磁	碗	口縁部	13.3	－	－	－	外面に雷文帯。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。	C-9	赤褐色土
	143				14.4	－	－	－	外面に蓮弁文。15世紀中頃～後半。	D-9	
	144				－	－	－	－	外面に蓮弁文。15世紀後頃～16世紀中頃。	C-9	
	145	中国産白磁		底部	－	7.1	－	－	畳付～高台内は露胎。底部内面は蛇の目状に釉剥ぎ。16～17世紀。	D-9	
	146	中国産青磁		口縁部	－	－	－	－	15世紀後半～16世紀。		
	147				14.2	－	－	－	外面に蓮弁文。15世紀後半～16世紀。	C-9	
	148				11.2	－	－	－			
	149			底部	－	4.8	－	－	畳付～高台内は露胎。15世紀後半～16世紀。		
	150		皿	口～底部	11.6	4.6	2.9	－	畳付～高台内・底部内面は露胎。15世紀後半～16世紀前半。		
	151			口縁部	13.0	－	－	－	外面に蓮弁文。14世紀後半～15世紀前半。	D-10	
	152				－	－	－	－	龍泉窯系。14世紀後半～15世紀前半。	C-9	
	153				－	－	－	－	15世紀中頃～16世紀前半。		
	154				－	－	－	－	龍泉窯系。15世紀。	D-8	
	155		不明	底部	－	5.8	－	－	皿か。高台内・底部内面は露胎。14世紀後半～15世紀中頃。	C-9	
	156		袋物	胴部	－	－	－	－	龍泉窯系。14世紀後半～15世紀前半。		
	157		盤	底部	－	26.8	－	－	龍泉窯系。14世紀後半～15世紀前半。		
	158	青磁	不明	口縁部	12.4	－	－	－	皿か。産地不明。	D－10	
	159		皿		14.3	－	－	－	底部外面は露胎。東南アジア産か。明代。	D-8	
	160	中国産青磁	皿か		－	－	－	－	中国産か。15～17世紀。		
	161		碗		－	－	－	－	焼け損ないか。明代後半～清代。	C-9	
	162		皿	底部	－	5.0	－	－	高台内は露胎。14世紀後半～15世紀中頃。	D-8	
	163		碗	口縁部	－	－	－	－	福建系。16世紀後半頃。	D-10	
	164				15.6	－	－	－	16世紀。	C-9	
	165				－	－	－	－	福建系。16世紀後半頃。		
	166	中国産白磁	皿		－	－	－	－	景徳鎮窯系。16世紀。	D-10	
	167			底部	－	8.0	－	－	畳付は露胎。景徳鎮窯系。16世紀。	C-9	
	168	中国産染付	碗	口縁部	－	－	－	－	景徳鎮窯系。16世紀。		
	169		鉢		－	－	－	－	外面に梵字文か。内面に四方襷文。景徳鎮窯系。15世紀。		
	170				－	－	－	－	景徳鎮窯系。16世紀後半～17世紀初め。		
	171		皿		－	－	－	－	福建系か。16世紀後半。		
	172			底部	－	4.2	－	－	畳付は露胎。景徳鎮窯系。16世紀。	D-10	
	173				－	－	－	－	畳付は露胎。景徳鎮窯系。15～16世紀		
	174				－	8.8	－	－	畳付は露胎。内面に玉取り獅子文。景徳鎮窯系。16世紀前半～中頃。	C-9	
	175		小杯	口縁部	6.8	－	－	－	外面に梵字文。景徳鎮窯系。16世紀。		
	176	中国産黒釉陶器	碗	底部	－	4.4	－	－	底部外面は露胎。明代。		
	177	白磁	瓶	頸部	－	－	－	－	外面に唐草文。沖縄産（17世紀末～18世紀前半）かベトナム産。		
	178	中国産瑠璃釉		口縁部	6.0	－	－	－	景徳鎮窯系。16世紀頃。	D-8	
	179	朝鮮半島産青磁	不明	胴部	－	－	－	－	皿か。内面に象嵌文様。14世紀か。	D-9	
	180		皿	口縁部	－	－	－	－	白・黒色の象嵌文様。14世紀頃。	C-9	
	181			底部	－	6.8	－	－	粗製。畳付は露胎で砂粒が付着。内・外面に象嵌による草花文。14世紀頃。D-7黒色砂礫土と接合。	C-9	
	182	本土産陶器	碗	口縁部	－	13.4	－	－	口縁部はオリーブ色の釉、胴部は白色釉、底部外面は露胎。九州産か。近世か。	C-9	
	183	中国産褐釉陶器	壷		20.4	－	－	－	明代。		
	184				20.0	－	－	－			

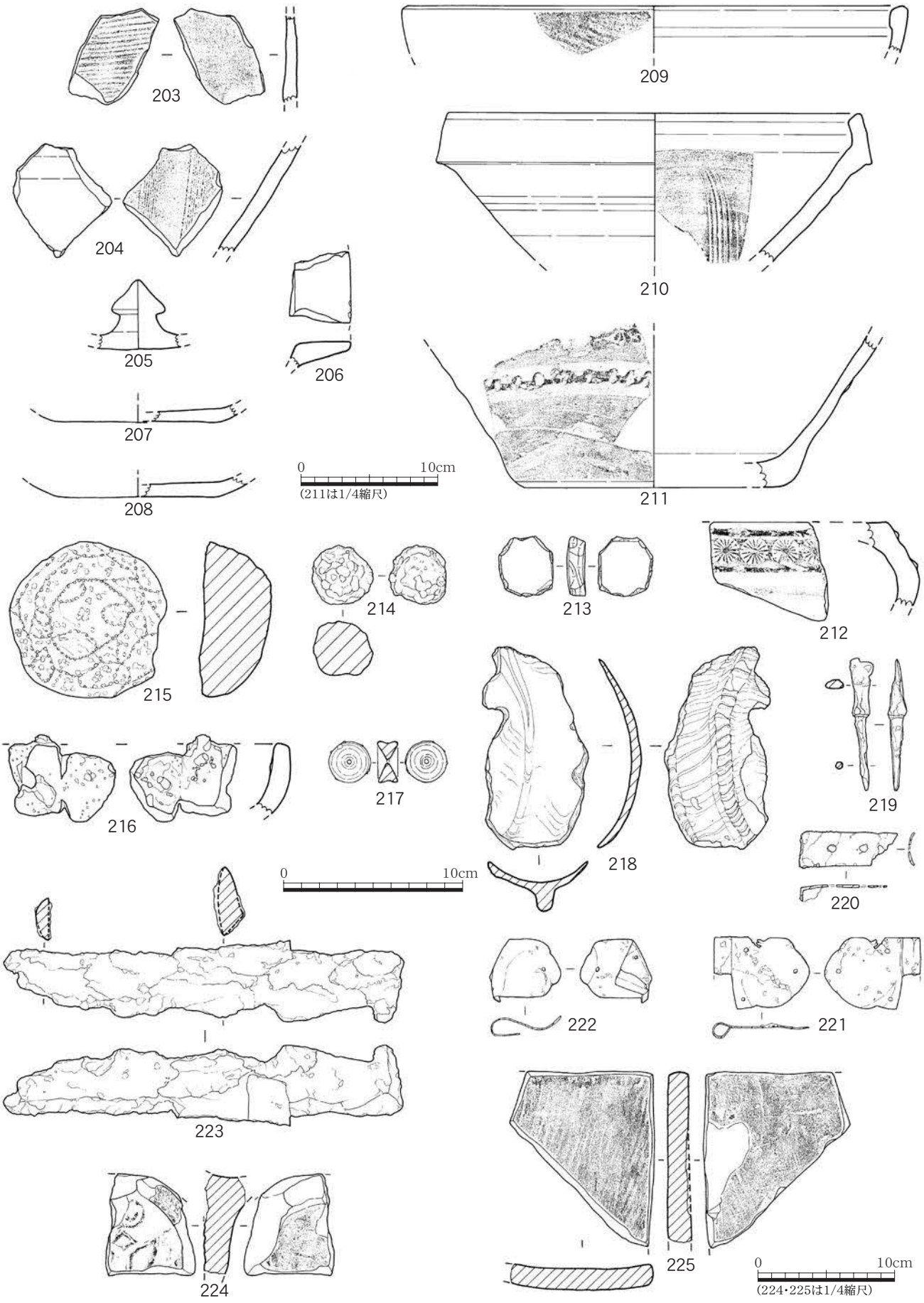


第85図　鎖之間北側地区出土遺物(8)赤褐色土

第11表　鎖之間北側地区出土遺物一覧（６）

単位：cm/g

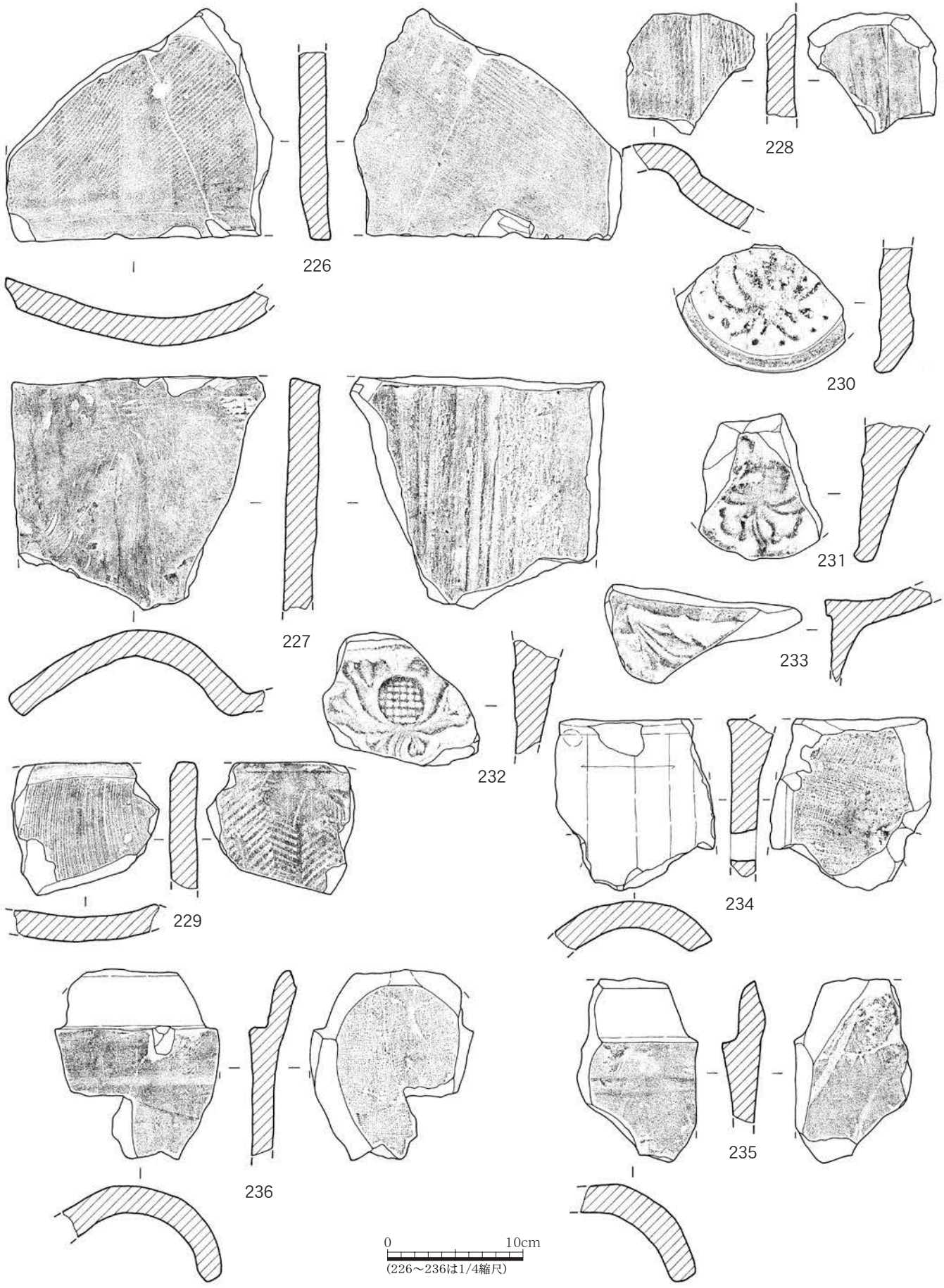
図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	底径・幅	器高・高さ	重さ	所　見	出土地点	
										グリッド遺構	層序
第85図　図版161・162	185	中国産褐釉陶器	壷	胴部	－	－	－	－	外面はタタキ。明代。	C-9	砂礫土
	186			底部	－	14.6	－	－	底部外面は露胎。明代。	D-8	赤褐色土
	187				－	17.0	－	－	底部外面に粘土の付着や砂粒、圧痕。明代。	C-9	
	188			口縁部	11.6	－	－	－	内・外面はタタキ。中国産か。明代。黒色砂礫土出土の破片と接合。		赤褐色土
	189	タイ産褐釉陶器	壷		25.4	－	－	－	頸部内・外面は露胎。シーサッチャナライ窯系。15～16世紀。	C-9	赤褐色土
	190				21.6	－	－	－	シーサッチャナライ窯系。15～16世紀。	D-8	
	191	褐釉陶器	壷	底部	－	27.6	－	－	内･外面ともナデ･露胎。底部外面には多くの圧痕。ベトナム産か。15～16世紀	D-9	
	192	タイ産褐釉陶器	壷	口縁部	－	－	－	－	瓶か。所々露胎。15～16世紀。	D-8	
	193		不明		12.1	－	－	－		C-9	
	194	中国産褐釉陶器	不明		－	－	－	－	壷か。明代。	D-10	
	195	陶器	鉢		29.2	－	－	－	中国産か。明代。		
	196	中国産褐釉陶器			－	－	－	－	口縁部内面に白色の付着物（焼成時か）。福州閩江下流域産。明代。	C-9	
	197	陶器	擂鉢		23.0	－	－	－	口唇部～外面に泥釉。沖縄産陶器（荒焼）か。		
	198		不明		9.2	－	－	－	壷か。口縁部内面～外面に泥釉らしきもの。東南アジア産。15～16世紀。		
	199	沖縄産陶器	鉢		－	－	－	－	荒焼。胎土は灰赤色と白色の交胎。外面に刻み目文。	D-9	
	200	タイ産土器	蓋		－	－	－	－	上面はナデ、下面はケズリ。	C-9	
	201	陶器	不明	底部	－	17.4	－	－	鉢か。底部外面に圧痕。内面は摩滅。中国産か。明代。		
	202		擂鉢		－	13.0	－	－	底部外面に圧痕。		
第86図　図版161・162	203	中国産陶器	不明	胴部	－	－	－	－	壷か。外面はタタキ。15～16世紀。	D-8	
	204	陶器	擂鉢		－	－	－	－	沖縄産陶器（荒焼）か。	C-9	
	205	タイ産土器	蓋	撮み部	－	－	－	－			
	206	土器か	不明	口縁部	－	－	－	－	内・外面ともナデ。胎土に雲母を含む。		
	207	土器		底部	－	9.0	－	－	内・外面ともナデ。浅黄橙色と白色の交胎。	D-10	
	208				－	9.0	－	－	浅黄橙色と白色の交胎。		
	209		鉢	口縁部	28.2	－	－	－	外面はタタキか。東南アジア産か。15～16世紀か。		



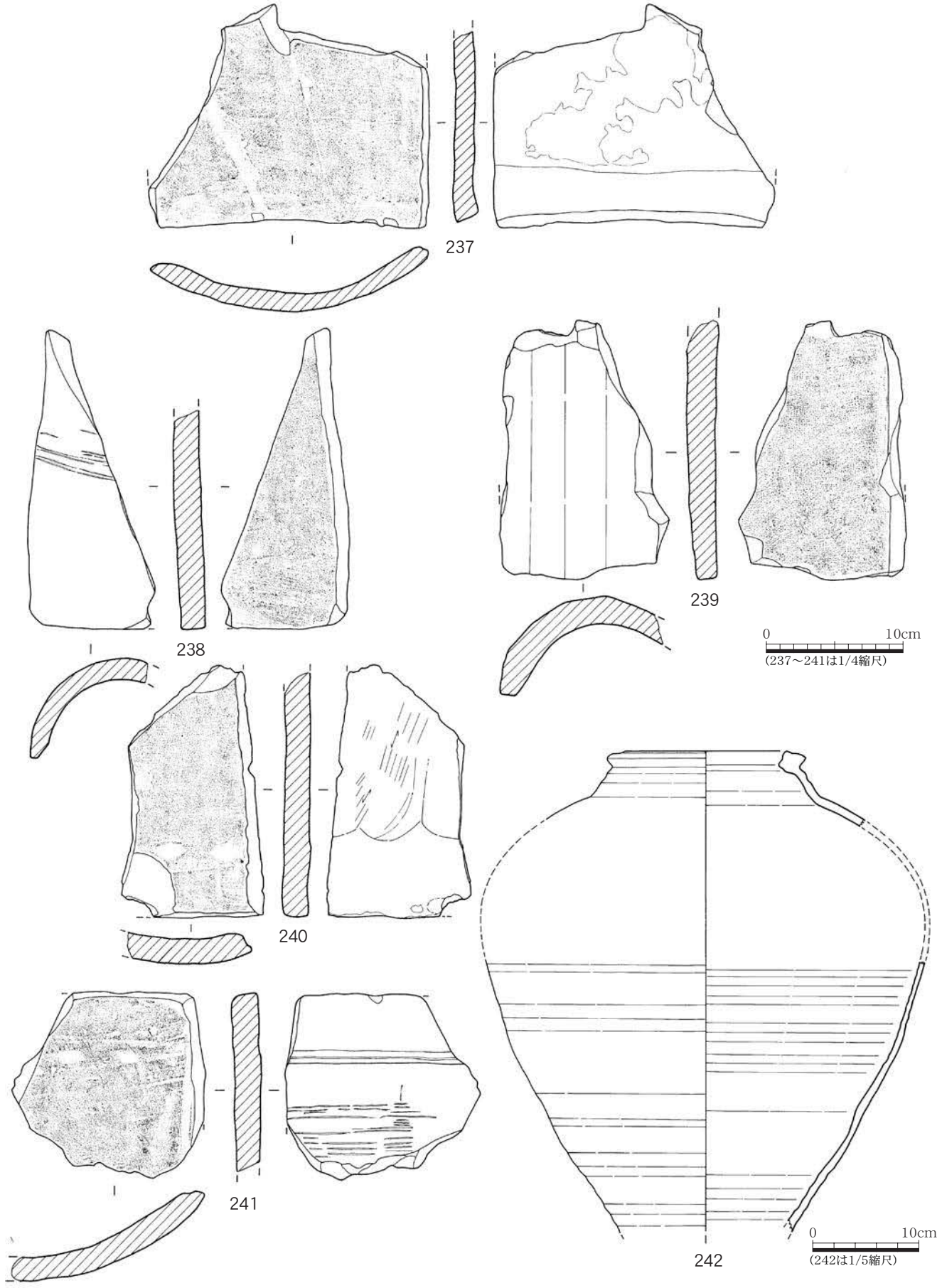
第86図　鎖之間北側地区出土遺物(9)赤褐色土

第12表　鎖之間北側地区出土遺物一覧（７）　　単位：cm/g

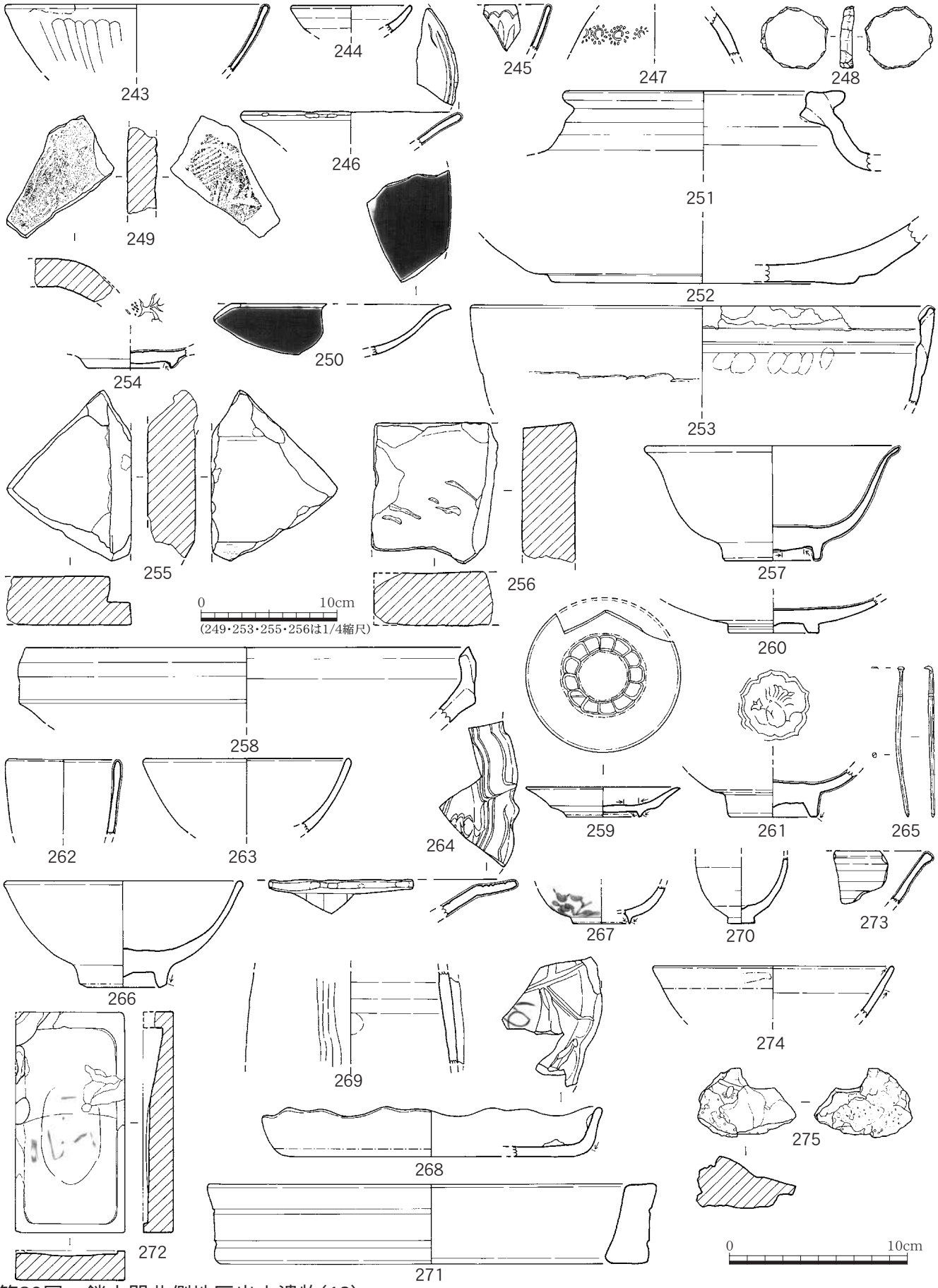
図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	底径・幅	器高・高さ	重さ	所　見	出土地点	
										グリッド遺構	層序
第86図　図版161～164	210	本土産陶器	擂鉢	口縁部	23.0	－	－	－	備前。15世紀後半～16世紀中頃。	C-9	赤褐色土
	211	瓦質土器	鉢	底部	－	18.8	－	－	内・外面ともナデ。		
	212			口縁部	－	－	－	－	外面に印花文。		
	213	円盤状製品		完形	3.3	3.1	0.9	14.4	タイ産褐釉陶器壷（15～16世紀）胴部の転用。内面は露胎。	D-10	
	214	石製品	石球		3.3	3.4	0.9	31.9	表面には凹凸が目立つ。琉球石灰岩製。	C-9	
	215			破片	－	－	－	402.0	表面は比較的平滑。花崗岩製。	D-8	
	216	土製品	坩堝		－	－	－	25.7	口径12cm前後。黒色・赤色の付着物。	C-9	
	217	骨製品	不明	完形	2.4	2.4	1.1	3.9	2mmの穴。椎骨を利用。		
	218	貝製品	貝匙状製品	破片	11.3	5.8	3.8	72.8	ヤコウガイ製。	D-8	
	219	金属製品	鉄鏃		7.4	1.4	－	11.0	鉄製。厚さ1.0cm。	D-9	
	220		八双金具		5.4	2.1	1.0	8.9	青銅製。文様らしきものがある。	C-9	
	221		蝶番	完形	4.0	5.3	－	8.8	3ヶ所に直径2mmの穴。一端に直径９mmの筒状部。青銅製。	D-8	
	222				3.2	4.3	－	11.7	3ヶ所に直径2mmの穴。一端に直径７mmの筒状部。222より一回り小さい。青銅製		
	223		砲弾	破片	22.2	4.6	1.7	364.1	鉄製。	D-9	
第87図　図版163・164	224	瓦	軒丸瓦		－	－	－		明朝系。	C-9	
	225		平瓦		－	－	－	－	凹・凸面とも糸切り痕・砂粒・ナデ。側面にも糸切り痕・ナデ。大和系。	D-10	
	226				－	－	－	－	凹・凸面とも糸切り痕・砂粒・ナデ。側面・ナデ。下端部はナデ。大和系。	C-9	
	227		雁振瓦		－	－	－	－	上面はタタキ、ナデ・砂粒。下面は布目痕・ナデ。傾きは不明。大和系か。		
	228				－	－	－	－	上面は縄目タタキ・ナデ・砂粒。下面は砂粒・ナデ。大和系か。	D-10	
	229		平瓦		－	－	－	－	凹面は外面は糸切り痕。凸面は矢羽状タタキ。凹面上端はナデ。高麗系。	C-9	
	230		軒丸瓦		－	－	－	－	明朝系。	D-10	
	231		軒平瓦		－	－	－	－	凸面はナデ。明朝系。	D-8	
	232				－	－	－	－		C-9	
	233				－	－	－	－	凹面は布目痕・ナデ。凸面はナデ。明朝系。		
	234		丸瓦		－	－	－	－	凸面はナデ、凹面は布目痕。側面はナデ。2.5cmの穴。明朝系か。		
	235				－	－	－	－	凸面はナデ、凹面は布目痕・ナデ。胎土に雲母を含む。明朝系。	D-8	
	236				－	－	－	－	凸・凹面ともナデ。明朝系。	C-9	



第87図　鎖之間北側地区出土遺物(10)赤褐色土



第88図　鎖之間北側地区出土遺物(11)237～241　赤褐色土、242　黒色砂礫土

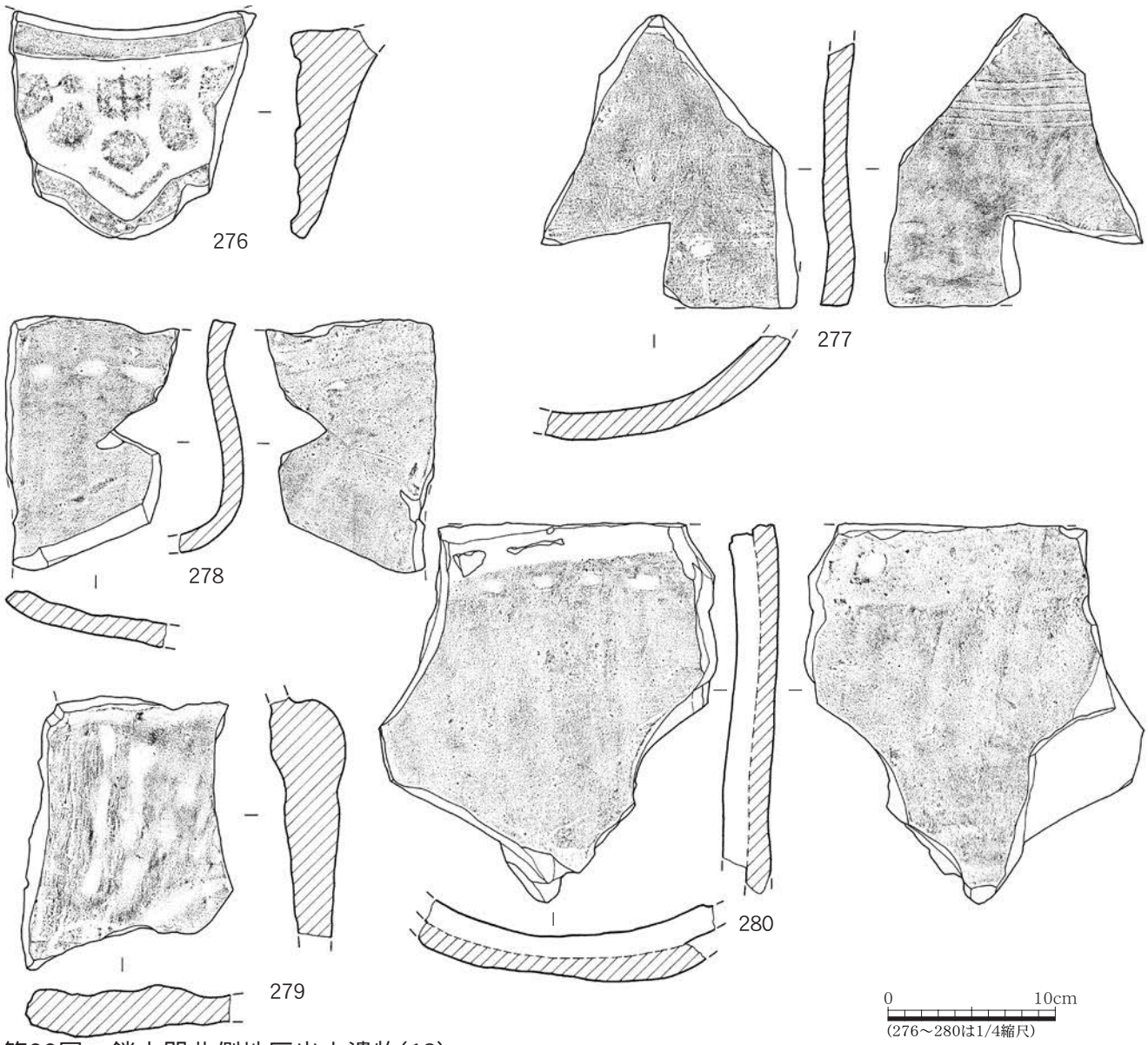


第89図　鎖之間北側地区出土遺物(12)

243・246・248・249　トレンチ1埋土、244・245・247・250～253・255・256　トレンチ2　1層、254　トレンチ3埋土、257～266　トレンチ21砂礫土・黒色砂礫土・埋土、267～272　砂礫土、273～275　ピット14埋土

第13表　鎖之間北側地区出土遺物一覧（８）　　単位：cm/g

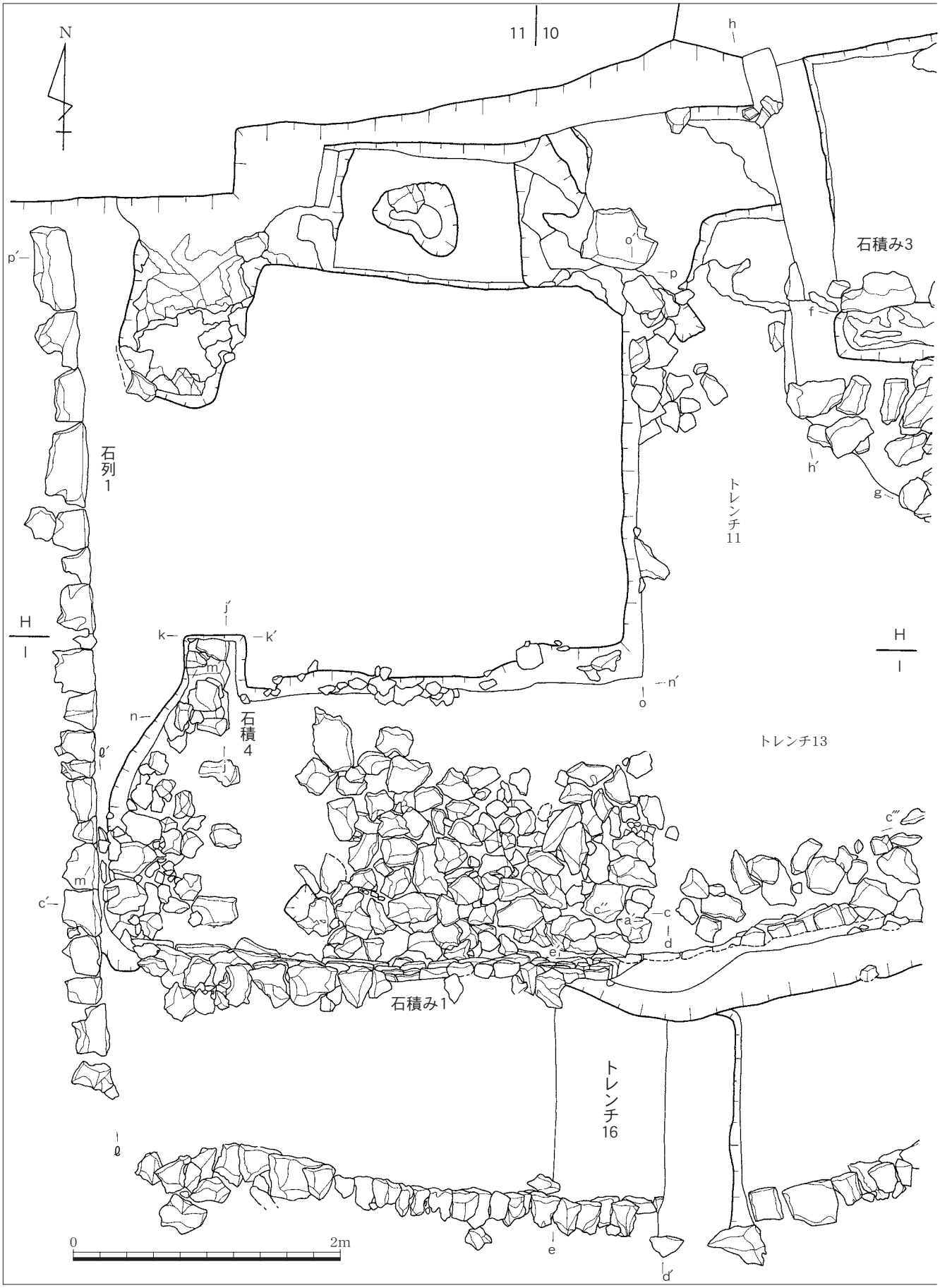
図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	底径・幅	器高・高さ	重さ	所　見	出土地点	
										グリッド遺構	層序
第88図　図版163・164	237	瓦	平瓦	破片	－	19.4	－	－	凹面は布目痕。凸面はナデ。明朝系。	D-8	赤褐色土
	238		丸瓦		－	－	－	－	凸面はナデ、凹面は布目痕。明朝系。	C-9	
	239				－	－	－	－		C-7	
	240		平瓦		－	－	－	－	凹面は布目痕、凸面はナデ。明朝系。	D-10	
	241				－	－	－	－	凹面は布目痕、凸面はナデ・沈線。明朝系。	C-9	
	242	中国産褐釉陶器	壷	口縁部	18.8	－	－	－	胴部径42cm、器高は47cm程度。	D-8	黒色砂礫土
第89図・図版165	243	中国産青磁	碗		14.8	－	－	－	焼成不良。外面に連弁文。15世紀後半～16世紀中頃。	C-10トレンチ１	埋土
	244	中国産白磁	皿		6.8	－	－	－	15世紀後半～16世紀中頃。	C-10トレンチ２	1層
	245	中国産青磁	碗		－	－	－	－	外面に連弁文。龍泉窯系。15世紀中頃～16世紀前半。		
	246		皿		12.4	－	－	－	15世紀中頃～16世紀前半。	C-10トレンチ１	埋土
	247	朝鮮半島産青磁	瓶	胴部	－	－	－	－	内面は露胎。外面に象嵌による花文。14世紀頃。	C-10トレンチ２	1層
	248	円盤状製品			－	3.4	0.7	13.7	明代。	C-10トレンチ１	埋土
	249	瓦	丸瓦	破片	－	－	－	－	凸面は矢羽状タタキ・ナデ。凹面は糸切り痕・砂粒跡。高麗系。		埋土
	250	中国産瑠璃釉	皿	口縁部	－	－	－	－	景徳鎮窯系。15～16世紀。	C-10トレンチ２	1層
	251	中国産褐釉陶器	壷		15.8	－	－	－	明代。		
	252	陶器	鉢か	底部	－	17.0	－	－	底部外面に圧痕。備前か。15～16世紀。		
	253	中国産陶器	鉢	口縁部	34.6	－	－	－	口唇部内面に漆喰状の白色付着物（籾殻状の圧痕あり）。福州閩江下流域産。明代。		
	254	中国産青磁	皿	底部	－	4.7	－	－	高台内は釉剥ぎ。内面に印花文。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。	C-10トレンチ３	埋土
	255	塼		破片	－	－	4.0	－	二方向に段あり。	C-10トレンチ２	1層
	256				－	－	4.0	－			



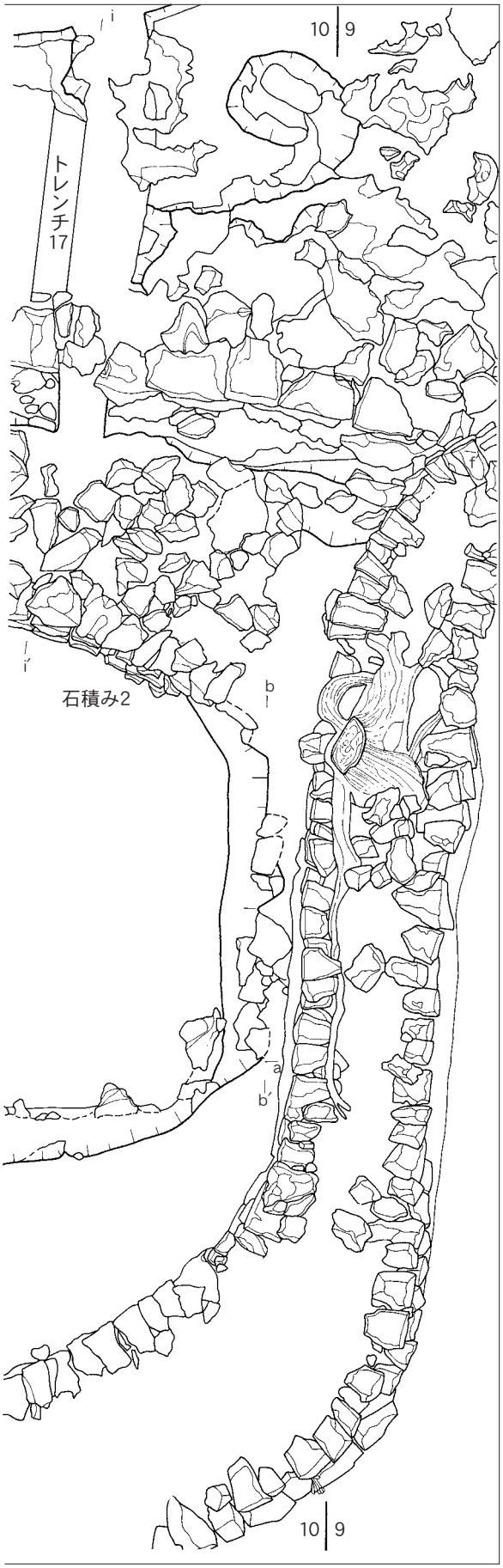
第90図　鎖之間北側地区出土遺物(13)階段1　埋土

第14表　鎖之間北側地区出土遺物一覧（9）　　単位：cm/g

図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	底径・幅	器高・高さ	重さ	所　見	出土地点	
										グリッド遺構	層序
第89図　図版165	257	中国産青磁	碗	口～底部	14.4	5.4	6.5	－	高台内は釉剥ぎ。14世紀後半～15世紀頃。	D-8 トレンチ21	砂礫土
	258	本土産陶器	擂鉢	口縁部	24.8	－	－	－	備前。15世紀末～16世紀中頃。		
	259	中国産白磁	皿	口～底部	8.7	4.3	1.7	－	底部内面の蛇の目釉剥ぎ部に白色付着物。その直下に線刻花文。畳付は露胎。景徳鎮窯系。16世紀～17世紀初頭。		黒色砂礫土
	260	中国産青磁		底部	－	5.0	－	－	外面は露胎。明代か。		埋土
	261		碗		－	4.8	－	－	畳付き～高台内は露胎。内面に印花文。15～16世紀前半。		黒色砂礫土
	262		不明	口縁部	6.6	－	－	－	瓶か。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀。		
	263		碗		11.8	－	－	－	15世紀後半～16世紀中頃。		
	264		盤		－	－	－	－	14世紀後半～15世紀中頃。		
	265	金属製品	簪	完形	8.5	0.4	－	3.2	さじ形。断面形は六角形。端部は尖る。		
	266	中国産青磁	碗	口～底部	13.4	4.9	6.1	－	畳付～高台内は露胎。粗製。15世紀～16世紀前半。		埋土
	267	本土産陶器		底部	－	3.3	－	－	畳付は露胎。関西系。明治以降。	D-6	砂礫土
	268		皿	口～底部	18.2	16.0	2.7	－	底部外面は露胎。関西系。19世紀以降。	C-8	
	269	褐釉陶器	瓶か	胴部	－	－	－	－	内面は露胎。外面に貼付け文。タイ産か。15～16世紀。	C-9	
	270	陶器	不明	底部か	－	1.5	－	－	壷か。内・外面ともナデ。付着物なし。	C-8	
	271	陶質土器か	不明	不明	－	－	－	－	最大径は25.2cm。胎土は橙色で。雲母を含み砂質。外面に沈線。	C-9	
	272	石製品	硯	破片	12.4	6.2	1.7	238.6	表面中央部は使用のためくぼみ、また墨のようなものが付着。裏面に「本一甲上間ウシ」の線刻銘。緑色片岩製。		
	273	中国産白磁	碗	口縁部	－	－	－	－	16～17世紀。	C-9 ピット14	埋土
	274	陶器			13.6	－	－	－	一部釉が剥げ落ちる。薩摩産か。江戸。		
	275	金属製品	鉄滓	破片	3.9	5.5	2.9	31.2	土壁らしきものが付着。黒色ガラス質で気泡がある。		
第90図　図版166	276	瓦	軒平瓦	破片	－	－	－	－	明朝系。	階段1	
	277		平瓦		－	－	－	－	凹面は布目痕、凸面はナデ。硬質。明朝系。		
	278				－	－	－	－	凹面は布目痕、凸面はナデ。焼成時？のゆがみあり。硬質。明朝系。		
	279				－	－	－	－	凹面は布目痕、凸面はナデ。焼成時？の膨張あり。硬質。明朝系。		
	280				－	－	－	－	二枚の平瓦が溶着。凹面は布目痕、凸面はナデ。焼成時？のゆがみ・膨張あり。硬質。明朝系。		
図版159・160	281	金属製品	鎖帷子		－	－	－	－	直径約1cm、厚さ3mmの輪からなる。	D-9	黒褐色土



第91図　鎖之間南側地区　遺構平面図

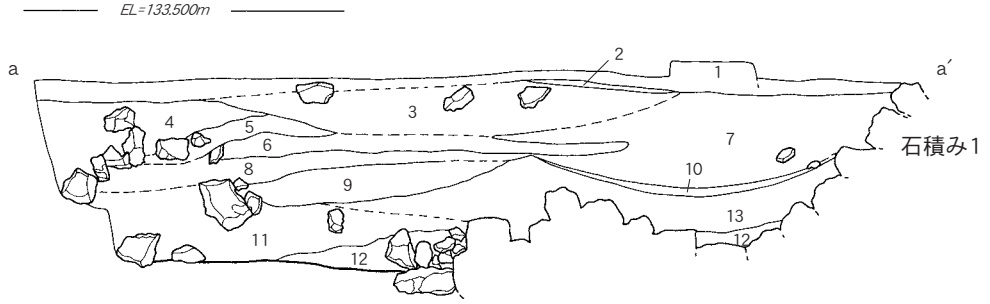


図版57　鎖之間南側地区　全景(北西から)

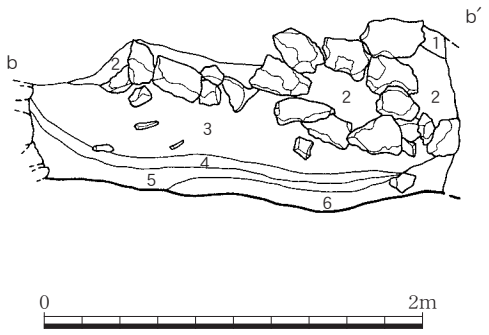
第４節　鎖之間南側地区の遺構と遺物

調査区南西側、H・I－10・11グリッドの範囲である。古図面によると、ここは庭園の西隅にあたる。まず表土を除去した後、樹木があった部分や砲弾跡と考えられる撹乱部分を中心にトレンチを設定し、下層の状況を調査した。間もなく**石積み１～３**が現れ、また獣・魚骨を大量に含む層を検出した。この層について土をふるいにかけた結果、獣･魚骨や玉が多く出土した。

第92図　トレンチ13　南壁土層図



第93図　トレンチ13　東壁土層図



図版58　I－10･11グリッド　遺構検出状況(北東から)

図番号	グリッド	土層名称	層序	色調	厚さ(cm)	土質・混入物	備考
92	I-10	トレンチ13 南壁	1	黒褐色	4～10	砂質土。サンゴ片、石灰岩小礫を多く含む。細砂粒を含む。	第93・95・96図の1層と対応。
			2	暗褐色	2	砂質土で締まりはない。サンゴ片を多く含む。	第95・96図の6層と対応。
			3	黒褐色	8～28	砂質土。赤褐色ブロック土、サンゴ片、石灰岩小礫を含む。	
			4	暗褐色	10～48	砂質土。サンゴ片、石灰岩小礫を少し含む。	第93図の2層と対応。
			5	にぶい赤褐色	4～12	粘質土。カタツムリ(?)、赤褐色ブロック土、サンゴ片、小礫を含む。	
			6	黒褐色	4～12	やや砂質土。赤褐色ブロック土、黄褐色ブロック土をやや多く含む。炭、サンゴ片、石灰岩小礫を含む。	
			7	暗褐色	8～50	砂質土。サンゴ片を多く含む。魚骨を少し含む。	第93図の3層、第95・96図の3層、第105図の5層、第106図の4層と対応。
			8	暗褐色	4～14	やや砂質土。石灰岩小礫を少し含む。黒瓦を含む。	
			9	黒褐色	4～19	砂質土。	
			10	－	4	石灰岩小礫を多く含む。	礫層。第95・96図の4層と対応。
			11	黒褐色	10～38	砂質土。	第93図の6層と対応。
			12	黒褐色	4～14	砂質土。二枚貝、石灰岩小礫を含む。	
			13	黒褐色	10～44	砂質土。11層に比べ、やや茶色っぽく魚骨も少ない。赤色磚を含む	第95・96図の5層と対応。
93	I-10	トレンチ13 東壁	1	黒褐色 (10YR3/1)	12	砂質土。褐釉陶器、黒瓦、細砂粒を含む。	第92・95・96図の1層と対応。
			2	暗褐色 (10YR3/3)	6～32	砂質土。サンゴ片、石灰岩小礫を少し含む。	第92図の4層と対応。
			3	褐色 (10YR4/4)	10～39	砂質土。黒瓦、赤褐色ブロック土を含む。	第92図の7層、第95・96図の3層、第105図の4層、第106図の4層と対応。
			4	褐色 (10YR4/4)	4～8	砂質土。魚骨、細砂粒を多く含む。炭を含む。	第106図の5層と対応。
			5	黒褐色 (10YR3/2)	4～22	砂質土。サンゴ片、石灰岩小礫。	第106図の7層と対応。
			6	黒褐色 (10YR3/2)	8～10	砂質土。石灰岩小礫を多く含む。	第92図の11層と対応。

1　石積み１（I－10・11 グリッド　第 94 ～ 96 図　図版 58 ～ 60・149）

内郭城壁の内側に沿って検出された石積みである。調査開始当初、石積み１の直上には沖縄戦以後に積まれたと考えられる雑な石積みがあったため、これらを全て撤去した。

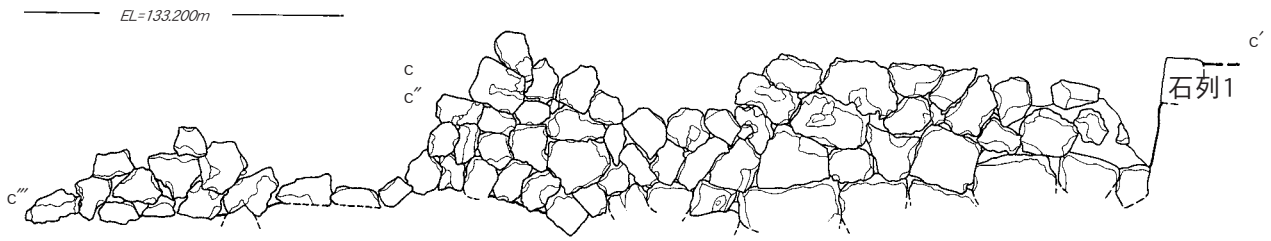
石積み１は東西方向に延びており、西側は後述する石列１の下にもぐり込む。東側は破損しているため不明であるが、やや北側にカーブしている。あいかた積みで積まれており、明確な天端は確認できなかった。

石積み１と後述する石積み７との間に設定したトレンチ 16 によると、石積み１の裏込めには 30 ㎝前後の石灰岩礫を用いていることがわかった。石積み７は加工された面を持つあいかた積みであるが、トレンチ 16 を 20 ㎝ほど掘り下げた段階で、石積み１の裏込め石と同様な無加工の石を積んでいることが判明した。

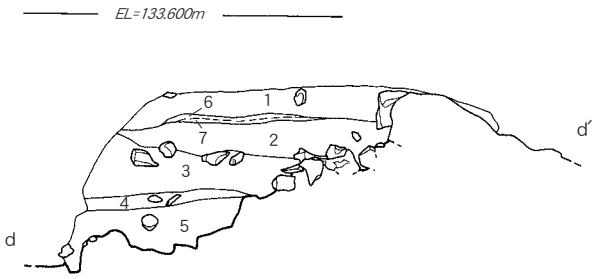
石積み１の北側に設定したトレンチ 13 を掘り下げたところ、一面に石灰岩礫が現れた。この石灰岩礫の検出面において、人工的に加工された面を持つ石が全体の１割ほど確認されたことから、これらは石積み１を構成していた石であった可能性がある。

石積み１は、すぐ南側にある内郭城壁（石積み７）と平行するかのように北側にカーブしていることから、両者は一連の遺構である可能性がある。トレンチ 16 の調査によって、石積み１の裏込め石の上に石積み７が積まれたような状況が確認された。そうすると、石積み１を撤去した後、さらに南側に石積み７を造ったという解釈も可能になり、内郭城壁の拡張工事であった可能性が高い。

第94図　石積1　立面図

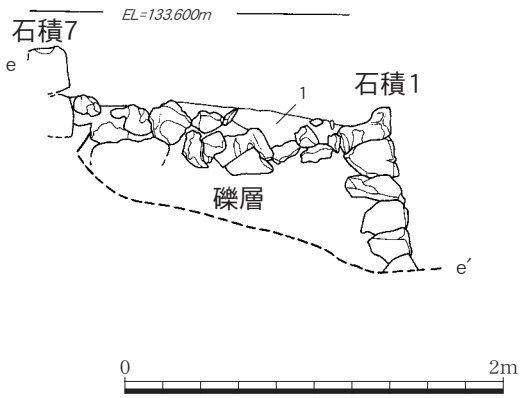


第95図　トレンチ16　東壁土層図



図版59　トレンチ16　東壁(西から)

第96図　トレンチ16　西壁土層図



図版60　トレンチ16　西壁(北東から)

図番号	グリッド	土層名称	層序	色調	厚さ(cm)	混入物	備考
95 96	I-10	トレンチ16 東壁・西壁	1	−	8～18	−	第92・93図の1層と対応。
			2	−	4～20	−	−
			3	−	4～32	−	第92図の7層、第93図の3層、第105図の5層、第106図の4層と対応。
			4	−	4～6	−	第92図の10層と対応。
			5	−	11～28	−	第92図の13層と対応。
			6	−	3	−	第92図の2層と対応。
			7	−	2	−	−

2　石積み２（H－10 グリッド　第 98 図　図版 61・149・150）

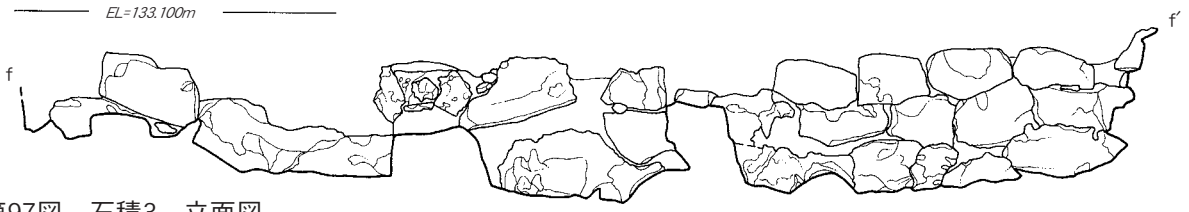
石積み２はあいかた積みに近い野面積みである。西端については破壊されたためか残りが悪い。東端については、内郭城壁（石積み７）の下に潜り込むと考えられる。石積みの下部については深く掘り下げていないため不明である。石積み２のすぐ北側で検出した石積み３が岩盤上に造られていることを考えると、石積み３も岩盤上に積まれている可能性が高い。石積み２の裏込め部分からは、15 ～ 16 世紀頃の陶磁器とともに、鎧の小札や刀子といった金属製品が出土した（第 110 図　図版 169　81 ～ 96）。

3　石積み３（H－10 グリッド　第 97 図　図版 149・150）

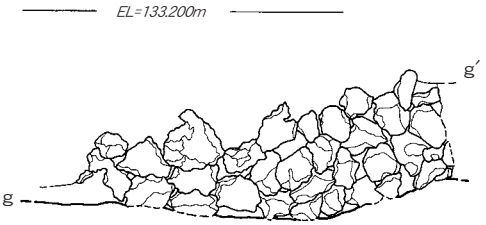
石積み３は、石積み２の北側にほぼ平行して造られている。岩盤の上にあいかた積み風に２段積んでいる。石積み２に比べ石が大きく丁寧に加工されている。

石積み２・３については、石の大きさや積み方こそ違うが、面を南側一方に持ち土留め状の機能を持つと考えられ、東西方向に積まれているという共通点がある。

図番号	グリッド	土層名称	層序	色調	厚さ(cm)	混入物	備考
99	H-10	ﾄﾚﾝﾁ11 東壁	2	暗褐色 (10YR3/3)	4～22	砂質土。石灰岩礫、サンゴ片、赤瓦を多く含む。	
			3	赤褐色	4	粘土。	地山。
			4	暗褐色 (10YR3/4)	4～20	砂質土。石灰岩小礫を少し含む。	
			5	暗褐色 (10YR3/3)	8～18	砂質土。ガラス片、黒瓦、赤瓦、石灰岩小礫、サンゴ片を含む。	
			6	－	30	砂質土。石灰岩小礫、地山の土をブロック状に含む。	
100	H-10	ﾄﾚﾝﾁ17 東壁	1	黒褐色 (10YR3/2)	4～12	砂質土。石灰岩小礫、サンゴ片をやや多く含む。	
			2	褐色 (10YR4/4)	4～13	砂質土。石灰岩小礫、サンゴ片をやや多く含む。	
			3	黒色 (10YR2/1)	6～12	砂質土。炭を多く、焼土を少し含む。	
			4	暗褐色 (7.5YR3/3)	6～12	粘質土。上層に地山の土をブロック状に含む。	
			5	赤褐色	6	－	地山。
			6	暗褐色 (7.5YR3/4)	12～22	粘質土。目立った混入物はなし。	
			7	暗赤褐色 (5YR3/4)	8～44	粘質土。石灰岩小礫を多く含む。	
			8	暗褐色 (7.5YR3/3)	12	砂質土。石灰岩小礫を多く含む。	



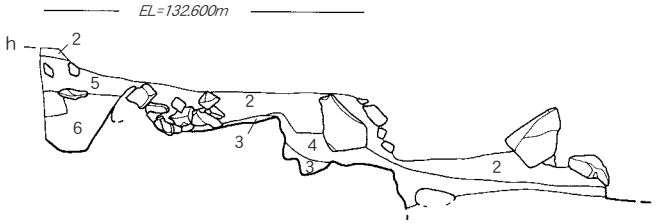
第97図　石積3　立面図



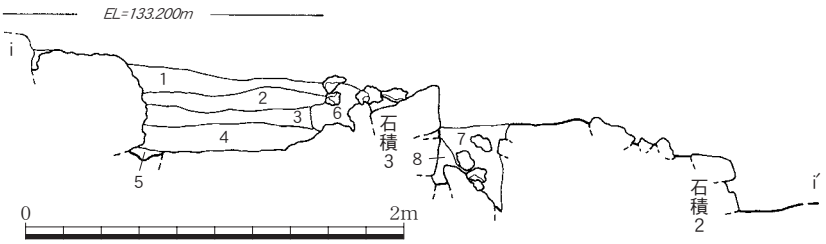
第98図　石積2　立面図

図版61　石積2・3(南から)

図版62　トレンチ11　東壁(北西から)



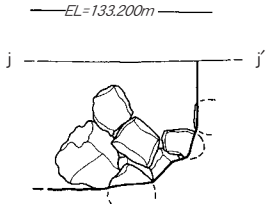
第99図　トレンチ11　東壁土層図



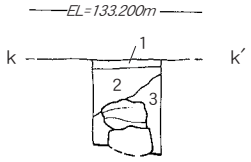
第100図　トレンチ17　東壁土層図

図版63　石積４(南東から)

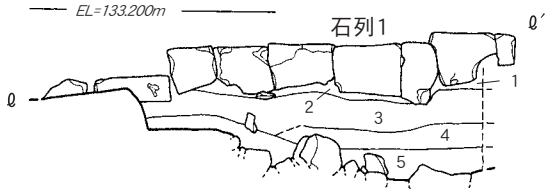
第101図　石積4　立面図



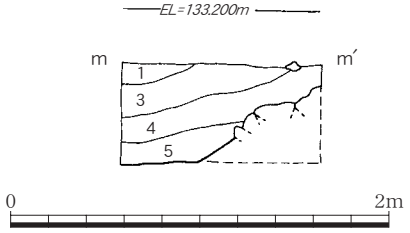
第102図　トレンチ18　北壁土層図



第103図　トレンチ13　西壁土層図



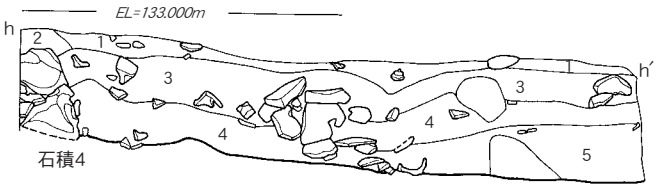
第104図　トレンチ13　北西壁土層図



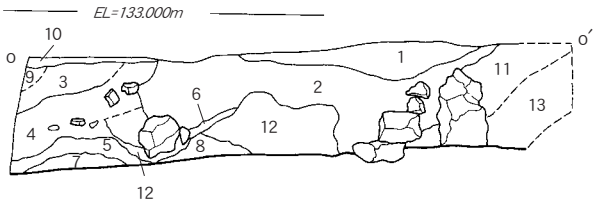
図番号	グリッド	土層名称	層序	色調	厚さ(cm)	混入物	備考
102	I−11	トレンチ18 北壁	1	−	4	−	第105図の2層と対応。
			2	−	4～24	−	第105図の1層と対応。
			3	−	15～42	−	第105図の4層、第106図の3層と対応。
103 104	I-11	トレンチ13 西壁・北西壁	1	暗褐色 (10YR3/3)	4～12	砂質土で締まりはない。暗褐色土をブロック状に含む。石灰岩小礫、サンゴ片を少量含む。	
			2	黒褐色 (10YR3/2)	2～8	砂質土で締まりはない。炭、赤褐色土、黄褐色土を小粒状に含む。石灰岩小礫を含む。	
			3	暗褐色 (10YR3/3)	4～19	砂質土で締まりはない。炭、赤褐色土、黄褐色土を小粒状に含む。石灰岩小礫を含む。	
			4	−	8～16	−	第105図の2層と対応。
			5	暗褐色 (10YR3/4)	6～18	砂質土。炭を少し含む。石灰岩礫を多く含む。細かい砂粒を含む。	

図版64　トレンチ11西壁・トレンチ13北壁土層(南東から)

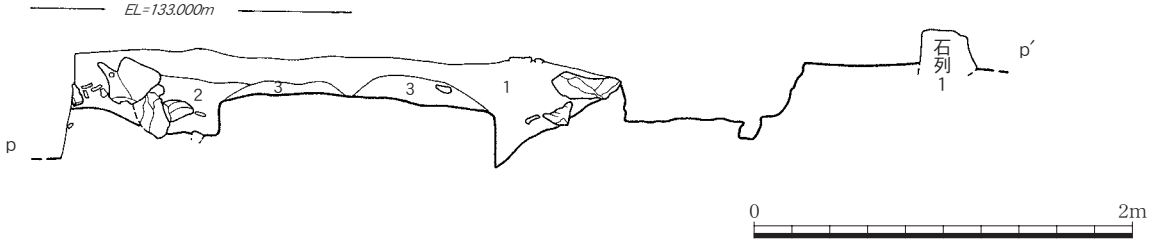
第105図　トレンチ13　北壁土層図



第106図　トレンチ11　西壁土層図



第107図　トレンチ12　南壁土層図



4　石積み4（I－11グリッド　第101・102図　図版63・150）

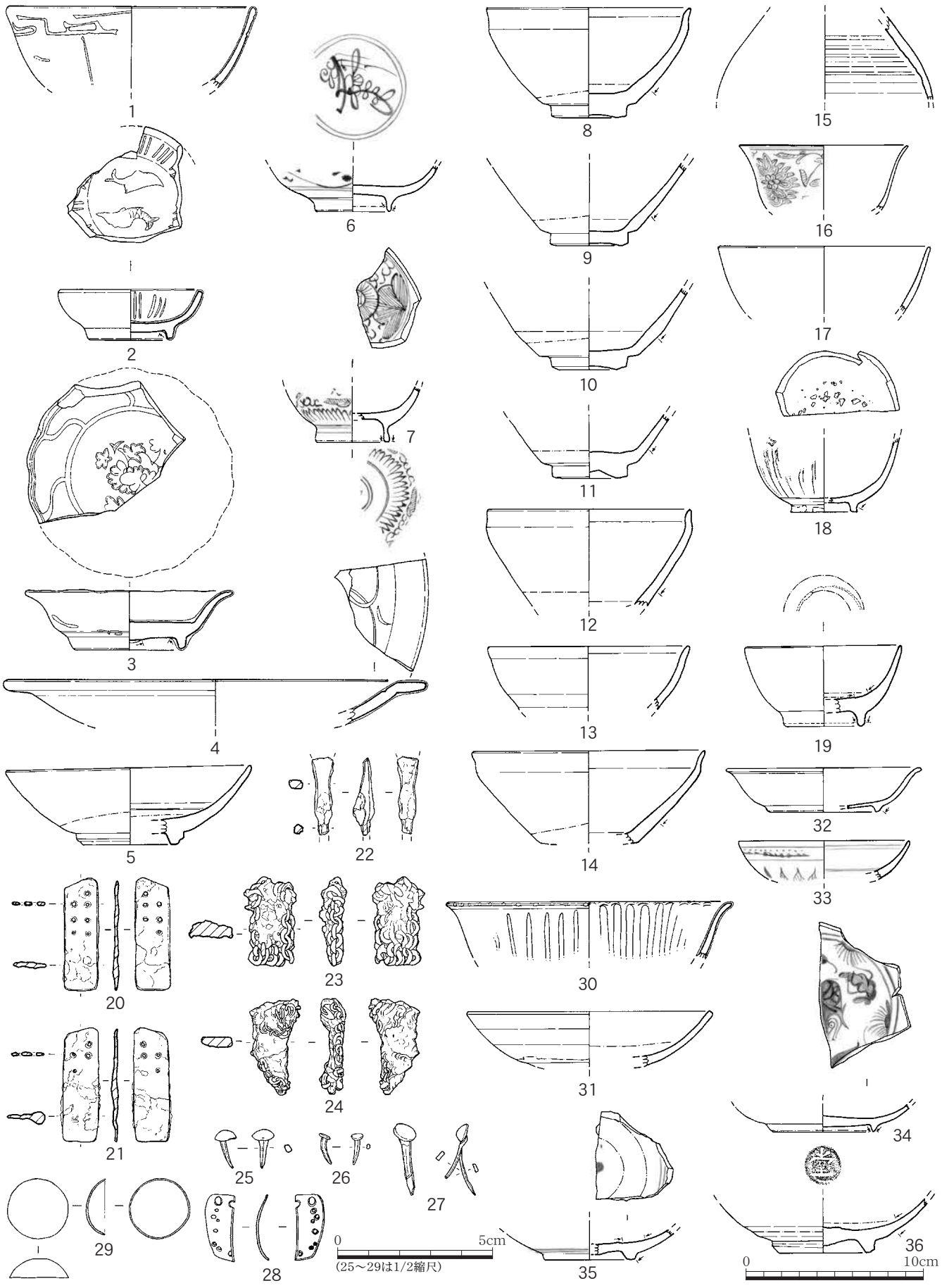
石積み4は、I－11グリッドにトレンチ18を設定した際に確認した。一部しか確認していないため詳細は不明であるが、あいかた積みである。

5　石列1（H－11グリッド　第103・104図　図版150）

過去の調査ですでに検出されていた遺構である。切石が使われており、その天端は揃っていない。本来は数段の石を積んだ石積みであったと考えられる。古図面によるとこの遺構は、京の内地区と鎖之間地区とを区切る石積みであったことがわかる。

石列1を検出した部分を「旧首里城図」（第3図）で見ると、そこには石列はなく、少し西に行ったところに石列らしきものがある。おそらく「旧首里城図」が作成された時点で、石列1はすでになかった可能性が高い。

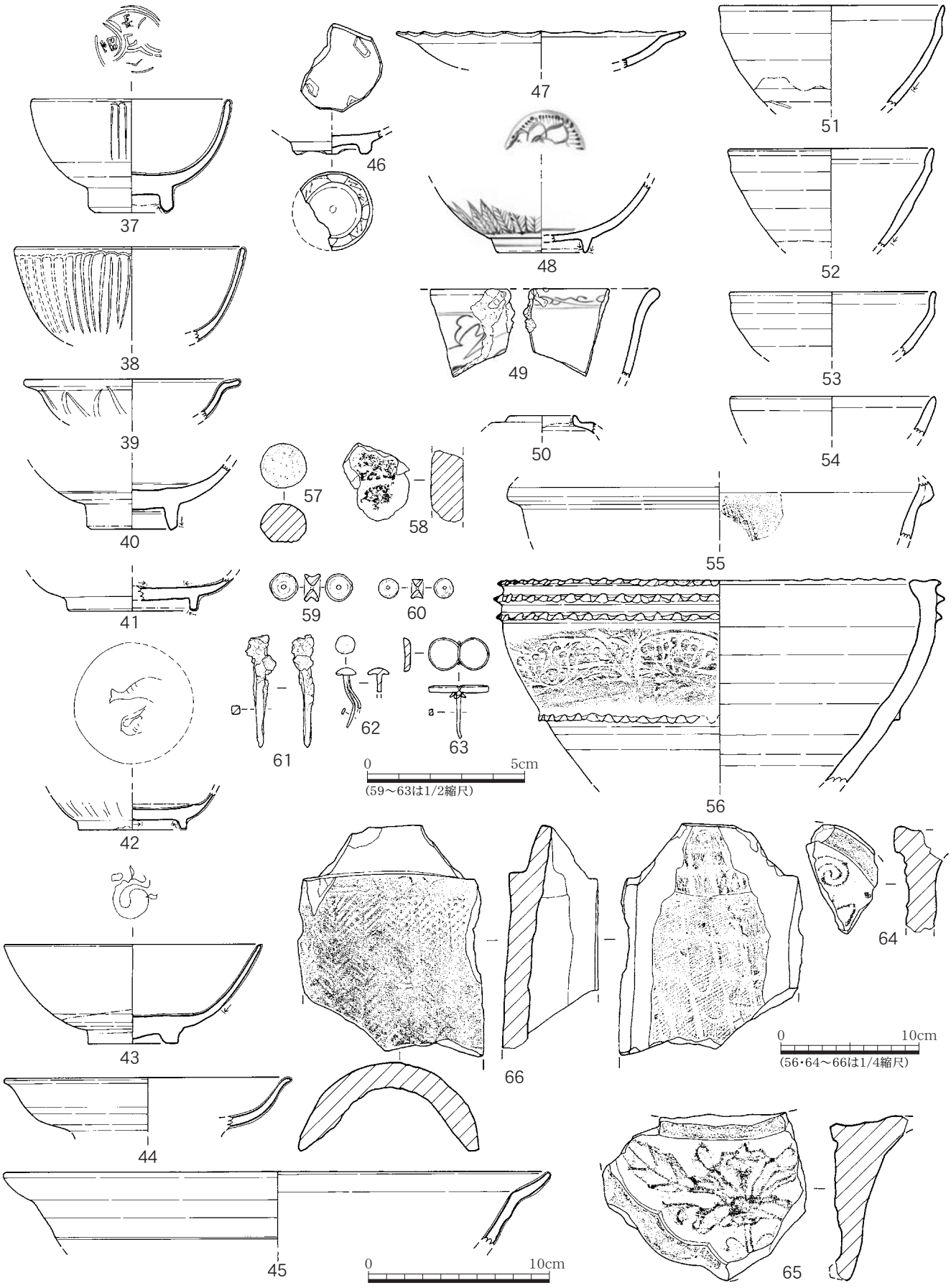
図番号	グリッド	土層名称	層序	色調	厚さ(cm)	混入物	備考
105	H-10	トレンチ13 北壁	1	−	4～17	−	第102層の2層、第106図の10層と対応。
			2	黒色 (10YR2/1)	10～14	砂質土。 赤褐色土(焼土)を含む。	第102図の1層と対応。
			3	−	15～30	−	第106図の9層と対応。
			4	−	9～30	−	第102層の3層、第106図の3層と対応。
			5	−	16～30	−	第92図の7層、第93図の3層、第95・96図の3層、第106図の4層と対応。
106	H-10	トレンチ11 西壁	1	黒褐色 (10YR2/2)	4～20	砂質土。サンゴ片を多く含む。	
			2	暗褐色 (7.5YR3/3)	15～43	砂質土。サンゴ片を多く含む。	第107図の1層と対応。
			3	褐色 (10YR4/4)	12～16	粘質土で固く締まる。赤瓦、炭を少し含む。	第102図の3層、第105図の4層と対応。
			4	暗褐色 (10YR3/4)	15～26	砂質土で締まりはない。1mm前後の砂粒?魚骨、赤瓦、黒瓦を含む。	第92図の7層、第93図の3層、第95・96図の3層、第105の5層と対応。
			5	暗褐色 (10YR3/4)	6～9	砂質土。1mm前後の砂粒?魚骨を多く含む。サンゴ片、石灰岩小礫を含む。	第93図の4層、第94図の5層と対応。
			6	暗褐色 (10YR3/4)	2～5	粘質土。1mm前後の砂粒?魚骨を多く含む。サンゴ片、石灰岩小礫を含む。	
			7	暗褐色 (10YR3/4)	4～8	砂質土。魚骨を多く含む。	第93図の5層、第106図の3層と対応。
			8	−	7～12	−	第106図の1層と対応。
			9	黄褐色 (10YR3/3)	10	砂質土で締まりはない。ヤコウガイの蓋、チョウセンサザエを含む。	第105図の3層と対応。
			10	黒色 (10YR2/1)	3～5	砂質土。赤褐色土(焼土)を含む。	第102図の2層、第105図の1層に対応。
			11	暗褐色 (10YR3/3)	18～30	砂質土。13層と同じ土だが、遺物をあまり含まない。	
			12	褐色 (7.5YR4/4)	24～32	粘質土で固く締まる。石灰岩小礫を少量含む。	第107図の3層と対応。
			13	暗褐色 (10YR3/3)	10～36	砂質土。青磁、獣骨、天目茶碗、鉄器、ジーファー、サンゴ片、石灰岩礫を含む。	
107	H-10	トレンチ12 南壁	1	−	8～54	−	第106図の2層と対応。
			2	(10YR3/2)	7～38	粘質土。炭、石灰岩小礫、焼土を含む。	
			3	−	6～14	−	第106図の12層と対応。



第108図　鎖之間南側地区出土遺物(1) 1～29 トレンチ11埋土、30～35 トレンチ12埋土、36 トレンチ13埋土

第15表　鎖之間南側地区出土遺物一覧（1）　　単位：cm/g

図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	底径・幅	器高・高さ	重さ	所見	出土地点	
										グリッド遺構	層序
第108図 図版167・168	1	中国産青磁	碗	口縁部	14.2	－	－	－	外面に雷文帯。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。	H-10 ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
	2	中国産青磁	皿	口～底部	8.2	4.8	2.9	－	高台内は釉剥ぎ。内面に双魚文。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。		
	3	中国産青磁	皿	口～底部	11.8	6.4	3.4	－	高台内は蛇の目状に釉剥ぎ。内面に印花文。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。		
	4	中国産青磁	盤	口縁部	24.0	－	－	－	内面に草花文。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。		
	5	中国産白磁	碗	口～底部	13.6	5.4	4.5	－	底部内・外面は露胎。福建省招武窯系。16世紀頃。		
	6	中国産染付	碗	底部	－	4.2	－	－	畳付は露胎。景徳鎮窯系。15世紀。		
	7	中国産染付	碗	底部	－	4.2	－	－	畳付は露胎。景徳鎮窯系。18世紀末～19世紀。		
	8	中国産黒釉陶器	碗	口～底部	11.6	4.3	6.2	－	底部外面は露胎。明代。		黄褐色土
	9	中国産黒釉陶器	碗	底部	－	4.5	－	－			
	10	中国産黒釉陶器	碗	底部	－	4.3	－	－			
	11	中国産黒釉陶器	碗	底部	－	4.3	－	－	底部外面は露胎。底部内面に砂粒が付着。明代。		
	12	中国産黒釉陶器	碗	口縁部	11.6	－	－	－	熱を受けている。底部外面は露胎。明代。		
	13	中国産黒釉陶器	碗	口縁部	11.4	－	－	－	明代。		埋土
	14	中国産黒釉陶器	碗	口縁部	13.2	－	－	－	熱を受けている。底部外面は露胎。明代。		黄褐色土
	15	中国産褐釉陶器	袋物	胴部	－	－	－	－	内面は露胎。明代。		
	16	中国産染付	碗	口縁部	9.8	－	－	－	外面に草花文。景徳鎮窯系。18世紀後半～19世紀。		埋土
	17	中国産染付	碗	口縁部	12.0	－	－	－	景徳鎮窯系。16世紀。		
	18	沖縄産陶器	碗	底部	－	3.8	－	－	上焼。底部内面に粘土粒が付着。畳付～高台内は露胎。外面に象嵌文様。		
	19	沖縄産陶器	碗	口～底部	9.0	4.2	4.6	－	上焼き。底部内面は蛇の目状の釉剥ぎ。畳付にアルミナ。内・外面とも白化粧。		
	20	金属製品	小札	破片	6.42	1.98	－	12.60	穴が13箇所に空けられていると考えられる。鉄製。		
	21	金属製品	小札	破片	6.39	2.19	－	13.40	鉄製。		
	22	金属製品	鏃	破片	4.28	1.19	1.15	8.16			
	23	金属製品	鎖帷子	破片	5.18	2.93	1.52	19.47	直径9mmの輪からなる。		
	24	金属製品	鎖帷子	破片	5.37	2.30	1.50	13.36	直径6mmの輪からなる。		
	25	金属製品	鋲	完形	1.94	0.82	－	0.68	頭部中心から少しずれて身部が付く。頭部はドーム形で金箔。身部断面形は四角形。		
	26	金属製品	鋲	完形	1.17	0.45	－	0.26	頭部は平ら。		
	27	金属製品	鋲	破片か	2.60	0.80	－	1.23	身部は二股。		
	28	金属製品	不明	破片か	2.55	1.11	0.70	1.67	大小の穴がある。		
	29	金属製品	不明	完形	2.13	2.15	0.85	2.89			
	30	中国産青磁	碗	口縁部	16.2	－	－	－	内・外面に蓮弁文。口唇部に刻み目。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。	H-11 ﾄﾚﾝﾁ12	埋土
	31	中国産白磁	皿	口縁部	13.8	－	－	－	福建省招武窯系。16世紀頃。		
	32	中国産白磁	皿	口～底部	11.0	6.0	3.5	－	畳付～高台内は露胎。景徳鎮窯系。16世紀。		
	33	中国産染付	皿	口縁部	9.6	－	－	－	碁笥底。景徳鎮窯系16世紀前半～中頃。		
	34	中国産染付	皿	底部	－	6.0	－	－	畳付は露胎。景徳鎮窯系。15世紀前半～16世紀中頃。		
	35	中国産染付	皿	底部	－	5.1	－	－	底部内面は蛇の目状の釉剥ぎ。畳付～高台内は露胎。福建系。16世紀後半。		
	36	中国産白磁	皿	底部	－	5.8	－	－	底部内面に「堂」の印花文。招武窯系。16世紀。	ﾄﾚﾝﾁ13	

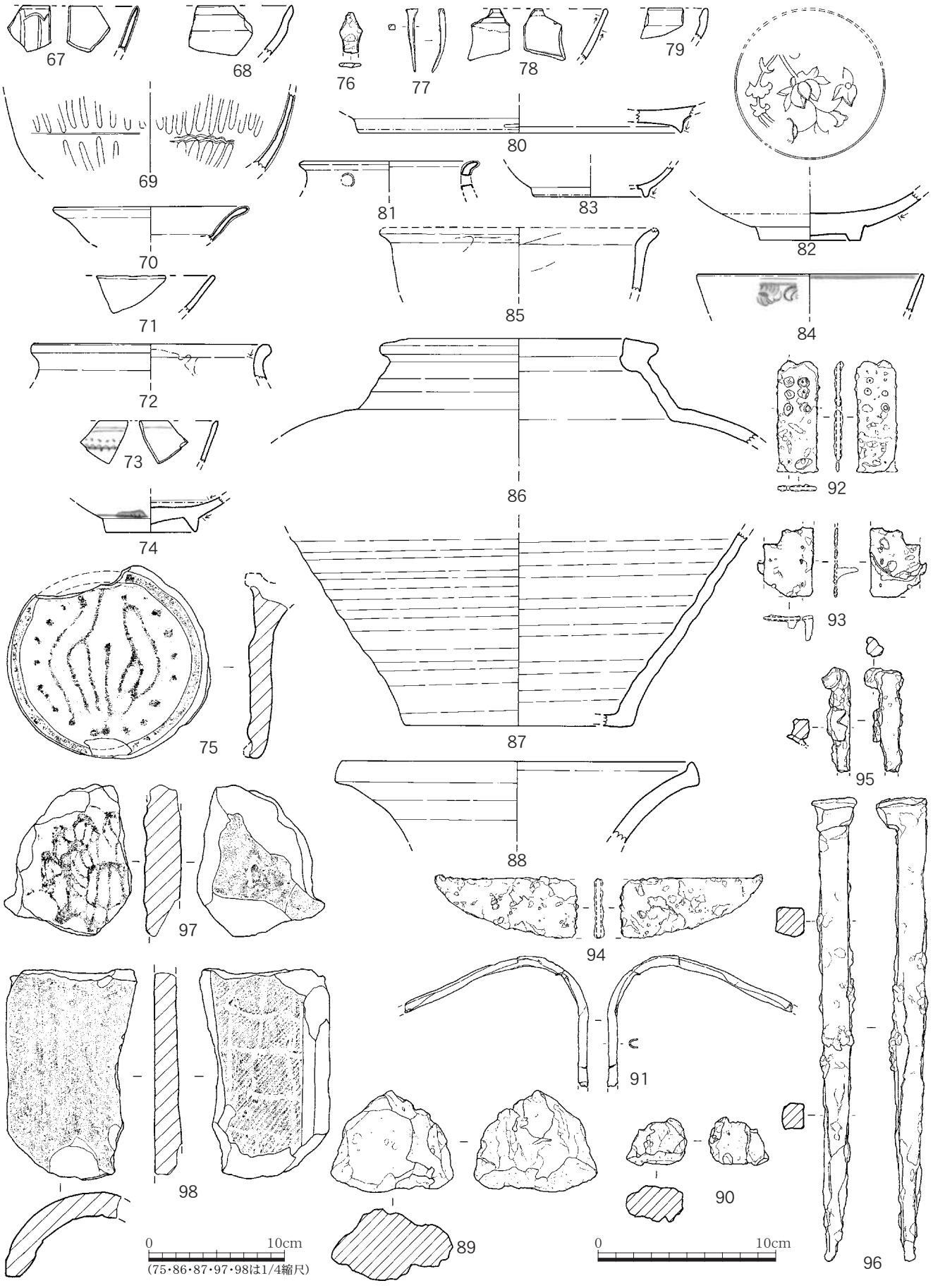


第109図　鎖之間南側地区出土遺物(2)トレンチ13埋土

第16表　鎖之間南側地区出土遺物一覧（２）

単位：cm/g

図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	底径・幅	器高・高さ	重さ	所　見	出土地点	
										グリッド遺構	層序
第109図 図版167・168	37	中国産青磁	碗	口～底部	13.0	6.3	4.8	－	高台内は露胎。外面に蓮弁文、内面に「長命富貴」銘。15世紀後半～16世紀中頃。	I-10 ﾄﾚﾝﾁ13	埋土
	38			口縁部	11.6	－	－	－	外面に蓮弁文。15世紀後半～16世紀中頃。		
	39		皿		12.0	－	－	－	外面に蓮弁文。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀前半。		黄褐色土
	40		碗	底部	－	5.0	－	－	畳付～高台内は露胎。15世紀頃。		埋土
	41		皿	底部	－	7.2	－	－	底部内面は蛇の目状に釉剥ぎ。高台内は露胎。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。		
	42				－	6.0	－	－	底部内面は蛇の目状に釉剥ぎ。外面に蓮弁文。内面に双魚文。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。	I-11 ﾄﾚﾝﾁ13	黄褐色土
	43		碗	口～底部	14.4	5.0	5.5	－	底部外面は露胎。招武窯系。15～16世紀頃。	I-10 ﾄﾚﾝﾁ13	埋土
	44		皿	口縁部	12.2	－	－	－	14世後半～15世紀中頃。		
	45				30.4	－	－	－	15～16世紀。		
	46	中国産白磁		底部	－	4.4	－	－	切り高台。底部外面は露胎。底部内面に目跡。招武窯系。15～16世紀中頃。		
	47			口縁部	16.0	－	－	－	16世紀。	I-10 ﾄﾚﾝﾁ13	埋土
	48	中国産染付	碗	底部	－	5.0	－	－	畳付は露胎。外面に蕉葉文。景徳鎮窯系。16世紀前半～中頃。		
	49	ベトナム産染付	鉢	口縁部	－	－	－	－	熔けた金属のようなものが、表面・割れ面に付着。内面に唐草文。15世紀頃。	I-11 ﾄﾚﾝﾁ13	灰褐色土
	50	中国産陶器	袋物		3.6	－	－	－	畳付～高台内は露胎。15世紀頃。	I-10 ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
	51	中国産黒釉陶器	碗		12.4	－	－	－	底部外面は露胎。明代。	I-11 ﾄﾚﾝﾁ13	黄褐色土
	52				11.4	－	－	－	底部外面は露胎。明代。	I-11ﾄﾚﾝﾁ13 H-10ﾄﾚﾝﾁ11	黄褐色土
	53				11.2	－	－	－	明代。	I-11 ﾄﾚﾝﾁ13	黄褐色土
	54				11.2	－	－	－			
	55	陶器	不明		23.6	－	－	－	擂鉢か。薩摩～沖縄産。17世紀か。	I-10 ﾄﾚﾝﾁ13	埋土
	56	瓦質土器	鉢		32.6	－	－	－	内･外面ともナデ。	I-10 ﾄﾚﾝﾁ 13	灰褐色土
	57	石製品	石球	完形か	2.36	2.53	2.18	11.46	表面は比較的平滑。琉球石灰岩製。		埋土
	58	土製品	不明	破片	4.36	3.52	1.84	25.76			
	59	骨製品		完形	0.99	0.97	0.54	0.22	椎骨を利用。		
	60				0.74	0.76	0.41	0.14			
	61	金属製品	釘		4.20	0.80	－	2.66	鉄製。		
	62		鋲		2.15	0.73	－	0.72	頭部に金箔。青銅製。		
	63		不明		1.70	2.30	2.20	4.54	針金が巻きつく。青銅製。		
	64	瓦	軒丸瓦	破片	－	－	－	－	明朝系。		
	65		軒平瓦		－	－	－	－	凹・凸面ともナデ。明朝系。		
	66		丸瓦		－	13.0	－	－	凸面は矢羽タタキ、ナデ。凹面は糸切り痕、布目痕、ナデ。高麗系。	I-11 ﾄﾚﾝﾁ13	灰褐色土

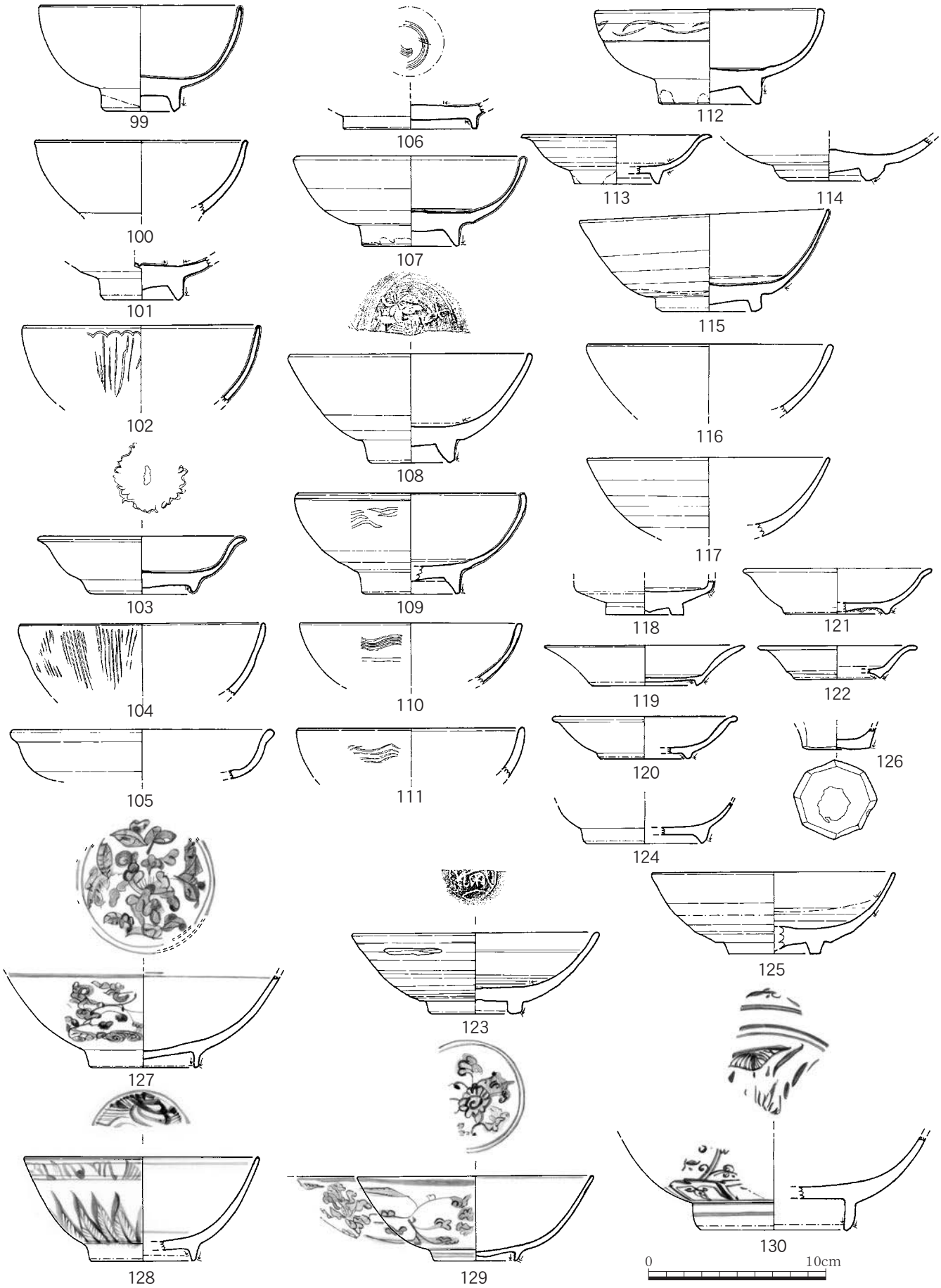


第110図　鎖之間南側地区出土遺物(3)67～77 トレンチ13埋土、78～80・97 石積3裏込め土、81～96・98 石積2裏込め土

第17表　鎖之間南側地区出土遺物一覧（3）

単位：cm/g

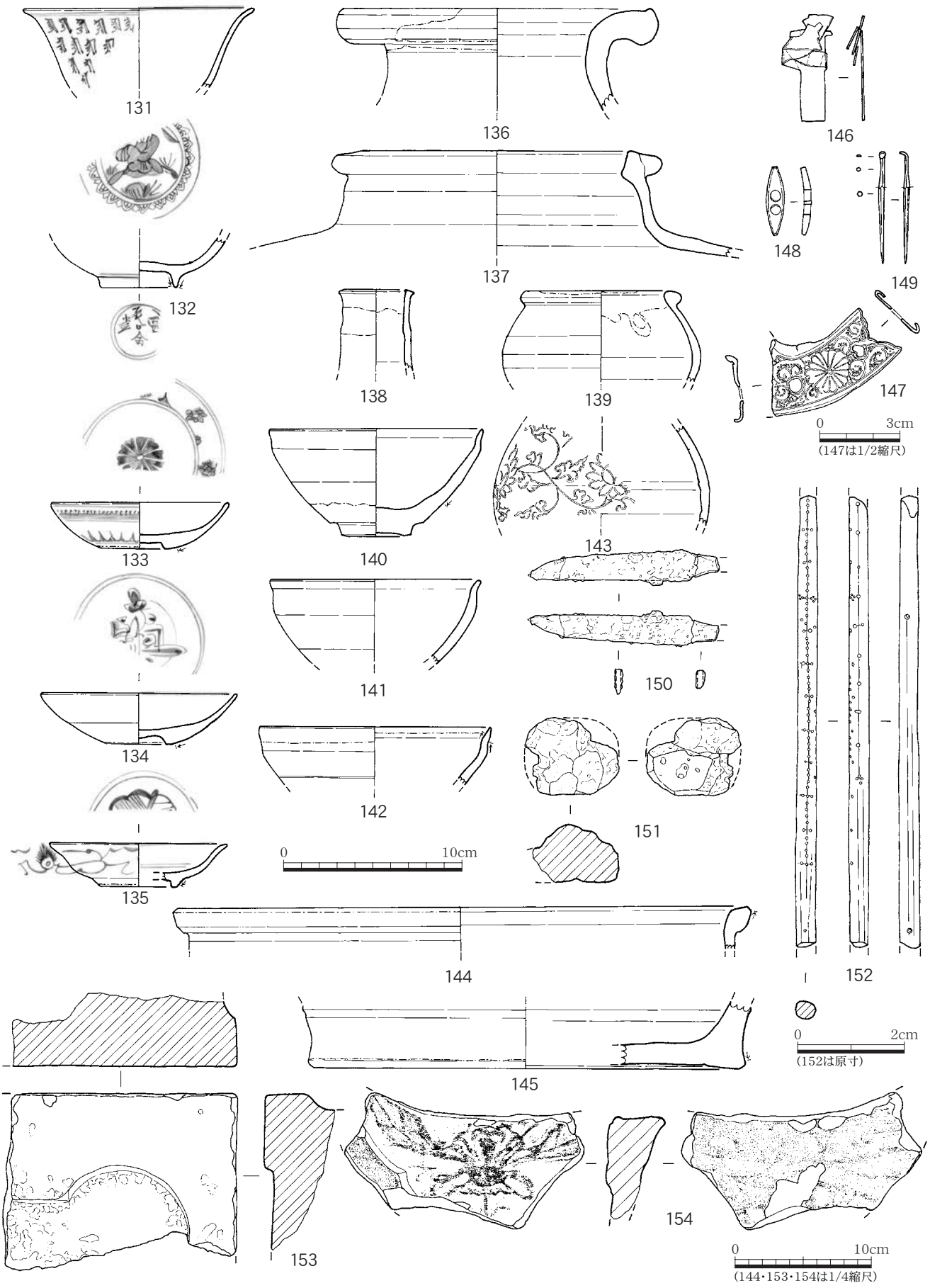
図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	底径・幅	器高・高さ	重さ	所　見	出土地点	
										グリッド遺構	層序
第110図　図版167・168	67	中国産青磁	碗	口縁部	－	－	－	－	外面に蓮弁文。15世紀中頃～16世紀前半。	I-16 トレンチ16	下層
	68	中国産黒釉陶器			－	－	－	－	熱を受けている。明代。		
	69	中国産青磁	鉢	胴部	－	－	－	－	龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。		
	70		皿	口縁部	11.0	－	－	－	14世紀後半～15世紀中頃。		
	71	中国産白磁	不明		－	－	－	－	皿か。景徳鎮窯系。16世紀後半～17世紀初頭。		
	72	中国産褐釉陶器	壷		13.4	－	－	－	明代。		
	73	中国産染付	碗		－	－	－	－	景徳鎮窯系。16世紀前半～中頃。	I-11 トレンチ18	埋土
	74		不明	底部	－	5.1	－	－	碗か。高台脇～高台内は露胎。漳州窯系。16世紀後半～17世紀初頭。		
	75	瓦	軒丸瓦	破片	14.7	－	－	－	明朝系。		
	76	金属製品	不明		2.60	1.28	0.29	1.12	鉄製。	I-10 トレンチ16	上層
	77		釘	完形	3.57	0.70	－	1.49			下層
第110図　図版169	78	中国産白磁か	不明	口縁部	－	－	－	－	碗か。内面は一部露胎。15～16世紀頃。	H-10 石積み13	裏込め土
	79	中国産黒釉陶器	碗		－	－	－	－	明代。		
	80	中国産青白磁か	皿	底部	－	18.2	－	－	畳付～高台内は露胎。景徳鎮窯系。元代か。		
	81	中国産青磁	不明	口縁部	10.1	－	－	－	器台か。7mmの穴。龍泉窯系。14～15世紀前半。	H-10 石積み2	
	82	中国産白磁	碗	底部	－	5.6	－	－	底部外面は露胎。ピロースクタイプ。14世紀頃。		
	83		皿		－	6.4	－	－	畳付は露胎。景徳鎮窯系。16世紀。		
	84	中国産染付	碗	口縁部	12.8	－	－	－	景徳鎮窯系。16世紀前半～中頃。		
	85	土器	甕か		15.7	－	－	－	内・外面ともケズリに近いナデ。胎土に雲母を含む。		
	86	中国産褐釉陶器	壷		20.6	－	－	－	明代。		
	87			底部	－	16.8	－	－			
	88	タイ産褐釉陶器		口縁部	20.4	－	－	－	頸部外面は露胎。15～16世紀。		
	89	金属製品	不明		5.74	7.98	4.09	32.36	鉄滓か。黒色でガラス質。スポンジ状に気泡がある。ガラスのような半透明の鉱物片を含む。軽石か。		
	90				2.75	3.51	2.24	5.75			
	91		覆輪	破片	7.50	10.40	－	7.74	表面に金箔。鉄製。		
	92		小札		6.31	2.37	－	12.05	鉄製。		
	93				4.11	2.87	－	9.90	鉄製。他の金属製品が付着。		
	94		刀子		8.02	3.51	－	21.87	鉄製。		
	95		釘		6.96	1.40	－	19.29	鉄製。銭貨が付着。		
	96			完形	26.30	2.60	3.00	303.80	頭部は一方に張り出す。鉄製。		
	97	瓦	軒平瓦	破片	－	－	－	－	明朝系。	H-10 石積み3	
	98		丸瓦		－	－	－	－	凸面は矢羽タタキのちナデ。凹面は糸切り痕、布目痕、砂粒。大和系か。	H-10 石積み2	



第111図　鎖之間南側地区出土遺物(4)埋土

第18表　鎖之間南側地区出土遺物一覧（4）　　単位：cm/g

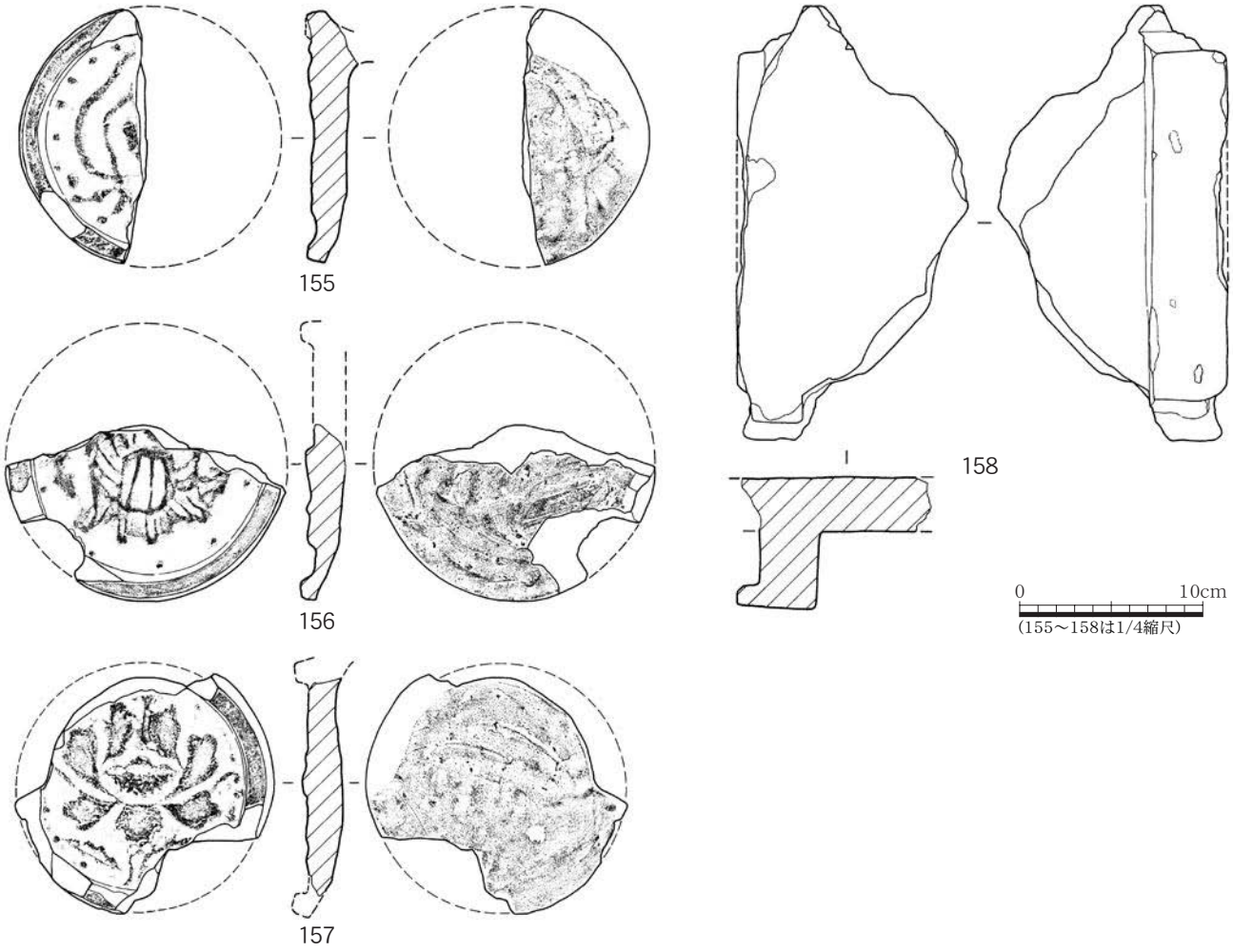
図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	底径・幅	器高・高さ	重さ	所見	出土地点	
										グリッド遺構	層序
第111図 図版170・171	99	中国産青磁	碗	口縁部	11.6	4.5	6.0	－	畳付～高台内は露胎。15世紀後半～16世紀中頃。	I-11	埋土
	100				11.6	－	－	－	15世紀～16世紀中頃。		
	101			底部	－	4.8	－	－	畳付～高台内は露胎。底部内面は蛇の目状に釉剥ぎ。15世紀～16世紀中頃。		
	102			口縁部	13.0	－	－	－	外面に蓮弁文。15世紀後半～16世紀中頃。		
	103		皿	口～底部	11.8	5.8	3.3	－	高台内は露胎。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃。		
	104		碗	口縁部	14.0	－	－	－	外面は蓮弁文。15～16世紀。	I-9	
	105		皿		15.0	－	－	－	14世紀後半～15世紀中頃。	I-11トレンチ13	黄褐色土
	106			底部	－	7.6	－	－	高台内は露胎。底部内面は露胎で、コンパスのようなもので付けたカキメと、支点らしき穴がある。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀中頃	I-11	埋土
	107		碗	口～底部	13.2	5.6	5.2	－	畳付～高台内は露胎。15～16世紀前半。		
	108				13.8	4.9	6.2	－	畳付～高台内は露胎。底部内面は露胎だが、露胎部外縁は釉剥ぎ。内面に印花文。招武窯系。15～16世紀中頃。		
	109				12.8	5.6	5.8	－	畳付～高台内は露胎。外面に波状文。16世紀頃。		
	110	中国産青磁か		口縁部	12.6	－	－	－	外面に波状文。16世紀。		
	111	中国産白磁か			13.0	－	－	－			
	112	中国産青磁		口～底部	13.0	5.8	5.4	－	畳付～高台内は露胎。外面に波状文。16世紀頃。	I-10	
	113	中国産白磁	皿	口～底部	10.8	4.8	2.8	－	高台脇～高台内は露胎。底部内面は露胎。重ね焼きの跡。16世紀～17世紀初頭。	I-11	埋土
	114	中国産白磁か		底部	－	4.7	－	－	畳付～高台内は露胎。招武窯系か。16世紀か。		
	115	中国産青磁	碗	口～底部	14.2	5.0	5.9	－	底部外面は露胎。招武窯系。15～16世紀頃。		
	116			口縁部	13.8	－	－	－	口唇部・胴部外面に焼成時の接触痕あり。16世紀か。		
	117	中国産白磁			13.7	－	－	－	福建系。16世紀後半～17世紀初頭。		
	118	中国産青磁	香炉	底部	－	4.4	－	－	内面・底部外面は露胎。明代。		
	119	中国産白磁	皿	口～底部	11.4	6.0	2.3	－	畳付は露胎。景徳鎮窯系。16世紀～17世紀初頭。		
	120				10.4	5.3	2.4	－	畳付は露胎。景徳鎮窯系。16世紀。		
	121				10.6	6.0	2.6	－	畳付は露胎。高台内に砂粒が多く付着。景徳鎮窯系。16世紀。		
	122	本土産白磁			9.0	4.9	1.9	－	畳付は露胎。瀬戸系。明治以降。		
	123	中国産白磁			14.0	5.2	4.6	－	底部内面、畳付～高台内は露胎。内面に印花文。外面に焼成時の溶着痕。招武窯系。16世紀。		
	124		不明	底部	－	7.0	－	－	皿か。畳付～高台内は露胎。景徳鎮窯系。14～15世紀。		
	125		碗	口～底部	13.8	5.2	4.7	－	底部内・外面は露胎。福建省招武窯系。16世紀頃。		
	126		不明	底部	－	4.2	－	－	八角形。底部外面は露胎。景徳鎮窯系。16～17世紀。		
	127	中国産染付	碗		－	6.2	－	－	畳付は露胎。外面に草花文、内面に花文。景徳鎮窯系。16世紀前半～中頃。		
	128			口～底部	13.2	5.6	5.8	－	畳付は露胎。外面に蕉葉文。景徳鎮窯系。16世紀前半～中頃。		
	129				13.4	4.8	4.8	－	畳付は露胎。外面に草花文、内面に花文。景徳鎮窯系。15世紀後半～16世紀前		
	130		鉢	底部	－	8.4	－	－	景徳鎮窯系。15世紀。		



第112図　鎖之間南側地区出土遺物(5)埋土

第19表　鎖之間南側地区出土遺物一覧（5）　　単位：cm/g

図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	底径・幅	器高・高さ	重さ	所見	出土地点	
										グリッド遺構	層序
第112図　図版171・172	131	中国産染付	碗	口縁部	13.0	－	－	－	外面に梵字文。景徳鎮窯系。15世紀後半～16世紀前半。	I-11	埋土
	132			底部	－	4.3	－	－	畳付は露胎。外面に「長命富貴」銘。内面に人物文か。景徳鎮窯系。16世紀後半。		
	133		皿	口～底部	10.0	2.8	2.6	－	碁笥底。外面に蕉葉文。内面に菊花文。景徳鎮窯系。16世紀前半～中頃。		
	134				11.0	3.0	2.9	－	碁笥底。景徳鎮窯系。16世紀。		
	135				10.0	4.2	2.4	－	畳付・高台内は露胎。景徳鎮窯系。16世紀。		
	136	タイ産褐釉陶器	壷	口縁部	18.0	－	－	－	頸部より下は露胎。16世紀。		
	137	中国産褐釉陶器			18.5	－	－	－	明代。		
	138	褐釉陶器	不明	不明	3.3	－	－	－	鍋か。取っ手か。内面奥は露胎。中国産か。明～清代初め。		
	139	中国産褐釉陶器	壷	口縁部	9.0	－	－	－	胴部径は11cm。胴部内面は露胎。明代。		
	140	中国産黒釉陶器	碗	口～底部	12.0	3.9	6.0	－	底部外面は露胎。明代。		
	141	本土産黒釉陶器		口縁部	11.8	－	－	－	瀬戸系。16～17世紀初め。		
	142	中国産黒釉陶器			13.0	－	－	－	覆輪か。明代。		
	143	中国産緑釉陶器	不明	胴部	－	－	－	－	瓶か。胴部径は12cm。内面は露胎。外面に草花文。15～16世紀。		
	144	陶器	不明	口縁部	42.8	－	－	－	内面は白化粧土か。口唇部～内面は露胎。中国か本土産。		
	145		不明	底部	－	24.4	－	－	壷か。内面は白化粧土か。内面、底部外面は露胎。中国か東南アジア産。明代か。		
	146	金属製品	不明	破片	5.94	2.73	－	9.99	折りたたんだ状態。全面に金箔。青銅製。		
	147				4.10	4.90	－	9.37	外面に菊花文、魚々子文、唐草文、金箔。青銅製。		
	148		笠鞐	完形	3.70	0.96	0.40	6.82	表面に金箔。青銅製。		
	149		簪		6.33	0.34	－	1.76	青銅製。		
	150		刀子	破片	10.57	1.69	0.45	17.73	鉄製。		
	151		不明		4.86	5.35	－	24.92	鉄滓か。気泡が多く軽石状。		
	152	骨製品か	物差か		8.41	0.36	3.20	1.30	気泡が多い。表面には1.235cmごとに穴3個の目盛りがあり、その間にも穴1個・2個の目盛りがある。側面にも別の目盛りがある。また2か所に貫通する穴がある。		
	153	石製品	不明		13.20	17.50	5.40	1748	深さ6mmのくぼみ。変輝緑岩（青石）製。	I-10	
	154	瓦	軒平瓦		－	－	－	－	明朝系。	I-11	



第113図　鎖之間南側地区出土遺物(6)埋土

第20表　鎖之間南側地区出土遺物一覧(6)　　単位：cm/g

図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	底径・幅	器高・高さ	重さ	所見	出土地点	
										グリッド遺構	層序
第113図 図版171・172	155	瓦	軒丸瓦	破片	－	－	－	－	漆喰が付着。明朝系。	I-11	埋土
	156				－	－	－	－	泥釉らしきものが瓦当表面に掛けられる。明朝系。		
	157				－	－	－	－	明朝系。		
	158	塼	－		23.9	－	7.4	－			

第５節　城壁地区の遺構

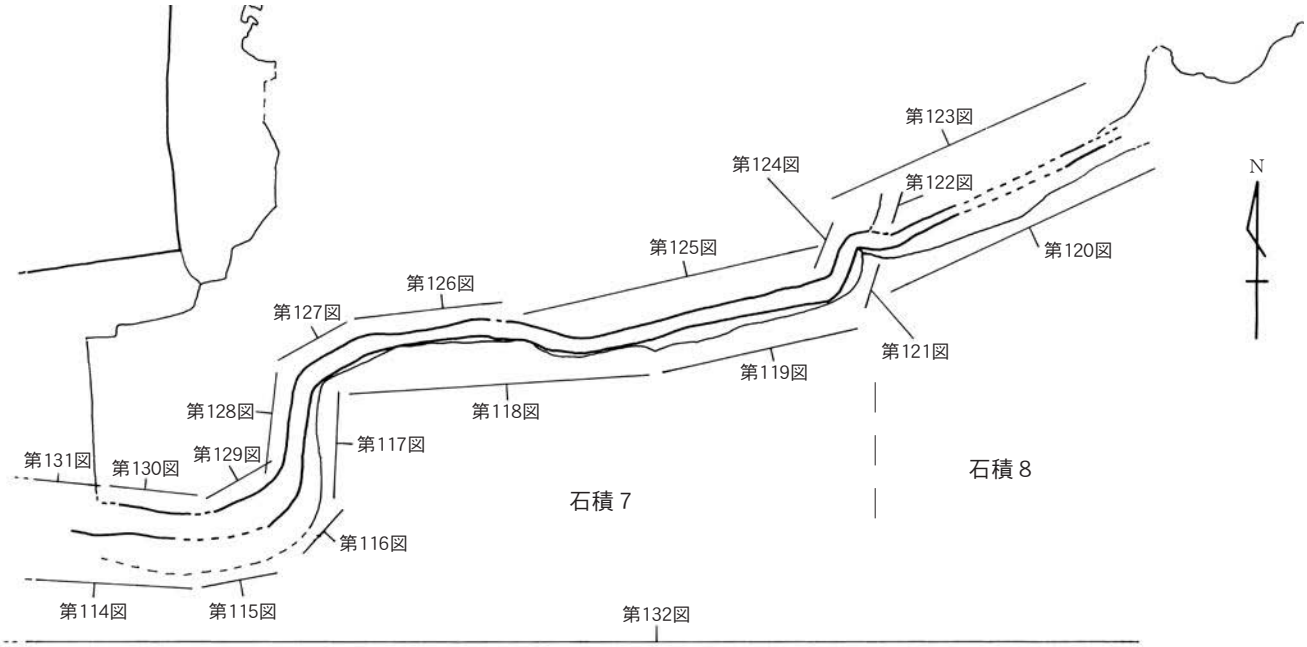
首里城内郭を構成する石積み（石積み７・8）である。当初この石積みは一連の遺構と考えていたが、Ｇ－４グリッドにおいて新旧関係を確認したので便宜上２つの石積みに分けて説明する。

１　石積み７（Ｇ－５、Ｈ－５～９、Ｉ－９～11 グリッド　第 114 ～ 120・121・122・124 ～ 131 図　図版 65 ～ 89・95 ～ 119）

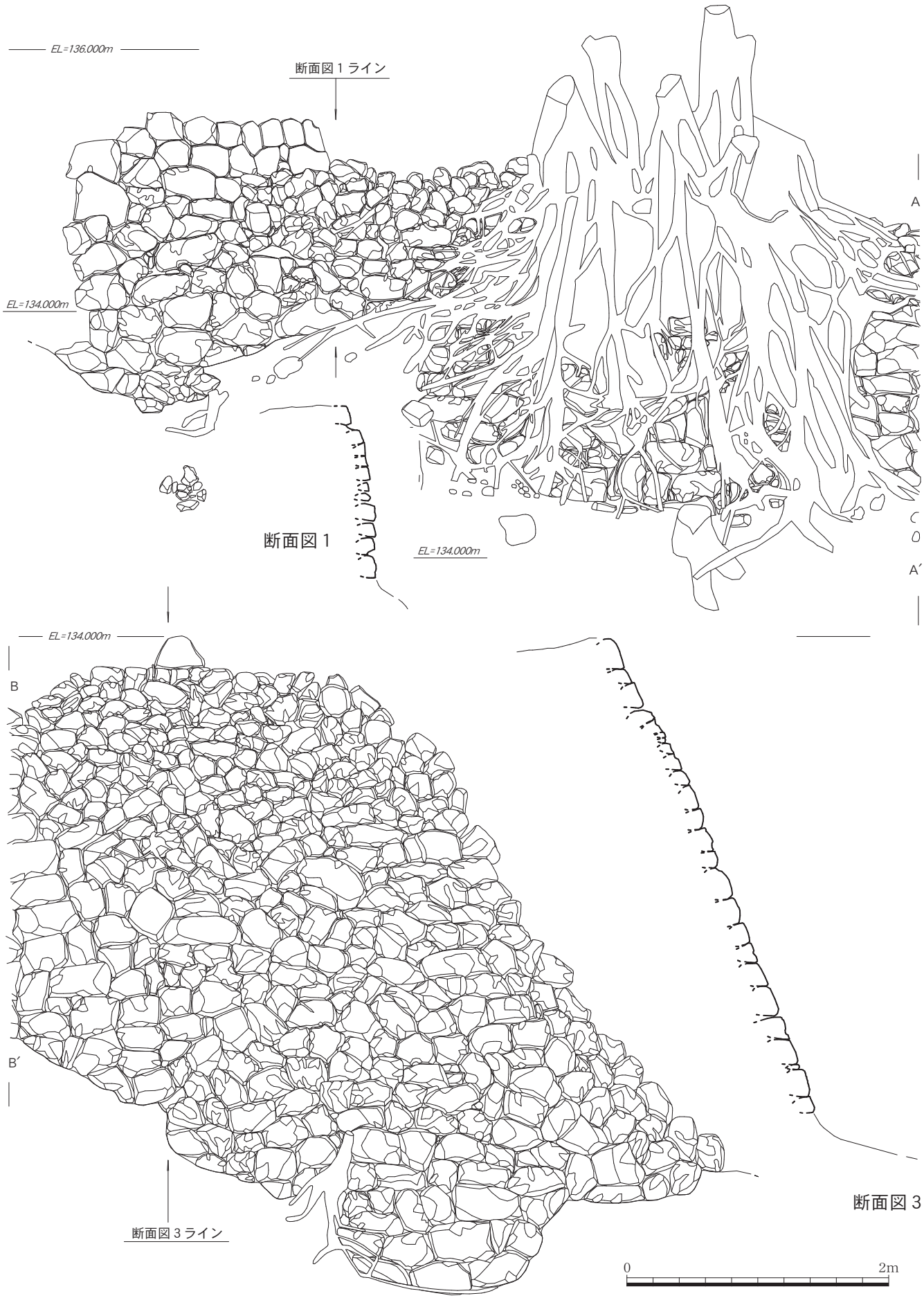
外面の最も高い所で５ｍ近くの高さがある。あいかた積みで、岩盤をうまく利用しており、平面形は蛇行している。Ｈ－８・９グリッドでは、旧琉球大学時代に積み足したと考えられる石積みがある。Ｇ－５グリッドで石積み８と接する部分では、石積みの下部で両者の切り合い関係が明確である。しかし上部では、石積み８を新たに接続する際、石積み７の上部を積み直して石積み８とスムーズに連続させている。トレンチ 25 の調査によって、石積み８と切り合う部分からさらに北にのび、岩盤に取り付いていることがわかった。この部分では最下段・２段目の石積みのみ検出された。

２　石積み８（Ｆ－３、Ｇ－４・５グリッド　第 120・123 図　図版 90 ～ 95）

石積み７と同様、あいかた積みである。平面形はほぼ直線であるが、Ｇ－３・４グリッドでははらみがあり、東端は崩壊している。東端は岩山３に取り付いていたと考えられる。石積み７との相違点は、使われている石が若干小ぶりであることである。



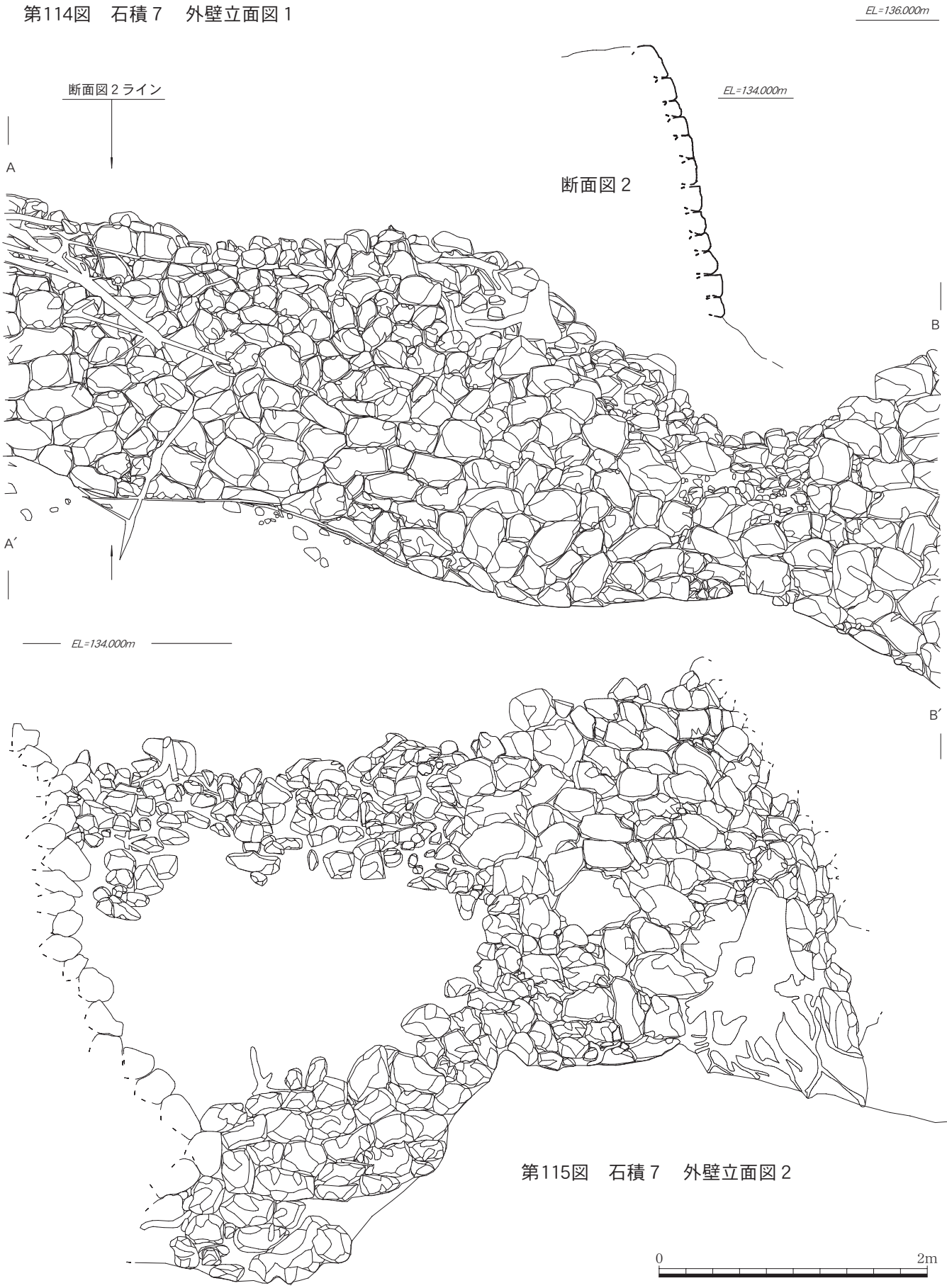
城壁（石積み７・８）立面図見取り図


EL=136.000m
断面図１ライン
A
EL=134.000m
C
O
A´
EL=134.000m
EL=134.000m
B
B´
断面図３ライン
0
2m

断面図１

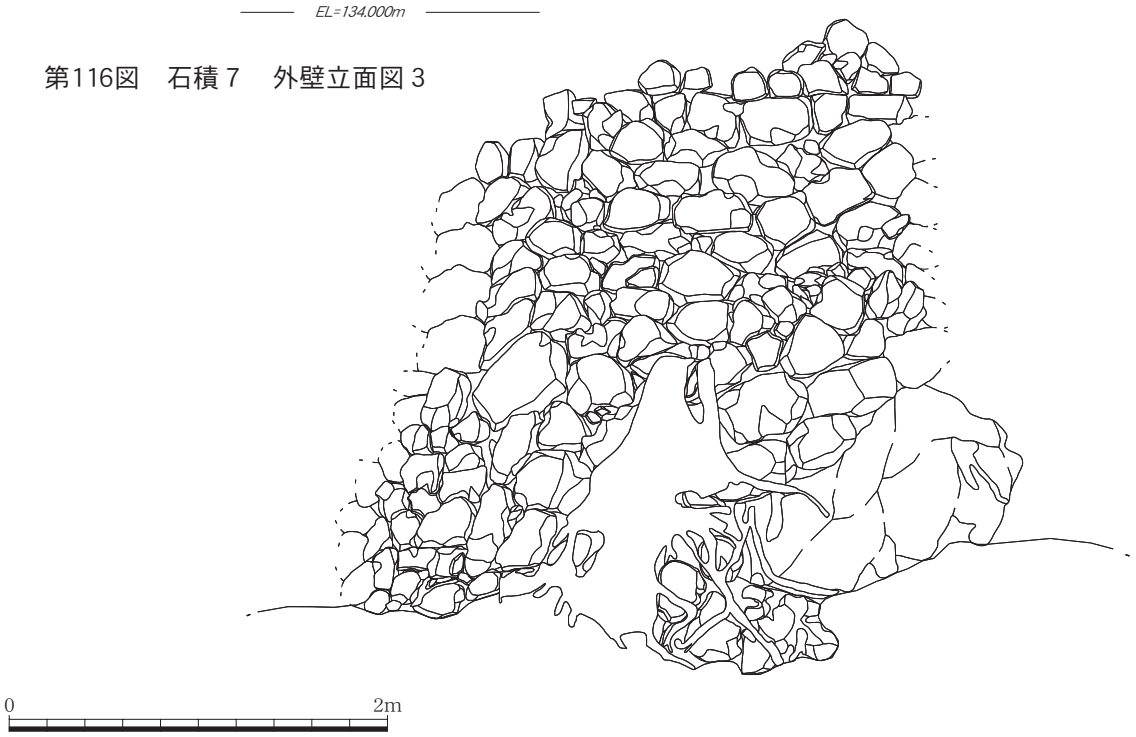
断面図３

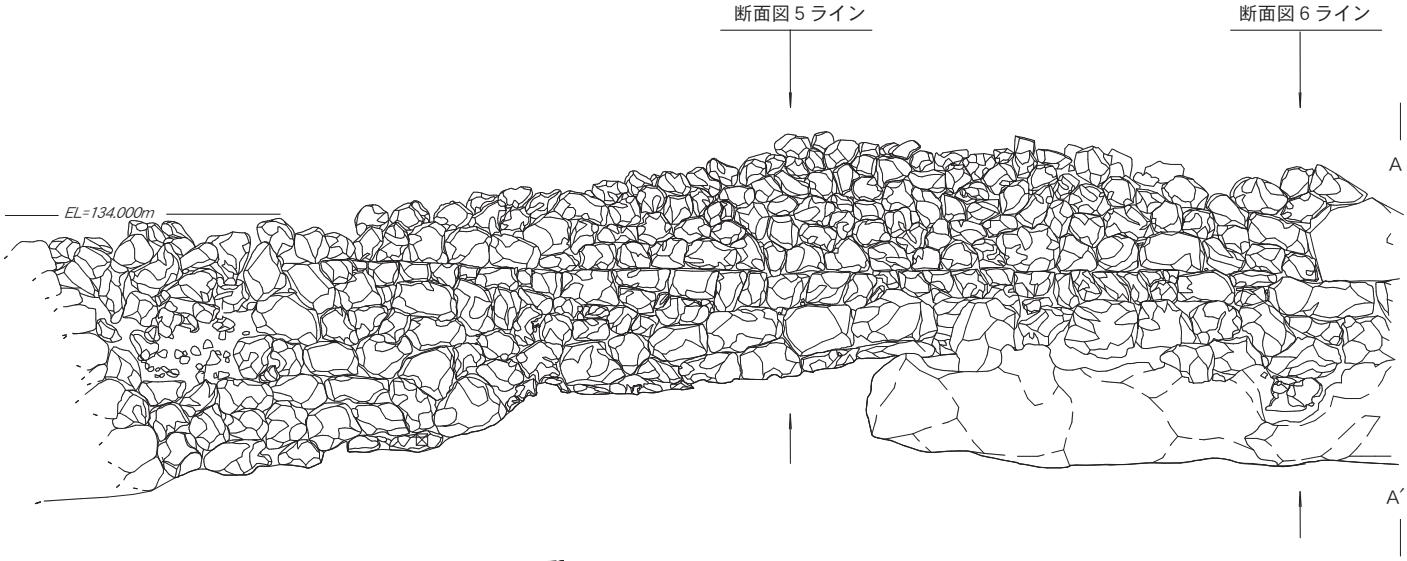
第114図　石積７　外壁立面図１

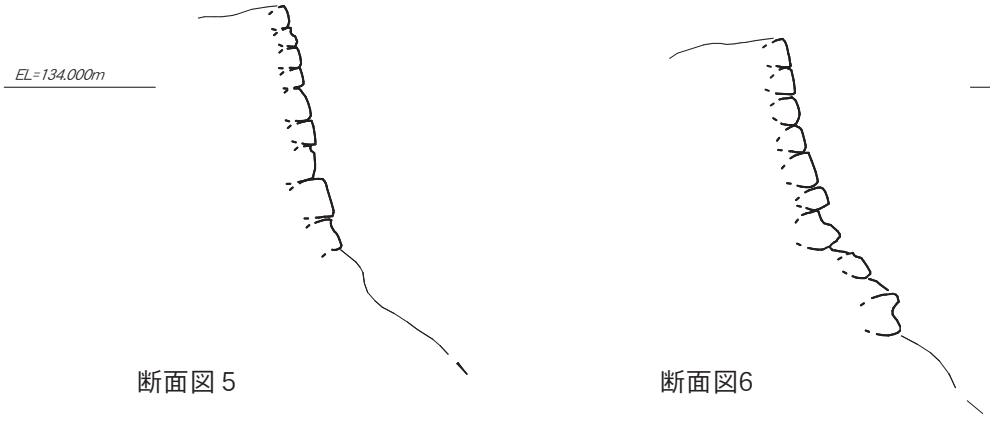


第115図　石積７　外壁立面図２

第116図　石積７　外壁立面図３





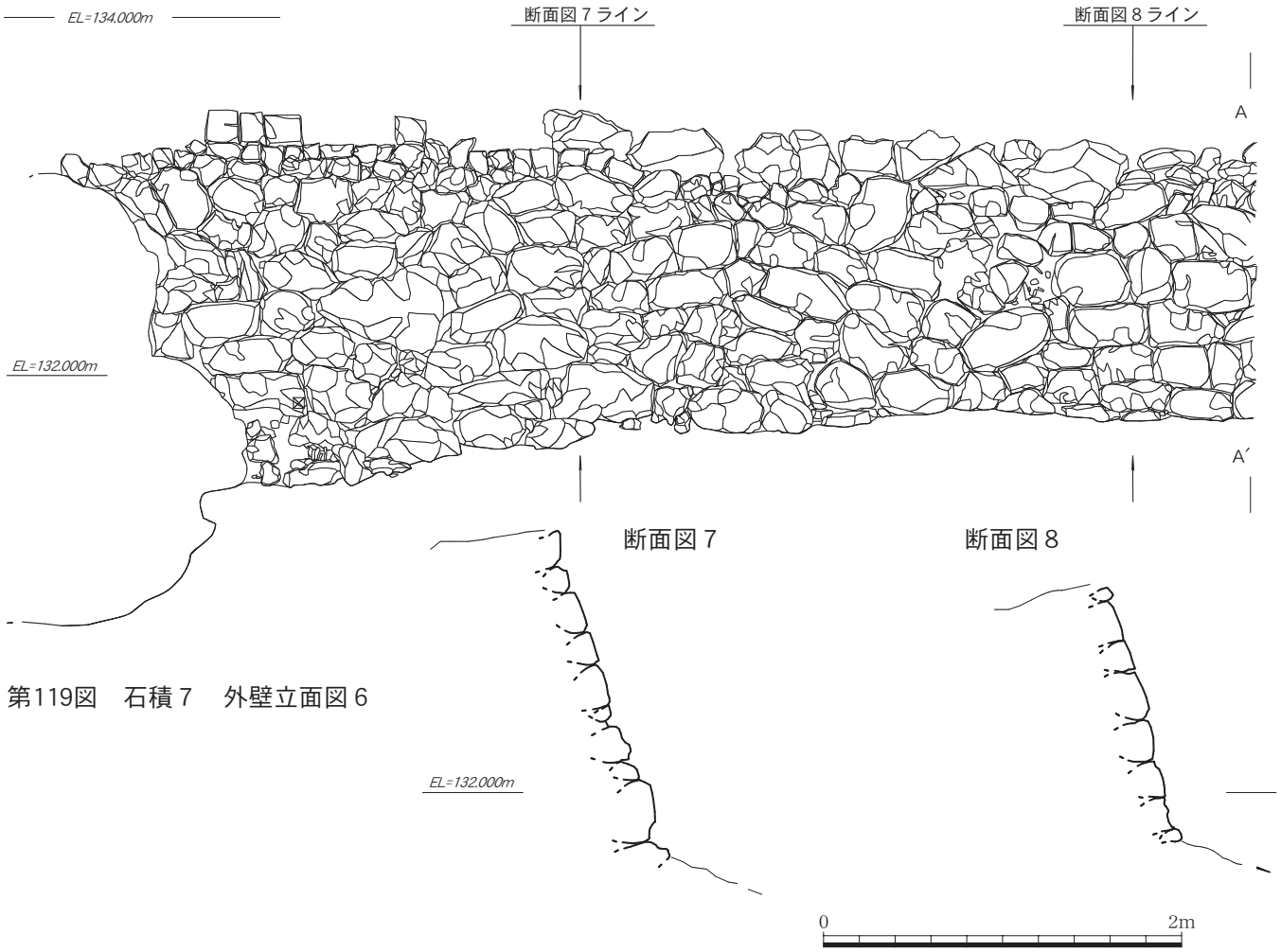


断面図５　　断面図6

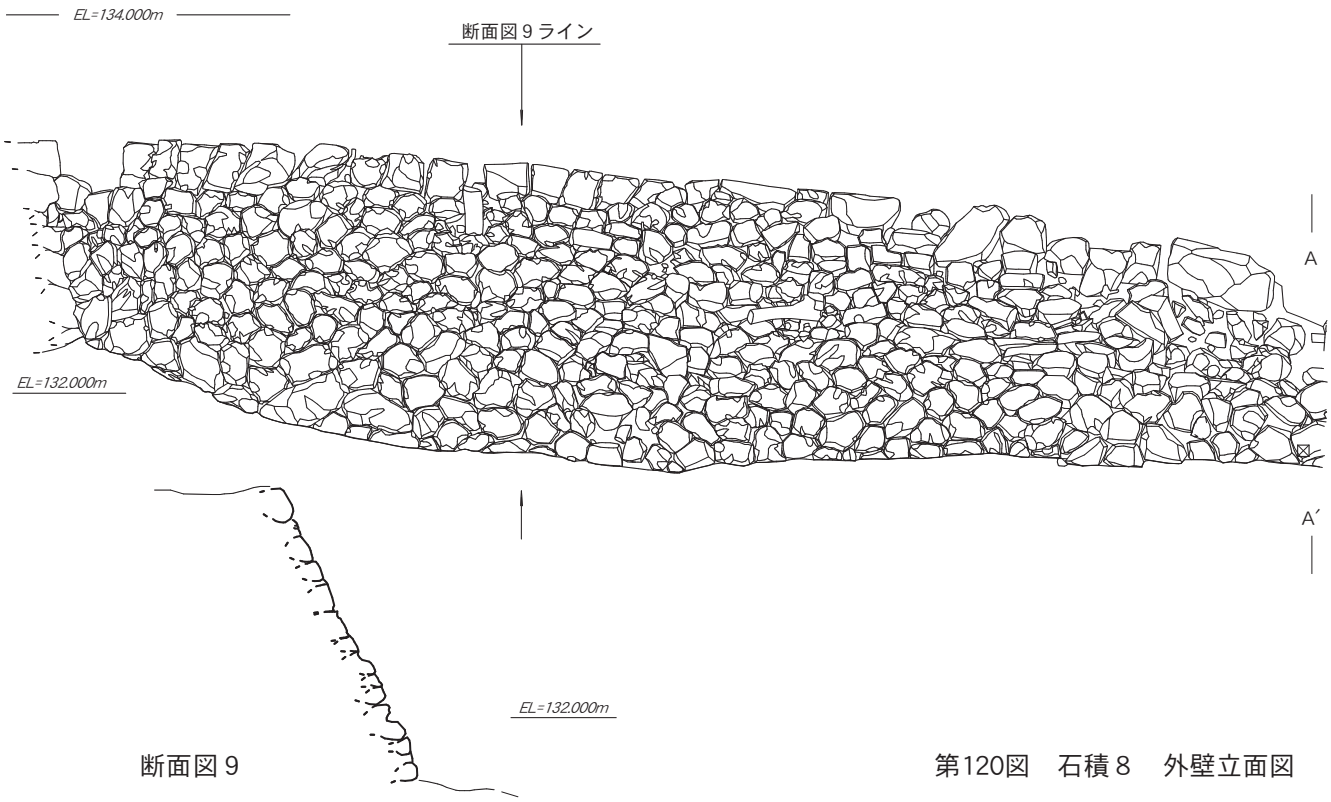
第117図　石積７　外壁立面図４

断面図４

第118図　石積７　外壁立面図５

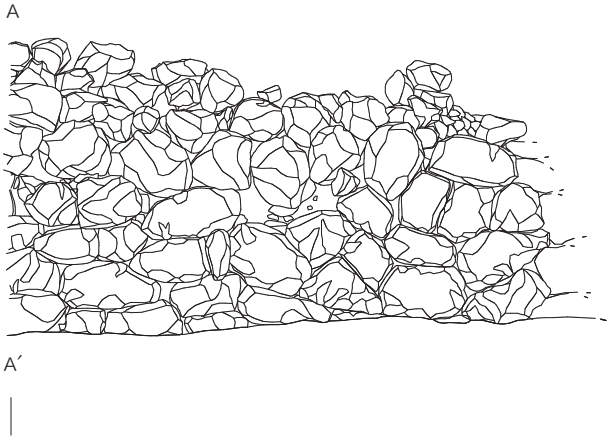


第119図　石積７　外壁立面図６

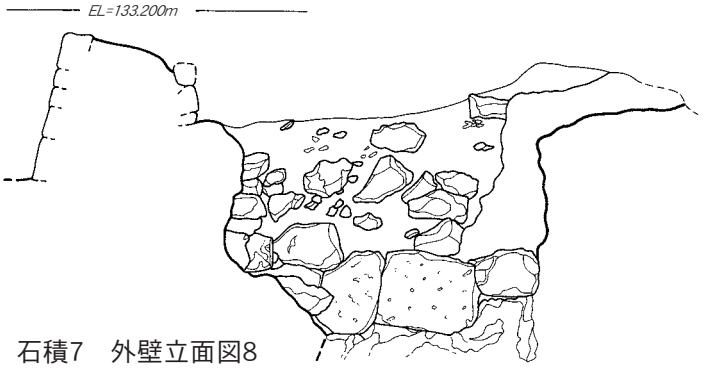


断面図９

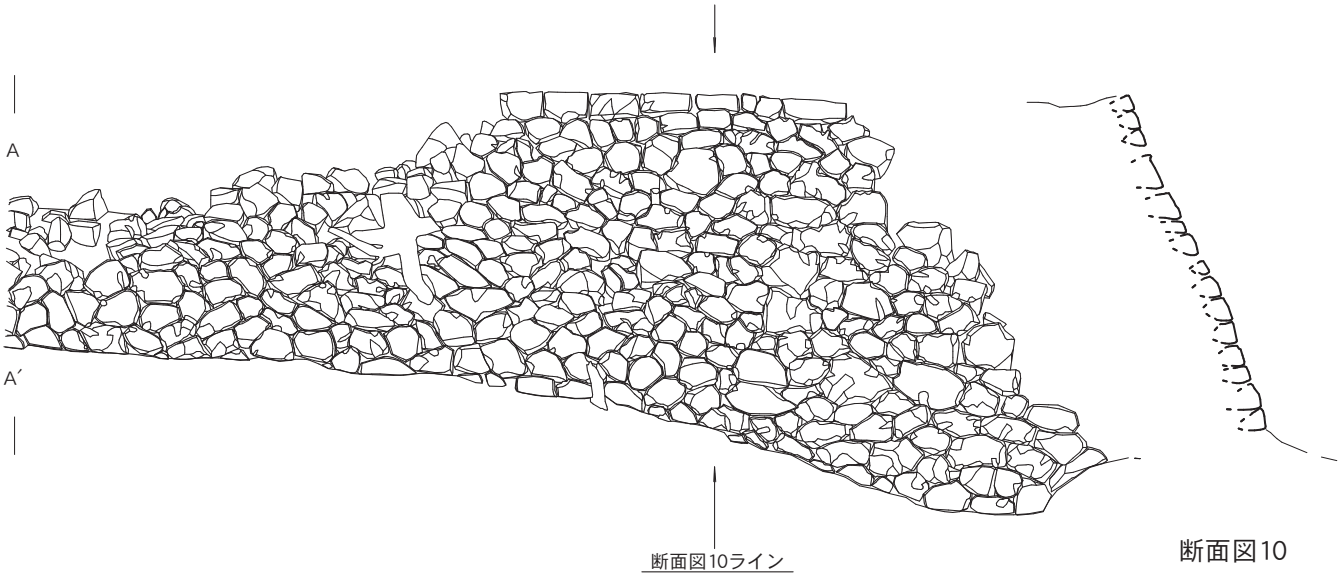
第120図　石積８　外壁立面図



第121図　石積７　外壁立面図７

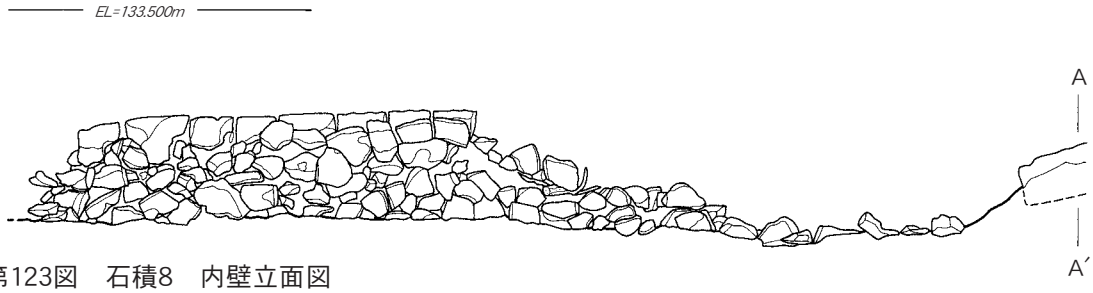


第122図　石積7　外壁立面図8



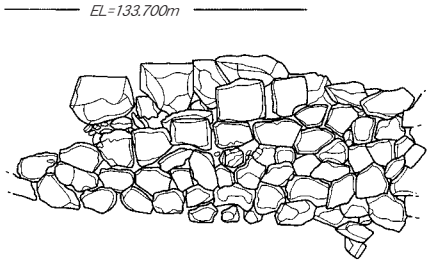
断面図10

0　2m

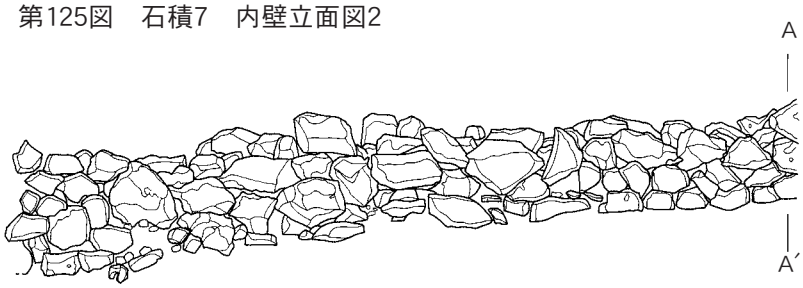


第123図　石積8　内壁立面図

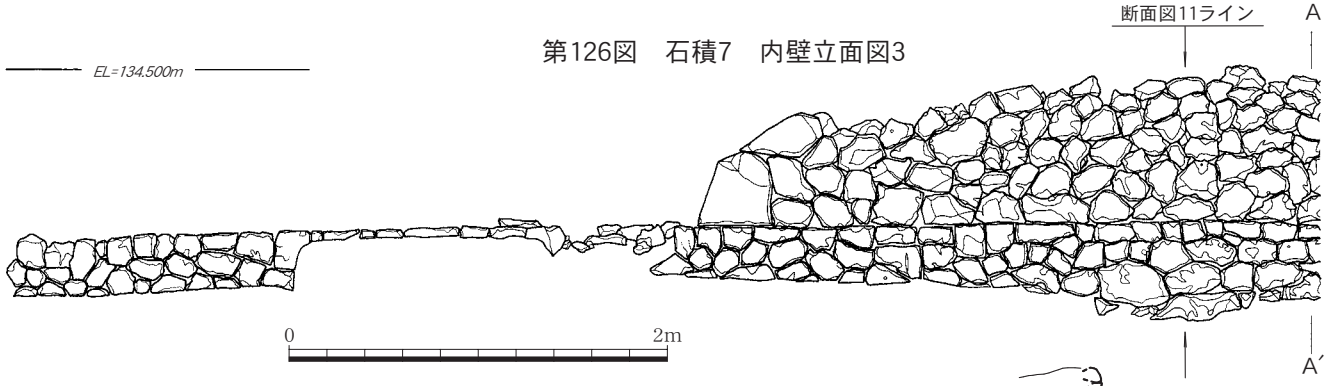
第124図　石積7　内壁立面図1



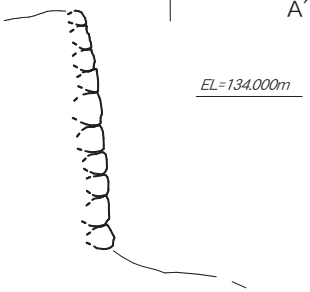
第125図　石積7　内壁立面図2



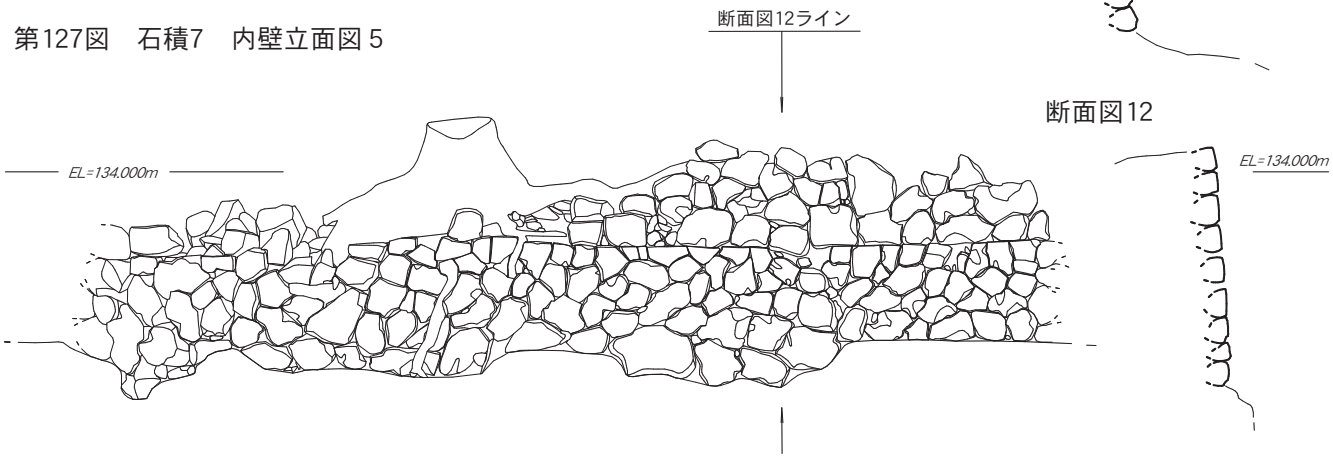
第126図　石積7　内壁立面図3



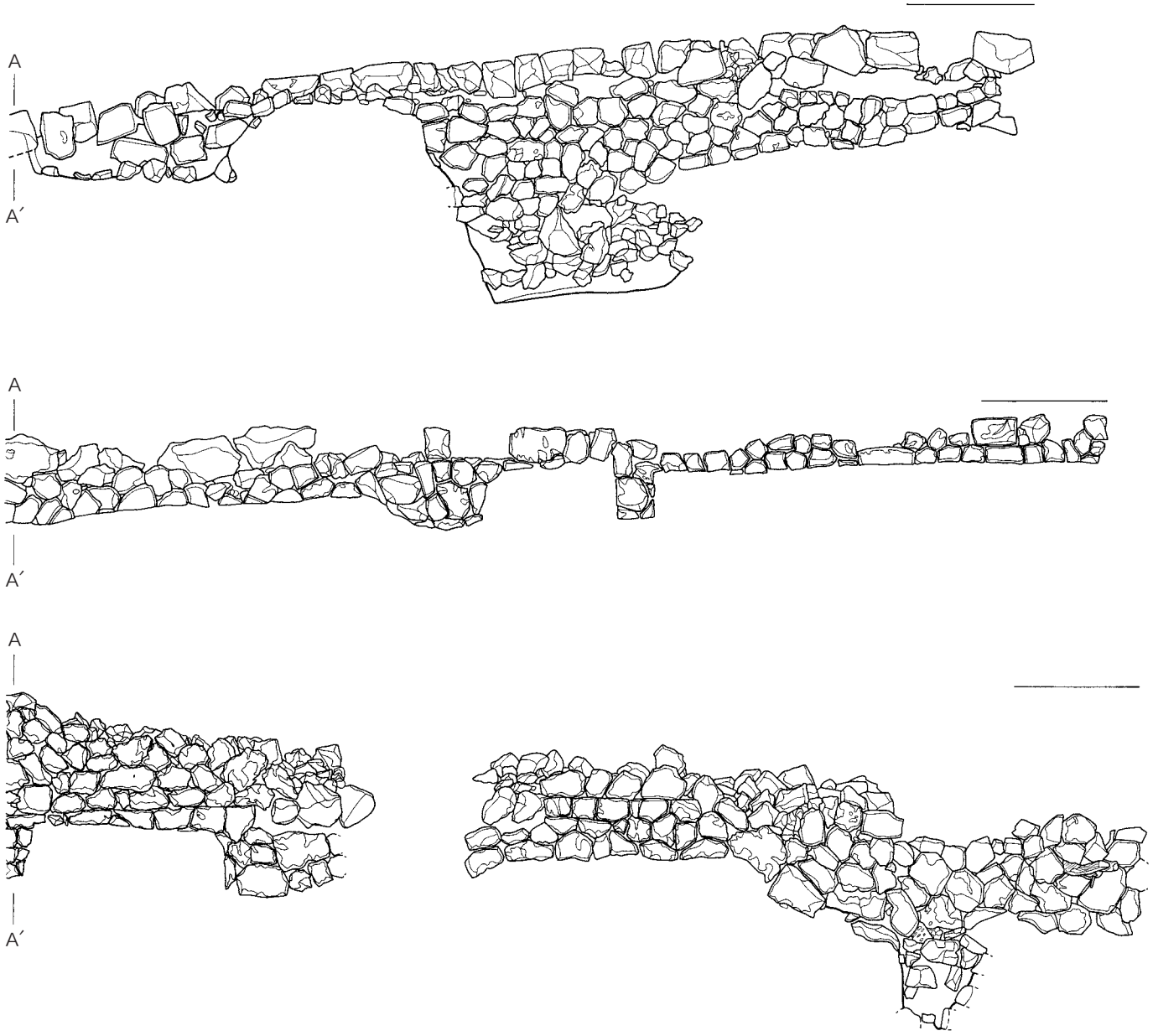
断面図11



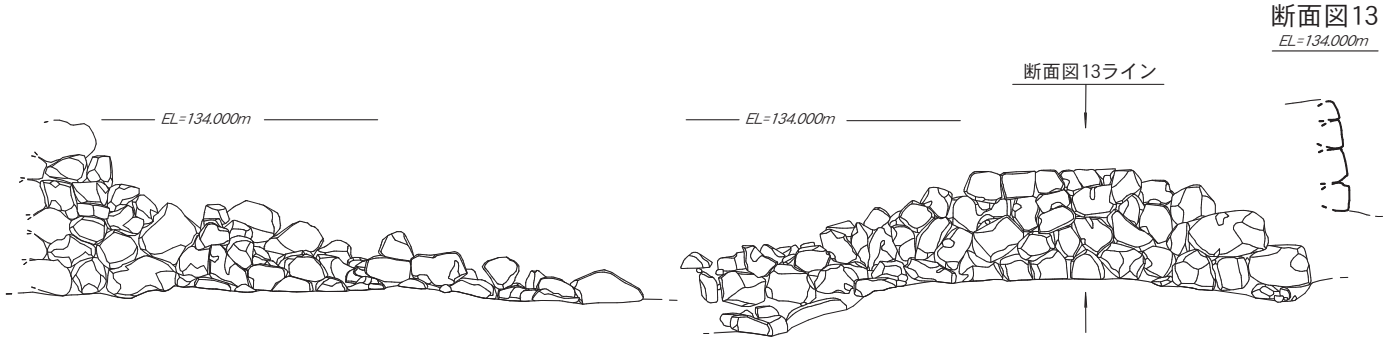
第127図　石積7　内壁立面図5



断面図12



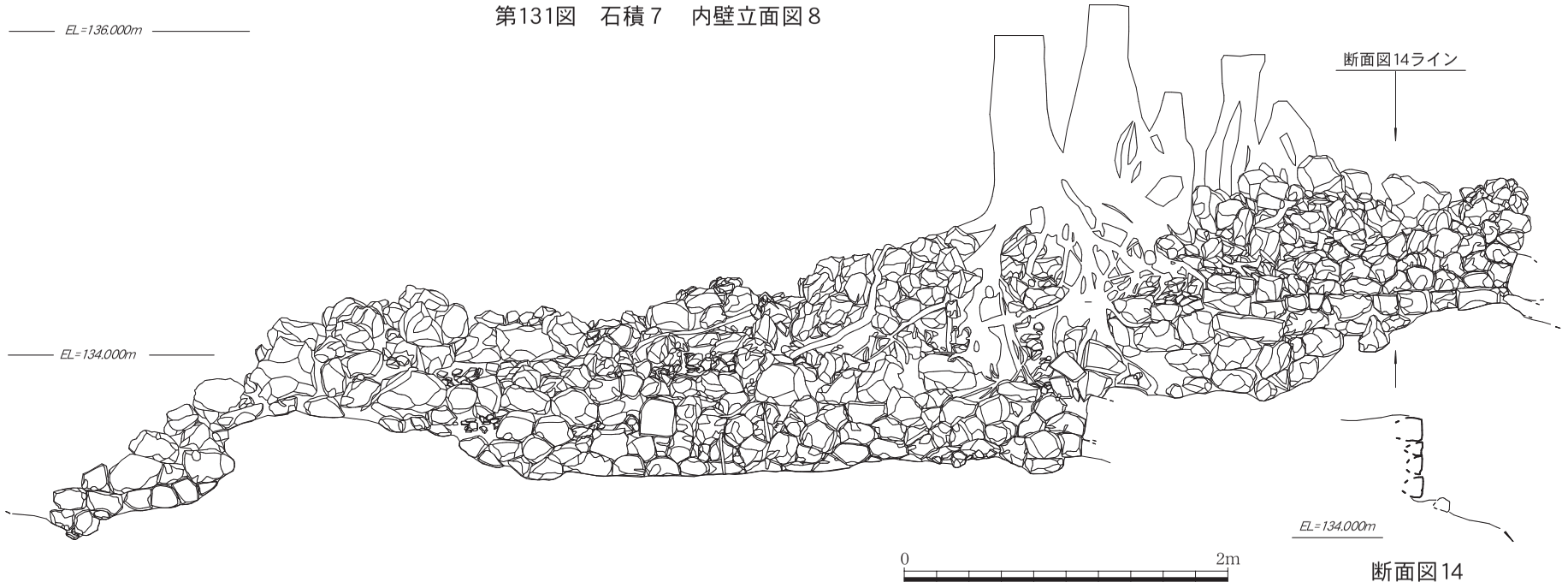
第128図　石積7　内壁立面図4



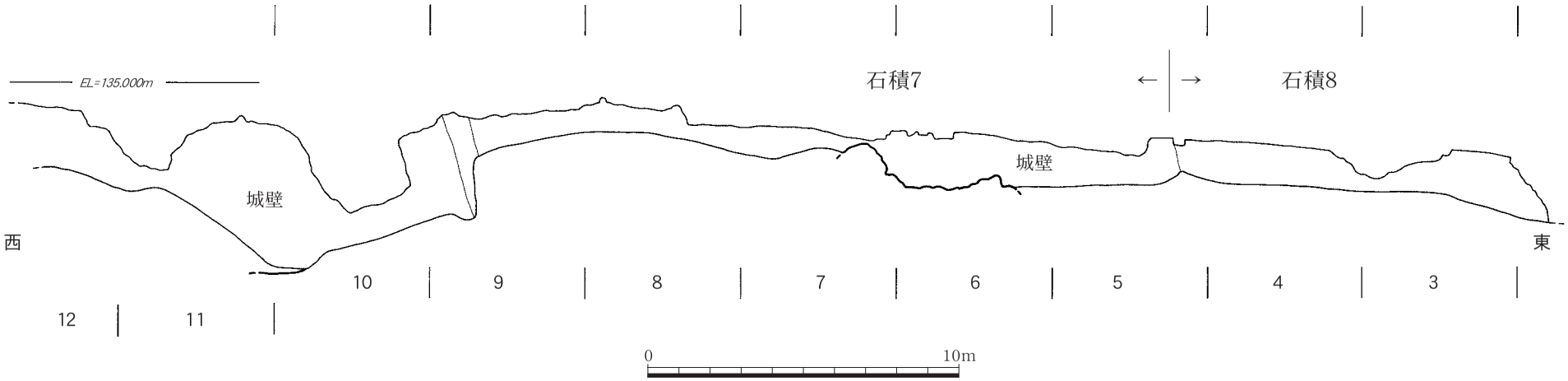
第129図　石積7　内壁立面図 6

第130図　石積7　内壁立面図 7

第131図　石積７　内壁立面図８



第132図　石積7・8　外壁立面図(縮尺1/200)

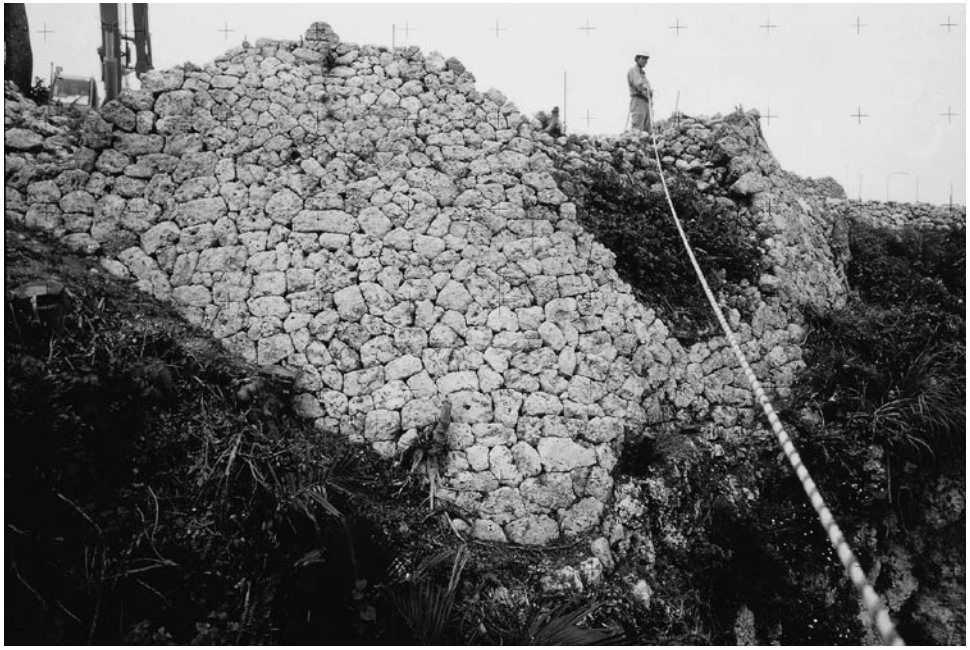


図版65　石積７　外壁１(南から)

図版66　石積７　外壁２(南から)

図版67　石積７　外壁３(南から)

図版68　石積７　外壁４(南から)



図版69　石積７　外壁５(南から)

石積７　外壁連続写真１

図版70　石積７　外壁６(南から)

図版71　石積７　外壁７(南東から)

図版72　石積７　外壁８(東から)

図版73　石積７　外壁９(南東から)

石積７　外壁連続写真２

図版74　石積７　外壁10(南から)

図版75　石積７　外壁11(南から)

図版76　石積７　外壁12(南から)

図版77　石積７　外壁13(南から)

図版78　石積７　外壁14(南から)

図版79　石積７　外壁15(南から)

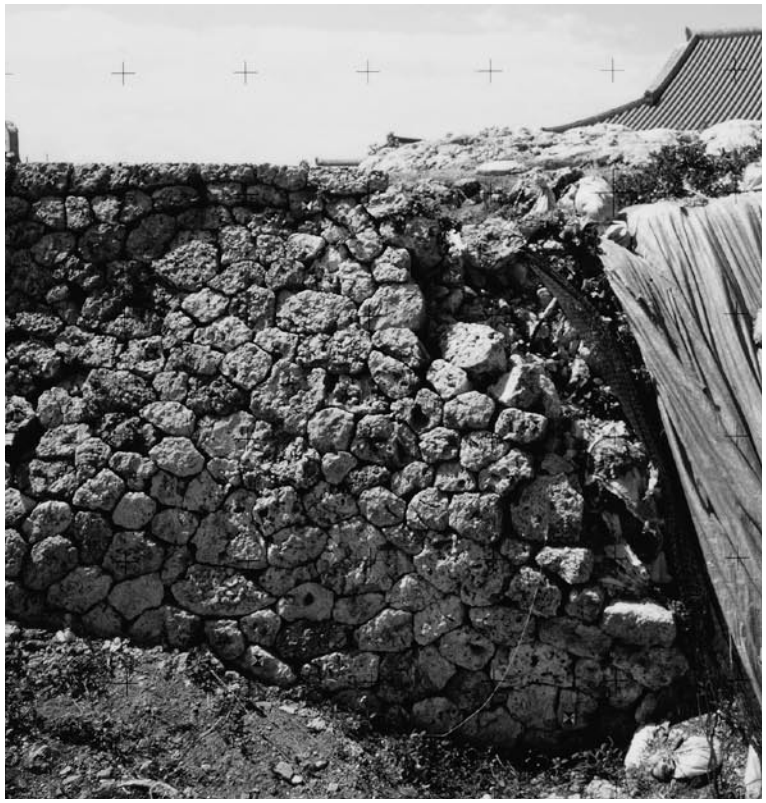
図版80　石積７　外壁16(南東から)

石積７　外壁連続写真３

図版81　石積７　外壁17(南東から)

図版82　石積８　外壁１(南から)

図版83　石積８　外壁２(南から)



図版84　石積８　外壁３(南から)

石積７・８　外壁連続写真４

図版85　石積７　外壁(東から)

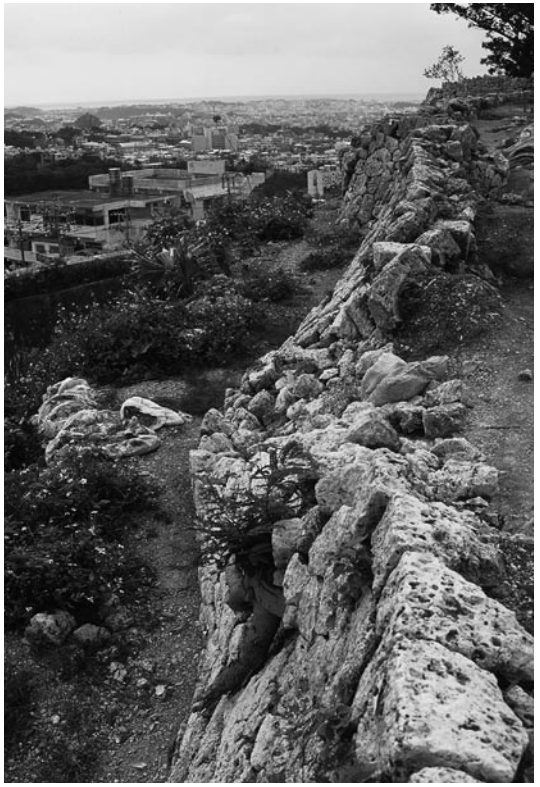
図版86　石積７(東から)

図版87　石積７・８(東から)

図版88　石積７・８(東から)

石積７・８　検出状況

図版89　石積７・８(北東から)


図版90　石積８(北東から)

図版91　石積８　内壁１(北から)

図版92　石積８　内壁２(北から)

図版93　石積８　内壁３(北から)

石積７・８　検出状況及び石積８　内壁連続写真１

図版94　石積８　内壁４(北から)

図版95　石積７・８　内壁(北西から)

図版96　石積７　内壁１(北西から)

図版97　石積７　内壁２(北から)

図版98　石積７　内壁３(北から)

図版99　石積７　内壁４(北から)

図版100　石積７　内壁５(北から)

図版101　石積７　内壁６(北から)

図版102　石積７　内壁７(北から)

石積７・８内壁連続写真２

図版103　石積７　内壁８(北から)

図版104　石積７　内壁９(北から)

図版105　石積７　内壁10(北から)

図版106　石積７　内壁11(北から)

図版107　石積７　内壁12(北から)

図版108　石積７　内壁13(北から)

図版109　石積７　内壁14(北から)

図版110　石積７　内壁15(北西から)

図版111　石積７　内壁16(北西から)

石積７　内壁連続写真３

図版112　石積７　内壁17(北西から)

図版113　石積７　内壁18(西から)

図版114　石積７　内壁19(西から)

図版115　石積７　内壁20(西から)

図版116　石積７　内壁21(北西から)

図版117　石積７　内壁22(北西から)

図版118　石積７　内壁23(北から)

図版119　石積７　内壁24(北から)

石積７　内壁連続写真４

第６節　撹乱層等の遺物

ここでは各地区の撹乱層出土遺物や表採遺物等をまとめて報告する。詳細は観察表に記す。

第21表　撹乱層等の出土遺物一覧（１）　　単位：cm/g

図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	底径・幅	器高・高さ	重さ	所　見	出土地点
図版172・173	1	中国産青磁	皿	口縁部	－	－	－	－	内・外面に蓮弁文。龍泉窯系。14世紀後半～15世紀前半。	G-9 客土
	2		瓶	胴部	－	－	－	－	龍泉窯系。14世紀後半～15世紀前半。	F-7 客土
	3	本土産白磁	皿	口～底部	－	－	1.3	－	畳付は露胎。瀬戸・美濃系。明治。	E-7 客土
	4				－	－	1.7	－	畳付は露胎。内面に雷文帯。瀬戸・美濃系。明治。	客土
	5	中国産染付	瓶		－	－	－	－	景徳鎮窯系。15世紀。	
	6		蓋	－		－	－	－	かえり部は露胎。景徳鎮窯系。16世紀頃。	D-9 客土
	7	本土産瑠璃釉			－	－	－	－	かえり部は露胎。肥前系（有田か）。17世紀後半頃。	E-5 客土
	8	中国産瑠璃釉	瓶	胴部	－	－	－	－	景徳鎮窯系。15～16世紀。	C-6 客土
	9		碗	底部	－	－	－	－	畳付～高台脇は露胎。15世紀後半～16世紀前半。	客土
	10		壷		－	－	－	－	景徳鎮窯系。15～16世紀。	
	11	中国産色絵	瓶	口縁部	－	－	－	－	外面に花文。15～16世紀。	C-9 不明
	12		皿	底部	－	－	－	－	内面に花文。景徳鎮窯系。15～16世紀。	G-5 客土
	13	中国産白磁か	碗	口縁部	－	－	－	－	外面に線刻蓮弁文か。15～16世紀。	D-9 不明
	14	本土産陶器	蓋		－	－	－	－	内面は露胎。関西系。19世紀。	客土
	15	ベトナム産色絵	瓶	胴部	－	－	－	－	瓜形。内面は露胎。15～16世紀。	G-5 埋土
	16	中国産黒釉陶器	碗	口～底部	12.2	4.5	6.6	－	底部外面は露胎。明代。	H-8表土、F-3客土
	17	褐釉陶器	壷	底部	－	－	－	－	双耳壷。内面、底部外面は露胎。東南アジア産か。明代。	G-5 埋土
	18	中国産褐釉陶器	茶入		－	－	－	－	底部は糸切り。内面、底部外面は露胎。明代。	I-13 表採
	19	本土産陶器	擂鉢	胴部	－	－	－	－	内面に自然釉。備前系。15～16世紀。	不明
	20	タイ産褐釉陶器	壷	口縁部	18.0	－	－	－	頸部内面は露胎。ノイ川窯系。15～16世紀。	F-5 客土
	21	タイ産土器	蓋		－	－	3.9	－	上面はナデ。下面はケズリ。	B-2 表土
	22	褐釉陶器	不明	口縁部	－	－	－	－	受け部～内面は露胎。中国か東南アジア産。明代。	H-9 客土
	23	本土産陶器	碗	底部	－	－	－	－	胎土は灰色・白色の交胎。関西～九州産。江戸。	不明
	24	中国産陶器	茶器		－	－	－	－	底部外面に線刻の銘。宜興窯系。清代。	G-9 客土
	25	本土産染付	小杯	口～底部	3.2	1.8	2.6	－	畳付は露胎。明治頃。	客土
	26	陶器	甕か	口縁部	－	－	－	－	うすい釉がかかる。中国産か。明代か。	
	27	本土産陶器	壷		－	－	－	－	備前系。15世紀。	F-3 客土
	28		鉢		－	－	－	－	九州産。18～19世紀。	G-7 客土
	29		擂鉢		－	－	－	－	口縁部に施釉。九州産。18世紀。	客土

第22表　撹乱層等の出土遺物一覧（２）　　単位：cm/g

図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	底径・幅	器高・高さ	重さ	所　見	出土地点
図版172・173	30	本土産染付	碗	口～底部	10.0	4.3	4.6	－	畳付は露胎。内・外面に網目文。肥前系。18世紀前半～中頃。	城壁表土
	31				11.3	4.4	5.6	179.3	型紙刷り。畳付は露胎。底部内面は蛇の目状に釉剥ぎ。明治～昭和。	
	32	沖縄産陶器			13.4	5.4	6.0	－	上焼。内・外面は白化粧。畳付にアルミナ。底部内面は蛇の目状に釉剥ぎ。重ね焼きの跡。	
	33		小碗		8.2	3.3	4.4	75.6		
	34		皿		13.8	6.3	4.2	261.5		
	35		鉢	底部	－	－	－	－	上焼。底部外面は露胎。底部内面に接合痕。	E-7 客土
	36		蓋		11.7	7.2	3.5	－	上焼。つまみ径は3.8cm。下面は露胎。上面は蛇の目状に露胎。	城壁表土
	37	陶質土器	焙烙	－	－	－	－	－	胎土中に雲母を含む。上面は灰色がかっている。	H-8 表採
	38		さな	－	－	－	－	－	胎土中に雲母を含む。径1.5cmの穴が並ぶ。上面に焼け跡。	G-7 客土
	39		火炉	口縁部	－	－	－	－	口縁部内面～外面に泥釉。	客土
	40	土器	不明	底部	－	－	－	－	壷か。胎土は橙・灰色で白色・半透明粒を少し含む。内面はポーラス状。	城壁表土
	41				－	－	－	－	厚さ0.9cm。凸面には圧痕が残り未調整。凹面はケズリ。外縁はほとんど未調整。胎土は橙色で、白色・半透明粒を少し含	A-2 表土
図版172・173	42	石製品	坩堝	口縁部	－	－	－	9.6	表面はガラス化し、一部に黒色の付着物。玢岩製。	G-7 客土
	43			底部	－	－	－	12.7	内面に褐色の付着物ものらしきものあり。玢岩製か。	客土
	44	土製品	坩堝	底部	－	－	－	－	底部に1cmの平坦面。内面に灰色の薄い付着物。外面に赤・黒色のガラス質の付着物。陶器質。	F-8 表土
	45	陶器	不明	－	－	－	－	－	坩堝か。ただし付着物はない。底部が突出し、その先端は1cmの平坦面。	客土
	46	土製品	焼土	－	2.7	3.2	1.3	11.4	黒色のガラス質の付着物。	F-3 客土
	47		不明	破片	－	－	0.8	1.8	直径2.3cm。中心に穴。	B-2 表土
	48	金属製品	不明	－	5.3	5.9	4.1	164.1	鉄滓か。所々に気泡。	表採
	49			－	3.1	4.8	2.0	22.5	鉄滓か。ガラス質。一部に気泡。	H-7 表土
	50		銅滓	－	4.2	6.3	2.1	109.7		客土
	51		煙管	完形	6.3	－	－	9.1	皿部径は1.58cm。	客土
	52		不明	完形	4.5	4.9	0.7	6.6	３ヶ所に長方形の抉り。	G-7 客土
	53		兜	破片	3.2	1.5	－	1.6	表面に金箔。三鈷形の一部。	
	54				4.5	0.8	1.4	11.2		
	55		鋲	完形	2.4	0.8	0.4	1.5	頭部に金箔。身部は二股。	D-9 客土
	56		釘		2.7	0.8	－	1.4	頭部に金箔。身部は二股。径0.93cmの輪が伴う。	F-6 客土
	57				4.4	0.8	0.6	5.5		城壁外側表土
	58				5.1	1.2	－	13.7	ねじれ・折れがある。	
	59		鋲		1.3	1.4	－	1.6	頭部に金箔。	D-3 砂礫土
	60		砲弾	破片	7.3	8.4	2.7	256.5		D-9 客土
	61		弾丸	完形	6.0	1.3	－	40.1		客土
	62				3.5	0.8	－	10.5	先端付近がすこしへこむ。	

第23表　撹乱層等の出土遺物一覧（３）　　単位：cm/g

図番号		種類	器種	部位・残存	口径・長さ	底径・幅	器高・高さ	重さ	所　見	出土地点
図版172・173	63	石製品	硯	破片	13.8	7.6	2.2	447.5	表面には横方向の粗いきずと、使用による浅いくぼみ。裏面には抉りなし。粘板岩製。	城壁表土
	64				13.7	4.5	1.8	97.0	裏面に浅い抉りがある。赤色頁岩製。	
	65				9.8	6.0	1.5	169.7	表面には使用によるへこみはほとんどない。裏面に銘らしき線刻。赤色頁岩。	
	66				11.3	6.3	2.1	210.2	表面に横方向の粗いきず。裏面に長方形の抉り。凝灰岩製。	客土
	67				8.8	6.2	1.6	167.4	裏面に「縣上江州村」の線刻。緑色頁岩製。	
	68		砥石		12.7	6.2	3.8	365.9	3面に溝。断面は略不整三角形。玢岩製。	城壁表土
	69				12.7	7.2	6.5	889.8	5面が摩滅。2面に溝。砂岩製。	
	70		不明	完形	4.4	5.0	2.1	8.1	多角形で全体が削られている。軽石製。	I-11城壁外側表土
	71			破片	5.2	5.0	1.5	16.3		城壁外側表土
	72		石球	完形	7.7	8.6	8.3	886.8		表採
	73	貝製品	ヤコウガイ	破片	7.3	7.2	－	98.9	1cmの穴。	砂礫土
図版174・175	74	石製品	板碑		33.1	20.9	12.1	7280	表面に「・・・倣人・・・銭・・・方有光氏再識」。裏面に「・・・責・・・」。砂岩製（ニービの骨）。	客土
	75		高欄		20.3	15.9	9.5	5060	砂岩製（ニービの骨）。	表採
	76		龍柱か		17.9	23.6	11.6	5900	額～後頭部の右半分と考えられる。砂岩（ニービの骨）製。	F-8 客土
	77		高欄		21.0	16.4	3.4	2334.9	裏面の調整は粗い。砂岩（ニービの骨）製。	客土
	78				7.8	5.8	4.2	195.2	裏面に漆喰が付着。砂岩（ニービの骨）製。	
	79				12.3	9.5	5.1	1256.2	砂岩（ニービの骨）製。	
	80	瓦	軒丸瓦		－	－	－	－	三つ巴文。瓦当表面に砂粒。大和系。	B-2 表土
	81				－	－	－	－		C-11 客土
	82				－	－	－	－	三つ巴文。大和系。	客土
	83		軒平瓦		－	－	－	－	明朝系。	城壁表土
	84				－	－	－	－		
	85		軒丸瓦		－	－	－	－	高麗系。	表採
	86		軒平瓦		－	－	－	－	瓦当表面に布目・糸切り痕。裏面はナデ。高麗系。	D-2 客土
	87				15.0	－	－	－	明朝系。	城壁表採
	88				18.0	－	－	－		F-6 客土
	89		軒丸瓦		15.4	－	－	－	瓦当が90度半時計回りにずれる。明朝系。	城壁表採
	90				15.3	－	－	－	漆喰が付着。明朝系。	城壁表土
	91				15.3	－	－	－	凸面はナデ、凹面は布目。明朝系。	
	92		丸瓦		31.8	－	－	－	凸面はナデ。凹面は布目が残り下端はナデ。明朝系。	
	93		平瓦		25.1	－	－	－	凸面は布目。凹面はナデで下端に泥釉。明朝系。	
	94	塼か	－		－	－	－	－	上・下面ともナデ。端部の断面系は通常の塼とは異なり三角形である。	客土

第７節　遺物の種類別概観

今回の発掘調査で出土した遺物は多種多様であるが、ここでは種類ごとに遺物の集計表等を掲げ、各遺物を概観する。

１　中国産陶磁器

青磁は碗が最も多く、皿・盤がそれに続く。碗の文様は大きく蓮弁文・雷文・無文に分けられ、蓮弁文が最も多い。ただし鎬蓮弁文は１点もなかった。龍泉窯系･招武窯系の例があり、他にも粗製の青磁が多く出土した。

白磁は青磁に比べ総数は少ないが、器種は青磁と同様に碗・皿が多い。今回碗の中で同じ器形なのに、青磁釉のものもあれば白磁釉のものもあり、またその中間的な釉のものがあるなど、分類の際に迷うことがあった。

染付については、元代のものはごくわずかで、ほとんどが明代以降のものである。器種は碗・皿が多く、瓶も目立つ。景徳鎮窯系、福建・広東系、漳州窯系のものが多い。

詰所地区を中心に、**瑠璃釉・色絵**・三彩等が少量出土している。

黒釉陶器は全て碗であり、全体の約７割が鎖之間南側地区からの出土である。

褐釉陶器は、ほとんどが壷である。

（参考文献）

上田秀夫「14 ～ 16 世紀の青磁碗の分類」『貿易陶磁研究』№.2　1982 年

２　タイ・ベトナム・朝鮮半島産陶磁器

タイ産陶磁器には、半練土器と褐釉陶器がある。半練土器については蓋が大半を占める。褐釉陶器については壷が多い。

ベトナム産陶磁器には、白磁・染付などがある。

朝鮮半島産陶磁器については、高麗青磁の碗・皿・盤などが少量出土している。

３　本土・沖縄産陶磁器

本土産陶磁器には備前・肥前・薩摩産の例がある。また類須恵器が４点出土している。

沖縄産陶器には、上焼（釉をかけ、碗･皿など小型の器種が多い）と荒焼（釉をかけない場合がほとんどで、壷・甕・鉢など大型の器種が多い）があるが、ほぼ同量出土している。いずれも客土など新しい層からの出土が多い。

陶質土器についても客土・表採資料等が大半である。

瓦質土器には沖縄産以外にも本土産の可能性があるものが含まれる。

土器については蓋と考えられる資料が多い。しかしグスク土器等に比べると、胎土が緻密で交胎である。

４　石製品・金属製品・土製品・骨製品

石製品はそれほど多く出土していないが、特徴的なものとして未製品と考えられるものが出土している。書院地区のピット２から出土した石材（第 64 図 27）がそれである。石質は緑色片岩で長方形の板状であるこの石材は、その形態から硯の未製品である可能性がある。また詰所地区の砂礫土からは、翡翠の石材（第 19 図 58 ～ 63）と考えられるものが集中して出土している。これは一部に割れ面を残すものの基本的に表面は削られており、形容しがたい幾何学的な立方体となっている。首里城跡城の下地区にも類例が１点ある。この他に特徴的なものとして、小型の硯（第 64 図 13）が出土している。また客土等の撹乱層からの出土であるが、高欄の部材や板碑・龍柱と考えられる石製品がある。

金属製品には多種多様なものが出土した。鎧の小札や鎖帷子の一部、鏃、刀子といった武具が、鎖之間南側を中心に出土している。また少量ではあるが、鉄滓や銅滓と考えられるものがある。

土製品には、煙管の雁首の未製品らしきもの（第 78 図 23）や、坩堝（第 86 図 216）がある。煙管・坩堝は未図化のものがそれぞれ３点ずつある。またトレンチ 13 からは、器種･用途不明の土製品片が 11 点（うち未図化 10 点）出土した。

骨製品には、竿ばかりと考えられるもの（第 112 図 152）がある。残存長 8.41 ㎝、断面径 0.36 ㎝、重さ 1.3

第24表　遺物出土状況

| 出土地 / 遺物名 | 詰所地区 | | | | | | | | | | | | | 書院地区 | | | | | | | | | | | | |

第24表　遺物出土状況

| 出土地 / 遺物名 | 鎖之間北側地区 | | |

第25表　青磁出土状況

分類・器種				出土地	詰所地区							書院地区								鎖之間北側地区			
					A-2	ﾄﾚﾝﾁ 27	B-2		C-3	A～C-2･3	D-9+B-2	トレンチ					岩山3	C～E-3～6	C～E-4～10	トレンチ			
												4	5	8	14	24	25						
					黒色土	暗褐色土	3層	4層	サンゴ片層	砂礫土	3層	埋土	暗褐色土	埋土	埋土	サンゴ片層	サンゴ片層	埋土	1層	砂礫土	埋土	1層	埋土	埋土
碗 (1850点)	直口	雷文帯	口～底																				
		蓮弁																					
		無文																					1
		その他								1													
		雷文帯	口縁部					1	1	13									4				
		蓮弁			2			5	24	96								4	8	1	1		1
		無文				2	1	3	5	73	1							4	7		1		
		その他					1	1	1	17									3	1			
		不明					1			6		1											
	外反	無文	口～底																1				
		雷文帯	口縁部																				
		蓮弁																					
		無文							3	7			1					2	3				1
		その他															1						
		不明																					
	その他	蓮弁	口縁部																				
		無文																	1				
		その他																					
		不明																					
	蓮弁		胴部		4		1	4	12	79								1	16	1		2	
	無文				1	1		7	8	105									76				
	その他							2		111									3			1	
	不明																						
	底部							3		25								5	16				
大碗 (6点)	直口	無文	口縁部		1																		
	外反																						
	胴部							1															
	底部							1											1				
小碗 (2点)	外反	無文	口縁部																				
	底部																		1				
碗or皿(6点)	胴部																		6				
碗or鉢(5点)	胴部																						
皿 (676点)	直口	蓮弁	口～底																				
		無文							1	1													
		蓮弁	口縁部					1		3									1				
		無文								2													
		その他																					
		不明																					
	外反	蓮弁	口～底																				
		その他							1	2													
		蓮弁	口縁部																2				
		無文							3	12								4	1				
		その他							2	7									2	1			
		不明								3													
	口折	蓮弁	口縁部							1													
		無文																	2				
		その他																					
		不明																					
	稜花	その他	口～底																				
		蓮弁	口縁部																				
		無文								19									4				
		その他						1		21									3				
		不明							4								1						
	その他	蓮弁	口縁部																				
		無文																					
		その他								1													
		不明																	1				
	胴部				1				2	11		1							5				
	底部						1			9		1						2	7			1	2
小皿 (6点)	口縁部																						
	胴部																						
大皿(1点)	底部																						
角皿(1点)	口縁部																		1				
皿or盤 (7点)	胴部																						
	底部																						
盤 (300点)	口～底部																						
	口縁部							2	5	49			1	1	1	1		2	3				
	胴部							2	7	18									8			1	
	底部								3	6								1	9				
壺 (5点)	胴部																						
	底部																1						
酒会壺 (25点)	口縁部																						
	胴部																						
	底部																						
	蓋																						
瓶 (26点)	口縁部									3													
	頸部																						
	注口																						
	胴部									1									3				
鉢 (19点)	口縁部																		1				
	胴部																		1				
	底部																						
蓋(4点)																							
水注(1点)	注口																		1				
火取(1点)	口縁部																		1				
香炉(4点)	口～底部																						
	口縁部																						
	底部																						
袋物(4点)	口縁部																		2				
	胴部																						
器種不明 (241点)	口縁部							1		28								1					
	胴部				1								1		5	3		18	2		1		
	底部									2									2				
	不明									1													
合計					10	3	5	35	83	633	1	3	3	1	6	4	2	1	44	208	4	3	5	5

注　「+」:接合の意

鎖之間北側地区												鎖之間南側地区									客土	表土	表採	不明	合計
トレンチ	D-9					E-8	E-9	C～D-7～10		ピット14	階段1	トレンチ						H･I - 9～11	石積						
22												11	12	13	16		11+12		2	3					
埋土	3層	4層	黒色土	黒褐色土	黒褐色礫混じり土	3層	4層	黒色砂礫土	赤褐色土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	下層	埋土	埋土	裏込め土	裏込め土					
								1																	1
														1											1
																		2							3
														1				3							5
				1			1	17	2			1		2	1			3	1		8	1		1	58
	3						1	64	16			7	2	14	1	1		27			30	9	3	7	327
		5		3				60	21			6	2	7	1	1		23			8	1		4	239
				1				2	3									9			40	3	4	3	89
	5													2					1						16
												1													2
								1																	1
		2			1			1					1					1			2				7
	1	3		3				34	7			5		1				10			33	4		2	120
								1							1										3
												2									1	5		1	9
			1																		2				3
		1		1			1		1									1						1	7
				1				2						1										1	5
														1							1				2
		5		4				56	8			6		4				15	1	1	40	5	2	26	293
		1	1	4				54	13	2		31	2	1				46		1	61	3	3	20	441
		2	1	2			1	9		1			2	4				3			1		4	1	49
		5																						1	6
	4	1		2				32	8	1		4		5				18	2		28	3		6	163
																									1
																	1								1
									1																2
																									2
																		1							1
																									1
																									6
	5																								5
												1													1
		1																							3
								1	2			4						1			1			1	15
				1				11				3		13				3			1	3	2		39
		1							3									1							5
									3																3
																		1							1
												1						2			1				7
								2	11			2		1				7			1	1			27
	2	4		2				26				25	5	21		1		29			1	4		6	146
	1	1						2					1	2				2					1		22
									6			2							1						12
									1			4		2	1						1		1	2	13
																					1			1	4
1																		1							2
								1																2	3
									1			1													2
									9					1				3							13
	1				1			1																	25
								15	3					1				3				1		1	49
				1																					6
																					1				1
		1										5		2				10			3			1	22
								1				4											1		7
									3			1									1				6
								20	7			1	5	5	1			18	4		13	16	8	1	119
	1							12	7		1	8	2	8				13	1		32	6	2	7	123
																					4				4
														2											2
													1												1
																									1
												4													4
																					3				3
								2																	2
	3	4						22	4			3		1	1	1		7			19	2	3	8	143
	2	1		2				9	3					1				4			26		2	3	89
	4		1					12	7					1				1	1		12	2	2	4	66
					1									1				1			1				4
																									1
																		1							1
						1		1										3			1	1		2	9
																					2	1		3	6
								6													1	1		1	9
												1													4
									1																1
									1																1
								5					1					3			7				20
								1														1		1	4
																1						8	1	1	12
												2										1			3
				1					2												1				4
																									1
																									1
				1																					1
									1																1
									1									1							2
																					1				3
									1																1
	4							2	2		1	20		2				5	1	1	1	1	1	1	72
2		7		3				14	53		2	5	1	1		1		9	2	1	5	3	1	9	150
								2	2			1		1							3	1		1	15
	1				1			1													1				4
3	37	45	4	33	1	1	4	503	214	4	4	161	25	110	7	6	1	291	15	4	400	87	41	130	3190

第26表　白磁出土状況

器種・分類 ＼ 出土地			詰所地区			書院地区					鎖之間北側地区											鎖之間南側地区							客土	表土	表採	不明	合計
			A-2	C-3	A～C-2・3	トレンチ				E-2	C～E-4～10	ﾄﾚﾝﾁ	D-8	D-9			E-9	C・D-7～10		階段1	ﾋﾟｯﾄ14	トレンチ					H・I-9～11	石積2					
						4	9	14	24			2										11	12	13	16	11+12							
			黒色土	サンゴ片層	砂礫土	埋土	埋土	埋土	サンゴ片層	黒色土	砂礫土	1層	埋土	3層	4層	黒褐色土	4層	黒色砂礫土	赤褐色土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	裏込め土					
碗(327点)	直口	口～底																				1					1						2
		口縁部		1	3			1						2	1			4	6					5			6		2	1			32
	外反	口～底			1																											1
		口縁部			21						2			2	2			3	5			2		1			1		12	4	3		58
	玉縁	口縁部			1																								1				2
	他	口縁部																			1												1
	口縁部				9						12				1		1	2				10	6	7		1	10					1	60
	胴部									1	6				1			34	12	1		7	3	4			19	2	30	1		2	124
	底部		1		7						2				3			2	6			3	1	3			9	1	7	1	1		47
小碗(17点)	直口	口縁部																				1							1				2
	外反	口縁部																												1		1	2
	口縁部				2											1								1			1						5
	胴部										2																						2
	底部																												5	1			6
皿(257点)	直口	口～底		1														2									1						4
		口縁部							1		3	1			2			6					1	1			12		1				28
	外反	口～底			1													1					1	1			16		1				21
		口縁部			9									2				15	5			20		4			17					1	73
	稜花	口縁部																				3		2									5
	口縁部				4						5				1			3		1		6			1		4			1			26
	胴部				1						1							8						1			5				1		17
	底部				12		1				5			3				16	3	1		2	2	5			20	1	7	3	1	1	83
小皿(4点)	外反	口～底																									2						2
	口縁部														1																		1
	底部																										1						1
小杯(3点)	口縁部				1						1				1																		3
壺(1点)	頸部										1																						1
瓶(15点)	外反	口縁部																						2									2
	口縁部																												1				1
	頸部																		1														1
	胴部																	1					1	1					5				8
	底部																												2	1			3
香炉(1点)	胴部				1																												1
蓋(1点)																		1														1
袋物(1点)	底部				1																												1
器種不明(90点)	口縁部				5													4				1		1	1								12
	胴部	2		22	1					8			3	6			1	6			4	2	3					3	2			63
	底部			5						1				1			1	4								2						14
	不明																												1				1
合　計		3	2	106	1	1	1	1	1	49	1	1	12	20	1	1	104	48	3	1	60	17	42	2	1	127	4	79	16	6	6	717

第27表　染付出土状況

器種・分類 ＼ 出土地		詰所地区			書院地区									鎖之間北側地区												鎖之間南側地区								客土	表土	表採	不明	合計
		A～C-2・3	B-2	C-3	トレンチ				ピット16	D・E-3～6	H-6	石敷3	C・E-4～10	トレンチ		D-9				E-9	C・D-7～10		階段1	トレンチ						H・I-9～11	石積2					
					4	9	14	24						21	22										11	12	13	16		18							
		砂礫土	4層	サンゴ片層	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	1層	埋土	黒色土	砂礫土	埋土	埋土	黒褐色土	黒色土	2+3層	3層	4層	4層	黒色砂礫土	赤褐色土	埋土	埋土	埋土	埋土	上層	下層	埋土	埋土	裏込め土					
碗（557点）	口～底																													2						2
	口縁部	31			2		1			4		1	30					1	6	6		23	6		23	2	14		1	1	38	1	66	7	9	13	286
	胴部	29			1							1	43	1			1					32	2		5		11		2		29	1	6	15	8	2	189
	底部	4										1	5						1	2		14	2		6		4				12		26	2	1		80
小碗（18点）	口～底																																	1			1
	口縁部						1													1	1									1		2				6
	胴部	7																																			7
	底部	1																					2									1				4
皿（270点）	口～底	6		2									1									3				1			7		1	1	1		23
	口縁部	42								1			1	1					1	3		15	5		7	2	11				15		17		1	2	124
	胴部	19																				3					6				1			1		2	32
	底部	14		2				1					9			1			1	1		14	6	1		2	5				14		17	2	1		91
皿?(3点)	底部																																1		2		3
小皿(4点)	口～底																													1							1
	口縁部																								3												3
大皿(2点)	胴部																								1								1				2
小杯(5点)	口縁部																			2		1	1														4
	底部	1																																			1
盤(5点)	口縁部												1																	1				1		3
	底部												1																				1				2
鉢(11点)	口縁部	1										1											2										1				5
	胴部									1			1																	1			1				4
	底部												1																	1							2
酒会壺(3点)	肩																																1				1
	胴部																																2				2
酒会壺?(1点)	胴部																					1															1
壺（4点）	胴部	1											1																					1			3
	蓋																																		1		1
瓶（61点）	口縁部												1									1	1		1	1				1		1		1		8
	胴部	14								1			3		1							3	3		1		1				6		14	2		1	50
	底部												1																	1			1			3
大瓶(1点)	胴部																										1										1
瓶?(1点)	底部																																			1	1
袋物(2点)	胴部																			1																	1
	底部																																	1			1
蓋(3点)		1																															1	1			3
器種不明（278点）	口縁部			3							1									1		13				1											19
	胴部	3	1	2		1			1	9									18	14	1	37	35		11	4	3	2	1		1		98	1			243
	底部	1											2						1	1		2								1			6			1	15
	把手																						1														1
合　計		175	1	9	3	1	2	1	1	16	1	4	101	2	1	1	1	1	28	32	2	162	66	1	58	11	58	2	4	2	132	2	264	36	26	22	1229

注　＋:接合の意

第28表　その他の国外産陶磁器出土状況

器種・分類		出土地	詰所地区		書院地区									鎖之間北側地区							鎖之間南側地区										客土	表土	表採	不明	合計
			C-3	A～C-2・3	トレンチ				D・E-3～6	石敷3	ピット8	C～E-4～10	トレンチ2	D-9		C・D-7～10		ピット14	トレンチ					トレンチ11+13	H・I-9～11	石積									
					5	10	24	25											11	12	13	16				2	3								
			サンゴ片層	砂礫土	暗褐色土	埋土	サンゴ片層	サンゴ片層	1層	黒色土	埋土	砂礫土	1層	3層	4層	黒色砂礫土	赤褐色土	埋土	埋土	埋土	埋土	上層	下層	埋土	埋土	裏込め土	裏込め土								
朝鮮半島産青磁(17点)	碗(5点)	口縁部		1												2																		3
		胴部																												1			1	2
	皿(4点)	口縁部														1	1																	2
		胴部														1																		1
		底部															1																	1
	盤(3点)	胴部														1															1			2
		底部										1																						1
	鉢(1点)	底部														1																		1
	瓶(1点)	胴部											1																					1
	器種不明(3点)	胴部												1		1	1																	3
	合　計		0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	17
鉄釉(3点)	袋物(1点)	胴部														1																		1
	器種不明(2点)	胴部										1																						1
		不明										1																						1
	合　計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
翡翠釉(8点)	碗(1点)	口縁部							1																									1
	壺(1点)	胴部																												1				1
	瓶(2点)	胴部										1																				1		2
	器種不明(4点)	胴部		1								1				1																		3
		不明										1																						1
	合　計		0	1	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	8
瑠璃釉(25点)	碗(9点)	口～底		1																														1
		口縁部		3								1																						5
		胴部														1																		1
		底部		1																												1		2
	皿(2点)	口縁部											1																					1
		底部																	1															1
	壺(1点)	底部																												1				1
	瓶(4点)	口縁部															1																	1
		胴部										1																		1				3
	蓋(1点)															1																		1
	器種不明(8点)	胴部														3	1													1	1			6
		不明														1																		2
	合　計		0	5	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	6	2	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	4	1	0	0	25
色絵(23点)	碗(12点)	口～底		1																														1
		口縁部	1	3																										1				5
		胴部		3												2																		5
		底部										1																						1
	小碗(1点)	口縁部																													1			1
	皿(2点)	底部																												1	1			2
	鉢(1点)	底部															1																	1
	壺(1点)	口縁部														1																		1
	瓶(4点)	口縁部																															1	1
		胴部		1								1																						2
		底部		1																														1
	器種不明(2点)	口縁部																												1				1
		底部																												1				1
	合　計		1	9	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	1	23
緑釉(19点)	鉢(1点)	口縁部																												1				1
	瓶(1点)	胴部										1																						1
	袋物(3点)	口縁部										1																						1
		胴部														2																		2
	器種不明(14点)	口縁部			1																										1			2
		胴部														2					3				4				1				10
		不明										1																		1				2
	合　計		0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4	0	0	0	0	3	0	0	0	4	0	0	3	1	0	0	19

三彩(42点)	皿(3点)		口縁部		1																																1
			胴部												1																		1				2
	鉢（1点）		口縁部											1																							1
	瓶（1点）		底部											1																							1
	鳥型水注(11点)		口縁部																														1	1			2
			胴部																														8	1			9
	袋物(10点)		胴部				1							1					2													2				6
			底部														1																				1
			不明											3																							3
	器種不明(16点)		把手																														1				1
			胴部		7																																7
			底部																2													2	1			5
			不明											2					1																	3
	合 計			0	8	0	1	0	0	0	0	0	8	1	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	3	0	0	42
黒釉陶器(667点)	碗(667点)		口～底																		1						1					1				3
			口縁部										6				31	2		79	5	26		1	1	57	4	1	8	3	3		227
			胴部		3					1			11			2	72	7		103	17	49		1		74	4	6	16	14	4	3	387
			底部														4	1	1	24	3	2	1			8			3	1	2		50
	合 計			0	3	0	0	0	0	1	0	0	17	0	0	2	107	10	1	207	25	77	1	2	1	140	8	7	27	19	9	3	667
ベトナム産磁器(36点)	青磁(1点)	碗(1点)	口縁部																	1																1
	白磁(25点)	碗(20点)	口～底		1																																1
			口縁部		18												1																				19
		皿(2点)	口縁部														1																				1
			胴部														1																				1
		瓶(1点)	胴部														1																				1
		器種不明(2点)	胴部										1																								1
			底部		1																																1
	染付(9点)	碗(1点)	底部																			1														1
		盤(2点)	底部												2																						2
		鉢(1点)	口縁部																			1														1
		瓶(2点)	胴部													1						1														2
		袋物(3点)	胴部		1															2																3
	色絵(1点)	瓶(1点)	胴部																																1	1	1
	合 計			0	21	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	4	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	36
陶器(29点)	碗(2点)		口～底							1																										1
			口縁部																1																	1
	壺(1点)		底部													1																					1
	鉢(3点)		口縁部		1									1				1																		3
	擂鉢(4点)		口縁部															1																			1
			胴部															1																			1
			底部		1													1																			2
	瓶(2点)		胴部									1																									1
			底部											1																							1
	蓋(2点)				1									1																							2
	茶器(1点)		底部																														1				1
	袋物(2点)		口縁部														1			1																2
	器種不明(12点)		口縁部															1				2				1						1				5
			胴部		1													1																			2
			底部											1				1								1										3
			不明										1																				1				2
	合 計			0	4	0	0	0	0	1	0	1	3	2	0	1	1	7	1	1	0	2	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0	29
法花(5点)	器種不明(5点)		胴部															2								1				1			1	1	5
不明(9点)	碗(3点)		口縁部																							2							1		3
	皿(3点)		口縁部			1		1																													2
			底部																									1								1
	器種不明(3点)		口縁部						1						1													1								3
	合 計			0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	1	9

第29表　褐釉陶器出土状況

器種・分類 ＼ 出土地			詰所地区						書院地区														
			ﾄﾚﾝﾁ 27	A-2	B-2		C-3	A～C-2･3	ﾄﾚﾝﾁ 4	5	6	8	9	14	24	25			岩山3		ﾋﾟｯﾄ 8	C～E-3～6	C～E-4～10
			暗褐色土	黒色土	3層	4層	サンゴ片層	砂礫土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	サンゴ片層	埋土	サンゴ片層	礫層	黒色土	赤褐色土	埋土	1層	砂礫土
中国産（7518点）	鉢(2点)	口縁部																					
	壺（5503点）	口縁部					2	15									1	1				2	25
		耳					1																
		胴部	24	18		20	59	821	34	5		3	2	32		1	22	4	1		2	104	736
		底部					1	18	2													3	12
	小壺（14点）	口縁部																					
		胴部																					
		底部																					
	壺or甕(1941点)	胴部																					
	甕?（3点）	胴部			1			2															
	擂鉢（4点）	口縁部																					
		胴部															1						
	瓶（5点）	口縁部																					
		頸部																					
		胴部						2															
	茶入れ(1点)	底部																					
	耳(1点)																						
	蓋(1点)																						
	袋物（3点）	肩																					
		胴部																					
	器種不明（40点）	口縁部																					
		頸部																					
		胴部		4											2								
		不明																					
	小　計		24	22	1	20	63	858	36	5	0	3	2	32	2	1	24	5	1	0	2	109	773
タイ産（1507点）	ノイ川窯（709点）	口縁部																					6
	壺（709点）	耳																					2
		頸部																					
		胴部		4		1		50				1			2								87
		底部																					1
	シーサッチャナライ窯（698点）	口縁部						2															4
	壺（694点）	耳																					1
		頸部																					
		胴部				6		67			1		2										48
		底部						2															1
	器種不明(4点)	頸部						4															
	窯不明（100点）	口縁部						1															
	壺（97点）	耳						2															1
		頸部																					
		胴部	1			1	12	7	7					5			3	1		1			
		底部					1																
	器種不明(3点)	口縁部																					
		胴部																					1
	小　計		1	4	0	8	13	135	7	0	1	1	2	5	2	0	3	1	0	1	0	0	152
中国or東南アジア産（4点）	壺or甕（3点）	口縁部																					
		胴部																					
		底部																					
	器種不明(1点)	口縁部																					
	小　計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東南アジア産?（4点）	壺(2点)	底部				1																	
	壺or甕(1点)	底部																					
	袋物(1点)	底部																					
	小　計		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベトナム産?(1点)	壺(1点)	底部																					
産地不明(1点)	碗(1点)	口縁部																					
合　計			25	26	1	29	76	993	43	5	1	4	4	37	4	1	27	6	1	1	2	109	925

鎖之間北側地区															鎖之間南側地区													
ﾄﾚﾝﾁ						D- 9				E-9	C･D-7～10		ﾋﾟｯﾄ14	階段1	ﾄﾚﾝﾁ						石積		H･I-9～11	客土	表土	表採	不明	合計
1	2		3	21	22										11	12	13	16		18	2	3						
埋土	1層	2層	埋土	埋土	埋土	3層	4層	黒色土	黒褐色土	4層	黒色砂礫土	赤褐色土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	上層	下層	埋土	裏込め土	裏込め土	埋土					
												1																2
	2					1	3		6	1	43	8			2		1		1		2		4	29	6	2	2	159
									1		1													4			1	8
3	13	3	20	18	6	1	138	5	117	18	1466	333	5	18	116	34	105		24	2	30	10	383	108	108	22	204	5198
	1			1	1			1	1		36	14			2		3			1	1		8	24	3	2	3	138
							1								1		1						1	2				6
																											4	4
																							3				1	4
												2												1458	181	111	189	1941
																												3
																							1					1
							1					1																3
																								1				1
											1																	1
																							1					3
																										1		1
																							1					1
																								1				1
																					1							1
															1								1					2
												1													1				2
																									1			1
									3						1	4	1	2				6		7		2	4	36
																							1					1
3	16	3	20	19	7	2	143	6	128	19	1547	360	5	18	123	38	111	2	25	3	34	16	404	1634	300	141	408	7518
											2	1											1	2	3		1	16
											3													3				8
									1		10													6		1		18
	1		3		2		5		8		132	79			14		7		2		1		17	180	26	3	24	649
											1	2											1	10	2		1	18
							1				2	3			1								2	5	1		1	22
											2													3				6
											4	1											3	7				15
1			2	2			16		10		113	69			14		9		4			1	34	178	26	9	28	640
											4													3		1		11
																												4
									1		3	1									1		1					8
												2											1		1			7
							1																			1	5	7
							3		1		3			5		1							3	1	1	3	11	70
						1										1	1			1								5
												1																1
																	1											2
1	1	0	5	2	2	1	26	0	21	0	279	159	0	5	29	2	18	0	6	1	2	1	63	398	60	18	71	1507
						1																						1
																								1				1
																								1				1
																								1				1
0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4
																											1	2
																							1					1
							1																					1
0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4
												1																1
						1																						1
4	17	3	25	21	9	5	170	6	149	19	1826	520	5	23	152	40	129	2	31	4	36	17	468	2035	360	159	480	9035

第30表　本土産磁器出土状況

分類・器種			出土地	詰所地区		書院地区						鎖之間北側地区			鎖之間南側地区			客土	表土	表採	不明	合計
				A-2	A～C-2･3	トレンチ		D･E-3～6	石敷3	岩山	C～E-4～10	トレンチ	D-9	C･D-7～10	トレンチ		H･I-9～11					
						9	25			3		22			11	13						
				黒色土	砂礫土	埋土	サンゴ片層	1層	黒色土	黒色土	砂礫土	埋土	4層	黒色砂礫土	埋土	埋土	埋土					
印判染付(3点)	小碗(1点)	口～底								1												1
	鉢(1点)	底部																	1			1
	瓶(1点)	胴部																	1			1
染付(6点)	碗(3点)	口～底																	2			2
		胴部																		1		1
	皿(2点)	底部		1																	1	2
	小杯(1点)	口～底																1				1
白磁(5点)	皿(4点)	口～底															1	2				3
		底部									1											1
	器種不明(1点)	底部									1											1
色絵(7点)	碗(3点)	口縁部																1				1
		胴部																1		1		2
	小碗(1点)	口縁部																		1		1
	皿(3点)	口縁部					1															1
		底部																2				2
その他(333点)	碗(216点)	口～底																1		1		2
		口縁部		2	3				1		7			4	1		2	43	3	10	3	79
		胴部						5	1					5			3	62	3	9	7	95
		底部			1			3	1		3	1		1			2	18	4	4	2	40
	小碗(14点)	口縁部				1											1	4				6
		胴部			1																	1
		底部								2								5				7
	皿(45点)	口～底																1				1
		口縁部			1			3	1		1					1	3	14		2	1	27
		胴部													1		1		1			3
		底部						2										10	2			14
	杯(1点)	底部																1				1
	小杯(2点)	胴部															1					1
		底部									1											1
	鉢(1点)	口縁部											1									1
	壺(1点)	口縁部																1				1
	瓶(3点)	胴部			1																	1
		底部																1			1	2
	急須(1点)	口縁部																1				1
	香炉(3点)	胴部						2														2
		底部						1														1
	火取(5点)	口縁部																3				3
		胴部																	1			1
		底部																1				1
	蓋(6点)																	5	1			6
	袋物(1点)	胴部						1														1
	器種不明(34点)	口縁部						3			1			1								5
		胴部			8			3			2			1				14				28
		底部																1				1
合　計				2	16	1	1	23	4	3	17	1	1	12	2	1	14	193	19	29	15	354

第31表　本土産陶器出土状況

分類・器種		出土地	詰所地区		書院地区				鎖之間北側地区				鎖之間南側地区			客土	表土	表採	不明	合計
			C-3	A～C-2・3	トレンチ 5	D・E-3～6	岩山 3	C～E-4～10	D-9		C・D-7～10		トレンチ 11	トレンチ 13	H・I-9～11					
			サンゴ片層	砂礫土	埋土	1層	埋土	砂礫土	3層	4層	黒色砂礫土	赤褐色土	埋土	埋土	埋土					
備前(8点)	鉢(1点)	口縁部						1												1
	擂鉢(6点)	口縁部						1	1		1	1								4
		胴部						1								1				2
	壺(1点)	口縁部														1				1
備前?(2点)	壺or甕(2点)	胴部						1							1					2
肥前(1点)	碗(1点)	胴部											1							1
薩摩(8点)	壺(1点)	底部				1														1
	器種不明(7点)	胴部														6		1		7
龍門司焼(1点)	壺(1点)	胴部																1		1
関西系(3点)	碗(1点)	底部						1												1
	皿(1点)	口～底						1												1
	蓋(1点)															1				1
産地不明(179点)	碗(20点)	口縁部			1			1				1	1	7		2				13
		胴部												3	1					4
		底部						1											2	3
	小碗(1点)	口縁部														1				1
	皿(4点)	口縁部														1				1
		胴部																	1	1
		底部														2				2
	擂鉢(8点)	口縁部														3				3
		胴部														3			1	4
		底部														1				1
	鉢(5点)	口縁部														1				1
		胴部	4																	4
	壺(15点)	口縁部														2				2
		耳														1				1
		頸部														2				2
		胴部														1			3	4
		底部														5			1	6
	瓶(4点)	胴部				1										2				3
		底部														1				1
	急須(1点)	胴部									1									1
	火取(3点)	口縁部						1								1				2
		胴部						1												1
	蓋(4点)							1			1					2				4
	袋物(3点)	口縁部														1				1
		胴部					1										1			2
	器種不明(111点)	胴部		18		2		3		8	17	1	1			45	3	1	6	105
		底部		1		1					1			1	1	1				6
合　計			4	19	1	5	1	14	1	8	21	3	3	11	3	87	4	3	14	202

第32表　沖縄産施釉陶器出土状況（上焼）

器種・分類			出土地	詰所地区		書院地区												
				A-2	A～C-2・3	トレンチ					ピット			石敷3	岩山3		C～E-3～6
						4	8	14	24	25	8	19	20				
				黒色土	砂礫土	埋土	埋土	埋土	ｻﾝｺﾞ片層	ｻﾝｺﾞ片層	埋土	埋土	埋土	黒色土	黒色土	埋土	1層
碗（389点）	灰釉（154点）	直口	口～底														
			口縁部														4
		外反	口縁部														
		胴部			9		1										
		底部															1
	白化粧（106点）	直口	口～底														
			口縁部		2												
		外反	口縁部														
		口～底															
		胴部															
		底部															
	黒釉（17点）	直口	口縁部														
		胴部															
		底部															
	その他（50点）	外反	口～底														
			口縁部														
		直口	口縁部							1							
		口～底															
		胴部					1				1						2
		底部															
	不明（62点）	口縁部			1												
		胴部				1				1							5
		底部															2
小碗（87点）	灰釉（45点）	直口	口縁部														
		外反	口縁部														
		口～底															
		口縁部			4								1				9
		胴部															
		底部															2
	白化粧（15点）	直口	口縁部				1										
		外反	口縁部										1				
		八角	口縁部														
		口～底															
		胴部															
		底部															
	黒釉(1点)	外反	口縁部		1												
	その他（26点）	外反	口縁部														
		口～底															
		口縁部													1		2
		胴部															
		底部															1
皿（41点）	灰釉(1点)	口縁部															
	白化粧（33点）	外反	口縁部														
		口～底															
		口縁部			1												
		胴部															
		底部															
	その他（4点）	口～底															
		口縁部															
		底部															
	不明（3点）	口縁部															1
		底部															
小杯?(1点)	灰釉?	底部															
鉢（81点）	灰釉(3点)	胴部															
	黒釉（12点）	外反	口縁部									1					
		口縁部															3
		胴部															5
		底部									1						
	その他（34点）	口縁部			1												4
		胴部			2												6
		底部															1
	不明（32点）	口～底															
		口縁部															1
		胴部								1							
		底部															
小鉢(1点)																	
火鉢(1点)																	
鍋(8点)																	
壺(17点)																	
アンダガーミ(10点)																	
瓶(9点)					1												
急須(130点)					4	1											6
ｱﾝﾋﾞﾝ(2点)																	
水滴(1点)																	
蓋(10点)					1												1
火炉(1点)																	
火取(10点)					1											1	
灯明具(1点)																	1
袋物(67点)				1	5	1				1							11
器種不明(128点)				1	6			1						1	1		
合　計				2	39	3	3	1	1	3	2	1	2	1	2	1	68

	鎖之間北側地区								鎖之間南側地区					客土	表土	表採	不明	合計
C～E-4～10	トレンチ			D-9		E-9	C・D-7～10		トレンチ			石積3	H・I-9～11					
	21		22						11	12	13							
砂礫土	埋土	砂礫土	埋土	4層	黒褐色土	3層	黒色砂礫土	赤褐色土	埋土	埋土	埋土	裏込め土	埋土					
															1			1
2		1					13				1			10	2	2	1	36
2														6		1		9
29		1		4			17	3			1		3	24	2		1	95
1							5		1				1	4				13
									1									1
							4							4		1		11
														20	1	2		23
															1			1
									3					36				39
1									1					23	1	4	1	31
							5							2				7
1														5				6
														4				4
															1			1
									2					10				12
																	1	2
							1								1			2
5							6							14				29
1									1					2				4
1					1	1			1		2		2	1		2	1	13
							4		1		1		1	4	6	9	3	36
1														10				13
														2		1		3
									2					1				3
									1									1
1							11						1	1				28
							5											5
													1	2				5
1														1				3
																	1	2
														1				1
															1			1
							1							2				3
														4	1			5
																		1
1							1								1	1		4
															1			1
							5							1		1		10
2									1					2				5
3														2				6
				1														1
							1							17				18
															1			1
																4		5
														8				8
													1					1
															2			2
																1		1
																1		1
																		1
									2									2
1																		1
														3				3
																		1
															1			4
																		5
															1			2
																		5
														16		1		25
														1	2			4
														1				1
1							2						1	8	1	1		15
4							3						1	1	1			11
														5				5
														1				1
															1			1
							3		1					2	1	1		8
							1		1				3	11		1		17
														10				10
							1						1	4	1		1	9
3							6		3				1	92	1	7	6	130
2																		2
														1				1
1							3						1	1	1	1		10
														1				1
2							1							4		1		10
																		1
	1						19	3	2	1				20		2		67
12	2		4				6		2			1	8	65	5	9	4	128
78	3	2	4	5	1	1	124	6	26	1	5	1	26	470	39	54	20	995

第33表　沖縄産無釉陶器出土状況（荒焼）

器種・分類		出土地	詰所地区		書院地区							鎖之間北側地区							鎖之間南側地区				客土	表土	表採	不明	合計
			C-3	A～C-2・3	ﾄﾚﾝﾁ				C～E-3～6	石敷3	C～E-4～10	ﾄﾚﾝﾁ	D-8	D-9		C・D-7～10		階段1	ﾄﾚﾝﾁ		H・I-9～11	石積3					
					4	6	8	25				21							11	12								
			サンゴ片層	砂礫土	埋土	埋土	埋土	サンゴ片層	1層	黒色土	砂礫土	砂礫土	埋土	3層	黒褐色土	黒色砂礫土	赤褐色土	埋土	埋土	埋土	埋土	裏込め土					
碗（20点）	口～底									1																	1
	口縁部				1						2					1											13
	胴部										1						2						6	2		1	13
	底部																						1	1			5
皿（7点）	口縁部																						1				1
	底部		1							1	2												2				5
鉢（95点）	口縁部		4						1		6					7	2						1				2
	胴部										13				1	2	3						20	7	1	1	49
	底部								1		1												23	1			43
擂鉢（65点）	口縁部								1		1	1												1			3
	胴部		3						2		4					8	2						5	2	1		11
	底部								1			1		1							1		20	4	2	1	47
	脚															1											3
水鉢(1点)	口縁部																						2			1	4
植木鉢（9点）	口縁部																						1				1
	胴部															1							4				5
	底部																							1	2		3
鍋(1点)	胴部										1												1				1
壺（436点）	口縁部		1						1							2							11	1	2		18
	耳																1						2			1	4
	胴部		84						11		1	2		1									256	3	13	11	382
	底部		3								2					2		1					23		1		32
小壺(1点)	底部																				1						1
甕（71点）	口縁部										1												6				7
	胴部								9										5				46	3			63
	底部										1																1
瓶（12点）	口縁部																						2				2
	胴部								2														3	2			7
	底部																						1	1	1		3
急須(1点)	注口		1																								1
火炉（5点）	口縁部															1							2				3
	胴部																									1	1
	底部												1														1
火取(1点)	胴部															1											1
香炉(1点)	底部															1											1
蓋(6点)																3							2			1	6
袋物（2点）	口縁部																						1				1
	胴部																						1				1
器種不明（159点）	口縁部		1													1	1		1		1		1	1		1	8
	胴部	1	4		1	1	2				30	1				38	4		1	1	4	1	21	16	7	3	136
	底部		1								1					1	1				1		1				6
	脚のみ										1																1
	撮み																						1				1
	不明															4							3				7
合　計			1	103	1	1	1	2	29	2	68	5	1	2	1	74	16	1	7	1	8	1	470	46	30	22	893

第34表　陶質土器出土状況

器種＼出土地		詰所地区	書院地区						鎖之間北側地区						鎖之間南側地区		客土	表土	表採	不明	合計
		A・C-2・3	トレンチ		ピット19	岩山3	D・E-3～6	C～E-4～10	トレンチ		D-9		C・D-7～10		ﾄﾚﾝﾁ11	H・I-9～11					
			8	25					21	22											
		砂礫土	埋土	サンゴ片層	埋土	黒色土	1層	砂礫土	砂礫土	埋土	3層	黒褐色土	黒色砂礫土	赤褐色土	埋土	埋土					
碗(2点)	底部																2				2
皿(2点)	口縁部																2				2
鉢(11点)	口～底																	1			1
	口縁部															1	2				3
	胴部															1					1
	底部																3	1	1	1	6
植木鉢(4点)	口縁部																1				1
	胴部																3				3
鍋(74点)	口縁部	1					1								1	1	5	4	7	1	21
	頸部																1				1
	耳								1								5				6
	胴部					1	8			1	1				7			8	2		28
	底部															1	8				9
	蓋																	1	8		9
焙烙(1点)																			1		1
急須(15点)	口縁部																	1			1
	耳							1									1	2			4
	注口																	3			3
	胴部																1	1	3		5
	蓋																	2			2
蓋(20点)							1	1					1				6	2	8	1	20
火取(3点)	口縁部							1									1				2
	胴部																1				1
火炉(15点)	口縁部																3	2			5
	耳																1				1
	胴部												1				5		1		7
	底部																1	1			2
袋物(1点)	口縁部						1														1
さな(1点)																	1				1
器種不明(169点)	口縁部							1						2			2		1		6
	耳												1				1				2
	胴部	5	1	1	2			9				1	13		2	4	55	2	51	4	150
	底部													1		1	2	4	1		9
	不明																1	1			2
陶質土器か(1点)	不明							1													1
合　計		5	1	1	2	1	11	15	1	1	1	1	16	3	10	9	114	36	84	7	319

第35表　瓦質土器出土状況

器種 ＼ 出土地		詰所地区		書院地区		鎖之間北側地区					鎖之間南側地区				客土	表採	不明	合計
		B-2	A～C-2･3	D･E-3～6	C～E-4～10	ﾄﾚﾝﾁ 21	D-9		C･D-7～10		トレンチ 1	トレンチ 13	石積 2	H･I-9～11				
		4層	砂礫土	1層	砂礫土	1層	3層	4層	黒色砂礫土	赤褐色土	埋土	埋土	裏込め土	埋土				
鉢(37点)	口縁部		5		2				4	1		1		3	3		1	20
	胴部		2		2		1	1	1	2		1	1	1				12
	底部								1	1	2							4
	脚														1			1
植木鉢(9点)	口縁部														1	1		2
	胴部											3			2	1	1	7
水鉢(2点)	口縁部			1														1
	胴部			1														1
壺(1点)	胴部											1						1
袋物(1点)	胴部														1			1
器種不明(17点)	口縁部				1													1
	耳		1															1
	胴部								3	1	1				4		1	10
	底部	1							1					1				3
	脚														1			1
	不明					1												1
合　計		1	8	2	5	1	1	1	10	5	3	6	1	5	13	2	3	67

第36表　土器出土状況

器種 ＼ 出土地		詰所地区					書院地区						鎖之間北側地区												鎖之間南側地区				客土	表土	表採	不明	合計
		ﾄﾚﾝﾁ 27	A -2	A～C-2･3	B-3	C-3	ﾄﾚﾝﾁ 4	ﾄﾚﾝﾁ 14	ﾄﾚﾝﾁ 25	岩山 3	D･E-3～6	C～E-4～10	ﾄﾚﾝﾁ 2	ﾄﾚﾝﾁ 21	ﾄﾚﾝﾁ 22	階段 1	C･D-7～10		D-9				ﾄﾚﾝﾁ 11	ﾄﾚﾝﾁ 13	H･I-9～11	石積 2							
		暗褐色土	黒色土	砂礫土	崩落土	サンゴ片層	埋土	埋土	サンゴ片層	黒色土	1層	砂礫土	1層	埋土	埋土	埋土	黒色	砂礫土	赤褐色土	3層	4層	5層	黒褐色土	埋土	埋土	埋土	裏込め土					
碗(1点)	口縁部																								1							1
鍋(1点)	底部																										1					1
鉢(4点)	口縁部																		1											1		2
	胴部																										1					1
	底部																										1					1
火鉢?(1点)	胴部																										1					1
壺(2点)	口縁部																			1							1					2
小壺(1点)	口縁部																			1												1
甕?(3点)	口縁部						2																				1					3
蓋(499点)		4	1	164	1	53					3	34	1			1	117	20		3		24	3	1	3		25	12	6	23	499
把手(1点)																											1					1
袋物(1点)	胴部																			1												1
器種不明(207点)	口縁部									1																					3	4
	胴部		1					1		1	2	13			1		24	42	9	6	1	2	1	2	3	4	39	11	2	18	183
	底部		1									1						2										2			6
	不明			2					6			2		1			1											2			14
土器か(1点)	口縁部																	1														1
合　計		4	3	166	1	53	2	1	6	2	5	50	1	1	1	1	142	66	11	10	1	26	4	3	7	5	70	27	9	44	722

第37表　タイ産土器出土状況

器種 ＼ 出土地		詰所地区			書院地区			鎖之間北側地区				鎖之間南側地区		客土	表土	表採	不明	合計
		トレンチ 27	A～C-2･3	C-3	トレンチ 25	D･E-3～6	C～E-4～10	D-9		C･D-7～10		トレンチ 11	I-11					
		暗褐色土	砂礫土	サンゴ片層	サンゴ片層	1層	砂礫土	4層	黒褐色土	黒色砂礫土	赤褐色土	埋土	埋土					
壺(1点)	口縁部									1								1
蓋(44点)		2	14		1	1	1	1	2	4		1	1	3	4		5	40
	撮み		1								1							2
	端部							1			1							2
器種不明(35点)				2			6			24	1				1	1		35
合　計		2	15	2	1	1	7	2	2	29	3	1	1	3	5	1	5	80

第38表　金属製品出土状況

出土地 / 種類	詰所地区						書院地区									鎖之間北側地区																				鎖之間南側地区								客土	表土	表採	不明	合計
	A－2	B－2		B－3	C－3	A～C-2･3	トレンチ						石敷3	D･E-3～6	C～E-4～10	トレンチ				C-9	D-8		D-9				E-8	C･D-7～10		ﾋﾟｯﾄ14	トレンチ				H･I－9～11	石積										
							4	5	8	10	14	25				2	3	21	22												11	12	13	16		2	3										
	黒色土	3層	4層	崩落土	サンゴ片層	砂礫土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	サンゴ片層	黒色土	1層	砂礫土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	礫混じり土 黒褐色	埋土	3層	4層	黒色土	黒褐色土	3層	黒色砂礫土	赤褐色土	埋土	埋土	埋土	下層	埋土	裏込め土	裏込め土										
簪					1										3			1			1													1	1										8
煙管																																															1
釘	4	1	3		10	70	1				1				35	9		1	1			15	15	7	2	19	1	211	33		249	2	246	1	37	32	1	68	12	29	52	1168
鋲				1		2									4														1		7		5					1		4		25
笠鋲（金箔）																																1											1
兜																																													2
笠鞐						1																													1										2
覆輪						6		2																		4		5	1		2					1		4			3	28
八双金具			1			3									2													7	4					1	1		1	1			21
切羽						1																																						1
蝶番																													2													2
鉄滓																						1								1												2
銅滓																																												1
鏃																												1	1		1											4
鍔																												1															1
薬莢																																												1
鉄片					18	50				1		1			4		1					6			4		47	22		10		6	1	42	60		1			4	278
小札						4												1									3			3		5		2	16		3		2	2	41
砲弾														1	2							1															1				5
弾丸						1									2														1					1			3				8
銅弾																												1														1
ボタン															1																			1			1				3
刀子						1									5				2									1	1					1	1						12
鎧の飾り														1	2						2				1		7	3		2		3		5	1			1			28
鎖帷子						2										1									24					37		11			1				4		80
こはぜ																																												1
縫い針																												1															1
毛抜き																												1															1
飾り金具				1		1																						1					1										4
器種不明				1	2	27			3			1			6							1			1		37	2		6	1	1	1	11	2	2	7	1	2		115
合　　計	4	1	4	3	31	169	1	2	3	1	1	2	0	2	66	10	1	3	1	2	1	18	23	7	2	53	1	324	71	1	317	3	278	3	104	116	4	96	15	41	61	1846

第39表　円盤状製品出土状況

出土地 / 種類	詰所地区					書院地区				鎖之間北側地区					鎖之間南側地区		客土	表土	表採	不明	合計
	ﾄﾚﾝﾁ27	A-2	B-3	C-3	A～C-2･3	ﾄﾚﾝﾁ14	D･E-3～6	C～E-4～10	ﾄﾚﾝﾁ1	D-9			C･D-7～10		ﾄﾚﾝﾁ11	ﾄﾚﾝﾁ12					
	暗褐色土	黒土	崩落土	サンゴ片層	砂礫土	埋土	1層	砂礫土	埋土	3層	4層	黒褐色土	黒色砂礫土	赤褐色土	埋土	埋土					
青磁				1																	1
白磁					1								1								2
染付								1					1								2
天目													1			1					2
褐釉陶器	1				32	1	1	4		1	2	2	23	5	1		4	1		6	84
タイ産褐釉陶器			1				1	1					9	3	1		4	1			21
本土産陶器																				1	1
沖縄産施釉陶器								1					1								2
沖縄産無釉陶器								1									4	1			6
瓦							1										11		1		13
タイル																	1				1
不明		1		9	4			1	1				18						1		35
合　計	1	1	1	10	37	1	3	9	1	1	2	2	54	8	2	1	24	3	2	7	170

第40表　石製品出土状況

出土地 / 種類	詰所地区		書院地区					鎖之間北側地区						鎖之間南側地区			客土	表土	表採	合計
	C-3	A～C-2･3	ﾄﾚﾝﾁ14	ﾄﾚﾝﾁ25	E-6	ﾋﾟｯﾄ2	C～E-4～10	D-8	D-9		C･D-7～10			ﾄﾚﾝﾁ11	ﾄﾚﾝﾁ13	H･I-9～11				
	サンゴ片層	砂礫土	埋土	サンゴ片層	1層	埋土	砂礫土	埋土	3層	黒褐色土	黒色砂礫土	赤褐色土		埋土	埋土	埋土				
硯			1	1			2				1						3	3		11
石球		1					1				3	3		1	1		2		1	13
礎石																	2			2
砥石					1				1								1	2		5
軽石	1																			1
滑石										1										1
高欄																	6		1	7
板碑																	1			1
龍柱?																	1			1
坩堝									1								2			3
翡翠製品	8	13						1			5									27
用途不明		6			1	1									1	1	6	2	1	19
合　計	9	20	1	1	2	1	3	1	2	1	9	3		1	2	1	24	7	3	91

第41表　貝製品出土状況

出土地 / 分類	詰所地区	書院地区	鎖之間北側地区					鎖之間南側地区	客土	表採	合計
	A～C-2･3	C～E-4～10	トレンチ21	D-9		C･D-7～10		トレンチ13			
	砂礫土	砂礫土	埋土	3層	4層	黒色砂礫土	赤褐色土	埋土			
貝匙状製品	1			1		4	2	1		1	10
ヤコウガイ有孔	1	1	1		1		1		1		6
合計	2	1	1	1	1	4	3	1	1	1	16

第42表　骨製品出土状況

出土地 / 種類	詰所地区		鎖之間北側地区		鎖之間南側地区		客土	合計
	A～C-2･3	C-3	C-9	C･D-7～10	ﾄﾚﾝﾁ13	I-11		
	砂礫土	サンゴ片層	赤褐色土	黒色砂礫土	埋土	埋土		
骨針?					1			1
脊椎骨有孔	1		1	1				3
物差しか?						1		1
歯ブラシ							1	1
不明		1		2	2			5
合　計	1	1	1	3	3	1	1	11

ｇと通常の竿ばかりに比べ非常に小さいことから、重さを量る対象も軽い物であったはずである。竿ばかりが出土した鎖之間南側地区からは、金箔を施した金属製品や、多様な色を持つ玉が出土していることから、これらの工芸品を作る際の薬剤の調合等に用いられた可能性がある。

5　円盤状製品・瓦・玉・銭貨

円盤状製品については、主に褐釉陶器を転用している。

瓦は大きく高麗系、大和系、明朝系に分けて集計をおこなった。点数を見ると高麗系・大和系合わせても全体の一割にも満たなく、ほとんどが明朝系である。明朝系瓦の中には、叩くと金属音がするほど焼き締まったものが少量あった。また変形したり、複数の瓦が溶着した例（第 90 図 278 ～ 280）があった。

玉は直径に応じて大（8.00 ㎜以上）・中（6.00 ～ 7.99 ㎜）・小（5.99 以下）の 3 つに分け、さらに色で分け集計を行った。トレンチ 11・13 を掘り下げた際、獣・魚骨を大量に含む層を確認したため、その土をふるいにかけて選別したが、その時に獣･魚骨とともに玉も多く見つかった。

銭貨は詰所地区を中心に出土しており、まずはここから出土した銭貨について述べる。詰所地区から大量の古銭が出土することは、今回の発掘調査以前に既に知られていた（注 1）。注目すべきは量もさることながら、ほとんどが小さい破片で出土していることである。詰所地区からは総点数約 2400 点、総重量約 2. 8 kg の銭貨が出土したが、完形のものはわずか 16 点のみで、ほとんどが細かい破片の状態で出土する。一例として､C － 3 グリッドの砂礫土から出土した永楽通寶を図版 121 の 6 ～ 48 に挙げた。このような銭貨の中には、幅 2mm ほどの鑿状工具で割ったような痕跡をもつ例もある（図版 121 の 2）ことから、意図的に割られた銭貨であると考えられる。また数枚がくっついた状態のもの（図版 121 の 4・5）や、直径 1 mm ほどの穴が開けられた例（図版 121 の 3）が少数ある。時期別にみると、最も古い例が五珠（前漢　紀元前 118 年）で、最も新しい例が永楽通寶（明　1408 年）である。量的に多いのは北宗銭であるが、唐の開元通寶も多い。

詰所地区以外について見ると、鎖之間南側地区から 92 点の無文銭が出土している。また客土から朝鮮通宝が 1 点出土している。

(注 1)

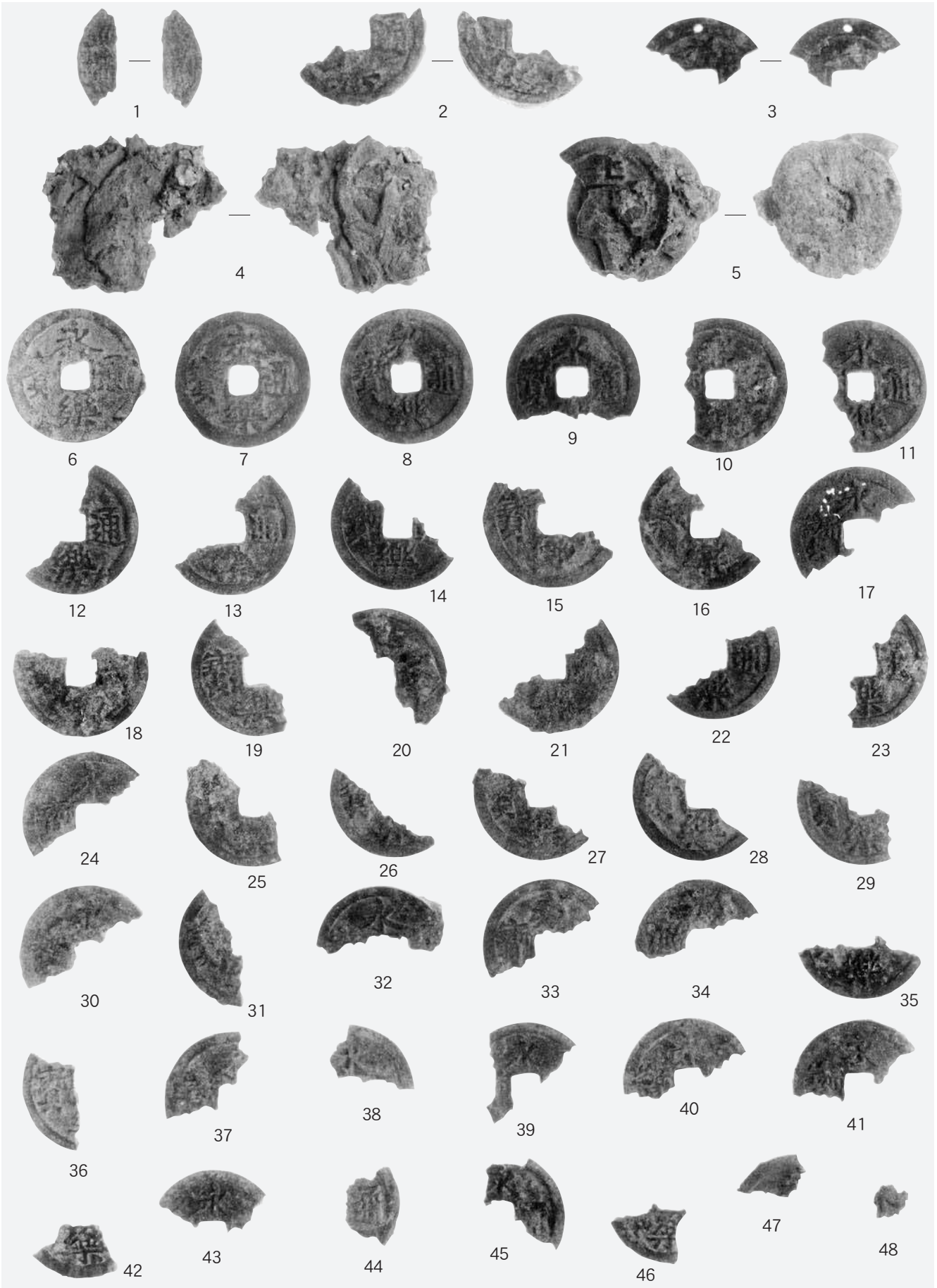
多和田真淳「首里城の古銭と首里遷都」『琉球新報』1965 年 10 月 4 日～ 8 日掲載

6　自然遺物

①貝類

最も多く出土したのがヤコウガイとその蓋であり、調査区の各地点から出土している。次に多いのがオキナワヤマタニシであるが、ヤコウガイとは異なり鎖之間北側地区の黒色砂礫土、同南側地区のトレンチ 11・13 から集中して出土している。

図版120　クリーニング前の銭貨


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48

図版121　銭貨

第43表　銭貨出土状況

銭種・銭文	時代	初鋳年	詰所地区								書院地区							
出土地			トレンチ27	A−2	B−2	B−3	C−3		A〜C-2・3	B−2・3	トレンチ5			トレンチ10	D−2	E−6	ピット	C〜D-6〜10
			暗褐色土	黒色土	4層	崩落土	サンゴ片層	崩落土	砂礫土	表土	埋土	暗褐色砂質土	黒色砂質土	埋土	1層	1層	11	砂礫土
五　銖	前漢	B.C　118年?							1									
開元通寶	唐	621年	1						6									
開元通寶 紀地銭　背逆洪		845年					1											
開元通寶		621・845年				14	5											
開元通寶			2					3	46	11								1
乾元重寶		758・759年																
乾元重寶 当十		758年							1									
乾元重寶 当五十		759年	1															
乾亨重寶	南漢	917年							1									
唐國通寶	南唐	959年				1	1											
宋通元寶	北宋	960年																1
太平通寶		976年							5	3								
淳化元寶		990年	1			1		1										
至道元寶		995年				1		3	8	1								
至道〇　〇		995年	1															
咸平通寶		998年				1												
景徳元寶		1004年			1		1		2									
祥符通寶		1009年				1	4		5									
祥符通寶 折二銭		1008年							1									
祥符元寶		1009年				3			4	1								
祥符〇寶		1008年	1						1									
祥符〇　〇		1008年				4			4									
祥〇　〇寶		1008年						1	3									
祥〇〇〇		1008年	2			3	1		4									
〇符〇　〇		1008年	1			2	1		4									
天禧通寶		1017年							6									
天聖元寶		1023年	2			1	2		6									
明道元寶		1032年				2		1	1									1
景祐元寶		1034年				2	1		2	2								1
皇宋通寶		1038年	2			11	5	3	44	14						1		
至和元寶		1054年	1			1			5									
至〇　〇寶		1054年							1									
嘉祐通寶		1056年			2		1		7	1								
嘉祐元寶		1056年			1	2			5									
治平元寶		1064年	2			4												
治平通寶		1064年				3			8	1								
治〇〇〇		1064年								1								
熙寧元寶		1068年	1			10	2	3	24	7								
熙寧重寶 折二銭		1071年																
元豊通寶		1078年	3			16	8	1	37	9								
元祐通寶		1086年	2			5	3	1	14	1								
元祐通寶 折二銭		1093年																
紹聖元寶		1094年	3						15	3								
紹聖元寶 折二銭		1094年					1		1									
元符通寶		1098年	1			2			1	1								
元符通寶 折二銭		1098年								1								
聖宋元寶		1101年	1		1	4	5	1	20	1								
聖宋元寶 折二銭		1101年							2									
聖〇　〇寶		1101年																
崇寧通寶		1102年				1												
大観通寶		1107年	4			3	2		8	3								
政和通寶		1111年			1	11	3		18	9								
政和通寶 折二銭		1111年	4						1									
宣和通寶		1119年					1		4	1								
宣和通寶 折二銭		1119年				1			1									
宣〇〇〇		1119年							1									
〇和〇寶 折二銭		1119年							1									
〇定〇　〇 折二銭	南宋	1208年・1228年																
紹興元寶		1131年				1												
淳熙元寶		1174年																
紹熙元寶		1190年	1						1									
慶元通寶		1195年							1									
嘉泰通寶		1201年				1												
開禧通寶		1205年							1									
紹定通寶 折二銭		1228年			1													
淳祐元寶		1241年	1			1			4									
皇宋元寶		1253年							4	1								
咸淳元寶		1265年				1												
至大通寶	元	1285年				1												
大中通寶	明	1361年																
洪武通寶		1368年	3		2	37	14	3	15	16								1
洪武通寶 折二銭		1368年																
洪武通寶 背浙		1368年								1								
永楽通寶		1408年	7			10	10		5	12								
朝鮮通寶	朝鮮	1423年																
寛永通寶 Ⅰ期　古寛永	日本	1636〜1659年																
寛永通寶 Ⅲ期　新寛永		1767〜1781年													1			
無　文　銭					1		2		6									2
一　　銭	大正																	2
一　　円	昭和																	
十　　円														2				
ONE　CENT																		1
FIVE　CENT																		
不　　明			47	2	8	387	114	176	654	233	3	4	3				1	18
合　　計			95	2	18	549	188	197	1020	334	3	4	3	2	1	1	1	28

鎖之間北側地区											鎖之間南側地区										
トレンチ2	トレンチ21	B-10	C～E-7～10	C・D-9・10	D-7	D-8	階段1	D-9			トレンチ11	トレンチ13	トレンチ16	H～I-9～11	石積2	石積3	表採	表土	客土	不明	合計
埋土	埋土	砂礫土	黒色砂礫土	赤褐色土	3層	埋土	埋土	3層	4層	黒褐色土	埋土	埋土	下層	埋土	埋土	埋土					
																					1
												1		1			1	2		1	13
																					1
																					19
			1											1				1	1		67
														1							1
																					1
																					1
																			1	1	3
																					2
								1													2
																				1	9
																					3
																			2		15
																					1
																					1
																					4
									1												11
																					1
				1																	9
																					2
																				1	9
																			1		5
																					10
			1																1		10
																				1	7
																		1			12
				1																	6
																					8
			2	1		1			1		1	1		2			2	2	4	1	98
																					7
																					1
																					11
						1															9
																					6
			1																		13
																					1
			2									1		3		1	1		1		56
			1																		1
			1											1				1	4		81
			1																		27
														1							1
																			1		22
																					2
																					5
														1							2
									1										1		35
																					2
			1																		1
																					1
																			2	1	23
			1											1					1	1	46
																					5
			1																		7
			1																		3
																					1
																					1
			1																		1
																					1
			1																		1
																					2
																					1
												1									2
																					1
																					1
																					6
																					5
																					1
																					1
																			1		1
			7			1		3	5			2		1		1	1		11	1	124
																		6			6
																					1
			3					1			1				1			1	2	1	54
																			1		1
			1									1									2
																					1
	1		16	2		1			4		22	56		13		1	3	3	3		134
																	1				3
				1																	1
																		1	6	1	9
																	1		1		3
																			1		1
1		1	62	7	1	3	1	3	39	5	5	10	5	24	2	8	5	9	79	12	1932
1	1	1	105	13	1	7	1	8	51	5	29	73	5	50	3	11	15	24	125	23	2998

第44表　詰所地区銭貨出土状況

銭種・銭文	時代	出土地 初鋳年	A−2 黒色土					A-2 砂礫土					B−2 表土					B-2 砂礫土					B-2 ﾄﾚﾝﾁ27			暗褐色土	
			①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
五銖	前漢	紀元前118年か																									
開元通寶	唐	621年																1			1					1	
開元通寶 紀地銭 背逆洪		845年																									
開元通寶		621・845年																									
開元通寶											1				1					1	8	2				1	1
乾元重寶 当十	唐	758年																									
乾元重寶 当五十		759年																								1	
乾亨重寶	南漢	917年																									
唐國通寶	南唐	959年																									
太平通寶	北宋	976年												1													
淳化元寶		990年																						1			
至道元寶		995年																									
至道〇〇		995年																								1	
咸平通寶		998年																									
景徳元寶		1004年																				1					
祥符通寶		1009年																			1						
祥符通寶 折二銭		1009年																		1							
祥符元寶		1009年																									
祥符〇寶		1009年																							1		
祥符〇〇		1009年																			1						
祥〇〇寶		1009年																									
祥〇〇〇		1009年																				1					2
〇符〇〇		1009年																								1	
天禧通寶		1017年																			2						
天聖元寶		1023年																				1			2		
明道元寶		1032年																									
景祐元寶		1034年																									
皇宋通寶		1038年														2					4	2				1	1
至和元寶		1054年																									1
至〇〇寶		1054年																									
嘉祐通寶		1056年													1					1	1						
嘉祐元寶		1056年																									
治平元寶		1064年																							1	1	
治平通寶		1064年																									
治〇〇〇		1064年																									
熙寧元寶		1068年																			3	2				1	
元豊通寶		1078年													3				1	1	4	3				2	1
元祐通寶		1086年																		3	1					2	
紹聖元寶		1094年																			2						3
紹聖元寶 折二銭		1094年																									
元符通寶		1098年																							1		
元符通寶 折二銭		1098年																									
聖宋元寶		1101年																	1	1	1				1		
聖宋元寶 折二銭		1101年																									
崇寧通寶		1102年																									
大観通寶		1107年																			4				1	2	1
政和通寶		1111年															1				1	3					
政和通寶 折二銭		1111年																							1	1	2
宣和通寶		1119年																									
宣和通寶 折二銭		1119年																									
宣〇〇〇		1119年																									
〇和〇寶 折二銭		1119年																									
紹興元寶	南宋	1131年																									
紹熙元寶		1190年																								1	
慶元通寶		1195年																									
嘉泰通寶		1201年																									
開禧通寶		1205年																									
紹定通寶 折二銭		1228年																									
淳祐元寶		1241年																								1	
皇宋元寶		1253年																			1	1					
咸淳元寶		1265年																									
至大通寶	元	1310年																									
洪武通寶	明	1368年									2					1	2				7	2			3		
洪武通寶 背浙		1368年															1										
永樂通寶		1408年														1				1	3	1		1		3	3
無文銭								1																			
不明						1	1				4	7				4	10	1		5	37	66			3	12	32
小計			0	0	0	1	1	1	0	0	6	8	0	1	4	9	14	2	2	14	82	85	0	2	14	32	47
合計							2					15					28					185					95

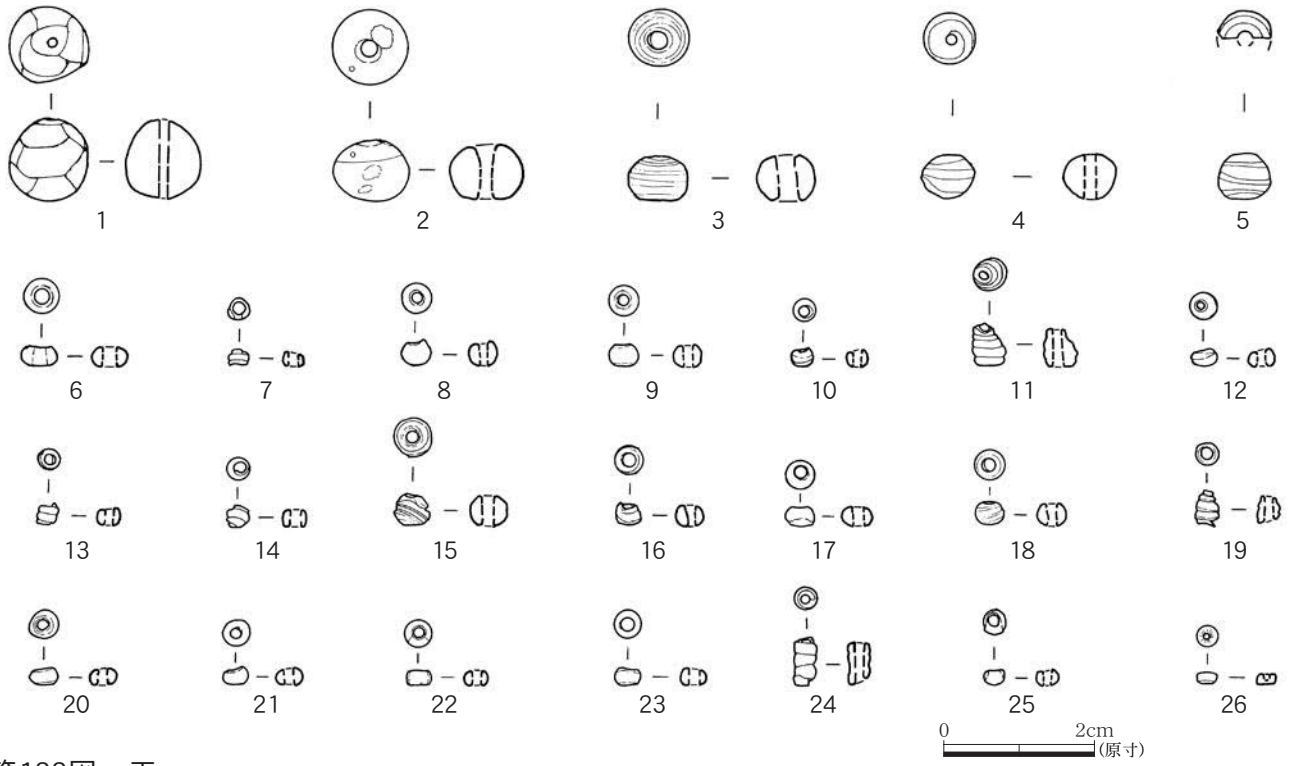
※　①～⑤は残存率を表す。 ①=完存、②=3/4以上、③=3/4未満1/2以上、④=1/2未満1/4以上、⑤=1/4未満

B−2　4層					B-3　表土					B−3　崩落土					C-3 砂礫土					C-3　ウル層					C-3　崩落土					小　計					合計
①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	
																			1											0	0	0	0	1	1
																1	3													1	1	3	2	0	7
																							1							0	0	0	1	0	1
												4	2	8								2		3						0	0	6	2	11	19
								3	7								1	20	13									2	1	0	0	2	35	25	62
																		1												0	0	0	1	0	1
																														0	0	0	1	0	1
																			1											0	0	0	0	1	1
													1									1								0	0	1	1	0	2
								2										4	1											0	1	0	6	1	8
														1													1			0	1	1	0	1	3
									1		1							5	3									2	1	0	1	0	7	5	13
																														0	0	0	1	0	1
													1																	0	0	0	1	0	1
		1																1				1								0	0	2	1	1	4
														1			2	1	1		4									0	4	2	2	2	10
																														0	0	1	0	0	1
									1			2	1				2	2												0	0	4	3	1	8
																	1													0	0	2	0	0	2
												3	1				2		1											0	0	5	2	1	8
																	1	2										1		0	0	1	3	0	4
														3				3						1						0	0	0	3	7	10
														2				1	3					1						0	0	0	2	6	8
																		4												0	0	0	6	0	6
											1						1	1	3			1	1								0	1	4	2	4	11
													1	1				1										1			0	0	0	3	1	4
								2				1		1				2				1									0	0	2	4	1	7
								3	9			2	2	7			6	20	12			2	1	2				1	2	0	0	10	34	35	79
														1			1	3	1											0	0	1	3	3	7
																		1												0	0	0	1	0	1
				2											1	1		2	1			1									1	1	3	3	3	11
	1													2				5													0	1	0	5	2	8
													3	1																	0	0	1	4	1	6
							1					3					1	5	2												0	0	5	5	2	12
									1																						0	0	0	0	1	1
							1	2	4			2	2	6		1	3	9	6				2						2	1	0	1	6	21	19	47
								2	4			5	3	6	2		12	12	4			2	4	2				1		2	1	23	28	20	74
								1			1	1	1	2			4	6					2	1				1		0	1	8	14	3	26
							2		1								2	9	2											0	0	4	11	6	21
																1						1								0	1	1	0	0	2
								1					2						1												0	0	1	3	1	5
									1																						0	0	0	0	1	1
		1							1			1	3				5	8	4		1		2	2					1	0	2	9	14	8	33
																		1	1											0	0	0	1	1	2
													1																		0	0	0	1	0	1
								1	2					3			1	2	1			2									0	0	4	9	7	20
			1					1	7				3	8			1	4	9				1	2							0	0	1	11	30	42
																		1													0	0	1	2	2	5
								1									1	2	1			1									0	0	2	3	1	6
												1						1													0	0	1	1	0	2
																			1												0	0	0	0	1	1
																		1													0	0	0	1	0	1
														1																	0	0	0	0	1	1
																			1												0	0	0	1	1	2
																			1												0	0	0	1	1	1
														1																	0	0	0	1	1	1
																			1												0	0	0	1	0	1
			1															1													0	0	0	1	0	1
														1			1	2	1												0	0	1	3	2	6
								1										1	1												0	0	0	3	2	5
														1																	0	0	0	0	1	1
											1																				0	1	0	0	0	1
			2			1		5	7		2	7	8	20				2	2			1	5	8				3			0	3	11	35	41	90
																														0	0	0	0	1	1
								4	7				2	8						5		2	3							5	1	3	16	19	44
1															2		1		2	1		1								5	0	2	0	2	9
	1		6	1			1	30	188			10	34	343	1	2	31	142	358			7	19	88			3	15	158	2	3	60	304	1252	1621
1	2	2	10	3	0	1	5	59	241	0	6	42	71	428	6	6	83	288	439	6	5	26	41	110	0	0	4	29	164	16	25	194	628	1540	2403
				18					306					547					822					188					197					2403	2403

第45表　瓦・塼出土状況

種類・分類			出土地	詰所地区					書院地区																							
				A-2	B-2		C-3	A～C-2・3	トレンチ														岩山3		C～E-3～6	ピット				C～E-4～10
									4	5		6	8	9	10	14	20	22	24	25											
				黒色土	3層	4層	サンゴ片層	砂礫土	埋土	埋土	暗褐色土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	サンゴ片層	サンゴ片層	礫層	赤褐色土	埋土	黒色土	1層	埋土	埋土	埋土	埋土	砂礫土
高麗系(242点)	軒丸(2点)	灰色					1																							
	軒平(1点)	灰色																												
	丸瓦(79点)	灰色																												4
		赤色																												
		その他						1																4						6
	平瓦(160点)	灰色							1																					2
		赤色																												
		その他							1							1								1						3
大和系(528点)	雁振(2点)	灰色																												
		赤色																												
	軒丸(4点)	灰色																												
		その他																												
	軒平(2点)	灰色						1																						
		赤色																												
	丸瓦(43点)	灰色																												
		赤色																						1						
		その他																	1											
	平瓦(477点)	灰色						2		1			1								1									15
		赤色						1																						
		その他						1	2															1						44
明朝系(6054点)	軒丸(131点)	灰色						4																2						
		赤色						3																7						
		その他						9																						
		その他	硬質					1																						1
	軒平(226点)	灰色						3														1								3
		赤色								1														4						2
		その他						1																						6
		その他	硬質																											1
	丸瓦(1215点)	灰色		1				31	3			1				2				7	1							1		50
		赤色						1	2						1		3			1				10				2	21
		その他						13	4			1									2			6						40
		その他	硬質																											7
	平瓦(4482点)	灰色		4				43	14	3		1		5	1	3	2	1		26			1	1	17	2	1		1	94
		灰色	硬質					5																						10
		赤色							11	3		3		9	3	2				4			1		15	2	1			41
		赤色	硬質					1	1											1										
		その他		4				4	6	1		1				2		1		16			1		13					86
		その他	硬質																	2					3					1
不明(39点)	雁振(1点)	灰色																												
	軒平(1点)	灰色																												
	丸瓦(4点)	灰色																												
		その他								1																				
	平瓦(27点)	灰色																												
		赤色																												
	瓦当(2点)	赤色							1																					
	不明(4点)	灰色	硬質																											
		その他																												
合　計				9	0	0	1	125	46	10	0	7	1	14	5	10	5	2	1	57	4	1	3	1	84	4	2	1	3	437
塼	灰色			3	4	2	1	43	2		1									1					7					25
	赤色				1	2		5																	8					9
	その他			1		1		26	2							1							1		5					8
	その他	硬質																												
合　計				4	5	5	1	74	4	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	20	0	0	0	0	42

鎖之間北側地区																鎖之間南側地区										客土	表土	表採	不明	合計
トレンチ			D-7	D-9					E-9	C・D-7～10		ピット		階段1	トレンチ							H・I-9～11	石積							
1	2	21										14	15		11	12	13	15	16		18		2	3					
埋土	1層	埋土	3層	3層	4層	黒褐色礫混じり土	黒色土	黒褐色土	3層	黒色砂礫土	赤褐色土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	上層	下層	埋土	埋土	裏込め土	裏込め土					
																											1			2
																										1				1
					1			1		6	3						1									15	1			32
							1			4																4			1	10
						1				13	3															8		2		37
				2			1	2		5	1				1		1			1		1				46	9	2	8	83
										1												1		1		5				8
					1			1		3	8						2					1				37	3	5	1	69
											1																			1
										1																				1
																										2	1			3
																								1						1
																														1
					1																									1
				1	1					1	2												1			4	2			12
																										1				2
				1					2	2	2									1						14	6		1	29
		1		5	9	3	1	12		53	30			2	3		1			1		8	5			52	16	6	6	234
		1		1		3		3		13	8											2				5	2			39
		2	1	8	7	2	3	14		21	13				3	1			1			7		2		57	12		2	204
				2	1					3	5				1		3			1		3				9	4	3		41
					1												1				1	2				24	8	3	3	53
			1	1					1	3	2				1		1					1				10			3	33
																										2				4
				1						4	6						1	1				2				111	1	1		135
					1					2	2			2								1		1		16	9		1	42
			1	1	1					1	3			1	1		2					1				14	8	3	2	46
																											1	1		3
		3	3	25	20					35	75			4	28		24		1			24	1			99	21	5	41	506
				7				1		8	12			3	2		3		1	1		10		1		162	15	6	13	286
1		4	1	25	7					26	53			6	27		22		1			18	1	1		99	14	8	32	412
					1																						1		2	11
1		9	15	27	68				3	109	115		1	24	37		102		1	16	2	43	1	7		822	101	33	49	1806
					10					10				13			3									13	2			66
		5	1	4	1			1		58	24			19	10		33				3	12		12		1045	41	30	36	1430
										3							1					1				23				31
1		5	13	52	13			1	2	80	65			5	13	4	41				7	15		3		492	91	20	17	1075
			1	8							1			2					1							45	6	1	3	74
											1																			1
				1																										1
				1							1												1							3
																														1
				1	11																									12
				15																										15
				1																										2
										3																				3
																											1			1
3	0	30	37	190	155	9	6	36	8	468	436	0	1	81	127	5	242	1	6	20	13	153	10	29	3237	376	130	221	6863
1	2			3	6				2	46	70			9	1		23					26		1	135	27	9	17	467
	3			1					1	21	17			6	1		7					4		4	197	9	1	10	307
		1		1	1			3		23	16	1		2	3		3					14		1	77		3	8	202
																										1				1
1	5	1	0	5	7	0	0	3	3	90	103	1	0	17	5	0	33	0	0	0	0	44	0	6	410	36	13	35	977



第133図　玉

第46表　玉観察一覧

単位：mm/g

図番号		長さ	高さ	孔径	重さ	残存状況	色調	観察事項	出土地点
第134図・図版176	1	9.14	10.41	1.31	0.7040	完形	白	表面は茶色に汚れる。銀メッキらしきものがわずかに残る。	表採
	2	9.98	7.24	3.01	0.8917		黒		E-8　2層
	3	7.91	5.60	2.52	0.5517		緑	半透明。	D-11　黒色砂礫土
	4	6.68	5.58	1.50	0.4097		水色	表面に筋がある。	C-3　砂礫土
	5	6.53	6.07	1.87	0.2046	破片		表面・断面に筋がある。	I-11　埋土
	6	4.84	2.52	1.62	0.1085	完形	赤	表面に虹色の光沢がある。	C-3　砂礫土
	7	2.90	1.50	1.24	0.0232				D-9　黒色砂礫土
	8	3.98	3.18	1.41	0.0813				I-10 トレンチ11 埋土
	9	4.10	3.00	1.38	0.9440			表面に虹色の光沢がある。	I-11 トレンチ13 灰褐色土
	10	3.17	2.25	1.53	0.0287				客土
	11	4.33	5.03	1.64	0.1194	破片	茶		C-10 トレンチ2
	12	3.68	1.97	1.19	0.0516	完形			
	13	2.91	2.23	1.55	0.0295		緑	半透明。	I-10 トレンチ11 埋土
	14	2.92	2.11	1.44	0.0225				I-10 トレンチ13 埋土
	15	5.24	4.15	1.89	0.1491	破片		半透明。	I-11 トレンチ13 灰褐色土
	16	3.85	2.49	1.86	0.0526	完形			I-11　埋土
	17	3.99	2.58	1.68	0.0707				
	18	3.95	2.88	1.49	0.0678		水色		I-11 トレンチ13 灰褐色土
	19	3.23	3.57	1.30	0.0365				
	20	3.86	2.31	1.43	0.0475		青	半透明。虹色の光沢がわずかにある。	
	21	3.70	1.98	1.33	0.0477		青紫	虹色の光沢がわずかにある。	I-10 トレンチ13 埋土
	22	3.48	1.69	1.37	0.0316				I-10　表採
	23	3.84	1.71	1.50	0.0349		白		H-10 トレンチ11 埋土
	24	3.08	5.85	1.24	0.0546		乳白色		
	25	3.31	1.79	1.10	0.0224		金	黒色地に金箔。	D-9　黒色砂礫土
	26	2.76	1.59	0.68	0.0207		オリーブ	孔は貫通していない。	C-3　サンゴ片層

第47表　玉出土状況

分類			出土地	詰所地区				鎖之間北側地区				鎖之間南側地区				表採	表土	客土	合計
				B−2	B−3	A〜C-2・3	C-3	C・D-8〜10	D−9	トレンチ		トレンチ			H・I-9〜11				
										2	3	11	12	13					
				畦	崩落土	砂礫土	サンゴ片層	黒色砂礫土	黒褐色土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土				
大(2点)	緑と黄緑(混合)(1点)	破片									1								1
	白色(1点)	完形													1				1
中(6点)	緑色(2点)	完形							1									1	2
	黒色(1点)	完形																1	1
	水色(2点)	完形			1														1
		破片													1				1
	不明(1点)	破片						1											1
小(495点)	白色(58点)	完形		2						4		8		18	4	1	2		39
		破片						1						16	2				19
	乳白色(2点)	完形										1							1
		破片												1					1
	黄色(11点)	完形												9	1				10
		破片												1					1
	緑色(76点)	完形	1		1		1	1	10			31		2	5	5			57
		破片					1		3			13		1	1				19
	黄緑色(5点)	完形												2		2			4
		破片														1			1
	濃緑色(3点)	完形												3					3
	深緑色(1点)	破片										1							1
	淡緑色(12点)	完形										1		8	1				10
		破片										2							2
	青緑色(34点)	完形					1					4		21					26
		破片											1	6	1				8
	水色(74点)	完形		1	1		2					1		30	8				43
		破片					1		1			3		25				1	31
	青色(16点)	完形										6		5		1		1	13
		破片										1		2					3
	青紫色(9点)	完形		1								3		1	1	3			9
	紫色(20点)	完形										3	13		1				17
		破片											3						3
	赤色(75点)	完形			1		1					16		34	3	7			62
		破片		2			1					4		4	1			1	13
	朱色(5点)	完形												5					5
	橙色(11点)	完形										6		4	1				11
	茶色(12点)	完形		1			1		2			2		1	1				8
		破片						1	2					1					4
	淡茶色(2点)	完形										1							1
		破片										1							1
	黒色(8点)	完形										1		7					8
	金色(1点)	完形					1												1
	オリーブ色(1点)	完形					1												1
	不明(59点)	完形							1			27		15	3	1			47
		破片								3		4		3	2				12
合　計				1	7	4	1	12	4	25	1	140	17	225	37	22	2	5	503

貝類生息地の分類

外洋〜内湾		水　深		底　質	
Ⅰ	外洋・サンゴ礁	0	潮間帯上部(1ではノッチ、Ⅲではマングローブ)	a	岩板
		1	潮間帯中・下部	b	軽石
Ⅱ	内湾・軽石地域	2	亜潮間帯上部(1ではイノー)	c	岩礁底、砂泥底、砂底
		3	干瀬(1にのみ適用)	d	マングローブ植物上
Ⅲ	河口干潟・マングローブ域	4	礁斜面およびその下部	e	淡水の流入する礫底
Ⅳ	淡水域	5	止水		
		6	流水		
Ⅴ	陸域	7	林内		
		8	林内・林縁部		
		9	林縁部		
		10	海浜域		
Ⅵ	その他	11	打ち上げ物		
		12	化石		

〈引用文献〉

「古我知原貝塚」『沖縄県文化財調査報告書』　第84集　1987.2

第48表　貝類出土状況(1)　巻貝

番号	科 名	貝 種 名	生息地	詰所地区																					書院地区											
			出土地	トレンチ27			A-2			B-2						B-3			C-3			A～C-2・3			トレンチ4			トレンチ5						トレンチ6		
				暗褐色土			黒色土			3層			4層			崩落土			サンゴ片層			砂礫土			埋土			暗褐色土			埋土			埋土		
				完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片
1	クサズリガイ科	ヒザラガイの一種																																		
2	ミミガイ科	イボアナゴ																																		
3	ニシキウズガイ科	ニシキウズ	I-2-a																																	
4		ギンタカハマ	I-4-a																		3															
5		サラサバテイ	I-4-a								2			1	2					2		3	9	10												
6		クルマチグサ																																		
7		オキナワイシダタミ	II-1-b																																	
8		イワカワナグサ																																		
9	サザエ科	ムラサキサンショウスガイ																																		
10		ヤコウガイ	I-4-a			2			1		1			1	9			4		1	9		22	60			7			5						
11		ヤコウガイの蓋	I-4-a								1		6	2	1				9	6	3	95	63	18	1	3	2		2						1	
12		チョウセンサザエ	I-3-a										1					1	3	2		9	24	1												
13		チョウセンサザエの蓋	I-3-a													1			1			17														
14		コシダカサザエ	I-2-a																																	
15		カンギク	II-1-b																11	5		6	5	1												
16		カンギクの蓋														5																				
17	アマオブネガイ科	イシダタミアマオブネ	I-0-c																																	
18		マルアマオブネ	II-1-b																																	
19		アマオブネ	II-1-b																																	
20		ニセヒロクチカノコ																																		
21		アマオブネガイ科不明																																		
22	トウガタカワニナ科	ヌノメカワニナ	IV-5																																	
23	カワニナ科	カワニナ	IV-5.6																																	
24	オニノツノガイ科	オニノツノガイ	I-2-c																			1	3													
25		コゲツノブエ																																		
26		ヒメクワノミカニモリ																																		
27		カヤノミカニモリ														1																				
28		ウミニナカニモリ															2		4	5		2	6													
29		クワノミカニモリ	I-1-a															1		3			1		1											
30		オニノツノガイ科不明																																		
31	ウミニナ科	リュウキュウウミニナ																																		
32		ウミニナ科不明																																		
33	フトヘナタリ科	イトカケヘナタリ																																		
34		ヘナタリ																																		
35		カワアイ	III-1-c																1																	
36		キバウミニナ	III-0-c																																	
37		センニンガイ	III-1-d																				1													
38	タマキビ科	コンペイトウガイ																																		
39	ソデボラ科	オハグロガイ	II-2-c																																	
40		マガキガイ	I-2-c		1														1	2	1	22	32									2				
41		クモガイ	I-2-c																																	
42		スイジガイ	I-2-c																																	
43		ソデボラ科不明																																		
44	スズメガイ科	アツキクスズメ																	1			1														
45		カワチドリ																																		
46	タカラガイ科	ヤクシマダカラ	I-2-a																1																	
47		ホシキヌタ	I-2-a																																	
48		カモンダカラ?	I-2-a																																	
49		ハナビラダカラ	I-1-a														1			6		1	1	1												
50		キイロダカラ	I-1-a																	1																
51		ハナマルユキ	I-3-a			1										1		3		7	7	7	31	13			1									
52		チドリダカラ																																		
53		タカラガイ科不明																																		
54	タマガイ科	リスガイ																																		
55		ホウシュノタマ	II-1-c																																	
56	フジツガイ科	サツマボラ																																		
57		ホラガイ	I-4-a																																	
58	アッキガイ科	ガンゼキボラ	I-4-a																																	
59		ウネレイシダマシ	I-1-b																	1																
60		レイシダマシモドキ	I-1-a																																	
61		コウシレイシダマシ?																																		
62		ムラサキイガレイシ	I-3-a																																	
63		アカイガレイシ	I-3-a																																	
64		ツノレイシ	I-3-a																1			1														
65		ツノテツレイシ	I-1-a																			1														
66		シラクモガイ	I-3-a																		1	1														
67		コゲレイシダマシ																																		
68	オニコブシガイ科	オニコブシガイ	I-3-a																																	
69		コオニコブシ	I-3-a																			4														
70	フトコロガイ科	フトコロガイ																																		
71		タモトガイ																																		
72		ハナマツムシ																																		
73	ムシロガイ科	カニノテムシロ																																		
74		アワムシロ	II-2-c																																	
75		ヒメオリイレムシロ																																		
76	エゾバイ科	ウスイロバイ																																		
77		シマベッコウバイ	II-1-c																																	
78		エゾバイ科不明																																		
79	イトマキボラ科	イトマキボラ	I-2-a																																	
80		キイロツノマタモドキ																																		
81		リュウキュウツノマタガイ	I-3-a																																	
82	フデガイ科	フデガイ科の一種																																		
83	イモガイ科	アンボンクロザメ	I-2-c																																	
84		マダライモ	I-1-a																1																	
85		コマダライモ																				1														
86		サヤガタイモ	I-1-a																																	
87		ゴマフイモ																																		
88		サラサミナシモドキ	I-2-a																																	
89		カバミナシ	I-2-c																																	
90		ヤナギシボリイモ	I-2-a																			1	3	1												
91		ヤセイモ	I-2-a																			2														
92		キヌカツギイモ	I-2-a																																	
93		イトマキイモ?											1																							
94		イボシマイモ	I-2-a																			1														
95		アジロイモ	II-2-c																																	
96		イモガイ科不明																																		
97	カラマツガイ科	コウダカカラマツガイ																																		
98	オカミミガイ科	ナガオカミミガイ																																		
99	モノアラガイ科	タイワンモノアラガイ																																		
100		モノアラガイ科の一種																																		
101	ゾウゲツノガイ科	マルツノガイ																																		
102	キセルガイ科	ツヤギセル	V-8																																	
103	ヤマタニシ科	アオミオカタニシ																																		
104		オキナワヤマタニシ	V-8													2																				
105	ヘソカドガイ科	ウスイロオカチグサ																																		
106	オカクチキレガイ科	オカチョウジガイ																																		
107	アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ																																		
108	ナンバンマイマイ科	シュリマイマイ	V-8																																	
109	オナジマイマイ科	トウガタホソマイマイ																																		
110		バンダナマイマイ														2																				
111		オキナワウスカワマイマイ	V-9													1	2																			
112		シュリケマイマイ	V-8																																	
113		イトマンマイマイ																																		
114	巻貝不明																																			
合 計				0	1	3	0	0	1	0	4	0	8	4	12	13	5	9	34	41	21	176	204	105	2	3	10	0	2	5	0	2	0	0	1	0

注　完形と殻長の数を足した合計を個体数とした。（破片でのみ出土した貝種については、最少個体数「1」として数えた）

| 書院地区 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 鎖之間北側地区 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

第48表　貝類出土状況(1)　巻貝

番号	科　名	貝 種 名	生息地	鎖之間北側地区																								鎖之間南側地区		
				D-9						D・E-7～9						C・D-7～10						ピット14			階段1			トレンチ11		
			出土地	黒褐色土			黒色土			3層			4層			黒色砂礫土			赤褐色土			埋土			埋土			埋土		
				完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片
1	クサズリガイ科	ヒザラガイの一種																		1												1
2	ミミガイ科	イボアナゴ																														
3	ニシキウズガイ科	ニシキウズ	Ⅰ-2-a	1						1		1								1												
4		ギンタカハマ	Ⅰ-4-a			3						1					1	1	1													
5		サササバティ	Ⅰ-4-a		4	31					4	1					49	75			15	15		3				1			2	7
6		クルマチグサ																														
7		オキナワイシダタミ	Ⅱ-1-b	1																												
8		イワカワナグサ																														
9	サザエ科	ムラサキサンショウスガイ																														
10		ヤコウガイ	Ⅰ-4-a		8	65			1		3	10			10		100	362			25	112		1	2						6	39
11		ヤコウガイの蓋	Ⅰ-4-a	10	10	9				10	6	3	11	6	3	137	75	40	34	41	25							8	12	11
12		チョウセンサザエ	Ⅰ-3-a	2	1	2				11	12	3		2		10	39	20	12	35	4								3	10
13		チョウセンサザエの蓋	Ⅰ-3-a							11						44	1		24	1	2							5			
14		コシダカサザエ	Ⅰ-2-a																									1			
15		カンギク	Ⅱ-1-b	8	5							1				18	7		1									30	3	1
16		カンギクの蓋		4												1												4		
17	アマオブネガイ科	イシダタミアマオブネ	Ⅰ-0-c																													
18		マルアマオブネ	Ⅱ-1-b	1																								1				
19		アマオブネ	Ⅱ-1-b													3																
20		ニセヒロクチカノコ																														
21		アマオブネガイ科不明																										1				
22	トウガタカワニナ科	ヌノメカワニナ	Ⅳ-5																													
23	カワニナ科	カワニナ	Ⅳ-5,6																													
24	オニノツノガイ科	オニノツノガイ	Ⅰ-2-c		1							1					7	2		5									1		
25		コゲツノブエ																														
26		ヒメクワノミカニモリ																										2				
27		カヤノミカニモリ		1																								2				
28		ウミニナカニモリ		1	5						1			1		6	35		4	5							4	2	1		
29		クワノミカニモリ	Ⅰ-1-a								2					2	14			4									2			
30		オニノツノガイ科不明														1												1	30	1		
31	ウミニナ科	リュウキュウウミニナ		2	5						1					1	4			1								4	16			
32		ウミニナ科不明																										1	18			
33	フトヘナタリ科	イトカケヘナタリ															1											1	1			
34		ヘナタリ																														
35		カワアイ	Ⅲ-1-c																	1									3	1		
36		キバウミニナ	Ⅲ-0-c														1															
37		センニンガイ	Ⅲ-1-d																									1				
38	タマキビ科	コンペイトウガイ																														
39	ソデポラ科	オハグロガイ	Ⅱ-2-c																													
40		マガキガイ	Ⅰ-2-c	4	8					16	14	1				31	83	2	17	13								3	2			
41		クモガイ	Ⅰ-2-c														1															
42		スイジガイ	Ⅰ-2-c														1															
43		ソデポラ科不明																														
44	スズメガイ科	アツキクスズメ														1												1				
45		カワチドリ																										2				
46	タカラガイ科	ヤクシマダカラ	Ⅰ-2-a																													
47		ホシキヌタ	Ⅰ-2-a														1															
48		カモンダカラ？	Ⅰ-2-a																													
49		ハナビラダカラ	Ⅰ-1-a	1												3	3	1										1				
50		キイロダカラ	Ⅰ-1-a							1							1	1														
51		ハナマルユキ	Ⅰ-3-a	1	3	68				1		4			1	9	13	31	4	8	1											
52		チドリダカラ																														
53		タカラガイ科不明																														
54	タマガイ科	リスガイ																1														
55		ホウシュノタマ	Ⅱ-1-c													2												2	1			
56	フジツガイ科	サツマボラ																														
57		ホラガイ	Ⅰ-4-a															1														1
58	アッキガイ科	ガンゼキボラ	Ⅰ-4-a								1																					
59		ウネレイシダマシ	Ⅰ-1-b																													
60		レイシダマシモドキ	Ⅰ-1-a																													
61		コウシレイシダマシ?																										1				
62		ムラサキイガレイシ	Ⅰ-3-a																1													
63		アカイガレイシ	Ⅰ-3-a																													
64		ツノレイシ	Ⅰ-3-a														1															
65		ツノテツレイシ	Ⅰ-1-a																													
66		シラクモガイ	Ⅰ-3-a													2			2		1											
67		コゲレイシダマシ																														
68	オニコブシガイ科	オニコブシガイ	Ⅰ-3-a																													
69		コオニコブシ	Ⅰ-3-a							1						3	1		4									1				
70	フトコロガイ科	フトコロガイ																														
71		タモトガイ														1																
72		ハナマツムシ																														
73	ムシロガイ科	カニノテムシロ																														
74		アワムシロ	Ⅱ-2-c																													
75		ヒメオリイレムシロ																														
76	エゾバイ科	ウスイロバイ															1															
77		シマベッコウバイ	Ⅱ-1-c	2	1											2																
78		エゾバイ科不明																														
79	イトマキボラ科	イトマキボラ	Ⅰ-2-a													1			1													
80		キイロツノマタモドキ																										1				
81		リュウキュウツノマタガイ	Ⅰ-3-a														1															
82	フデガイ科	フデガイ科の一種															1															
83	イモガイ科	アンボンクロザメ	Ⅰ-2-c														1															
84		マダライモ	Ⅰ-1-a																1													
85		コマダライモ																														
86		サヤガタイモ	Ⅰ-1-a																													
87		ゴマフイモ														1																
88		サラサミナシモドキ	Ⅰ-2-a								1																					
89		カバミナシ	Ⅰ-2-c																													
90		ヤナギシボリイモ	Ⅰ-2-a																	1												
91		ヤセイモ	Ⅰ-2-a													4																
92		キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a													1																
93		イトマキイモ？																														
94		イボシマイモ	Ⅰ-2-a													1	3															
95		アジロイモ	Ⅱ-2-c																													
96		イモガイ科不明														1												1	1	1		
97	カラマツガイ科	コウダカカラマツガイ																														
98	オカミミガイ科	ナガオカミミガイ																														
99	モノアラガイ科	タイワンモノアラガイ																										1				
100		モノアラガイ科の一種																														
101	ゾウゲツノガイ科	マルツノガイ																														
102	キセルガイ科	ツヤギセル	Ⅴ-8													1			1	1								11	2	1		
103	ヤマタニシ科	アオミオカタニシ																										1				
104		オキナワヤマタニシ	Ⅴ-8	2						1					1	214	22	33	13	1	2							154	141	42		
105	ヘソカドガイ科	ウスイロオカチグサ																										1				
106	オカクチキレガイ科	オカチョウジガイ																										3	3			
107	アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ																										1				
108	ナンバンマイマイ科	シュリマイマイ	Ⅴ-8																		1											
109	オナジマイマイ科	トウガタホソマイマイ																										2				
110		パンダナマイマイ																														
111		オキナワウスカワマイマイ	Ⅴ-9																									2	9	3		
112		シュリケマイマイ	Ⅴ-8																													
113		イトマンマイマイ																														
114	巻貝不明																												1			
合　計				41	51	178	0	0	1	53	45	26	11	9	15	501	468	570	120	157	165	0	4	2	0	0	1	255	249	120		

注　完形と殻長の数を足した合計を個体数とした。（破片でのみ出土した貝種については、最少個体数「1」として数えた）

| 鎖之間南側地区 | | |

第49表　貝類出土状況(2)　二枚貝

出土地				詰所地区																										書院地区																							
				トレンチ27						B-2						B-3						C-3						A～C-2・3						トレンチ4						トレンチ5									トレンチ14					
				暗褐色土						4層						崩落土						サンゴ片層						砂礫土						埋土						埋土						暗灰色土						埋土					
				完形		殻頂			破片	完形		殻頂			破片	完形		殻頂			破片	完形		殻頂			破片	完形		殻頂			破片	完形		殻頂			破片	完形		殻頂			破片	完形		殻頂			破片	完形		殻頂			破片
番号	科名	貝種名	生息地	L	R	L	R			L	R	L	R			L	R	L	R			L	R	L	R			L	R	L	R			L	R	L	R			L	R	L	R			L	R	L	R			L	R	L	R		
1	フネガイ科	フネガイ																																																				
2		エガイ	Ⅰ-1-a																										1																								
3		ベニエガイ	Ⅰ-2-c																																																	
4		リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-c																																																
5		ハイガイ	Ⅰ-1																										1																								
6	イガイ科	リュウキュウヒバリガイ	Ⅰ-1-a																									1	1																								
7	ウグイスガイ科	ミドリアオリ	Ⅰ-1-a																																																
8	マクガイ科	マクガイ	Ⅲ-1-b																																																
9	ウミギク科	メンガイ	Ⅰ-2-a																																																
10	イタボガキ科	マガキ	Ⅰ-1																											1																								
11	ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅱ-2-c																			2	3					4	5					1																				
12		ヒメツキガイ	Ⅱ-2-c																																																
13	キクザルガイ科	キクザルガイ科不明																																																	
14	ザルガイ科	リュウキュウザル	Ⅱ-2-c																																																
15		カワラガイ	Ⅱ-2-c																																																
16	シャコガイ科	シャゴウガイ	Ⅰ-2-c																																																
17		ヒメシャコガイ	Ⅰ-2-a																																																
18		ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c												1									2				3		2	2	3																				
19		シャコガイ科不明																														1																				
20	バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-2-c																																																
21	チドリマスオ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																									2																								
22		ナミノコマスオ																																																
23	フジノハナガイ科	ナミノコガイ																																																
24	ニッコウガイ科	リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c																																																
25	シオサザナミ科	リュウキュウマスオ	Ⅱ-1-c																																																
26	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																									3	2	3																								
27		シジミ種の一種																																																	
28	マルスダレガイ科	マルスダレガイ																																																	
29		アラヌノメガイ	Ⅰ-2-c																										1																								
30		ヌノメガイ	Ⅱ-1-c																																																
31		シラオガイ																																																	
32		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c			1	1			3	1					20	14	14	9	8		26	21	3	5			128	113	5	8	9		1						2	1		1			1				1					1					
33		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c																																																
34		ユウカゲハマグリ	Ⅱ-1-c															1	1																																	
35		イオウハマグリ	Ⅱ-1-c																									1	1																								
36		オイノカガミ	Ⅱ-1-c																																																
37		ヒメリュウキュウアサリ	Ⅱ-1-c																																																
38		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c																			3	4		1			3	6	1	1	3																				
39		ハマグリ	Ⅱ-1-c			1												1		1					3			3	4	5	2																				
40		チョウセンハマグリ	Ⅰ-1-c																									4	4	1	1																				
41		オキシジミ	Ⅰ-c																									1				1																				
42		ハマグリの一種																																																
43	化石種	キンチャクガイ	Ⅰ-1-c																1																																
44		イタヤガイ科																																																
45	二枚貝不明																																																
合　計				0	0	2	1	0		3	1	0	0	1		20	14	16	11	9		31	28	5	9	0		153	139	18	14	17		1	1	0	0	0		2	1	0	1	0		1	0	0	0	0		0	0	1	0	0	

注　完形と殻頂の右同士・左同士を足して、多い方を個体数とした。(破片でのみ出土した貝種については、最少個体数「1」と数えた)

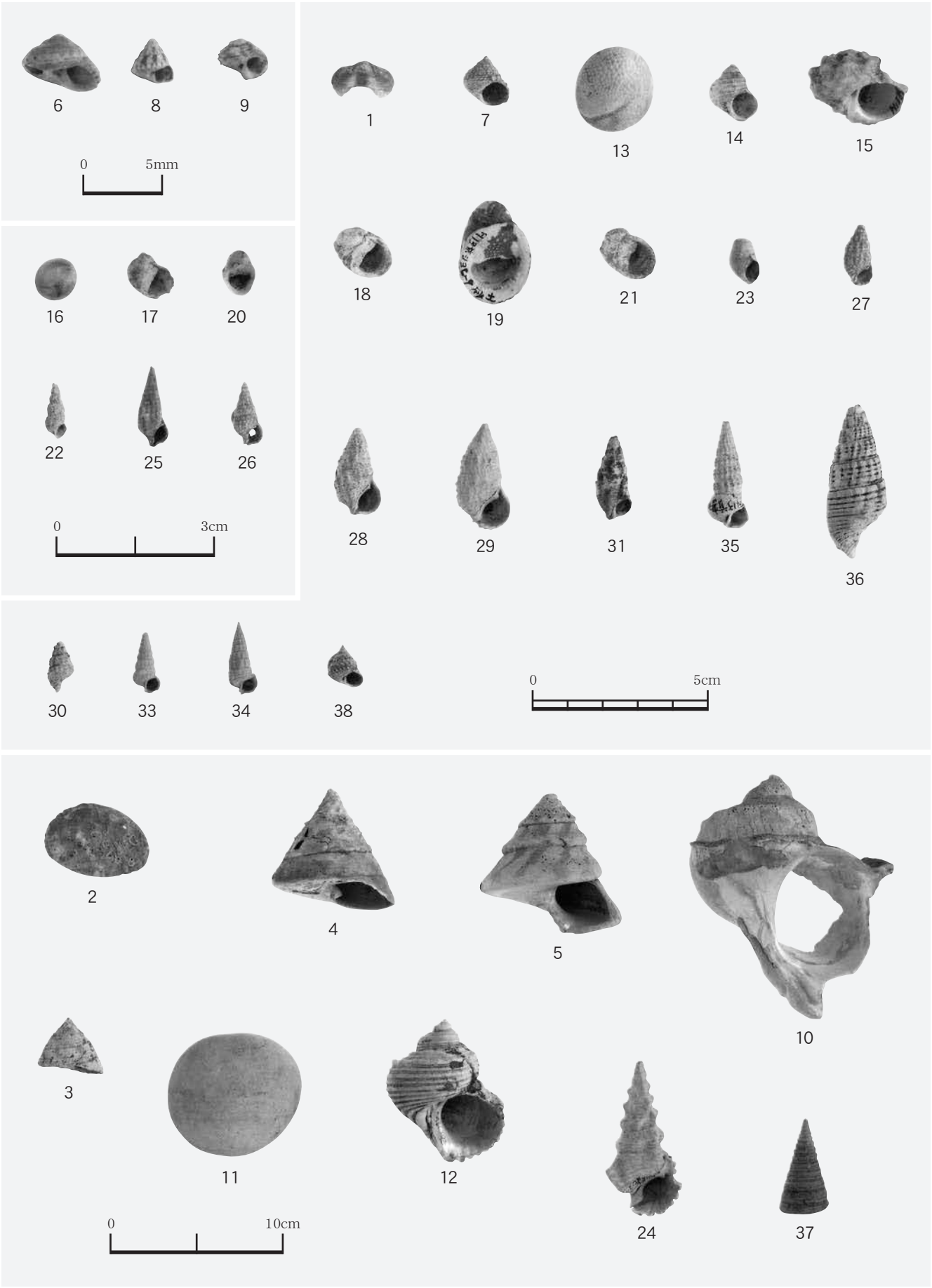
| 書院地区 | | |

第49表　貝類出土状況(2)　二枚貝

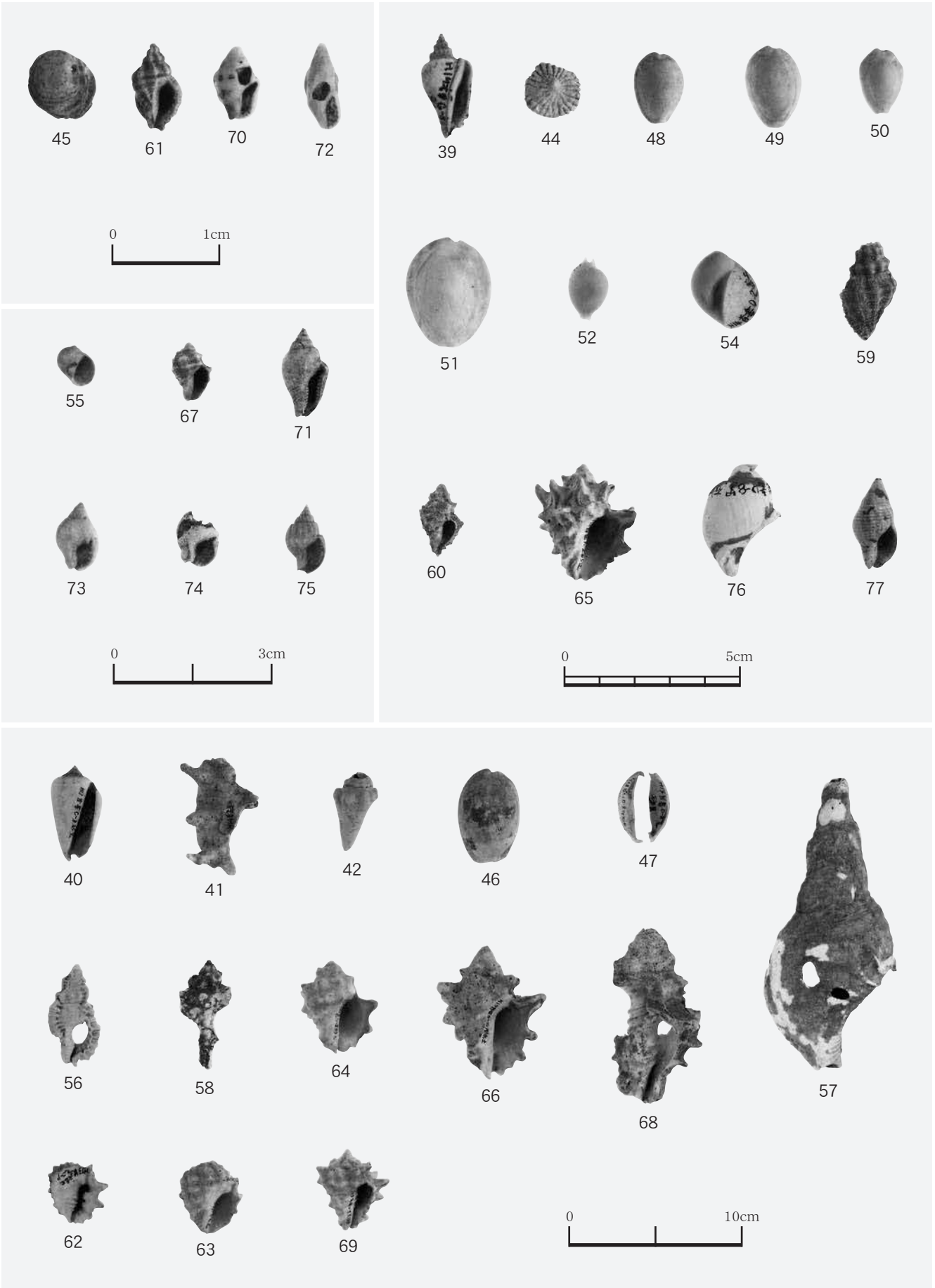
出土地				D-9														E-8						E-9						C･D-7～10										鎖之間南側地区									
				黒褐色礫混じり土						黒褐色土								3層						3層						黒色砂礫土						赤褐色土						トレンチ11						トレンチ12			
				完形		殻頂		破片		完形		殻頂		破片				完形		殻頂		破片		完形		殻頂		破片		完形		殻頂		破片		完形		殻頂		破片		完形		殻頂		破片		完形		殻頂		破片
番号	科名	貝種名	生息地	L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R	
1		フネガイ																																																
2		エガイ	I-1-a																																										1			
3	フネガイ科	ベニエガイ	I-2-c																																								1		1			
4		リュウキュウサルボウ	II-2-c																																												
5		ハイガイ	I-1																																							1						
6	イガイ科	リュウキュウヒバリガイ	I-1-a																																												
7	ウグイスガイ科	ミドリアオリ	I-1-a																													1																
8	マクガイ科	マクガイ	III-1-b																													1																
9	ウミギク科	メンガイ	I-2-a																														1																
10	イタボガキ科	マガキ	I-1																														1																
11	ツキガイ科	ウラキツキガイ	II-2-c						1																							191	177	2	4	10	1	1				1					1			
12		ヒメツキガイ	II-2-c																													1																
13	キクザルガイ科	キクザルガイ科不明																																														
14	ザルガイ科	リュウキュウザル	II-2-c																													5	5	2	1	1												
15		カワラガイ	II-2-c																													4	2			1			1									
16	シャコガイ科	シャゴウガイ	I-2-c																																													
17		ヒメシャコガイ	I-2-a																																1	1												
18		ヒレシャコガイ	I-2-c									1		1																			4	5	4	28	1			2	1	7			1		1			
19		シャコガイ科不明																																							2							
20	バカガイ科	リュウキュウバカガイ	II-2-c																													1	1															
21	チドリマスオ科	イソハマグリ	I-1-c						2	2																						1											1						
22		ナミノコマスオ																																														
23	フジノハナガイ科	ナミノコガイ																																			1											
24	ニッコウガイ科	リュウキュウシラトリ	II-1-c																													1	1															
25	シオサザナミ科	リュウキュウマスオ	II-1-c																																										1			
26	シジミ科	シレナシジミ	III-0-c										2																					3	2	3			1		3					2			
27		シジミ種の一種																																								1	2						
28	マルスダレガイ科	マルスダレガイ																																													
29		アラヌノメガイ	I-2-c																																	1												
30		ヌノメガイ	II-1-c						1																							1	3		2	2			1				1	1	1			
31		シラオガイ																																														
32		アラスジケマンガイ	III-1-c	2	2				36	39	5	12	3		1					1				1114	1102	53	53	23	55	40	7		4	7	10	3	6	2		1							
33		ホソスジイナミガイ	II-1-c																					38	36	2	2	3	1	5																
34		ユウカゲハマグリ	II-1-c								1	1												12	10																						
35		イオウハマグリ	II-1-c																																													
36		オイノカガミ	II-1-c																					1																							
37		ヒメリュウキュウアサリ	II-1-c																					1																							
38		スダレハマグリ	II-1-c																								1																					
39		ハマグリ	II-1-c						2	2	2	4	5											3	6	15	19	6	1		2																
40		チョウセンハマグリ	I-1-c						1		2		1											1	6	3	4			1	3																
41		オキシジミ	I-c																						3	2	4	1		2																
42		ハマグリの一種																												1																		
43	化石種	キンチャクガイ	I-1-c																																							1							
44		イタヤガイ科																																	1	1					1				1			
45	二枚貝不明																																		2						1		1	1					
合　計				2	2	0	0	0	43	43	11	19	10	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1376	1356	89	101	82	60	51	15	3	18	12	14	7	10	10	1	3	0	0	0					

注　完形と殻頂の右同士･左同士を足して、多い方を個体数とした。(破片でのみ出土した貝種については、最少個体数「1」と数えた)

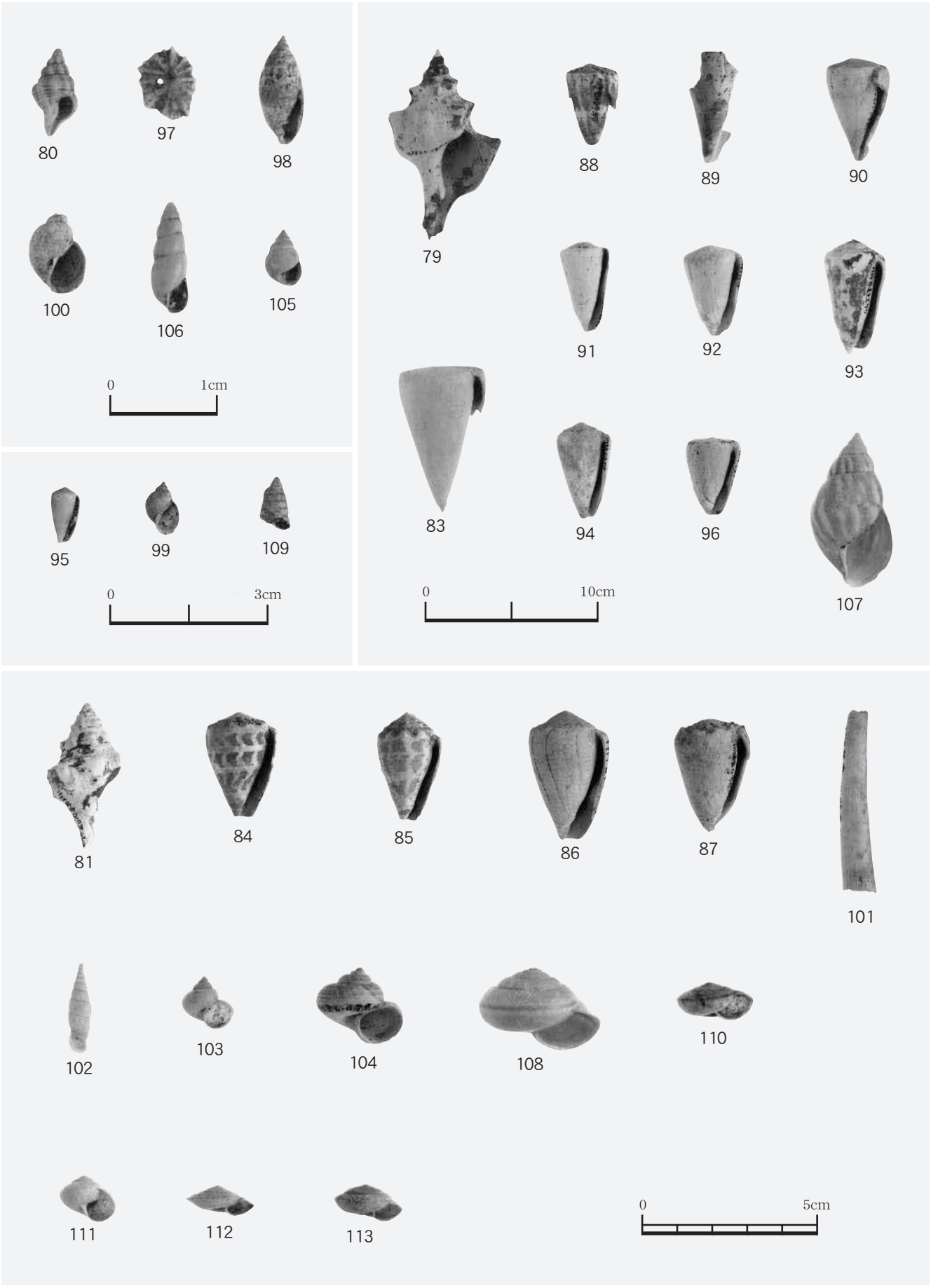
| 鎖之間南側地区 | | |



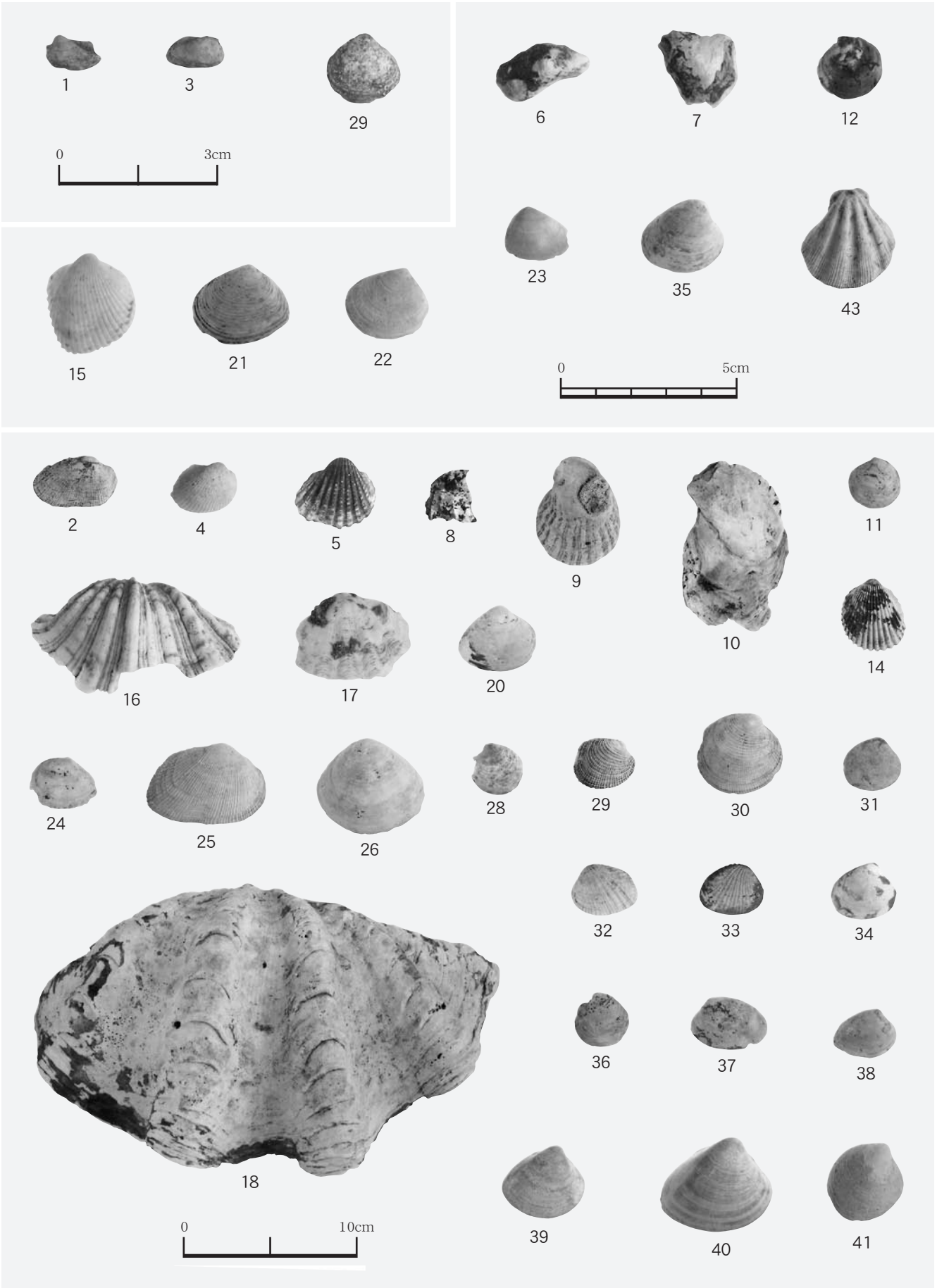
図版122　貝(1) 巻貝 (番号は表と一致)



図版123　貝(2) 巻貝 (番号は表と一致)



図版124　貝(3) 巻貝 (番号は表と一致)



図版125　貝(4) 二枚貝 (番号は表と一致)

②脊椎動物遺体

金子浩昌

1．はじめに

平成 14（2002）年、首里城、書院、鎖之間跡から検出された獣魚骨は、首里城跡関係の発掘では、これまでにない大量の出土であった。このことは、この場所が長期にわたって獣魚骨の廃棄される生活空間として残されていたからであろう。廃棄の環境、条件についてはなお議論のあるところであろうが、これらには日常的な動物質の食べ物と共に、祭祀のために準備されたブタの遺骸も含むものであったことも判明し、今後の研究に関心がもたれるのである。資料の整理に当たり千葉県市原市埋蔵文化財センターの鶴岡英一氏、他瑞慶覧尚美さんを中心に玉城恵美利、宮平真由美の皆さんの協力を得たことを記し、御礼申し上げたい。

2．検出された脊椎動物遺体種名表

節足動物門　Phylum ARTHROPODA
甲殻綱　Class Crustacea
十脚目　Order Decapoda
科・属不明　Fam.et gen.indet.
脊椎動物門　Phylum VERTEBRATA
軟骨魚綱　Class Chondrichthyes
メジロザメ目　Order Carcharhiniformes
メジロザメ科　Family Carcharhinidae
属・種不明　Gen.et sp.indet.
エイ目　Order Rajiformes
トビエイ科　Family Myliobatidae
マダラトビエイ　*Aetobatus narinari*
属・種不明　Gen.et sp.indet.
硬骨魚綱　Class Osteichthyes
ウナギ目　Order Anguilliformes
ウツボ科　Family Muraenidae
属・種不明　Gen.et sp.indet.
ボラ目　Order Mugiliformes
ボラ科　Family Mugilidae
属・種不明　Gen.et sp.indet.
ダツ目　Order Beloniformes
ダツ科　Family Belonidae
属・種不明　Gen.et sp.indet.
カサゴ目　Order Scorpaeniformes
コチ科　Family Platycephalidae
属・種不明　Gen.et sp.indet.
スズキ目　Order Perciformes
ハタ科　Family Serranidae
属・種不明　Gen.et sp.indet
アジ科　Family Carangidae
ブリ　*Seriola quinqueradiata*
フエダイ科　Family Lutjanidae
ヒメフエダイ　*Lutjanus gibbus*
センネンダイ　*Lutjanus sebae*
属・種不明　Gen.et sp.indet.
タイ科　Family Sparidae
ヘダイ　*Sparus sarba*
クロダイ　*Acanthopagrus schlegeli*
タイワンダイ　*Argyrops bleekeri*
属・種不明　Gen.et sp.indet
フエフキダイ科　Family Lethrinidae
ヨコシマクロダイ　*Monotaxis grandoculis*
イソフエフキ　*Lethrinus atkinsoni*
ハマフエフキ　*Lethrinus nebulosus*
キツネフエフキ　*Lethrinus olivaseus*
メジナ科　Family Girellidae
属・種不明　Gen.et sp.indet.
ベラ科　Family Labridae
コブダイ　*Semicossyphus reticulatus*
タキベラ　*Bodianus perditio*
カンムリベラ　*Coris aygula*
属・種不明　Gen.et sp.indet
ブダイ科　Family Scaridae
ブダイ　*Colotomus japonicus*
イロブダイ　*Bolbometopon bicolor*
ナンヨウブダイ　*Scarus gibbus*
ナガブダイ　*Scarus rubroviolaceus*
属・種不明　Gen.et sp.indet
ニザダイ科　Family Acanthuridae
属・種不明　Gen.et sp.indet.
カマス科　Family Sphyraenidae
属・種不明　Gen.et sp.indet.
フグ目　Order Tetraodontiformes
モンガラカワハギ科　Family Balistidae
属・種不明　Gen.et sp.indet
カワハギ科　Family Monacanthidae
属・種不明　Gen.et sp.indet.

ハリセンボン科　Family Diodontidae
ハリセンボン　*Diodon holocanthus*
両生綱　Class Amphibia
無尾目　Order Anura
科・属不明　Fam.et gen.indet
爬虫綱　Class Reptilia
カメ目　Order Chelonia
ウミガメ科　Family Cheloniidae
属・種不明　Gen.et sp.indet.
有鱗目（ヘビ亜目）　Order Ophidia
科・属不明　Fam.et gen.indet
鳥綱　Class Aves
コウノトリ目　Order Ciconiiformes
サギ科　Family Ardeidae
属・種不明　Gen.et sp.indet.
ワシタカ目　Order Falconiformes
ワシタカ科　Family Accipitridae
ワシ類　Haliaeetus sp.
キジ目　Order Galliformes
キジ科　Family Phasianidae
ニワトリ　*Gallus gallus var. domesticus*
チドリ目　Order Charadriiformes
カモメ科　Family Laridae
属・種不明　Gen.et sp.indet.
ハト目　Order Columbiformes
ハト科　Family Columbidae
キジバト　*Streptoperia orientalis*
スズメ目　Order Passeriformes
カラス類　Corvus sp.
哺乳綱　Class Mammalia
食虫目　Order Insectivora
トガリネズミ科　Family Soricidae
属・種不明　Gen.et sp.indet.
モグラ科　Family Talpidae
属・種不明　Gen.et sp.indet
齧歯目　Order Rodentia
ネズミ科　Family Murida
属・種不明　Gen.et sp.indet
食肉目　Order Carnivora
ネコ科　Family Felidae
ネコ　*Felis catus*
クジラ目　Order Cetacea
イルカ科　Family delphinidae
イルカ類　Delphinidae gen. et sp.indet
海牛目　Order Sirenia
ジュゴン科　Family Dugongidae
ジュゴン　*Dugong dugon*
寄蹄目　Order　Perissoda ctyla
ウマ科　Family Equidae
ウマ　*Equus caballus*
偶蹄目　Order Artiodactyla
イノシシ科　Family Suidae
ブタ　*Sus scrofa var. domesticus*
ウシ科　Family Bovidae
ウシ　*Bos taurus*
ヤギ　*Capura hirucus*

3. 検出された動物遺体について（文中計測値で記入のない場合はmmで表わす）

魚類

メジロザメ科

歯 1。首里城内の遺構でサメの歯の検出は稀である。

マダラトビエイ

歯板 3 点がある。2 点が上顎、1 点が下顎歯板である。咬面幅は上顎が 2.82、3.35、下顎が 4.13 である。ほぼ同じサイズの個体の歯板である。体幅 50cm 前後の個体と推定される。

ウツボ科の一種

鋤骨 2 点と歯骨 2 点が出土している。

ダツ科の一種

長い顎骨のために顎骨はすべて破損しているが、前上顎骨、歯骨を検出している。

コチ属の一種

大形の歯骨を検出している。骨体高 8.0、左右サイズの異なる標本である。近心部の内側に切り込んだ痕をみる。解体時の切り傷と思われる。

ハタ科複数種
ハタ類の出土は多い。しかし、内臓骨は骨質が薄く脆弱のため原形が残されたとしても一部であることが多い。前上顎骨、歯骨の出土が多かったが、咬面の全体を残すのは一部であった。形態的には咬面近心部分に強い括れをもつ一群とそれが顕著でないものにわけたが、幾種類かを含むのであろう。特に歯骨の近心近くにみられる括れの顕著な形態のものは大形になるものを含むが数は少ない。漁獲された個体には大形から小形のものを含んでいた。
本遺跡のように小さい個体のハタ類遺骸をみたのはこれまでにない。
フエダイ科複数種
種名を確認できなかったが、この科の魚種の前上顎骨、歯骨、前鰓蓋骨などが検出されている。いずれも大形サイズである。
ヘダイ
本種の検出の多かったことも今回の調査区の特徴である。大形の標本が検出されている。本土産のヘダイにも大形標本をみるが、それとほぼ同じサイズである。
クロダイ属の一種
多くの標本が検出された。判別の容易であったこともあるが、実際に標本が多く残されていたのは前上顎骨で、主上顎骨もこれに次いだ。他の部位の少ないのは魚骨の残り方として普通にみる。大形から小形サイズの前上顎骨をみた。大形サイズは全長 50.0 にも達し、本州産のクロダイには見ない大きさである。平均的なサイズは本州内湾の縄文貝塚のクロダイ Acanthopagrus　schlegeli に近似する。上述した小形サイズの個体のあることも縄文貝塚にみる在り方である。
ヨコシマクロダイ
大形の標本があったが少ない。前上顎骨全長 45.0 を越える。
ハマフエフキ
もっとも多くの標本をみることができた。保存されていた内臓骨の部位も多い。口蓋骨、前上顎骨、主上顎骨、歯骨、前鰓蓋骨、主鰓蓋骨、舌顎骨のいずれもが多く残されていた。
前上顎骨は良好な保存状況の標本が多い。口蓋骨はもっとも多くの標本を採集しているが、骨の遠位部つまり後端部の部分をすべて破損していた。この部分は骨が薄くなるので破損したものかと思われるが、調理の際に吻部を割るような解体法があり、そのために割れたことも推測される。主上顎骨はこれよりも内側にあったことと、骨質の丈夫なことから原形を保った標本が多かった。前鰓蓋骨、主鰓蓋骨は骨質の薄いこともあって破損がひどかったが、舌顎骨は多くが残された。これも前鰓蓋骨、主鰓蓋骨の内側にあった骨のためであるが、本種の舌顎骨が非常に頑丈な骨質であることも保存の理由であると思われる。
　個体のサイズも大小の個体を含んでいた。大形の個体よりも中、小の個体の多いのは、この魚の自然の生育条件を反映しているのであろう。また小さい個体の多いことは、網漁がさかんに行われていたことを推測させる。
イソフエフキ
本種はもっとも少ないようである。多くのハマフエフキ標本が検出されたなかにふくまれていた。体長 50cm 止まりと小さい。
キツネフエフキ
数は少ないが前上顎骨が出土している。他の部位は確認できなかった。本種は大形になることが知られているが、検出の標本も大形であった。
メジナ科の一種
上下の顎骨長 20 ～ 30.0 の標本である。
ボラ科の一種
主鰓蓋骨でこの科の魚種を認めた。主鰓蓋骨には大小の個体が含まれる。
コブダイ
ベラのなかではもっとも多い。下咽頭骨の出土が多く、最大の標本で幅 48.0（エナメル質部分のみ）であった。前上顎骨全長 80.0 に達する標本もある。体長 65.0cm になる。しかし、全体的には体長 20cm 前後（下咽頭骨幅 35.0 前後）までの個体が多い。

タキベラ
やや多くの咽頭骨をみた。下咽頭骨の幅 40.0 前後の個体が多く、これに幅 15.0 前後の小さい個体がわずかに含まれるようである。
ベラ類
ベラ類にはさらに種名の確定できない数種があり、個体数は少ないが、重要種であったことが推測される。
ブダイ
本種は少ないが、10 点程の骨を残している。本州以南に棲息するので、縄文期貝塚からの検出例があるが、南西諸島の遺跡での出土は稀である。
イロブダイ
大形の咽頭骨が知られるが、下咽頭骨は 1 点が知られたのみである。
ナンヨウブダイ
本種はナガブダイに次いで多くが出土している。大小の個体が知られ、ナガブダイよりも小さいサイズの個体が採られている。下咽頭骨幅 9.0 で体長が 21cm 前後であるから、計測表にある個体の半数は体長が 20cm 以下である。なお、歯骨幅表にみるサイズで 15.0 前後が体長 21cm である。
ナガブダイ
ブダイ中では本種の出土がもっとも多かった。下咽頭骨の出土が多く、これにも大小の個体のものが検出されている。
ニザダイ科
尾柄部の骨質板が多く出土している。ニザダイ属P rionurus, テングハギ属N aso の仲間になるのであろう。
カマス科
大形の歯骨 1 点と小形の前上顎骨、歯骨があり、別種であろう。
モンガラカワハギ科
背鰭第 1 棘を多数出土している。完存する標本はほとんどないが、幅が 10.0 に達するものもある。大形の個体であったことが推測される。顎骨、歯の検出は棘の数に比べて少なかった。頭部が早くに除かれているのであろうか。
背鰭棘を多数出土している。
ハリセンボン科
顎骨は 2 点があったのみである。顎骨幅 60.0、80.0 前後で、大形の個体であった。
爬虫類
アオウミガメ
ウミガメ類の遺骸はわずかに 1 点があったのみであるが、大形のアオウミガメの第 1、2 肋骨とそれに関節する第 1、2 肋骨板であった。甲幅 60cm に達する。
鳥類
ワシ類
　右側尺骨遠位骨端、骨端幅 13.47
　右側中手骨　完存　全長 110.30
　中手骨は完存する標本で、形態は大形ワシ類の特徴をよく示す。
ニワトリ
　多くの遺骸が検出されている。食用に当てられたのであろうが、これほど多くが検出された例はこれまでにないと思われる。
脊柱
椎骨；頸椎がわずかにのこされていた。
結合仙骨；近・遠位骨端を切断されたと思われる標本が出土しているが、数は少ない。
頭骨；大量の四肢骨の出土にもかかわらず頭骨は全く出土していない。頸椎もきわめて少ない。早くに切断されたのであろう。
四肢骨
肩甲骨、鎖骨、烏口骨；肩甲骨はやや多く残され、鎖骨は破損して少なかった。肩甲骨は近位骨端がよく残さ

れていた。これは烏口骨の近位骨端の保存率の高いこととも関連するであろう。上腕骨と共にいっしょに外されているのであろう。烏口骨はもっとも丈夫であるが、近位骨端を残している標本が多かった。
上腕骨；完存骨は少なく、近・遠位骨端を欠損する標本が大部分であった、意図的に壊されているのであって、解体時の破壊であろう。骨端の未骨化の幼鳥とみられる標本がごくわずかであるが検出された。
橈骨、尺骨；この部位も上腕骨と似た保存状態で、完存例少なく、近・遠位骨端を残す標本と、骨体部が残され、骨端を壊して解体したものである。
中手骨と指骨；この部位は上腕骨、橈・尺骨に比して少ないが、完存する標本が多いと思われ、外されたり、切断されたりすることがなかったのであろう。
大腿骨；脛骨に次いで多くの標本が出土している。完存標本もあってサイズを知ることができるが、近・遠位骨端を残す標本、骨体のみの破片も多い。骨端未骨化の標本は少ない
脛骨；もっとも多くの部位が残されていた。骨体をかなり長く残していた標本があったが、完存する標本はなかった。骨体の中央での切断例と骨体のみの短い標本がある。太い骨体の骨髄を利用するために切断しているのであろう。遠位骨端を残す標本は中足骨をつけていたのではないかと思われる。
中足骨；完存品は１点があるのみで、他は骨体の中央で割られている標本であるが、さらに遠位骨端のわずかな部分が割れている標本もある。中足骨は短く、利用できる肉質のものはない。骨体の中間で切断されている標本が多いが、趾部を切断しているのであろう。さらに遠位骨端末の切断標本は趾骨切断の痕であろう。
趾骨；指骨が残されるが末節骨はない。この部分は別に切断されているのであろう。

カモメ科の一種

右側第１指・２指節、全長 35.32、近位骨端幅 7.3、右側脛骨

キジバト

左側烏口骨全長 39.5 ±、左側尺骨、右側第１指・２指節　全長 29.18

カラス類

右側中手骨 1、遠位骨端を欠く。

獣　類

ジュゴン

肋骨骨体部がややかたちを残していた。他は四肢骨など断片をみるのみであった。ジュゴンの肋骨は道具の素材とする目的で搬入されたものかもしれない。

ネ　コ

下顎骨、上腕骨、脛骨、中足骨などが検出されたのみである。意図的な搬入とは思えない。

ウ　マ

遊離歯と指趾骨を除き、多くは破損した四肢骨片であった。四肢骨は橈骨、中手骨など数点で、他に膝蓋骨1 点、踵骨1 点がある。大腿骨あるいは脛骨は検出されていない。指趾骨に基節骨、中節骨、末節骨があったのはブタ、ウシなどとも共通していた。踵骨全長は日本在来ウマの三崎ウマに匹敵し、中手骨全長はやや大きく、中形馬の木曽ウマに近いサイズであった。現在沖縄在来のウマとしては宮古馬のような小形ウマが知られるが、これよりも大きいサイズのウマが飼育されていたのである。

ブ　タ

獣骨のなかではもっとも多くの骨格が検出された。骨格の多くは打ち割られた状態であったが、中手、中足骨、指趾骨が多く、かつ原形の保たれる標本の多かったことが注目された。主要骨についての保存状況、形態についてのべる。

脊柱

環椎は３点があったが、軸椎骨はなかった。環椎は頭骨についていたのであろう。椎骨全体が少なかったのは、別の場所で解体したものが搬入されたことを推測させる。

頭骨；頭蓋、上下顎骨、歯の検出は少なかった。頭蓋部分は少なかったが、後頭骨、頭頂骨、側頭骨が残され、頭蓋を割った残存部分であったことがわかる。上下顎骨では３点が歯をのこす顎骨体片であって、他は下顎骨関節部が若干あった。歯で多くみられたのは♂の下顎犬歯であった。♂個体の犬歯で、Ｍ３萌出齢の個体とＭ３未萌出齢個体があった。♂個体の多いことを推測させる。

臼歯萌出ではＭ２萌出１例、Ｍ３の萌出例３例であった。M3 には上顎歯１点があり、第３咬頭の穿孔例があり、

4 ～ 5 歳の個体である。
頭骨の形状について知られる資料は少ないが、おそらく厚みのある頭頂骨、幅広い前頭骨、短い鼻骨によって特徴付けられる短頭であったと思われる。(178 頁　復元図参照)

四肢骨

四肢骨のサイズには変異幅があり、かつ破損標本が多いので計測値は目安にならざるを得ないが、年齢の区分によって標本数をグラフ化した。(189 頁)
肩甲骨、検出標本は少なかった。解体時に破損する率が高かったのであろう。
0.5 歳未満：右側で 1、頸部幅 11.0 ±　(図版 133 － 21)
0.5 歳；右側 1。
1.5 歳とそれ以上；遠位骨端の骨化が完成している。頸部幅 2.0 ±。(図版 133 － 22)
上腕骨、数多く残され、個体数を推定することができると思われる。
0.5 歳未満；骨体のみがあった。骨体最小幅 10.0 未満。
0.5 歳；近・遠位骨端未骨化、骨体最小幅 10.0 ±。(図版 134 － 25)
1.5 歳前後；遠位骨端が骨化し、大きくなる。骨体最小幅 13.0、遠位骨端 30.0 ±
この年齢の標本が左右各 6。(図版 134 － 27)
2 歳以上の標本の骨体幅 13 ～ 15.0、数はごく少ない。さらに近位骨端の骨化する 3.5 歳以上の標本はごく少ない。(図版 134 － 28)
上腕骨の遠位骨端の滑車関節面の稜線は鋭く、現代ブタにみる丸みのある形をみることはなかった。滑車上孔は現代ブタと思われる混入例のみ閉鎖し、他はすべて開口していた。
橈骨、比較的多く残されていた。完存、もしくはそれに近い状態の標本もあった。サイズの小さい標本の保存が良好であった。
0.5 歳未満；骨端未骨化で、全長 60.0 前後である。
0.5 歳前後；全長 70 ～ 80.0。近、遠位骨端は未骨化である。(図版 134 － 29)
1.5 歳前後；近位骨端骨化し、骨体はさらに大きくなる。残されている標本は肩甲骨、上腕骨と同数で、この年齢の個体が多かったことが推測される。(図版 134 － 31)
3 歳以上と推定される遠位骨端を残す標本が左右各 1 例あったのみである。(図版 134 － 33)
尺骨、比較的よく残されていた部位である。
0.5 歳未満；骨体の小片があったのみである。
0.5 歳；近、遠位骨端が骨化せず、全長 110 ～ 120.0　(図版 134 － 35)
1.5 歳；近、遠位骨端が骨化せず、破損標本のみである。骨体は 0.5 歳標本よりも明らかに大きくなっている。標本数は 0.5 歳の個体に比べてはるかに多い。
3 歳以上の標本は近位骨端が骨化、骨体もまた大きくなるが、標本数は少なく、橈骨例と共通する。(図版 134 － 39)
中手骨、Ⅱ，Ⅲ、Ⅳ、Ⅴの中手骨がある。標本はよく保存され、数も多かった。この部分が料理に使われていたことをよく示している。
0.5 歳未満；Ⅱ、Ⅲともに全長 25 ～ 35mm 前後である。完存する標本もいくつかある。(図版 134 － 50)
0.5 歳；Ⅱ、Ⅲは近位骨端が骨化、全長 40 ～ 45.0
1.5 歳；Ⅱ、Ⅲは近位骨端が骨化するのみである。0.5 歳令の標本と比べて大きい。骨体の破損標本もあるが、完存標本も多い。骨体を割るようなことはほとんど行われていないと思われる。(図版 134 － 45)
2.5 歳以上；全長 55.0 ～ 60.0。近、遠位骨端は骨化し完存する。数は少ない。(図版 134 － 46、52)
寛骨、比較的保存の良好な標本をみる。寛骨臼付近を残す標本の多いことは、腸骨体、坐・恥骨端の切断、解体の行われたことを示している。標本の多くは若い成体の個体と思われる。幼体の少ないのは骨格の脆弱なことにもよるのであろう。
0.5 歳クラスの標本と 2 ～ 3 歳クラスの標本がある。
大腿骨、標本の保存は少なかった。破損度の高い部位であるためと思われる。完存標本はなく、骨体の割れた状態であった。遠位骨端を残す標本 1 で、3.5 歳以上、他はすべて近、遠位骨端が外れる標本であった。

脛骨、左右ともに多くの標本が残されていた。大腿骨に比較すると保存率の高い部位になるのであろう。
0.5 歳未満；近、遠位骨端未骨化。全長 105.0。小さく割られた標本がある。（図版 135 － 68）
0.5 歳；標本は多く検出されている。この年齢個体の多いことが推測される。近、遠位骨端は未骨化。近、遠位部あるいは中央付近で割られている。
1.5 ～ 2.0 歳；遠位骨端が骨化する標本が多い。これに対して近位骨端の骨化（3.5 歳以上）標本がきわめて少ないので、遠位骨端を残す標本のおおくは 2.0 歳前後の個体と思われる。遠位骨端幅 23 ～ 25.0。（図版 135 － 69、71）
3.5 歳以上；近位骨端骨化の標本は右側で一点であり、同大の脛骨片も左右で数点である。この年齢個体の少ないことは他の部位と共通する。近位骨端幅 44.46。（図版 135 － 70）
距骨、標本の検出は少なかった。小形の骨のために採集漏れの可能性もある。0.5 歳（左側 1）、1.5 歳（右側 3、左側 2）、2 歳以上（右側 4、左側 1）の検出があった。（図版 135 － 101）
踵骨、左右とも多くの標本が検出されている。
0.5 歳未満；幼年個体では骨質が脆弱のために完存する標本がない。全長 35.0 ～ 40.0 と推定される。数の確認は少なかった。
0.5 歳；全長 45.0 前後。遠位骨端は未骨化。（図版 135 － 93）
1.5 歳前後;遠位骨端は未骨化。全長 50 ～ 55.0。標本はもっとも多く、他の部位の残存傾向とも一致する。（図版 135 － 96）
2 ～ 3 歳以上；遠位骨端は骨化、全長 60 ～ 70.0 になるが、標本は少ない。（図版 135 － 97）
中足骨、この部位は中足骨とほぼ同じ数が出土していた。Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ，Ⅴがあり、もとは全指が揃う状態であったのであろう。
指趾骨、前後肢が含まれるために数も多くなるが、これまでの調査例ではみることのなかった程の数が検出されている。基節骨、中節骨、末節骨のなかで基節骨の数がもっとも多いが、当初は中節骨、末節骨も同じ数があったのではなかろうか。Ⅱ、Ⅳ指の指趾骨もあり、さらにⅢ、Ⅳと繋がる状態であったことも考えられる。指趾の骨格はほとんど壊されることのない状態である。現在のテビチのような料理の方法で、皮、肉が食べられていたと思われる。

ウ　シ

ブタに比べると標本は少なく、個体数は少ないと思われる。わずかな顎骨、歯牙と椎骨の他は四肢骨片であった。歯牙は乳臼歯 dm4 が 1 点、他は成体の永久歯であった。上腕骨、中手もしくは中足骨が目立ち、多くは近・遠位骨端を失う状態であったのは、解体による破壊とイヌによる囓りで失われたようである。大形の上腕骨の遠位骨端があった。遠位骨端の近くで輪切り状に切断されていた。四肢骨にみられる打ち割りと違う点が特徴である。
指趾骨がやや多く、末節骨がもっとも多く、少なくとも 4 乃至 5 個体はあったものと思われるが、基節骨、中節骨は左右の数が揃わない。当初は揃っていたものが、外されているのであろう。
　上腕骨最小径、中足骨骨体の最小径から現生する黒毛の和牛のサイズが推定される。在来牛のなかではもっとも大きい。ウシは重要家畜としてすでに大形種が飼育されていたようである。

ヤ　ギ

遺骸の検出は少なく、ヤギが食用に供さられたのはごく少なかった。

総　括

魚類

これまでの首里城における調査で、今回の調査例ほどに多くの魚種と個々の種類における骨格の数量を検出したことはなかったと思われる。
　サメ類ではめずらしいことに歯 1 点が検出され、メジロザメであろうことが推定された。エイ類でも歯の検出でマダラトビエイであることが確認されたが、これにも大小の個体があった。
　ダツ類の検出も他の遺跡での例に比べれば多かった。ハタ類、ハマフエフキは魚類の主体的な種類である。このことはこれまでのグスク関係の資料調査から指摘してきたが、鎖之間資料はその量の多いことと、サイズの多様なことは他に類例がなかった。魚の搬入が特定サイズでなく、漁獲物のすべてが搬入されていたようで

ある。漁獲地からの直行搬入ルートである。そして魚種が上記の特定種に限られず、フエフキダイの仲間ではキツネフエフキ、イソフエフキなどが加わったが、大形の個体であった。小形サイズが少なかったのは、ハマフエフキよりも捕りにくい環境に棲息することが考えられる。

タイ科の種類ではクロダイが他の遺跡に比べて多く、他の種類もみることができた。これも魚種の豊富な環境を反映しているのであろう。

フエダイの仲間については幾つかの仲間が推定されているが、まだ特定できない。しかし、南島域での重要種であり、今後さらに検討したいと考えている。

ブダイ類、ベラ類もまたこれに次ぐか、同程度に搬入されている。ブダイではナガブダイ、ナンヨウブダイが主体であり、ベラ類ではコブダイが主体で、これらもまたサイズは大形から最小個体までが含まれた。

ダツ類、テングハギ類、ニザダイ類などは一般には多い魚ではないが、ここではやや多かったのは、サンゴ礁海域に普通だったからであろう。一方、ハリセンボン類はグスク期以前から多く検出する種類であり、現在も好まれるのに、ここでは少なかったように思う。

一方、アナゴ類、ウツボ類の少ないのは、この種の魚が好まれなかったことをよく示すのであろう。グスク遺跡、特に首里城での特徴である。

主要魚種の小形化

書院・鎖之間跡の魚骨は上述したように多様な内容であったが、主要魚種にみる特徴として、個体の全体が小形化している（漁獲個体が小さくなっている）ことが指摘できると思う。それはグスク期の資料（例えば今帰仁グスク資料）と比較したときに看取されるようである。このことは本遺跡のように多数漁獲されている場合、サイズの個体数による分布をよくみることができる。漁獲の対象が小形化していることは、漁獲の方法の変化、資源の変化が背景にあるのではないかと思われる。

爬虫類

ウミガメのやや大きな背甲骨板破片 1 点であった。こうした種類の少ないのも特徴である。

鳥　類

サギ類、キジバト、カラス、そしてカモメ類などは偶然の混入なのだろう。わずかな骨格を出土したに止まった。これに対して、ニワトリの遺骸は大量に出土した。前年報告の首里城、城郭南側下地区においても同様に多くのニワトリを出土している。この時は時代の認定にやや不安定なところがあったが、今回の資料では他の遺跡との伴出関係も明らかになったようである。解体の様子も明らかとなり、肉利用が食生活の上で重要な役割を果たしていたことが明らかになった。鳥の利用がこれほどニワトリに偏るのであれば、別に鳥を捕獲することはないであろう。

獣　類

ジュゴン、イヌ、ネコその他の中小獣をみることはほとんどなかった。ジュゴンは首里王府に搬入されることが文献などにみえるというが、が特に搬入されることも、ここでは少なかったのである。

獣骨の出土は多かった。ブタ、ウシ、ウマが主であった。城郭南側下地区ではイヌなどの出土が多かったがこれはむしろ本来の首里城の在り方ではないのであろう。純粋に食べ物の堆積があるべき姿だったのではないだろうか。

ブタがもっとも多く、肉食の中核にあったことを示している。ここでは遺骸の在り方にいくつかの特徴がみられた。

ブタの脳頭蓋、顎骨が少ないので当然歯牙などの検出も少なかった。頭骨を料理の中心におくだけでなく、動物信仰の中核に置く考えがあり、頭蓋が特別の座に置かれたことを推察することが出来ると思う。頭骨の少ない理由であろう。

下顎骨では♂犬歯が残されていた。飼育されたブタの下顎骨サイズを推定する。M 3 まで萌出した下顎骨を推定するならば全長 190.0 前後になろう。脳頭蓋については破損ヶ所が多いが、頭頂骨の高い短頭形であったことが推定される。0.5 歳令、1.5 歳令の個体が主体で 3.5 歳令以上は少ない。頭胴長は 0.5 歳であれば 70cm、1.5 歳であれば 90cm、3 歳では 100cm であった。

こうしたブタが食用にされるのは、日常的にもあったのであろうが、やはり年の節目の正月の祝いの行事で食べられることが多かったはずである。生殖が管理されていたとすれば、出産は 5 ～ 6 月で、0.5 歳、1.5 歳令の個体の屠殺は、暮れから新年はじめの冬季が考えられる。もっとも利用度の高いのがこの頃の季節でもある。

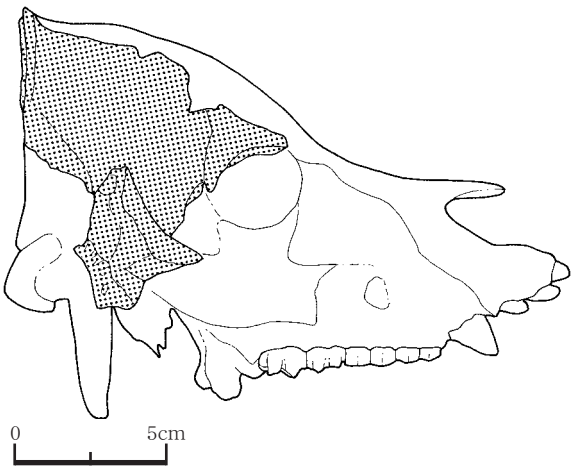
脳頭蓋は割られ、脳髄が食べられている様子を推測させるが、四肢骨も割られ、骨髄が使われている。ただし、指趾骨が割られていないところをみると、その部分は原形のままの料理だったのである。
ウマ、ウシ；ウマは中小形、ウシは中小～中形で、今日の在来牛、馬の原形があったのである。これらの遺骸も四肢骨を中心とした出土であった。指趾を除いた骨は裁ち割られており、骨髄が利用されている。

－遺構と獣魚骨

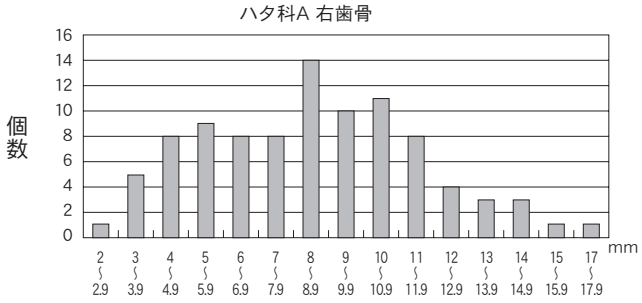
書院・鎖之間は首里城の中央南寄りにあった二つの建物であり、ひとつづきに造られていた。ここは日常の政務の他、薩摩からの客の接待にあてられていたという。1690 ㎡の発掘区からはかなり量の獣魚骨が検出された。それらの多くは建造物の建てられる以前の時期のものと考えられているが、いずれにしても何らかの建築遺構と関連があったものと思われる。検出された各種の魚、ブタ、ウシは日常的な食生活と、接待、祝儀などに使われたのではないかと思われるものを含んでいた。ハマフエフキ、ブダイその他のこの地域を代表する魚があったが、それには体長 20cm 足らずの小形のものが多く、それらは日常的に食べられていた魚ではないかと思われる。これに対して 30cm 以上のは接待、祝儀用であったかも知れない。肉の主体を占めたのはブタであって、それらは専ら接待、祝儀用に消費され、特に正月の祝いに重要な供え物であり、そのために飼育され、その時期に合わせて屠殺されたことが、遺骸の年齢からも推測されたのである。なお、こうした資料はグスク期の中、近世所属の動物遺体調査によって明らかにされつつあることを付記しておく。

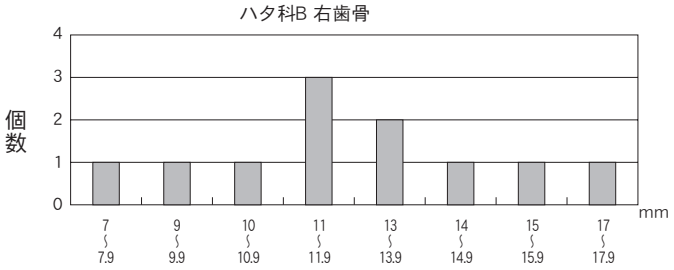
参考文献

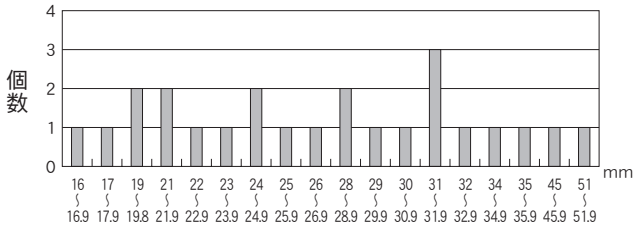
金子　浩昌；首里城跡　城郭南側下地区出土の脊椎動物遺体
金子　浩昌；沖縄における動物遺体調査、金子浩昌著作目録2　2004、『金子浩昌　著作目録』を刊行する会
西中川　駿；古代遺跡出土骨からみたわが国の牛、 馬の起源、 系統に関する研究－とくに日本在来種との比較－、昭和63年度文部省科学研究
金子　浩昌；今帰仁城跡出土の脊椎動物遺骸、今帰仁城跡発掘調査報告書Ⅱ （1991、3）今帰仁村教育委員会
金子　浩昌；知念村熱田原貝塚出土の動物遺体、熱田原貝塚発掘調査報告書、知念村文化財調査報告書第10集、2002、知念村教育委員会

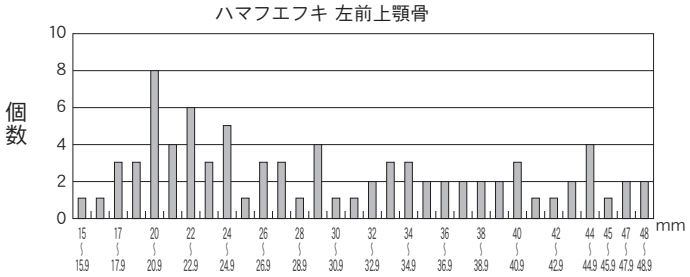


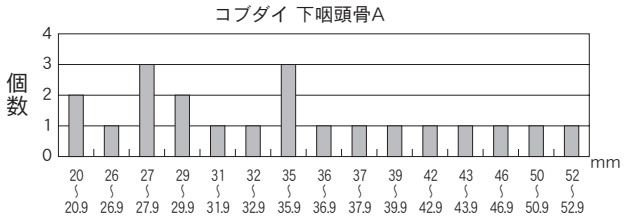
第134図　D－８トレンチ21埋土出土の頭骨片から復元した

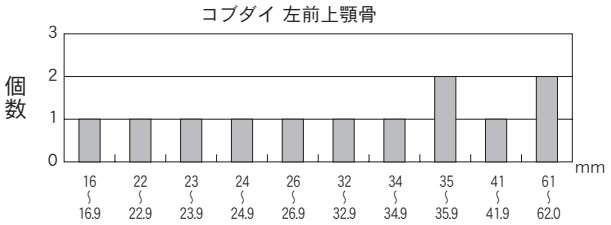


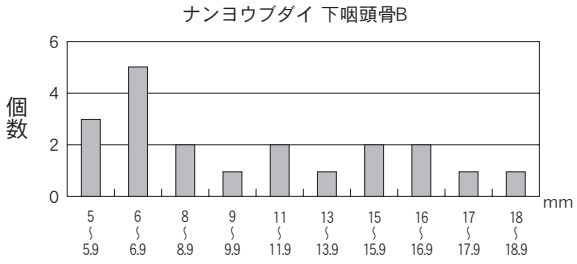


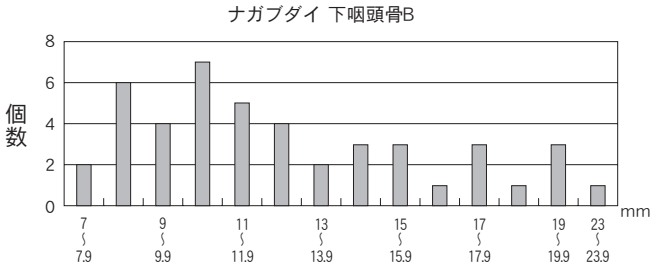


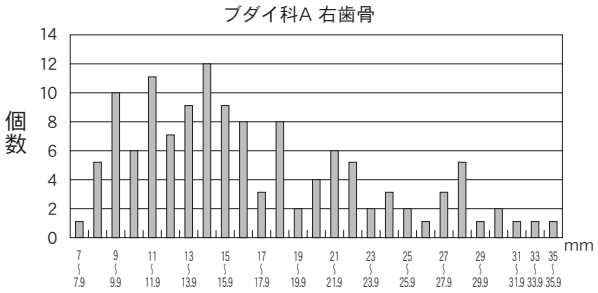


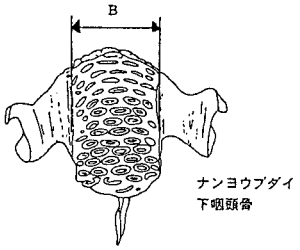


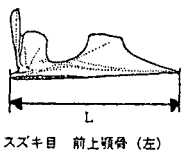


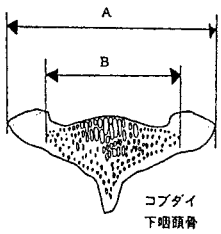


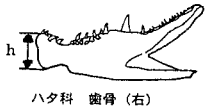












計測部位凡例

第135図　魚類計測値分布

第50表　魚類出土量

| 出土地 | | | | | | 詰所地区 | | | | | |

| | | |

第50表　魚類出土量

目・科・種名			出土地 / 部位			鎖之間北側地区 D-9 4層	5層	黒色土	黒褐色土	黒褐色礫混じり土	C・D-7～10 黒色砂礫土	赤褐色土	ピット14 埋土	鎖之間南側地区 トレンチ11 埋土	トレンチ12 埋土	トレンチ13 埋土	トレンチ16 下層	トレンチ18 埋土	H・I-9～11 埋土	石積2 裏込め土	石積3 裏込め土	客土	表土	表採	不明	合計	個体数
メジロザメ目	メジロザメ科	メジロザメ	脊椎骨						2		62	6		92		148						3	1	9	11	354	1
目・科不明		サメの一種	歯											1												1	1
エイ目	トビエイ科	トビエイ科の一種	歯板						1															2		3	1
	科不明	エイの一種	脊椎骨											2		3										8	1
ウナギ目	ウツボ科	ウツボ科の一種	歯骨	R	L						1			1												2	0	2
			鋤骨											1		1										2	
ボラ目	ボラ科	ボラ類	主鰓蓋骨	R	L							1				1	3						1			1	5	5
ダツ目	ダツ科	ダツ科の一種	前上顎骨	R	L									3	2	1	3							1		6	5	6
			歯骨	R	L							1		2	2	1	1								1	6	6	
カサゴ目	コチ科	コチ科の一種	歯骨	R	L									1								1				2	1	2
スズキ目	ハタ科	A	前上顎骨	R	L				3	4	20	18	1 4	11	16	22	25		1			3	1	2	1 2 2	82	90	100
			歯骨	R	L	2			2	1	18	25	3	19	12	22	25		1	3		1	3	1 1	3 3 3	100	96	
		B	前上顎骨	R	L					2	6	3①	1	2	1	6	1					1		1		19	10	19
			歯骨	R	L						5	3				3	3		1			①			1	12	11	
		ハタ類	主上顎骨	R	L	1 1			3	6①	24①	26	4 4	16	11	29	25			1		3	4	1 1	2 4 2 1	113	108	113
			角骨	R	L	1			2	1	11	6	1	11	13	19	19			1			1		1 1	64	62	
			方骨	R	L	1			2	2	16	14	1	9	13	12	13					2	2	2 1	3	54	62	
			a 舌顎	R	L				1		10	4	2 1	11	6	13	25			1				2	4 2	61	53	61
			b 舌顎	R	L			2	3	2	5	2		6	2	12	3							1	2 2	37	16	37
			a 前鰓蓋	R	L			1	1		2	5	2	6	4	13	9		2			2		2	3 1	47	39	47
			b 骨	R	L				1																	2	1	2
			a 主鰓蓋	R	L	1					1	1	1 1	5	4	2	12 9			1		1	1		1 2	24	23	24
			b 骨	R	L				1		3	6	1	10	5	11	23								1 3	40	48	48
			擬鎖骨	R	L	1			5	4	25	23	5 2	10	10	20	41		1	5		2	5	1	3 4 1 2	114	127	127
			鋤骨						1		9			6		11									1	29		
			副楔骨								1															1		
	アジ科	ブリ	前上顎骨	R	L																			1	1	1	1	1
	フエダイ科	ヒメフエダイ	前鰓蓋骨	R	L											1	1									1	1	1
		センネンダイ	歯骨	R	L				1		4			1	1	3	1									10	3	10
		フエダイ類	a 舌顎	R	L				1	1	10	6	1			5	1			1		1		1 2	2	26	16	26
			b 舌顎	R	L				1		2					1	2									4	2	4
			前上顎骨	R	L					1	6	3		2	4	2	7						1		2 1	13	20	34
			歯骨	R	L					1	3	2①		1	1	1	2									6	9	
			角骨	R	L						2	2					1									4	3	
			前鰓蓋骨	R	L					3	1	4		5	5	20	7			2		1			1 1	34	29	
	タイ科	ヘダイ	前上顎骨	R	L						2	2	1		3	2				1						7	5	8
			歯骨	R	L						2	1		1			1				1					3	3	
			主上顎骨	R	L						1	6	1	1												4	8	
		クロダイ	前上顎骨	R	L				1	2	10	7	1	3	3	10①	11			1			2		1	31	31	31
			歯骨	R	L						5	6		2	3	5	2		2					1	1	19	17	
			主上顎骨	R	L						7①	6	3		3	2	6			1			1 1 1			17	20	
			角骨	R	L						2	1	1	1						1				2		5	4	
		タイワンダイ	前上顎骨	R	L						2	1					1									2	3	5
			前鰓蓋骨	R	L						2				1		2					1				3	5	
		タイ科の一種	角骨	R	L								1	2	2	3										6	3	6
			舌顎	R	L							1					1									0	2	
	フエフキダイ科	ヨコシマクロダイ	前上顎骨	R	L						3		1													5	2	5
			歯骨	R	L						2															2	0	
			角骨	R	L										1											0	1	
		イソフエフキ	前上顎骨	R	L				2		1	1	1	3	1	1	1					1			2	9	7	9
			角骨	R	L									1		1										2	1	
		ハマフエフキ	前上顎骨	R	L	1			2	7	38	37	6 3	18	27	36	36			3		2	2	2 1	6 5 6 5	149	159	159
			歯骨	R	L	3			3	2	1 21	25	1 2	13	16	36	28			1		1		2	2 1	119	105	
			主上顎骨	R	L	1			3	3	23	24①	1 2	6	13	1 29	25			1 1		1	1	3	4 3 1 1	83	89	
			口蓋	R	L				8	2	1 44	35	3 3	12	16	28	22			2 2		4	1	1	3 4 3 2	122	111	
			角骨	R	L	2			4	2	12	23	2 2	9	15	17	31			1		1	2		1 5 1 1	65	104	
			舌顎	R	L	2			4	7	12	14	2 1	10	13	46	58		1	3	1	1			8 3 7	99	128	
			前鰓蓋骨	R	L			1		3	12	6	2	7	7	17	18				1		1		1 1 1 3	59	51	
			主鰓蓋骨	R	L						6	7		3	2	12	7								1		27	17	
			副楔骨			1			1		2					3						1				10		
			a 方骨	R	L	1					1			5	1	8	2			1					1	17	7	17
			b 方骨	R	L				4	4	20	16	2	13	24	26	26		1	1		1	1		3 4 10	79	93	93
		キツネフエフキ	前上顎骨	R	L																					0	1	1
		フエフキダイ科の一種	主鰓蓋骨	R	L				2	2	5	6		1	5	1									2	10	18	18
	メジナ科	A	前上顎骨	R	L							1			1	4	1									4	3	6
			歯骨	R	L							1			3		2									0	6	
		B	前上顎骨	R	L				1							2	1									3	1	3
			歯骨	R	L									2	1		2									2	3	

| | | |

第51表　魚骨計測一覧

単位：mm

科・種		右/左	計測部位		計測値	出土地		
ハタ科	A	右	歯骨	h	11.6	詰所地区	B-2	表土
					10.9		C-3	ｻﾝｺﾞ片層
					10.5			
					11.6			
					9.9		A～C-2・3	砂礫土
					8.6			
					8.8			
					10.7			
					10.8			
					11.9			
					12.0			
					8.9	書・北	C・E-4～10	砂礫土
					9.3			
					9.7			
					3.0	鎖之間北側地区	ﾄﾚﾝﾁ2	埋土
					5.3			
					5.5			
					5.8			
					7.0		ﾄﾚﾝﾁ21	
					9.2			
					13.1			
					10.0		C-9	赤褐色土
					14.8			黒色砂礫土
					15.1			
					10.1		D-7	
					8.7			
					9.5			
					9.7			
					13.2		D-8	
					5.0			
					5.2			
					5.8			
					6.5			
					6.8			
					8.0			
					8.4			
					8.5			
					9.7			
					10.4			
					11.7			
					12.1			
					10.2		D-9	3層
					14.1			
					8.8			4層
					11.4			黒褐色土
					17.2			
					8.1		E-8	3層
					3.4	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
					3.6			
					3.8			
					4.0			
					4.6			
					4.7			
					5.5			
					6.7			
					7.2			
					7.3			
					7.3			
					7.7			
					8.4			
					8.6			
					9.2			
					9.8			
					11.2			
					11.8			
					12.9			
					3.7		ﾄﾚﾝﾁ13	
					4.2			
					4.4			
					4.7			
					4.9			
					4.9			

科・種		右/左	計測部位		計測値	出土地		
ハタ科	A	右	歯骨	h	5.0	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ13	埋土
					5.0			
					6.0			
					6.5			
					6.5			
					6.8			
					7.2			
					7.4			
					8.0			
					8.4			
					8.7			
					9.0			
					10.5			
					11.1			
					12.7			
					13.0			
					14.7		I-11	
					6.9	表採		
					10.9			
					10.9			
					7.6	客土		
					2.8	不明		
	B	右	前上顎骨	L	34.4	詰所地区	C-3	ｻﾝｺﾞ片層
					45.0		A～C-2・3	砂礫土
					±22.3	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
					30.0			
					±35.7		ﾄﾚﾝﾁ13	
					±39.0			
					39.2			
					40.0			
					39.9	客土		
			歯骨	h	11.1	鎖之間北側地区	ﾄﾚﾝﾁ21	黒色砂礫土
					11.1		C-9	
					9.2		D-7	
					15.0			
					13.8		D-8	
					7.2	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ13	埋土
					10.9			
					±11.4			
					14.2		I-11	
					*13.6	客土		
					17.0			
		左	歯骨	h	13.6	詰所地区	C-3	ｻﾝｺﾞ片層
					*29.0		A～C-2・3	砂礫土
					29.0			
					±12.9	鎖北	D-7	黒色砂礫土
					12.6		D-8	
					20.3		D-8黒色砂礫土+ﾄﾚﾝﾁ21黒色砂礫土	
					±10.6	鎖南	ﾄﾚﾝﾁ13	埋土
					12.9			
タイ科	ヘダイ	右	前上顎骨	L	30.3	詰所	C-3	ｻﾝｺﾞ片層
					26.0	鎖北	D-8	黒色砂礫土
					26.5		D-9	赤褐色土
					22.3	鎖南	ﾄﾚﾝﾁ13	埋土
					33.5		石積2	裏込め土
		左			28.3	鎖北	D-8	黒色砂礫土
					28.3			
					20.7	鎖南	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
	クロダイ	右	前上顎骨	L	35.3	詰所	C・E-4～10	砂礫土
					19.8	鎖之間北側地区	ﾄﾚﾝﾁ2	埋土
					24.0			
					19.4		C・D-7～10	黒色砂礫土
					21.4		D-7	
					26.3		D-8	
					29.4			
					32.5			
					±45.0			
					30.5		D-9	黒褐色土
					16.9	鎖南	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
					17.3			
					28.0			

科・種		右/左	計測部位		計測値	出土地		
タイ科	クロダイ	右	前上顎骨	L	21.8	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ13	埋土
					22.0			
					23.5			
					24.5			
					25.8			
					28.4			
					31.3			
					31.3			
					*31.8			
					34.0			
					51.8	不明		
	ンダイタイワ	右	前上顎骨	L	±27.1	鎖北	D-7	黒色砂礫土
					27.7		D-8	
		左			33.4		D-7	
フエフキダイ科	クロダイヨコシマ	右	前上顎骨	L	38.1	詰所地区	A～C-2・3	砂礫土
					45.3			
					36.7	鎖北	C-9	黒色砂礫土
			歯骨		41.1		D-7	
	ハマフエフキ	右	前上顎骨	L	±20.5	詰所地区	B-2	表土
					38.2			
					16.5		C-3	ｻﾝｺﾞ片層
					29.1			
					41.1			
					45.5			
					±46.3			
					46.5			
					24.2		A～C-2・3	砂礫土
					26.5			
					±27.2			
					28.5			
					28.9			
					29.0			
					30.9			
					44.7			
					45.0			
					46.3			
					36.7	書・北	C・E-4～10	砂礫土
					14.7	鎖之間北側地区	ﾄﾚﾝﾁ2	埋土
					16.5			
					29.8		ﾄﾚﾝﾁ21	埋土
					24.5		C-9	赤褐色土
					±33.0			
					22.5		D-7	黒色砂礫土
					23.4			
					29.0			
					36.5			
					41.1		D-8	
					42.7			
					17.4			
					19.0			
					19.3			
					26.9			
					33.4			
					±34.5			
					36.8			
					±28.5		D-9	黒褐色土
					37.1			
					26.8			赤褐色土
					12.5	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
					13.0			
					17.5			
					18.8			
					±19.5			
					21.7			
					21.7			
					21.7			
					23.3			
					±24.5			
					26.0			
					26.8			
					28.2			
					28.6			

注　詰所：詰所地区、書院：書院地区、鎖北：鎖之間北側地区、鎖南：鎖之間南側地区、書・北：書院地区と鎖之間北側地区にまたがっている
　　±：推定、＊：キズあり、＋：接合の意

単位：mm

科・種	右/左	計測部位		計測値	出土地		
フエフキダイ科	ハマフエフキ	右	前上顎骨	L	37.3	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
					15.1		ﾄﾚﾝﾁ13	
					15.5			
					17.2			
					18.2			
					19.0			
					19.3			
					19.5			
					20.1			
					20.3			
					20.4			
					22.4			
					23.0			
					23.6			
					26.0			
					29.9			
					30.0			
					30.4			
					31.3			
					32.3			
					37.9			
					15.2	表採		
					±25.8			
					26.5	不明		
		左	前上顎骨	L	34.3	詰所地区	B-2	表土
					36.3			4層
					32.8		C-3	ｻﾝｺﾞ片層
					35.2			
					±42.3			
					±44.1			
					48.4			
					±47.8			
					22.6		A～C-2･3	砂礫土
					±29.4			
					33.2			
					33.3			
					36.1			
					37.4			
					38.7			
					39.1			
					40.3			
					±44.1			
					44.5			
					45.1			
					48.3			
					29.5	書･北	C･E-4～10	砂礫土
					20.9	鎖之間北側地区	ﾄﾚﾝﾁ2	埋土
					21.8			
					22.1		ﾄﾚﾝﾁ21	
					40.6			
					24.3		C-9	赤褐色土
					47.3			
					±26.3		D-7	黒色砂礫土
					29.0			
					31.9			
					20.5		D-8	
					22.2			
					22.5			
					±27.3			
					28.7			
					34.5			
					35.0			
					37.7			
					40.7			
					41.5			
					43.4			
					44.7			
					21.8		D-9	黒褐色土
					23.4			
					24.0			
					24.3			
					17.7	鎖南	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土

科・種	右/左	計測部位		計測値	出土地		
フエフキダイ科	ハマフエフキ	左	前上顎骨	L	15.5	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
					17.9			
					18.8			
					20.7			
					20.7			
					22.5			
					±26.0			
					26.5			
					±27.5			
					27.6			
					±39.6			
					±16.6		ﾄﾚﾝﾁ13	
					17.6			
					±18.1			
					18.3			
					20.2			
					±20.5			
					±20.9			
					21.8			
					22.1			
					23.2			
					23.3			
					24.4			
					29.2			
					30.2			
					32.0			
					38.0			
					43.6			
					24.2			
					25.3			
					33.4	表採		
					20.2	不明		
					21.6			
					34.1			
ベラ科	コブダイ	左	前上顎骨	L	32.0	詰所地区	C-3	ｻﾝｺﾞ片層
					41.4			
					61.8		A～C-2･3	砂礫土
					22.9			
					34.9			
					35.3			
					61.8			
					35.6	鎖北	ﾄﾚﾝﾁ21	埋土
					24.6		D-8	黒色砂礫土
					26.0			
					23.9	鎖南	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
					16.8		ﾄﾚﾝﾁ13	
			下咽頭骨	A	±52.0	詰所地区	B-2	表土
				B	35.1			
				A	−			3層
				B	31.8			
				A	27.5			4層
				B	18.7			
				A	36.7		C-3	ｻﾝｺﾞ片層
				B	24.5			
				A	37.9		A～C-2･3	砂礫土
				B	24.9			
				A	43.7			
				B	28.3			
				A	±42.7	書・北	C･E-4～10	砂礫土
				B	29.6			
				A	±50.8			
				B	35.8			
				A	29.5	鎖之間北側地区	D-7	黒色砂礫土
				B	18.6			
				A	31.9			
				B	21.9			
				A	35.0			
				B	24.5			
				A	39.0		D-8	
				B	27.3			
				A	27.7			
				B	19.1			

科・種	右/左	計測部位		計測値	出土地		
ベラ科	コブダイ	右	下咽頭骨	A	29.3	鎖之間北側地区	D-8	黒色砂礫土
				B	19.9			
				A	32.4			
				B	21.5			
				A	46.1			
				B	30.8		D-9	3層
				A	−			
				B	15.9			
				A	−		C･D-7～10	黒色砂礫土
				B	48.1			
				A	26.9	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
				B	17.3			
				A	35.4			
				B	22.4			
				A	20.6		ﾄﾚﾝﾁ13	
				B	15.0			
				A	20.6			
				B	16.2			
				A	27.7			
				B	18.7			
				A	35.9			
				B	24.4			
	タキベラ			A	34.3	詰所地区	A～C-2･3	砂礫土
				B	22.6			
				A	37.0			
				B	25.2			
				A	24.3	鎖之間北側地区	C-9	炭赤土
				B	15.5			
				A	42.0			黒色砂礫土
				B	26.4			
				A	41.5		D-8	黒色砂礫土
				B	26.4			
				A	33.3			
				B	19.5			
				A	36.0			
				B	23.8			
				A	8.5	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
				B	6.0			
				A	11.4			
				B	7.6			
				A	8.2		ﾄﾚﾝﾁ13	
				B	4.9			
				A	10.7			
				B	7.0			
				A	11.7			
				B	7.6			
				A	13.1			
				B	9.0			
				A	17.3			
				B	10.6			
				A	20.8			
				B	13.5			
				A	25.9	客土		
				B	16.9			
				A	*30.4	表採		
				B	*19.1			
	カンムリベラ	左	前上顎骨	L	27.5	詰所地区	B-2	表土
					±29.5		A～C-2･3	砂礫土
					34.7	鎖北	D-8	黒色砂礫土
					11.2	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
					15.2			
					9.9		ﾄﾚﾝﾁ13	
					19.3			
					23.7			
					31.8			
					32.2			
					10.0	不明		
					16.9			
	A	下咽頭骨		A	31.9	詰所地区	C-3	ｻﾝｺﾞ片層
				B	24.3			
				A	33.8			
				B	25.4			

第51表　魚骨計測一覧

単位：mm

科・種		右/左	計測部位	計測値	出土地		
ベラ科	A	下咽頭骨	A	49.3	詰所地区	C-3	ｻﾝｺﾞ片層
			B	34.7			
			A	32.0		A～C-2･3	砂礫土
			B	24.0			
			A	27.8	書･北	C･E-4～10	砂礫土
			B	21.1			
			A	30.5	鎖之間北側地区	D-7	3層
			B	22.3			
			A	32.5			黒色砂礫土
			B	23.3			
			A	26.0		D-8	黒色砂礫土
			B	19.3			
			A	26.9	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
			B	20.5			
			A	10.3		ﾄﾚﾝﾁ13	
			B	7.7			
			A	13.1			
			B	9.3			
			A	13.9			
			B	10.1			
			A	14.6			
			B	11.3			
			A	18.6			
			B	14.1			
			A	21.2			
			B	15.6			
			A	22.0			
			B	16.4			
			A	31.7	客土		
			B	23.2			
			A	26.4	不明		
			B	19.5			
	B	下咽頭骨	A	41.7	詰所地区	C-3	ｻﾝｺﾞ片層
			B	29.1			
			A	28.6		A～C-2･3	砂礫土
			B	20.4			
			A	33.2			
			B	22.9			
			A	39.2			
			B	27.1			
			A	40.2			
			B	29.6			
			A	42.8			
			B	29.7			
			A	33.2	書･北	C･E-4～10	砂礫土
			B	23.1			
			A	30.0	鎖之間北側地区	C-9	赤褐色土
			B	21.4			
			A	－			黒色砂礫土
			B	22.9			
			A	31.0		D-7	黒色砂礫土
			B	22.3			
			A	31.6			
			B	22.4			
			A	25.8		D-8	
			B	18.4			
			A	31.7			
			B	22.9			
			A	41.0			
			B	28.9			
			A	51.7			
			B	36.2			
			A	±41.0		ピット14	埋土
			B	29.1			
			A	30.5	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
			B	21.8			
			A	32.1			
			B	23.5			
			A	34.9			
			B	24.3			
			A	40.4			
			B	28.6			

科・種		右/左	計測部位	計測値	出土地		
ベラ科	B	下咽頭骨	A	24.4	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ13	埋土
			B	16.3			
			A	44.3			
			B	30.6			
			A	41.2		石積3	裏込め土
			B	28.7			
			A	－	客土		
			B	25.5			
			A	33.7			
			B	22.0			
	C	下咽頭骨	A	10.7	鎖南	ﾄﾚﾝﾁ13	埋土
			B	7.6			
ブダイ科	イロブダイ	下咽頭骨	B	15.6	詰所地区	C-3	ｻﾝｺﾞ片層
	ナンヨウブダイ			13.5		A～C-2･3	砂礫土
				17.5			
				16.4	鎖之間北側地区	C-9	赤褐色土
				9.8		D-8	赤褐色土
				11.8			黒色砂礫土
				23.4		D-9	3層
				5.0	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
				5.6			
				15.3		ﾄﾚﾝﾁ13	
				6.4			
				6.8			
				6.9			
				6.9			
				8.0			
				8.8			
				11.9		I-11	
				16.9	客土		
				18.3	表採		
				5.6	不明		
				6.0			
	ナガブダイ	下咽頭骨	B	15.4	詰所地区	B-2	表土
				19.5		C-3	ｻﾝｺﾞ片層
				10.6		A～C-2･3	砂礫土
				13.4	書･北	C･E-4～10	砂礫土
				17.1			
				16.1	鎖之間北側地区	C-9	黒色砂礫土
				8.4		D-7	
				17.9			
				8.2		D-8	
				10.2			
				11.4			
				14.2			
				15.0			
				17.2			
				19.4			
				12.0		D-9	3層
				12.0			
				7.3	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
				7.7			
				8.9			
				9.9			
				10.1			
				10.8			
				11.2			
				11.4			
				12.0			
				14.2			
				18.8			
				19.4			
				8.2		ﾄﾚﾝﾁ13	
				8.8			
				9.1			
				9.2			
				9.6			
				10.0			
				10.3			
				10.7			
				11.3			
				11.6			

科・種		右/左	計測部位	計測値	出土地		
ブダイ科	ナガブダイ	下咽頭骨	B	12.8	鎖南	ﾄﾚﾝﾁ13	埋土
				13.8			
				14.7			
				23.1			
				15.6		I-11	埋土
				8.5	表採		
	A	左	L	15.3	詰所地区	ﾄﾚﾝﾁ27	暗褐色土
				22.8		B-2	表土
				21.8		B-3	崩落土
				15.7		C-3	ｻﾝｺﾞ片層
				14.7			
				15.5			
				21.0			
				21.9			
				23.3			
				28.9			
				29.6			
				29.9			
				14.5		A～C-2･3	砂礫土
				15.8			
				16.9			
				18.4			
				20.8			
				22.3			
				22.7			
				23.2			
				23.5			
				23.8			
				25.0			
				±25.2			
				25.7			
				26.2			
				26.6			
				26.7			
				28.3			
				28.7			
				28.9			
				33.7			
				34.0			
				34.0			
				34.9			
				35.1			
				35.7			
				35.9			
				35.9			
				36.0			
				36.2			
				37.2			
				19.2	書･北	C･E-4～10	砂礫土
				31.6			
				13.0	鎖之間北側地区	ﾄﾚﾝﾁ2	埋土
				15.4			
				21.7			
				23.6		ﾄﾚﾝﾁ3	
				25.3		C-7	赤褐色土
				15.2		C-9	
				26.3		D-7	3層
				5.3			黒色砂礫土
				±8.7			
				11.2			
				±19.5			
				30.9			
				27.6			
				29.8			
				9.7		D-8	
				9.7			
				14.4			
				20.7			
				±20.9			
				±21.3			
				22.7			
				23.0			

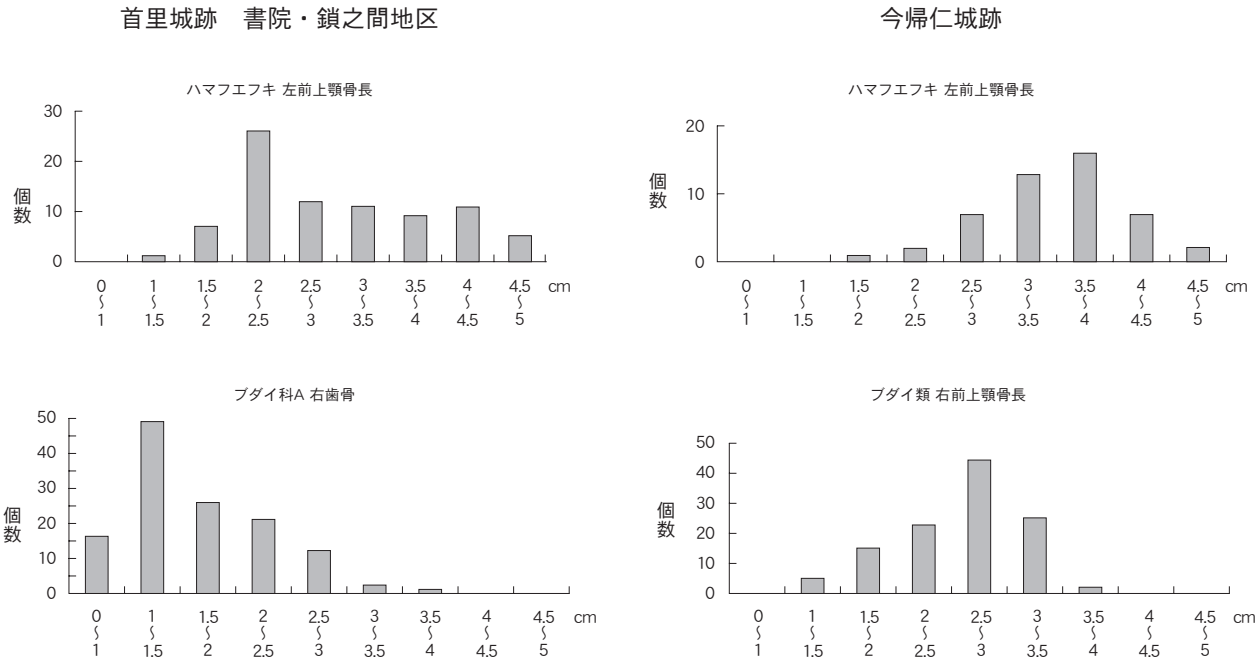
注　詰所：詰所地区、書院：書院地区、鎖北：鎖之間北側地区、鎖南：鎖之間南側地区、書・北：書院地区と鎖之間北側地区にまたがっている
　　±：推定、＊：キズあり、＋：接合の意

単位：mm

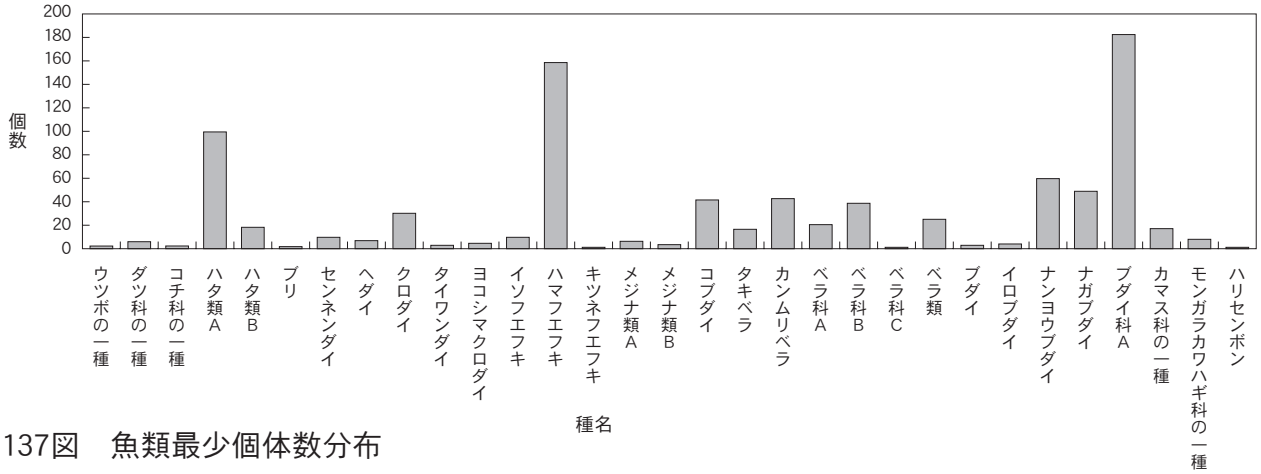
科・種		右/左	計測部位		計測値	出土地		
ブダイ科	A	左	前上顎骨	L	28.6	鎖之間北側地区	D-8	黒色砂礫土
					32.1			
					32.2			
					25.8		D-9	4層
					15.8			黒褐色土
					19.5			
					19.7			
					25.8			
					27.8			赤褐色土
					12.6		D-10	赤褐色土
					8.9	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
					9.6			
					9.7			
					±13.4			
					14.0			
					15.9			
					16.2			
					16.6			
					20.5			
					25.3			
					28.0			
					29.3			
					35.1			
					16.4		ﾄﾚﾝﾁ13	
					16.7			
					17.2			
					18.3			
					20.8			
					23.9			
					29.1			
					33.7			
					7.1			
					7.6			
					8.0			
					8.6			
					8.7			
					8.7			
					9.8			
					9.9			
					10.0			
					10.2			
					10.4			
					11.2			
					11.3			
					12.0			
					12.2			
					12.6			
					12.8			
					12.8			
					12.9			
					13.0			
					13.1			
					13.2			
					13.4			
					13.7			
					13.9			
					13.9			
					14.5			
					±14.8			
					15.1			
					16.1			
					20.5	客土		
					24.7			
					31.4			
					35.3			
					7.2	表採		
					±9.7			
					15.0			
					15.6			
					6.8	不明		
					8.5			
					11.3			

科・種		右/左	計測部位		計測値	出土地		
ブダイ科	A	右	歯骨	L	16.3	詰所地区	C-3	ｻﾝｺﾞ片層
					21.3			
					24.5			
					29.2			
					35.1			
					14.1		A～C-2・3	砂礫土
					15.0			
					15.3			
					18.2			
					21.4			
					22.9			
					26.2			
					28.3			
					28.3			
					30.9			
					33.8			
					14.6	書・北	C・E-4～10	砂礫土
					19.9			
					28.9			
					14.0	鎖之間北側地区	ﾄﾚﾝﾁ2	埋土
					16.5			
					30.0			1層
					15.0		ﾄﾚﾝﾁ21	埋土
					28.1		C-8	黒色砂礫土
					21.4			
					13.7		C-9	炭赤土
					14.1			黒色砂礫土
					18.6		D-7	黒色砂礫土
					22.5			
					24.0			
					9.0		D-8	黒色砂礫土
					9.8			
					10.9			
					13.6			
					14.7			
					14.8			
					±16.0			
					16.4			
					18.4			
					18.5			
					18.7			
					20.1			
					22.5			
					23.8			
					31.1			
					20.9		D-9	3層
					21.5			
					15.1			黒褐色土
					25.0			
					27.4			
					7.8	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
					8.7			
					8.8			
					8.9			
					9.1			
					9.8			
					9.9			
					9.9			
					11.4			
					11.6			
					12.0			
					12.4			
					13.1			
					13.4			
					13.7			
					14.1			
					14.4			
					14.8			
					14.9			
					16.0			
					16.9			
					17.6			

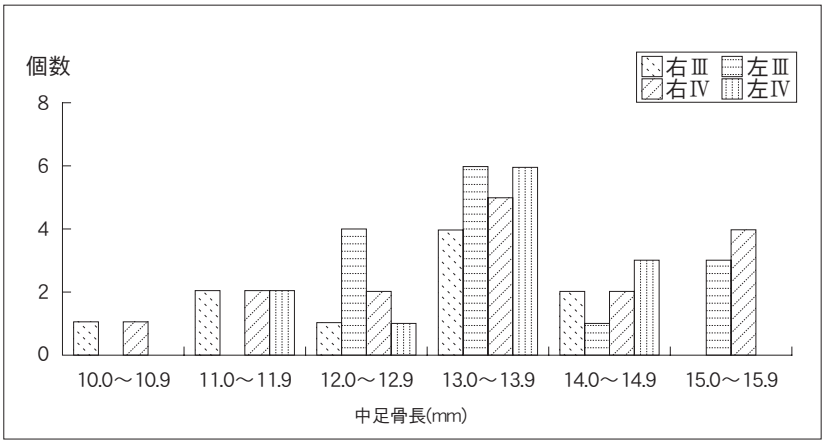
科・種		右/左	計測部位		計測値	出土地		
ブダイ科	A	右	歯骨	L	18.8	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
					19.2			
					20.7			
					21.4			
					22.2			
					8.1		ﾄﾚﾝﾁ13	
					8.4			
					9.0			
					9.4			
					10.4			
					10.5			
					10.6			
					10.7			
					11.2			
					11.2			
					11.4			
					11.5			
					11.7			
					11.8			
					11.8			
					11.8			
					12.0			
					12.3			
					12.3			
					12.9			
					13.4			
					13.5			
					13.8			
					14.1			
					14.5			
					15.0			
					15.0			
					15.2			
					15.5			
					15.5			
					16.0			
					16.7			
					17.3			
					18.3			
					18.3			
					21.9			
					23.1			
					24.3			
					25.2			
					27.1			
					27.1		I-11	
					9.7	表採		
					10.2			
					11.4			
					17.6			
					22.7			
					9.9	不明		
					12.7			
					13.8			
					20.5			
					28.1			
モンガラカワハギ科		右	上顎	L	18.7	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
					17.4		ﾄﾚﾝﾁ13	
					21.9			
			下顎		31.0	詰所	C-3	ｻﾝｺﾞ片層
					16.3	鎖之間南側地区	ﾄﾚﾝﾁ11	埋土
					20.0			
					12.2		ﾄﾚﾝﾁ13	
					13.7			
ハリセンボン科			上顎	L	35.4	鎖北	D-7	黒色砂礫土
			下顎		57.3	鎖南	I-11	埋土



第136図　今帰仁城跡とのサイズ比較



第137図　魚類最少個体数分布

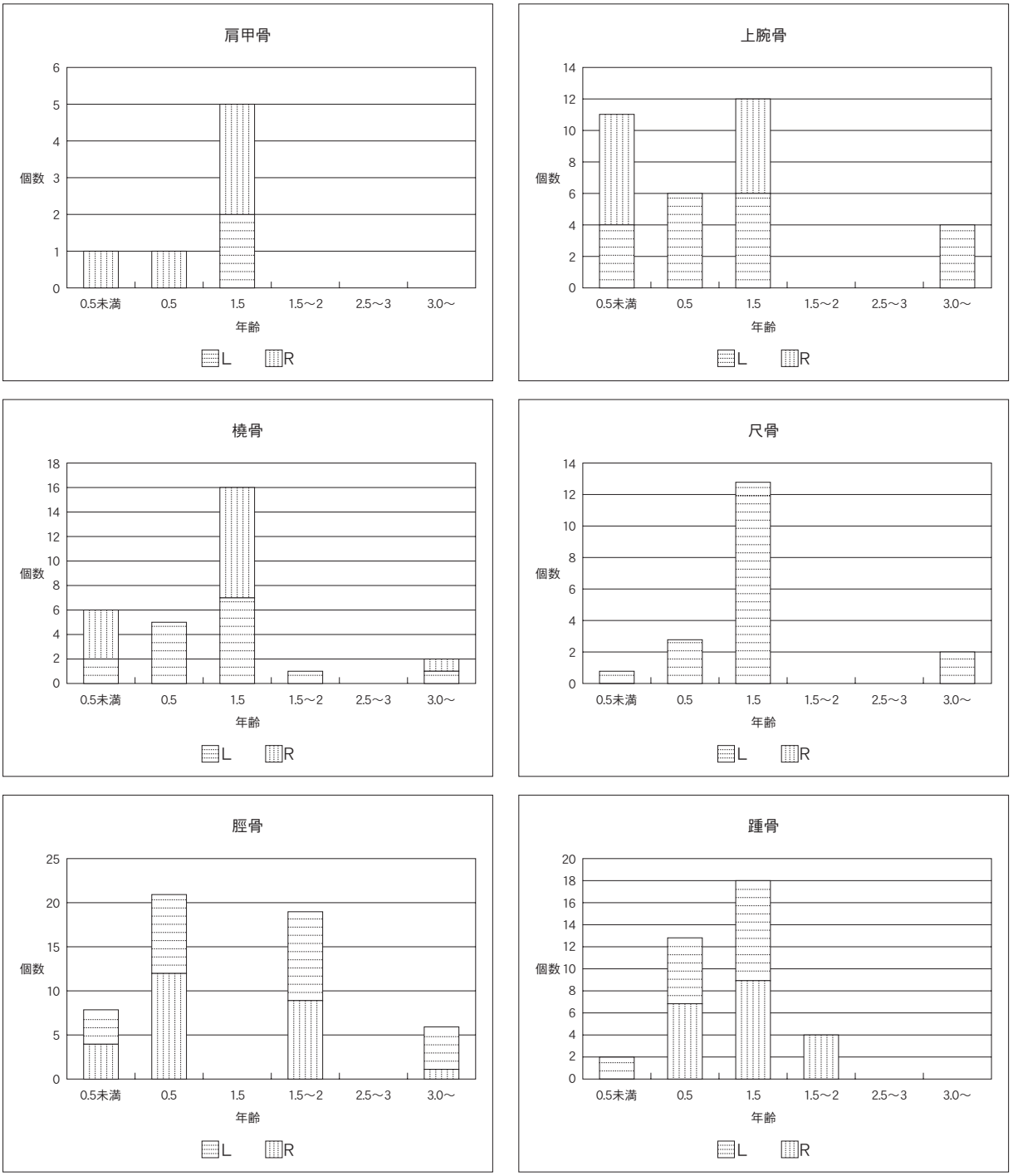


第138図　ブタ中足骨計測分布

第 52 表　ブタ年齢分布

部位 / 年齢	肩甲骨		上腕骨		橈骨		尺骨		脛骨		踵骨	
	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R
0.5 未満		1	4	7	2	4	1		4	4		2
0.5		1	6		5	3	3		12	9	7	6
1.5	2	3	6	6	7	9	15				9	9
1.5 ～ 2					1				9	10	4	
2.5 ～ 3												
3.0 ～			4		1	1	2		1	5		

※数量は同定破片資料数による



第139図　ブタ部位別年齢分布

第 53 表　ニワトリ出土量

| 部位 | | 詰所地区 | | |

| 鎖之間北側地区 | | | 鎖之間南側地区 | | |

第 54 表　ニワトリ計測一覧

部位	右 / 左	残存部位	計測部位	計測値	出土地		
烏口骨	右	近位部～遠位骨端はずれ	GL	43.5	鎖南	トレンチ 13	埋土
		近位端～遠位骨端はずれ		49.7			
	左	完存		53.7			
				55.6			
				59.3			
				64.3		H・I -9 ～ 11	埋土
				58.1	不明		
		近位端～遠位端		52.4	鎖南	トレンチ 13	埋土
肩甲骨	右	近位端	BP	14.4	詰所	A～C -2・3	砂礫土
				13.4	鎖北	D -8	黒色砂礫土
				13.6			
				14.1	鎖南	トレンチ 11	埋土
				13.2			
				13.3		トレンチ 13	埋土
				± 14.0			
				14.5			
				13.0	表採		
	左			13.3	鎖北	D -7	黒色砂礫土
				11.4	鎖南	トレンチ 13	埋土
				12.4			
				12.9			
				13.0			
				13.4			
				13.5			
				13.5			
				14.3			
				14.3			
				12.0	表採		
上腕骨	右	完存	BP	17.8	詰所	A～C -2・3	砂礫土
			Bd	14.3			
			GL	64.2			
			BP	24.4	鎖南	トレンチ 11	埋土
			Bd	18.5			
			GL	88.6			
		近位端	BP	19.7	鎖南	トレンチ 13	埋土
		遠位部	Bd	*13.7	表採		
		遠位端	Bd	± 17.5	詰所	A～C -2・3	砂礫土
				18.2			
				± 15.1	鎖北	D -9	赤褐色土
				16.1	鎖南	トレンチ 11	埋土
				16.7			
				16.6			
				13.7		トレンチ 13	埋土
				15.6			
				16.4			
				± 16.8			
	左	近位端	BP	21.7	鎖南	トレンチ 11	埋土
				21.0		トレンチ 13	埋土
				21.0			
		骨体～遠位端	Bd	14.5	鎖北	D -8	黒色砂礫土
		遠位骨端はずれ		13.9	鎖南	トレンチ 13	埋土
		遠位端		18.8	詰所	C -3	サンゴ片層
				± 17.2		A～C -2・3	砂礫土
				17.1	書院・鎖北	C・E－2 ～ 10	砂礫土
				16.1	鎖北	D -8	埋土
				13.4	鎖北	D -8	黒色砂礫土

部位	右 / 左	残存部位	計測部位	計測値	出土地		
上腕骨	左	遠位端	Bd	17.2	鎖北	D -8	黒色砂礫土
				17.0	鎖南	トレンチ 11	埋土
				17.7			
				*15.4		H・I -9 ～ 11	埋土
尺骨	右	近位端	近位骨端幅	11.1	詰所	A～C－2・3	砂礫土
				11.3	鎖南	トレンチ 13	埋土
				13.8			
		近位端～遠位部		± 14.0		H・I -9 ～ 11	埋土
中手骨	右	GL		45.6	鎖南	トレンチ 13	埋土
				39.8			
				40.7			
	左			40.9			
大腿骨	左	完存	GL	95.9	詰所	A～C -2・3	砂礫土
脛骨	右	骨体～遠位端	Bd	9.2	鎖北	D -7	黒色砂礫土
				13.2	鎖南	トレンチ 13	埋土
				15.5			
	左			12.9	詰所	B -2	4 層
				13.5		A～C -2・3	砂礫土
				± 11.3	鎖北	D -7	黒色砂礫土
		遠位端		12.4	詰所	A～C -2・3	砂礫土
				12.9	詰所	A～C -2・3	砂礫土
				10.6	鎖北	D -7	黒色砂礫土
				11.1			
				± 14.2			
				10.6		D -8	黒色砂礫土
				9.9		D -9	黒褐色土
				11.8			
				12.6			
				± 10.8	鎖南	トレンチ 11	埋土
				12.8			
				14.0			
				14.8		トレンチ 13	埋土
				16.7			
				12.1			
				12.4			
				13.0			
				13.6			
				14.4			
				14.5			
				12.7		H・I -9 ～ 11	埋土
				13.8	不明		
中足骨	右	完存♀	GL	84.9	詰所	A～C -2・3	砂礫土
				*72.1	鎖南	トレンチ 13	埋土
		近位端	幅	14.6	鎖北	D -8	黒色砂礫土
				17.9		D -9	黒褐色土
				± 12.4	鎖南	トレンチ 11	埋土
				15.4			
				17.7			
				19.1			
				19.4			
				15.1		トレンチ 13	埋土
				15.2			
				15.5			
				14.9		H・I -9 ～ 11	埋土
				15.6			
	左	完存♀	GL	83.6		トレンチ 13	埋土

注　詰所：詰所地区、書院：書院地区、鎖北：鎖之間北側地区、鎖南：鎖之間南側地区、書院・鎖北：書院地区と鎖之間北側地区にまたがっている
＊：キズあり、±：推定

第 55 表　ウマ出土量

部位 ＼ 出土地		詰所地区												書院地区			鎖之間北側地区														鎖之間南側地区						客土			表土			表採			不明			合計		
		B -2						C -3			A ～ C-2・3			C ～ E-4 ～ 10			D -9						C・D-7 ～ 10						トレンチ 13			H・I -9 ～ 11																				
		3層			4層			サンゴ片層			砂礫土			砂礫土			3層			黒褐色土			黒色砂礫土			赤褐色土			埋土			埋土																				
部位		右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明
頭骨	鼓室部								1																																							0	1	0
下顎骨	下顎骨										1														1																					1	0	1
	切歯骨																								1																					0	0	1
椎体	尾椎												1																																	0	0	1
肋骨	近位～					①		1	5 ①		8	8			1						2		1													①									10	19	0
	第 1								2																																					0	2	0
	破片			4			15 ④			29 ①		1	175 ①			6			②			5			24			7 ①			1								11			3 ①			4				0	1	294
橈骨	骨体																																			(1)												0	0	1
	遠位部																												1																		1	0	0
	遠位骨端のみ																						1																								0	1	0
尺骨	骨体																															1																0	1	0
	遠位部																								1																								0	1	0
小中手骨													1																																				0	0	1
大腿骨	骨頭のみ																								1																								1	0	0
膝蓋骨												1																																				0	1	0
踵骨																									2																								2	0	0
足根骨	中心＋第 3																						1																								1	0	0
中手・中足骨																									1																								0	0	1
中足骨																																																0	0	1
基節骨																									①																								0	0	1
中節骨										1															1			1																				0	0	3
末節骨										1																																						0	0	1
種子骨										2			3									1			5																								0	0	11
合　計		0	0	4	0	1	19	1	9	34	9	10	181	0	1	6	0	0	2	0	2	6	2	1	34	4	0	9	1	0	1	0	1	1	0	1	11	0	0	4	0	0	4	0	0	1	16	27	317

注　（）：破片、〇：キズあり

第 56 表　ウマ歯出土一覧

部位	右／左	残存部位	出土地			個数
上顎骨	右	P^2	鎖之間北側地区	C -8	黒色砂礫土	1
	左	M^1	鎖之間南側地区	トレンチ 11	埋土	1
		犬歯	客土			1
下顎骨	右	P_2	鎖之間北側地区	D-10	赤褐色土	1
	左	P_4	客土			1
		歯	鎖之間北側地区	D- 7	黒色砂礫土	(1)
上下不明	不明	Ｉ 1		D- 7		1
		歯 破片		D- 8		1

注　（）：破片

第 57 表　ウマ計測一覧

単位：mm

部位		右 / 左	計測部位	計測値	出土地		
上顎骨	P^2	右	高さ	56.9	鎖之間北側地区	C-8	黒色砂礫土
下顎骨	P_2	右	高さ	53.7		D -10	赤褐色土
	P_4	左	高さ	43.5	客土		
橈骨	遠位骨端のみ	左	Bd	66.3	鎖之間北側地区	D-8	黒色砂礫土
足根骨	中心＋第 3	右	幅	45.1		C-8	
末節骨		不明	GL	46.8	詰所地区	C -3	サンゴ片層
			BP	46.5			

第 58 表　ヤギ計測一覧

単位：mm

部位		右 / 左	計測部位	計測値	出土地		
橈骨	近位端～遠位骨端はずれ	左	BP	26.7	鎖之間南側地区	Ｉ -11	埋土
距骨		左	GL	24.0	鎖之間北側地区	D -9	3層

第59表　カニ出土一覧

部位	右 / 左	残存部位	出土地			個数
ハサミ脚	左	可動指	鎖南	ﾄﾚﾝﾁ 13	埋土	1
						1
		不動指	鎖北	D -9	3 層	1

第60表　カエル出土一覧

部位	出土地			個数
脛腓骨	鎖北	トレンチ 13	埋土	1

第62表　ヘビ出土一覧

部位	出土地			個数
脊椎骨	鎖北	D -9	黒色砂礫土	1

第61表　ウミガメ出土一覧

種名	部位	右 / 左	残存部位	出土地			個数
アオウミガメ	椎骨板			鎖北	D -8	埋土	3
	肋骨板	左	第 1,2	鎖北	D -8	埋土	1
	肋骨板			鎖北	D -7	黒色砂礫土	1
				客土			1
							1
ウミガメ	縁骨板			鎖北	D -8	黒色砂礫土	1
					D -8	埋土	1
					D -9	黒褐色礫混じり	1
	腹甲板			鎖北	ﾄﾚﾝﾁ 21	黒色砂礫土	1
					D -7	黒色砂礫土	2
					D -9	黒褐色土	1
					D -10	黒色砂礫土	1
				鎖南	石積 2	裏込め土	1
					I -11	埋土	1
	橈骨	左		鎖北	D -7	黒色砂礫土	1
	指骨			鎖北	D -7	黒色砂礫土	1
	破片			鎖北	D -9	黒褐色土	1

第63表　トリ出土一覧

種名	部位	右/左	残存部位	出土地			個数
トリ	橈骨	右	骨体～遠位端	鎖之間北側地区	D-7	黒色砂礫土	1
				詰所地区	A～C-2･3	砂礫土	1
	中手骨	左		鎖之間北側地区	D-8	黒色砂礫土	1
	大腿骨	右	近位部	鎖之間南側地区	トレンチ13	埋土	1
		左	骨体	詰所地区	A～C-2･3	砂礫土	1
	脛骨	右	遠位部	鎖之間北側地区	D-9	黒色砂礫土	1
		左	骨体		D-9	赤褐色土	1
サギ類	尺骨	右	骨体～遠位端	鎖之間北側地区	D-7	黒色砂礫土	1
カモメ類	第1指･2指骨	右	完存		D-8	黒色砂礫土	1
カモメ？	脛骨	右	遠位端	詰所地区	C-3	サンゴ片層	1
キジバト	烏口骨	左	完存	鎖之間北側地区	D-9	黒褐色土	1
	尺骨	左	近位端	鎖之間南側地区	トレンチ13	埋土	1
	第1指･2指骨	右		鎖之間北側地区	D-9	赤褐色土	1
		右		鎖之間南側地区	トレンチ11	埋土	1
ワシ類	中手骨	右	完存	詰所地区	トレンチ27	暗褐色土	1
カラス	中手骨	右		鎖之間南側地区	石積2	裏込め土	1

第64表　ジネズミ類出土一覧

部位	右 / 左	出土地			個数
下顎骨	右	鎖北	トレンチ 13	埋土	1
	左	鎖北	トレンチ 11	埋土	1

第65表　モグラ類出土一覧

部位	右 / 左	出土地			個数
下顎骨	右	鎖南	トレンチ 11	埋土	1
	左				1

第66表　ネズミ類出土一覧

部位	右 / 左	出土地			個数
上顎骨	左	鎖南	トレンチ 11	埋土	1
					1
下顎骨	右		トレンチ 13	埋土	1
		詰所	B -3	崩落土	1
		不明			1
	左	鎖北	D -8	1 層	1
頸椎		鎖南	トレンチ 11	埋土	1
			トレンチ 13	埋土	1
上腕骨	左		トレンチ 13	埋土	1
大腿骨	右		トレンチ 11	埋土	1
			トレンチ 13	埋土	2
	左		トレンチ 11	埋土	1
			トレンチ 13	埋土	2
		鎖北	D -8	黒色砂礫土	1
			D -9	黒褐色土	1
		詰所	A～C -2・3	砂礫土	1
脛骨	右	鎖南	トレンチ 13	埋土	1
	左	鎖北	C -9	黒色砂礫土	1

第67表　ネコ出土一覧

部位	右 / 左	残存部位	出土地			個数
下顎骨	右	$P_{3,4}$ M_1	書院･鎖北	C･E -4 ～ 10	砂礫土	1
上腕骨	右	近位部～遠位部	書院	E -5	1 層	1
脛骨	右	近位端	鎖北	D -8	黒色砂	1
中足骨	左	Ⅲ･Ⅳ	鎖北	トレンチ 21	礫土	1

第68表　イルカ出土一覧

部位	出土地			個数
腰椎	鎖北	C -9	砂礫土	1
			赤褐色土	1
		D -9	3 層	2
	表採			1
	鎖北	D -10	黒色砂礫土	1

第69表　ジュゴン出土一覧

部位	右 / 左	残存部位	出土地			個数
後頭顆	右		書院･鎖北	C･E -4 ～ 10	砂礫土	1
頭骨片			書院	D -5	1 層	1
歯			鎖北	D -8	赤褐色土	1
椎骨片			鎖南	トレンチ 11	埋土	4
				トレンチ 13	埋土	3
肩甲骨	右	遠位端	鎖北	D -9	3 層	1
肋骨	右	第 1	鎖南	トレンチ 11	埋土	1
				ﾄﾚﾝﾁ 11+ﾄﾚﾝﾁ 12	埋土	1
				トレンチ 11	埋土	①
	左		鎖南	トレンチ 11	埋土	①
				トレンチ 13	埋土	①
				I -11	埋土	1
	不明	破片	詰所	A～C -2・3	砂礫土	①
				B -3	崩落土	1
				A～C -2・3	砂礫土	2
			書院･鎖北	C･E -4 ～ 10	砂礫土	2
			鎖北	D -7	黒色砂礫土	1
				D -10	赤褐色土	1
			鎖南	トレンチ 11	埋土	①
				トレンチ 11	埋土	3
				トレンチ 13	埋土	1
			客土			1
			表採			1
不明			鎖北	D -7	黒色砂礫土	1
			書院･鎖北	C･E -4 ～ 10	砂礫土	1

第70表　ウシorウマ出土一覧

部位		出土地			個数
肋骨	破片	詰所	A～C -2・3	砂礫土	3
		書院･鎖北	C･E -4 ～ 10	砂礫土	8 ③
	軟骨	客土			1

第71表　ヤギ出土一覧

部位	右 / 左	残存部位	出土地			個数
下顎骨	左	M_2	鎖北	C -8	黒色砂礫	1
		歯 破片		D -7	土	1
橈骨	左	近位端～遠位骨端はずれ	鎖南	I -11	埋土	1
		近位部～遠位部	鎖北	D -9	3 層	1
尺骨	左	近位部	鎖南	I -11	埋土	1
中手骨	左	近位端	鎖北	D -10	赤褐色土	1
距骨	左			D -9	3 層	1
中手・中足骨						2

第72表　種不明出土一覧

部位	右 / 左	出土地			個数
肋骨？	右	鎖北	D -8	黒色砂礫土	1
軟骨		詰所	B -2	3 層	1
			C -3	サンゴ片層	4
		詰所	A～C -2・3	砂礫土	22
		書院･鎖北	C･E -4 ～ 10	砂礫土	3
		客土			1
不明		鎖南	トレンチ 11	埋土	1
			トレンチ 13	埋土	2

注　詰所：詰所地区、書院：書院地区、鎖北：鎖之間北側地区、鎖南：鎖之間南側地区、書院・鎖北：書院地区と鎖之間北側地区にまたがっている
　　○：キズあり、＋：接合の意

第73表　ウシ出土量

| 部位 ＼ 出土地 | | 詰書地区 | | | | | | | | | | | | 書院地区 | | | | | | | | | 鎖之間北側地区 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 鎖之間南側地区 | | | | | | | | | | | | 客土 | | | 表土 | | | 表採 | | | 不明 | | | 合計 | | |
|---|---|---

第 76 表　ブタ出土量

出土地 / 部位		詰所地区																		書院地区																		鎖之間北側地区																													
		B－2						B－3			B-2 3層+4層			C-3			A～C－2・3			C-3 砂礫土 +D-3 砂礫土			トレンチ 5			トレンチ 14			H- 6			C～E－3～6			C・E－4～10			トレンチ 2			トレンチ 3			トレンチ 21			C-9			D－7			D－8			D－9					
		3層			4層			崩落土						サンゴ片層			砂礫土						暗褐色土			埋土			埋土			1層			砂礫土			埋土			埋土			埋土			埋土			3層			埋土			3層					
		右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明
頭骨	頭頂骨																																																																		
	側頭骨				1																																																												
	側頭骨頬骨突起																																																													
	側頭骨頬骨																																																													
	項稜																																																													
	後頭顆																		1			1																					1	1																				
	岩様部骨胞																		①																																													
	鼻骨																																				1																												
	破片																																																														
上顎骨																																																															
下顎骨	下顎骨																																		1																									1(1)		
	関節突起																																																													
椎体	環椎																																					1																								1	
	頸椎																		1																																											1	
	胸椎																		1																																											
	胸骨																																																														
	腰椎																		2																																											
	椎体																		2																																											3
	椎窩																		1																																											
	仙骨																																																													
	尾骨																																																												
	棘突起																		3																																										1
肋骨	近位～	1				1								7②	7①		21①		15															4	1						1			1									①	1		2	3		
	第 1																		2																																										
	軟骨															7			3(1)																																										
	破片						6			1						40③			146⑩						①								4			20			1					3			1					4			18
肩甲骨	近位端																																																												(1)
	近位部																		①																																									
	遠位部																																																											(1)	
	遠位骨端はずれ																																																												
	遠位端																1																																													
	破片													1			1		①																																												
上腕骨	両端はずれ																																																												
	骨頭のみ																																																												
	近位端																2																																													
	近位端～遠位端																																																												
	近位骨端はずれ	1																																																										
	近位骨端はずれ～骨体																																																										
	近位部																																				1																										
	近位部～遠位部																		1																																											
	骨体																		1①																																											2	
	骨体～遠位骨端はずれ																																																											
	骨体～遠位端																①																																												
	遠位部																		1																																											
	遠位骨端はずれ																																																											
	遠位端																		1																																											
	遠位骨端のみ																2																																												
	破片																																																											
橈骨	両端はずれ																																																											
	近位端													1			1		①																																											
	近位端～骨体																																																											
	近位端～遠位部																																																											
	近位骨端はずれ																1																																											
	近位部																																																											
	骨体																		1																																										1	
	遠位部																		2																																										
	遠位骨端はずれ														1																																												
	遠位端																1																																											1	
尺骨	近位端																																																											
	近位骨端はずれ																		1																																									

| | | |

第76表　ブタ出土量

| 部位 ＼ 出土地 | | 鎖之間北側地区 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 鎖之間南側地区 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | |

第77表　ブタ計測一覧

部位	右/左	残存部位	計測部位	計測値	出土地		
後頭顆	左右		最大幅	55.1	鎖北	トレンチ21	埋土
肩甲骨	右	遠位骨端はずれ	SLC	{11.2}	鎖北	D-10	赤褐色土
		遠位端		22.0		D-9 黒色土+黒褐色礫混じり土	
				15.4	鎖南	I-9～11	埋土
	左	遠位部		18.7	鎖北	トレンチ21	埋土
上腕骨	右	両端はずれ	Sd	14.2	書・北	C・E-4～10	砂礫土
		近位端～遠位端	Sd	11.8	鎖北	D-8	黒色砂礫土
			Bd	29.3			
		近位骨端はずれ～骨体	Sd	10.5	鎖北	D-9	3層
		骨体		10.2		D-8	黒色砂礫土
				9.8		D-10	赤褐色土
				13.1	鎖南	トレンチ11	埋土
				13.1			
				18.5	客土		
		骨体～遠位骨端はずれ		11.5	鎖北	D-9	赤褐色土
		骨体～遠位端	Sd	*15.4	詰所	A～C-2・3	砂礫土
		遠位端	Bd	28.8	鎖北	C-9	赤褐色土
				±30.1		D-8	黒色砂礫土
				±30.3		D-9	赤褐色土
	左	近位骨端はずれ～骨体	Sd	11.6	書院	D-5	1層
		近位部		15.3	鎖北	C-9	赤褐色土
				13.5			
		近位部～遠位部		11.7	詰所	A～C-2・3	砂礫土
		骨体		14.1	鎖北	C-9	赤褐色土
				8.3		D-9	3層
				11.4	書・北	C・E-4～10	砂礫土
		遠位部		11.6	詰所	A～C-2・3	砂礫土
		遠位端		11.0			
				11.9	鎖北	D-9	3層
				13.4			
橈骨	右	近位端	BP	23.8	詰所	C-3	サンゴ片層
				±21.2		A～C-2・3	砂礫土
				24.3	鎖北	C-8	黒色砂礫土
				22.6		D-8	黒色砂礫土
				22.5	客土		
		近位端～遠位部		23.5	鎖北	D-9	3層
				21.6			
		遠位端		28.5	詰所	A～C-2・3	砂礫土
	左	遠位端	Bd	23.6	鎖北	D-7	3層
手根骨	右	第3	幅	15.1	鎖南	トレンチ11	埋土
	左	中間		16.0	鎖北	D-8	黒色砂礫土
中手骨	右	Ⅲ	BP	13.0	詰所	B-2	表土
				12.5		A～C-2・3	砂礫土
				13.6			
				15.9			
				*17.5			
				18.7	鎖北	トレンチ21	埋土
				13.5		C-9	赤褐色土
				14.2			
				16.7			
				14.7		D-8	黒色砂礫土
				16.2			
				14.1		D-9	3層
				17.1			黒褐色土
		Ⅳ		14.3	詰所	C-3	サンゴ片層
				11.1		A～C-2・3	砂礫土
				16.9			
				14.2	鎖北	D-7	黒色砂礫土
				16.6		D-9	3層
				14.9	不明		
	左	Ⅲ		16.0	詰所	C-3	サンゴ片層
				±15.6			
				15.7			
				±15.0		A～C-2・3	砂礫土
				15.6			

部位	右/左	残存部位	計測部位	計測値	出土地		
中手骨	左	Ⅲ	BP	15.6	鎖北	C-9	赤褐色土
				12.1		D-8	黒色砂礫土
				±12.4			
				18.9			
				17.5		D-10	
				14.1	鎖南	トレンチ11	埋土
				17.5			
				14.6	客土		
				16.5			
		Ⅳ		13.9	詰所	A～C-2・3	砂礫土
				16.0			
				14.8	鎖北	トレンチ21	埋土
				14.7		D-7	黒色砂礫土
				12.9		D-8	
				14.3			
				16.1			
				14.4		D-9	3層
				14.4			赤褐色土
				14.8			黒褐色土
				10.7	鎖南	トレンチ11	埋土
				13.5			
寛骨	右	腸骨部	SC	17.3	詰所	A～C-2・3	砂礫土
				23.0	鎖北	D-9	3層
				16.7	鎖南	トレンチ11	埋土
		腸骨部～坐骨		18.2	詰所	B-2 3層+4層	
	左	腸骨部		16.5		D-9	3層
				15.7	鎖南	トレンチ3	埋土
		臼部		18.0	詰所	A～C-2・3	砂礫土
				20.0	鎖北	D-7	黒色砂礫土
距骨	右	GL		*36.8	鎖北	D-8	赤褐色土
				32.5		D-10	黒色砂礫土
				34.5			
				37.8		C・D-7～10	
				31.2	客土		
	左			35.8	詰所	B-2	4層
				32.2		C-3	サンゴ片層
				32.2	鎖北	D-7	黒色砂礫土
				35.7		D-9	3層
足根骨	右	第4	幅	15.5	鎖北	D-9	黒褐色土
	左			14.8			3層
踵骨	右	GL		78.1		D-8	黒色砂礫土
	左			68.1		D-10	赤褐色土
中足骨	右	Ⅲ	BP	13.2	詰所	C-3	サンゴ片層
				±14.5		A～C-2・3	砂礫土
				11.7			
				13.7			
				10.7	書・北	C・E-4～10	砂礫土
				12.2	鎖北	C-9	黒色砂礫土
				14.5		D-8	黒色砂礫土
				13.4		D-9	3層
				13.8			
				11.6		D-10	黒色砂礫土
		Ⅳ		13.4	詰所	C-3	サンゴ片層
				10.3		A～C-2・3	砂礫土
				12.1			
				13.2			
				13.8	鎖北	C-9	赤褐色土
				15.1			
				15.0		D-7	3層
				11.9			黒色砂礫土
				14.5		D-8	埋土
				15.0			黒色砂礫土
				11.7		D-9	3層
				13.7			

注　詰所：詰所地区、書院：書院地区、鎖北：鎖之間北側地区、鎖南：鎖之間南側地区、書・北：書院地区と鎖之間北側地区にまたがっている
　　±：推測、＋：接合の意、｛｝：幼、＊：キズあり

単位：mm

部位	右/左	残存部位	計測部位	計測値	出土地		
中足骨	右	Ⅳ	BP	15.2	鎖北	D-9	3層
				12.5			4層
				13.0		D-10	黒色砂礫土
				14.7	客土		
	左	Ⅲ		12.2	詰所	B-2	4層
				13.9			
				15.1		C-3	サンゴ片層
				12.3		A～C-2・3	砂礫土
				13.2			
				14.9			
				13.4	鎖北	C-9	赤褐色土
				15.1		D-8	黒色砂礫土
				13.8		D-9	3層
				12.3		D-10	黒色砂礫土
				13.7	鎖南	トレンチ11	埋土
				15.3			
				12.7		トレンチ13	埋土
				13.9	表土		
		Ⅳ		13.3	詰所	C-3	サンゴ片層
				13.5		A～C-2・3	砂礫土
				13.6			
				13.6			
				±13.2	鎖北	C-9	赤褐色土
				11.1		D-9	3層
				12.7			
				14.7			
				14.4			黒色砂礫土
				13.1	客土		
				11.9	表土		
				14.9			
基節骨	右	GL		±30.2	詰所	C-3	サンゴ片層
				27.0		A～C-2・3	砂礫土
				30.2			
				33.1	書院	D-5	1層
				29.4	書・北	C・E-4～10	砂礫土
				31.4			
				33.0			
				27.2	鎖北	C-9	赤褐色土
				27.4		D-7	黒色砂礫土
				33.6			
				29.7		D-8	
				26.7		D-9	3層
				30.4			
				31.0	表採		
	左			27.9	鎖南	トレンチ13	埋土
				30.8	詰所	B-2	4層
				33.2			
				27.4		C-3	サンゴ片層
				29.4			
				27.6		A～C-2・3	砂礫土
				27.6			
				28.4			
				31.0			
				26.9	鎖北	C-9	赤褐色土
				27.5			
				26.7		D-7	3層
				27.8			黒色砂礫土
				28.6			
				29.2			
				20.2		D-8	
				26.7			
				27.6			
				28.3			
				28.8			

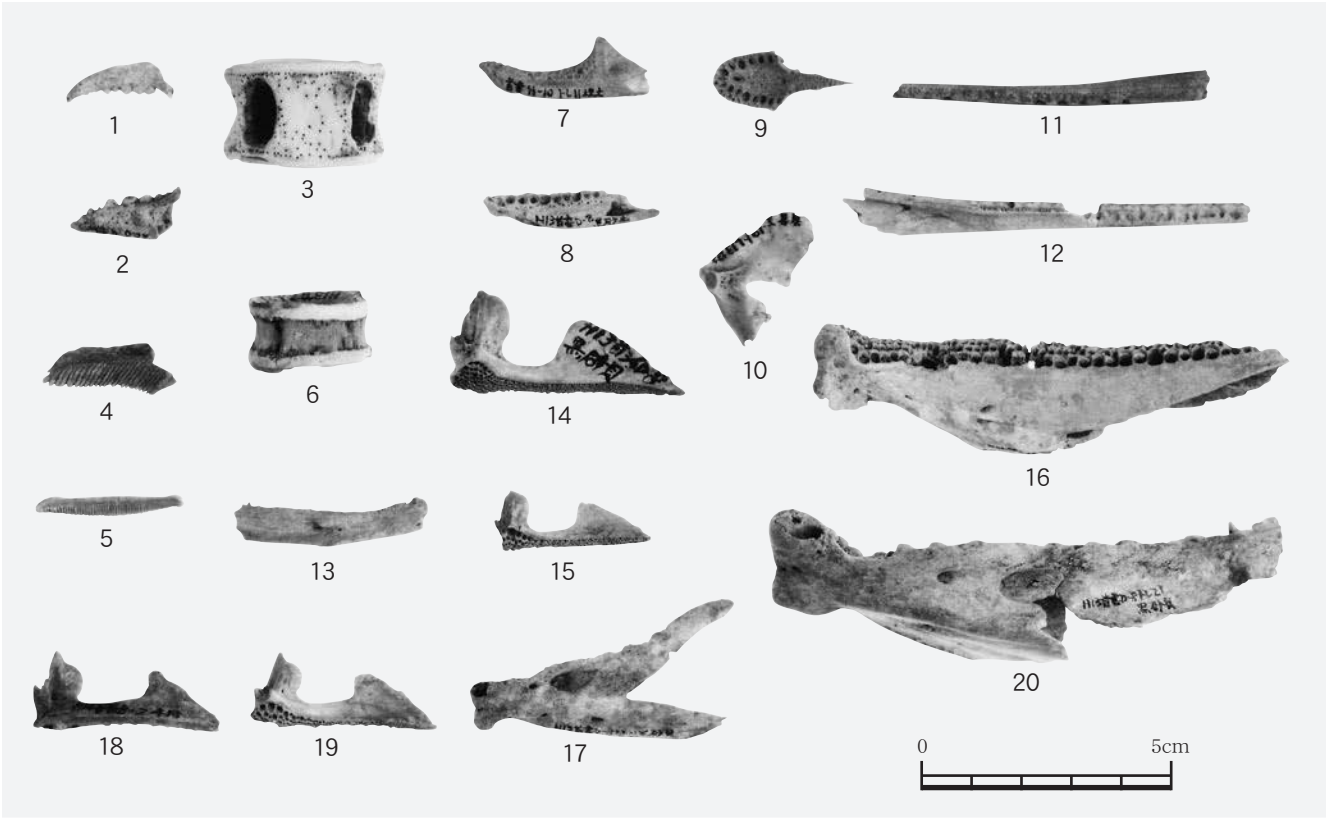
注　詰所：詰所地区、書院：書院地区、鎖北：鎖之間北側地区、鎖南：鎖之間南側地区
±：推定

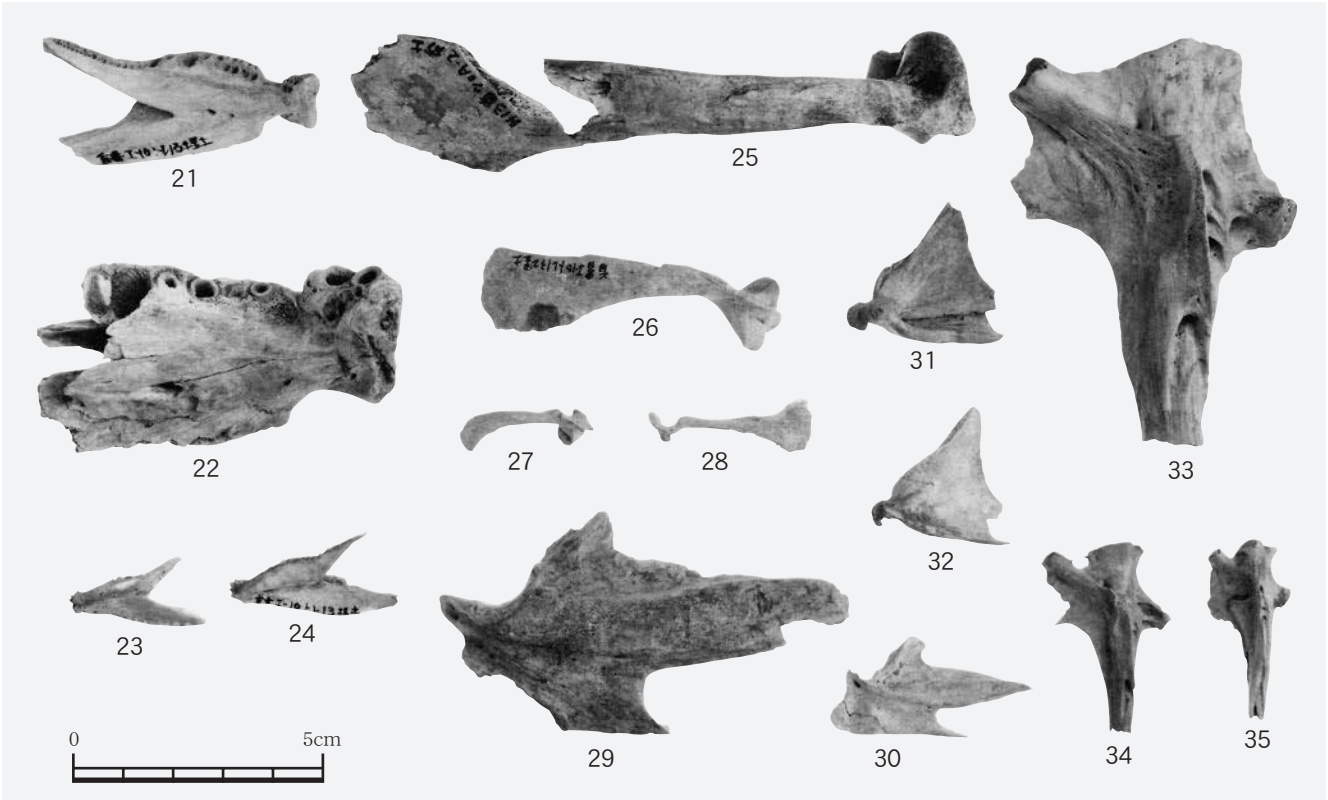
部位	右/左	計測部位	計測値	出土地		
基節骨	左	GL	30.1	鎖北	D-8	赤褐色土
			29.2		D-9	3層
			±29.5			
			29.5			
			29.5			
			34.2			黒褐色礫混じり土
			31.1			黒褐色土
			31.4			
			29.5		D-10	赤褐色土
			31.6			
			27.0	表土		
			27.4	客土		
			30.1			
			27.3	不明		
中節骨	右	GL	7.5	詰所	B-3	崩落土
			18.6		A～C-2・3	砂礫土
			18.1	鎖北	D-7	黒色砂礫土
			±18.8			
			16.4		D-8	
			16.7		D-9	3層
			20.3			
			19.9	鎖南	トレンチ13	埋土
	左		18.9	詰所	A～C-2・3	砂礫土
			18.6	鎖北	D-7	黒色砂礫土
			17.8		D-9	3層
			17.8	鎖南	トレンチ11	埋土
			18.9			
			±19.9		トレンチ13	埋土
			9.9			
			7.7			
			21.1	客土		

第78表　ブタ歯出土一覧

部位	右/左	残存部位	出土地			個数
上顎骨	右	I^1	鎖北	D-8	黒色砂礫土	1
		I^2				1
		犬歯♂		D-9	3層	1
		M^2				1
	左	〈C〉$dm^{2,3,4}$ M^1	詰所	C-3	サンゴ片層	1
		P^1		表土		1
		M^3	鎖北	C-9	赤褐色土	1
下顎骨	右	I_1	鎖北	D-8	黒色砂礫土	1
		i_2				1
		犬歯♂	鎖北	D-7	黒色砂礫土	1
				客土		1
		dm_4 M_1	鎖南	表土		1
	左	I_1	鎖北	D-9	4層	1
		I_2		C-9	赤褐色土	1
		犬歯♂		C-9	黒色砂礫土	1
				D-7		《1》
				客土		1《1》
			鎖北	D-9	3層	1
				D-9	黒褐色土	1
				不明		1
		M_3		C-8	黒色砂礫土	1
	左右不明	切歯	書・鎖	C～E-3～6	砂礫土	1
上下不明	右	M3	鎖北	C-9	赤褐色土	(1)

注　詰所：詰所地区、鎖北：鎖之間北側地区、鎖南：鎖之間南側地区
〈〉：半欠、《》：若、()：破片

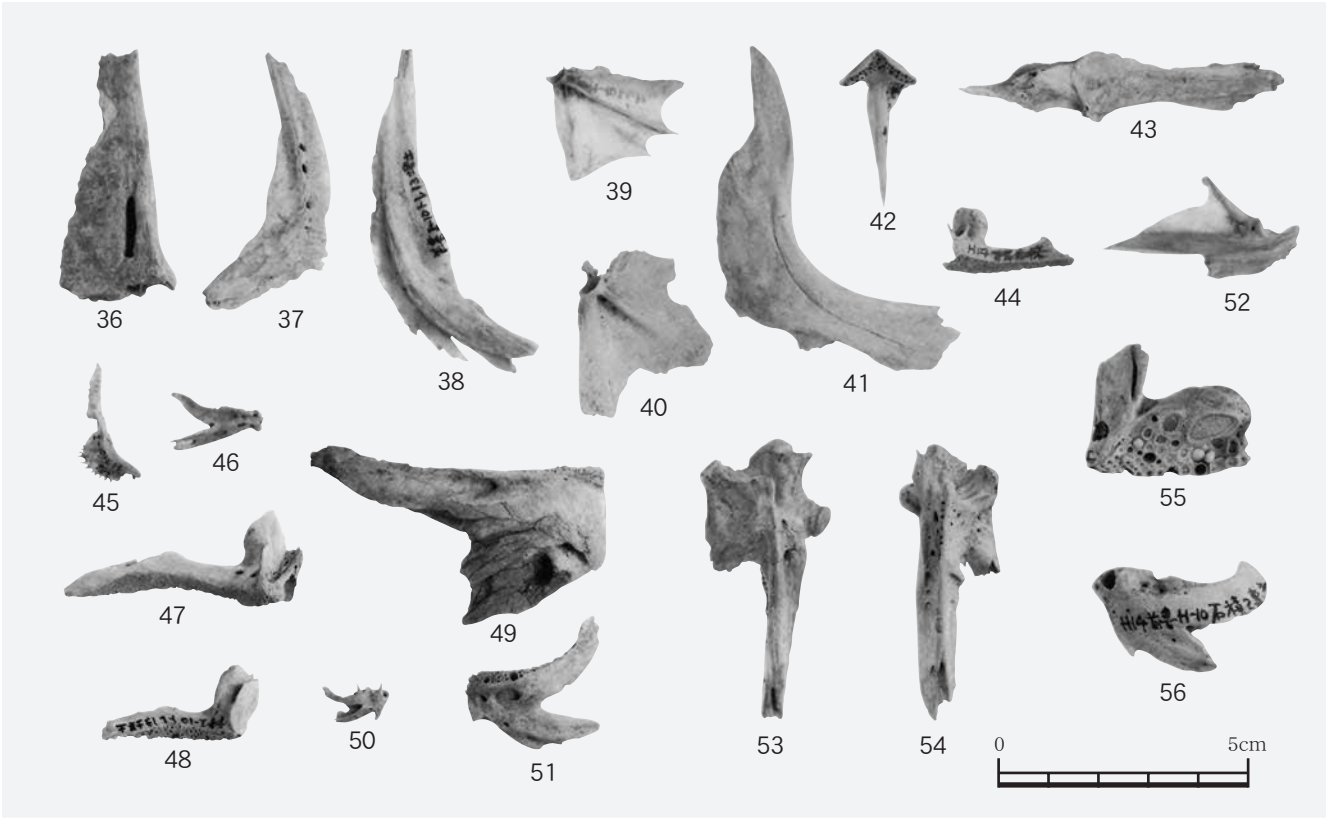


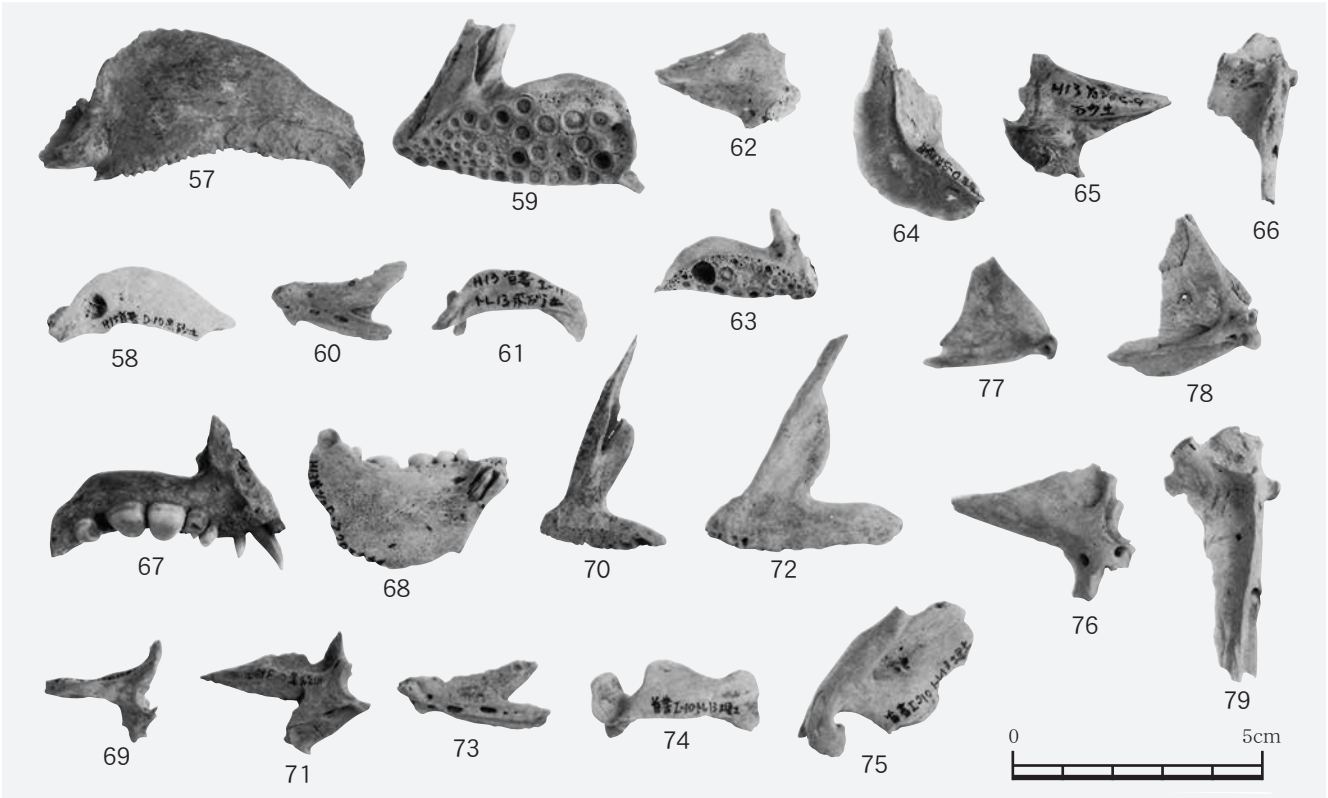


図版126　骨1

サカナ　上：**カニ**　1.左　ハサミ脚　可動指　2.左　ハサミ脚　不動指　**メジロザメ科**　3.脊椎骨　**マダラトビエイ**　4.5.歯板　**エイ**　6.脊椎骨　**ウツボ科**　7.右　歯骨　8.右　歯骨　9.鋤骨　**ボラ**　10.右　主鰓蓋骨　**ダツ科**　11.左 前上顎骨　12.左　歯骨　**コチ**　13.右　歯骨　**ハタ科A**　14.15.右　前上顎骨　16.右　歯骨　17.左　歯骨　**ハタ科B**　18.左　前上顎骨　19.右　前上顎骨　20.左　歯骨

下：**ハタ科B**　21.左　歯骨　22.左　歯骨　**スズキ目**　23.左　歯骨　24.右　歯骨　**ハタ類**　25～27.右　主上顎骨　28.左　主上顎骨　29.30.右　角骨　31.右　方骨　32.左　方骨　**ハタ類**　33.34.左　舌顎a　35.左　舌顎b

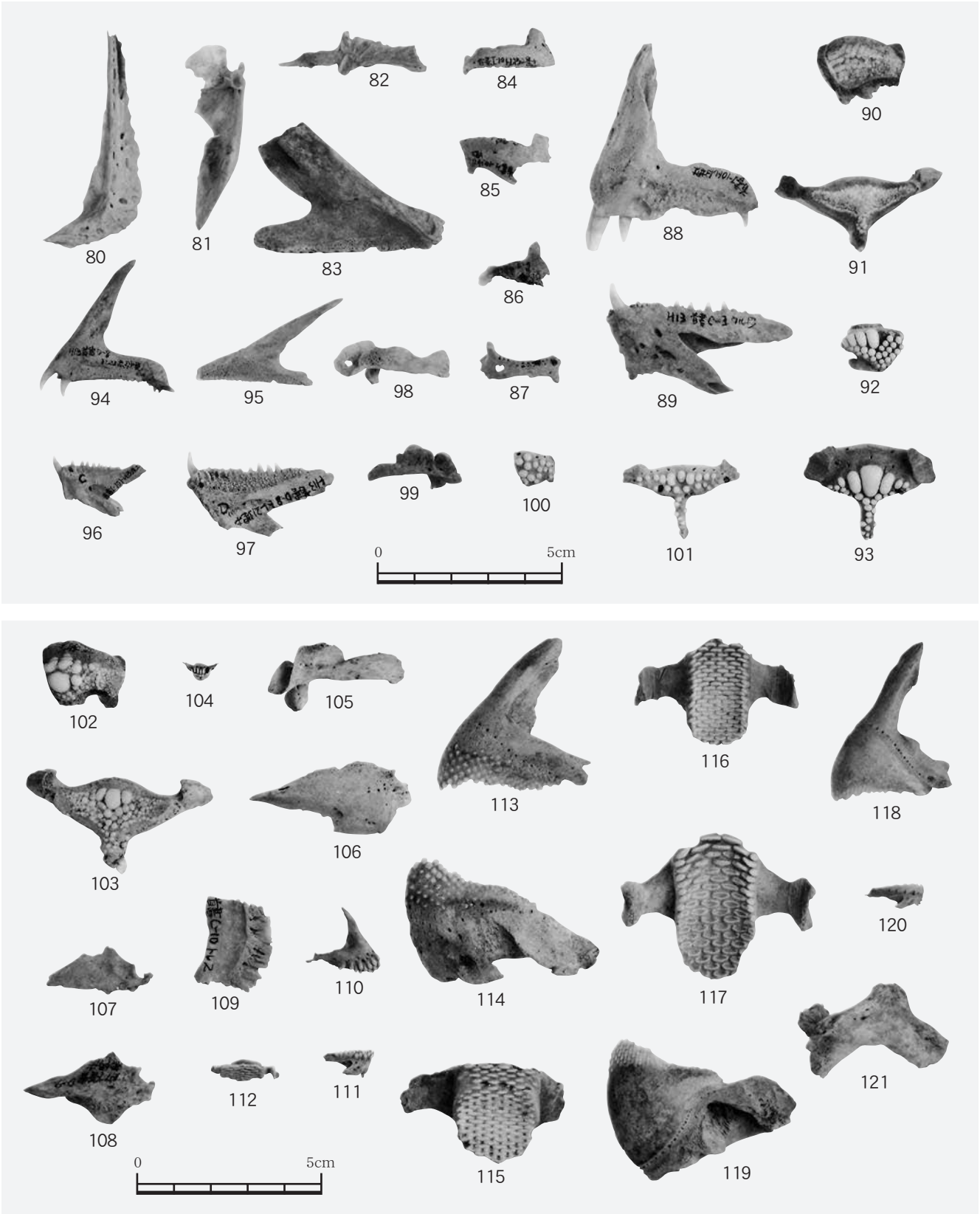




図版127　骨2

サカナ　上：**ハタ類**　36.右　前鰓蓋骨a　37.左　前鰓蓋骨b　**スズキ目**　38.右　前鰓蓋骨　39.右　主鰓蓋骨a　40.右　主鰓蓋骨b　41.右　擬鎖骨　42.鋤骨　43.副楔骨　**ブリ**　44.右　前上顎骨　**ヒメフエダイ**　45.右　前鰓蓋骨　**センネンダイ**　46.右　歯骨　**フエダイ科**　47.48.左　前上顎骨　49.50.右　歯骨　51.左　歯骨　**フエダイ類**　52.左　角骨　53.左　舌顎a　54.右　舌顎b　**ヘダイ**　55.右　前上顎骨　56.左　歯骨

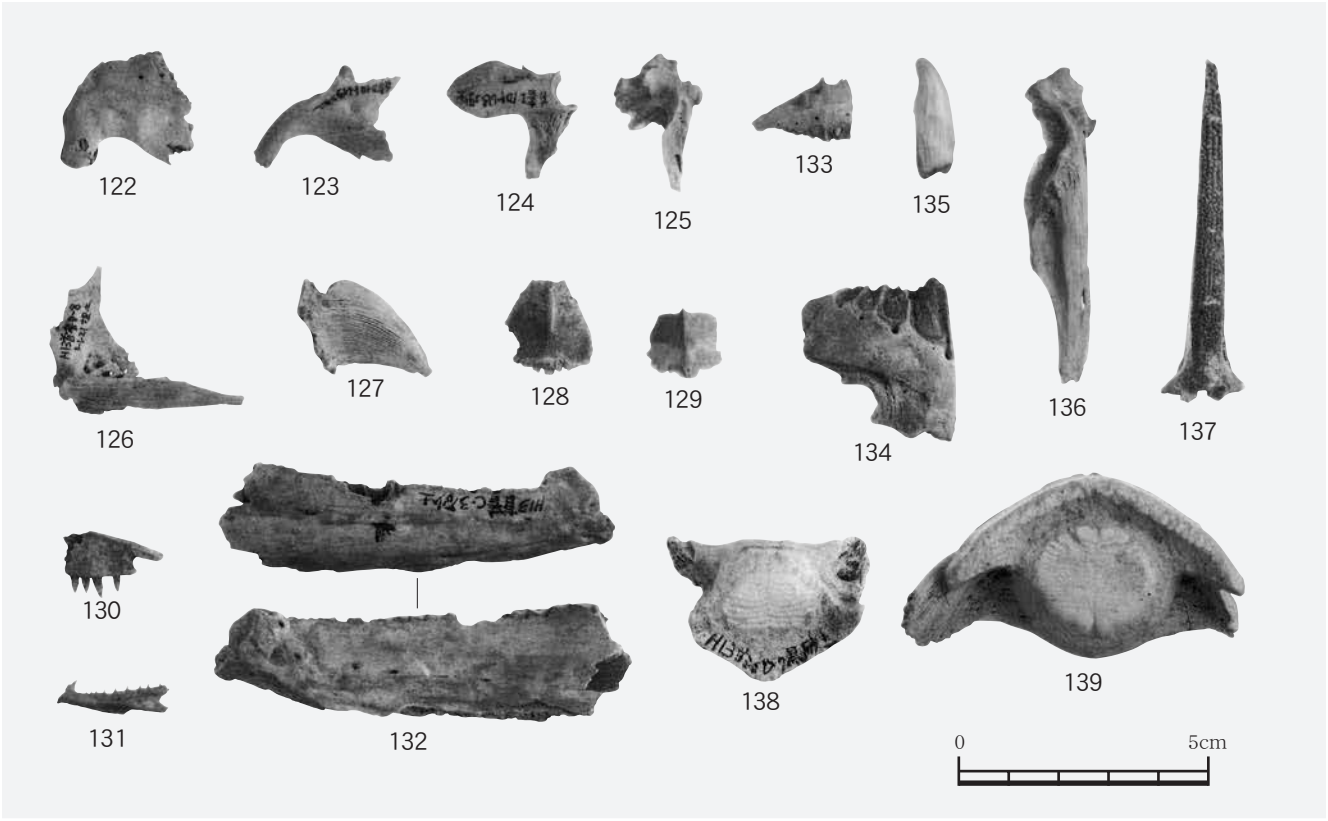
下：**ヘダイ**　57.58.左　主上顎骨　**クロダイ**　59.右　前上顎骨　60.左　歯骨　61.左　主上顎骨　62.左　角骨　**タイワンダイ**　63.左　前上顎骨　64.右 前鰓蓋骨　**タイ類**　65.右　角骨　66.左　舌顎　**ヨコシマクロダイ**　67.左　前上顎骨　68.右　歯骨　69.左　角骨　**イソフエフキ**　70.右　前上顎骨　71.左 角骨　**ハマフエフキ**　72.左　前上顎骨　73.左　歯骨　74.左　主上顎骨　75.左　口蓋　76.左　角骨　77.右　方骨a　78.左　方骨b　79.左　舌顎

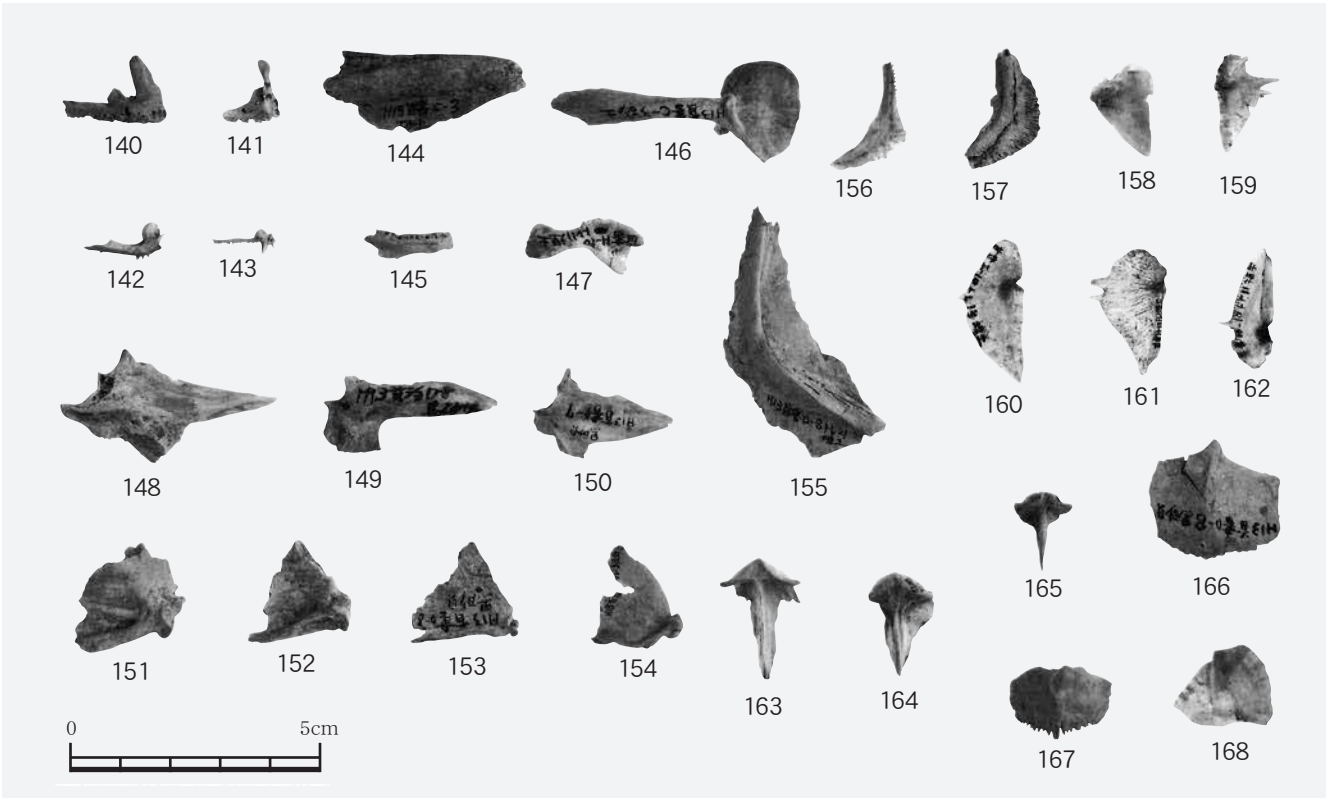


図版128　骨3

サカナ　上：**ハマフエフキ**　80.左　前鰓蓋骨　81.左　主鰓蓋骨　82.副楔骨　**キツネフエフキ**　83.左　前上顎骨　**メジナ類A**　84.右　前上顎骨　85.左　歯骨　**メジナ類B**　86.右　前上顎骨　87.右　歯骨　**コブダイ**　88.右　前上顎骨　89.左　歯骨　90.左　上咽頭骨　91.下咽頭骨　**タキベラ**　92.右　上咽頭骨　93.下咽頭骨　**カンムリベラ**　94.左　前上顎骨　95.右　前上顎骨　96.右　歯骨　97.右　歯骨　98.左　主上顎骨　99.右　主上顎骨　**ベラ科A**　100.左　上咽頭骨　101.下咽頭骨

下：**ベラ科B**　102.左　上咽頭骨　103.下咽頭骨　**ベラ科C**　104.下咽頭骨　**ベラ類**　105.左　主上顎骨　106.左　角骨a　107.左　角骨b　108.左　角骨c　109.左　前鰓蓋骨　**ブダイ**　110.右　前上顎骨　111.右　歯骨　112.下咽頭骨　**イロブダイ**　113.左　前上顎骨　114.左　歯骨　115.下咽頭骨　**ナンヨウブダイ**　116.下咽頭骨　**ナガブダイ**　117.下咽頭骨　**ブダイ科A**　118.左　前上顎骨　119.左　歯骨　**ブダイ科B**　120.右　歯骨　**ブダイ類**　121.左　主上顎骨





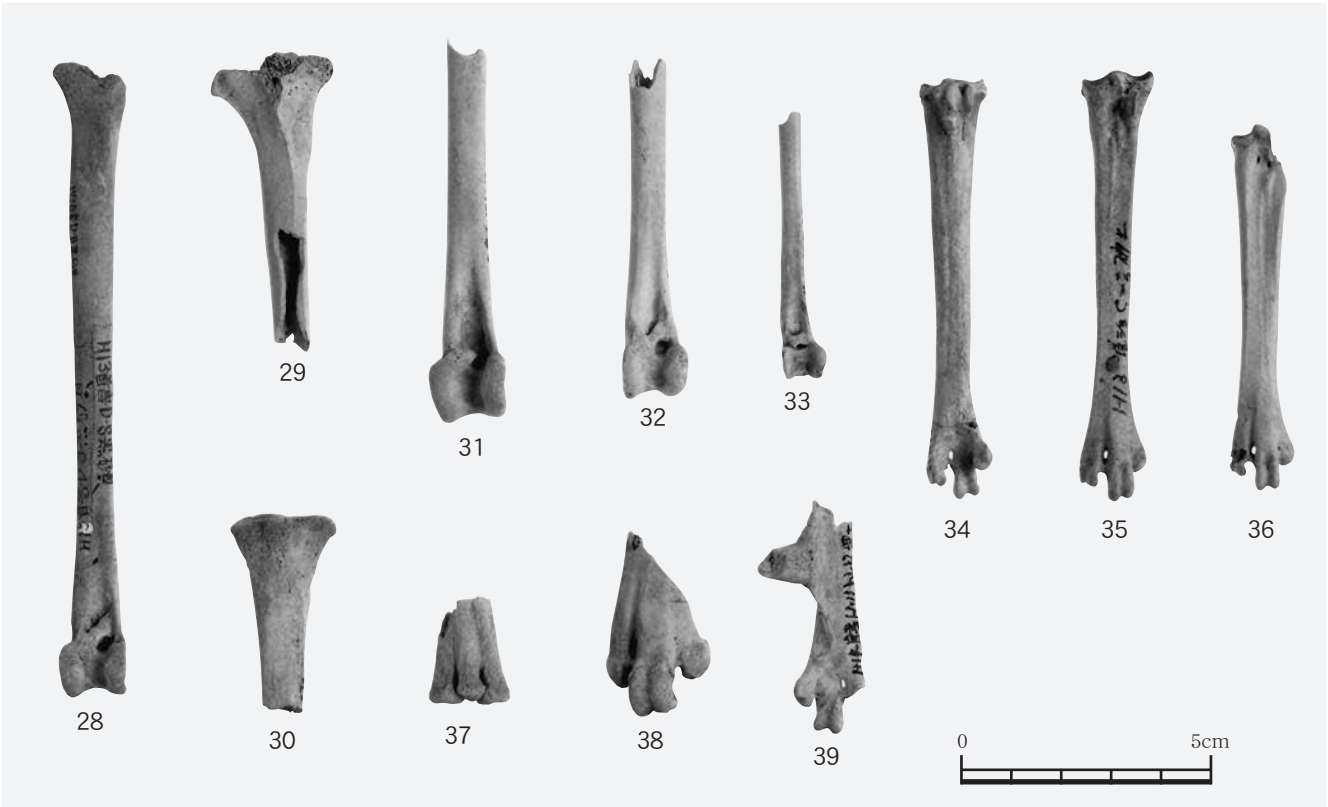
図版129　骨4

サカナ　上：**ブダイ科A**　122.123.左　口蓋　124.左　角骨　125.左　舌顎　126.左　方骨　**ニザダイ科**　127.128.鱗　129.尾部鱗
カマス科　130.左　前上顎骨　131.左　歯骨　132.右　歯骨　**モンガラカワハギ科**　133.右　上顎　134.右　下顎　135.歯　136.左　舌顎　**カワハギ類**　137.背鰭棘　**ハリセンボン科**　138.上顎　139.下顎
下：**種不明**　140～143.左　前上顎骨　144.右　歯骨　145.右　歯骨　146.147.左　主上顎骨　148～150.右　角骨　151～154.右　方骨　155.右　前鰓蓋骨　156.157.左　前鰓蓋骨　158.159.右　主鰓蓋骨　160～162.左　主鰓蓋骨　163～165.鋤骨　166～168.鱗

図版130　骨5

上：ウミガメ　1.2.椎骨板　**アオウミガメ**　3.左　第1･2助骨板　**ヘビ**　4.脊椎骨　**サギ類**　5.右　尺骨　**ワシ**　6.右　橈骨　7.右　中手骨　**カモメ類**　8.右　第1指･2指骨　**カモメ？**　9.右　脛骨　**キジバト**　10.左　烏口骨　11.左　尺骨　12.13.右　第1指･2指骨　**カラス**　14.右　中手骨

下：ニワトリ　1.胸骨　2.鎖骨　3.4.左　烏口骨　5.右　烏口骨　6.左　烏口骨　キズあり　7.8.左　肩甲骨　9～11.右　上腕骨　12～14.左　橈骨

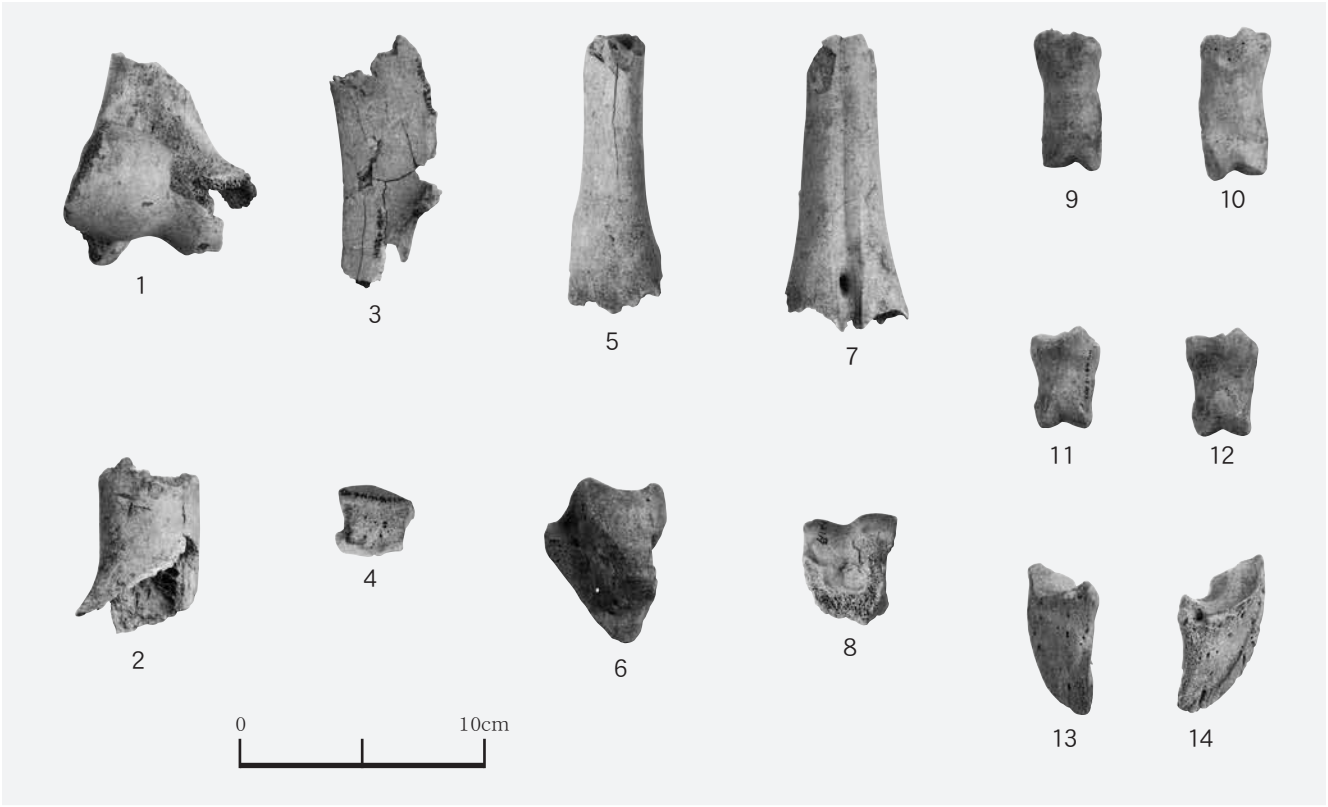


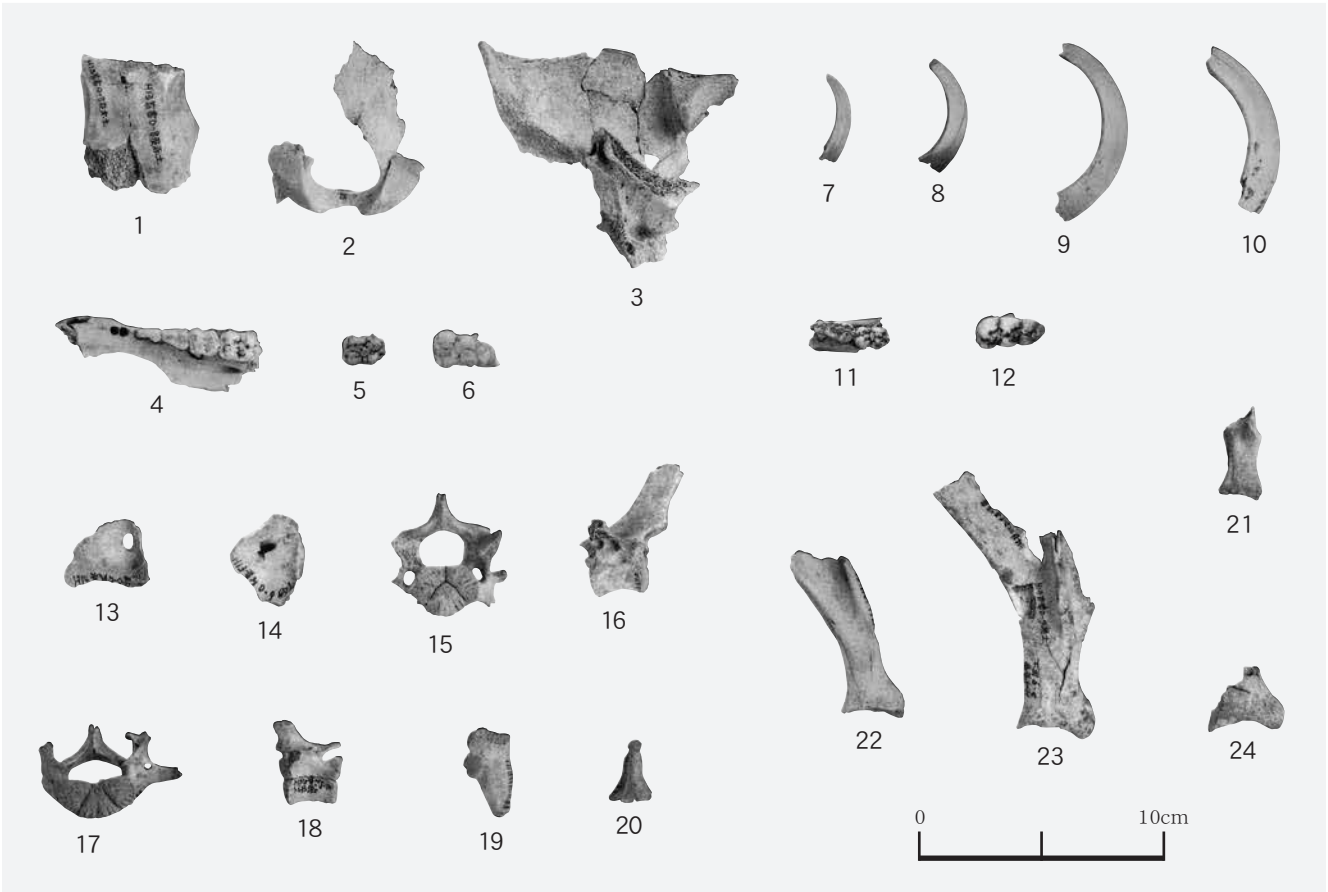
図版131　骨6

ニワトリ　15～17.右　尺骨　18.左　尺骨　19.20.左　寛骨　21.左　大腿骨　22.23.右　大腿骨　24～26.左　大腿骨　27.右　大腿骨　キズあり　28～33.右　脛骨　34.左　中足骨♀　35.36.右　中足骨♀　37･38.右　中足骨　39.右　中足骨♂

図版132　骨7

上：ジネズミ類　1.左　下顎骨　**ネズミ**　2.右　下顎骨　3.左　上腕骨　4.左　大腿骨　5.左　脛骨　**モグラ類**　6.左　下顎骨
イルカ　7.8.腰椎　**ジュゴン**　9.右　後頭顆　10.歯　11.右　第1助骨　12.13.左助骨　14.右　肩甲骨
下：ネコ　1.右　下顎骨　$P_{3\cdot4}M_1$　2.右　上腕骨　3.左　脛骨　**ウマ**　4.右　上顎骨　P^2　5.右　下顎骨　P_2　6.左　下顎骨　P_4
7.左　橈骨　8.左　膝蓋骨　9.右　足根骨　10.右　踵骨　11.中節骨　12.未節骨

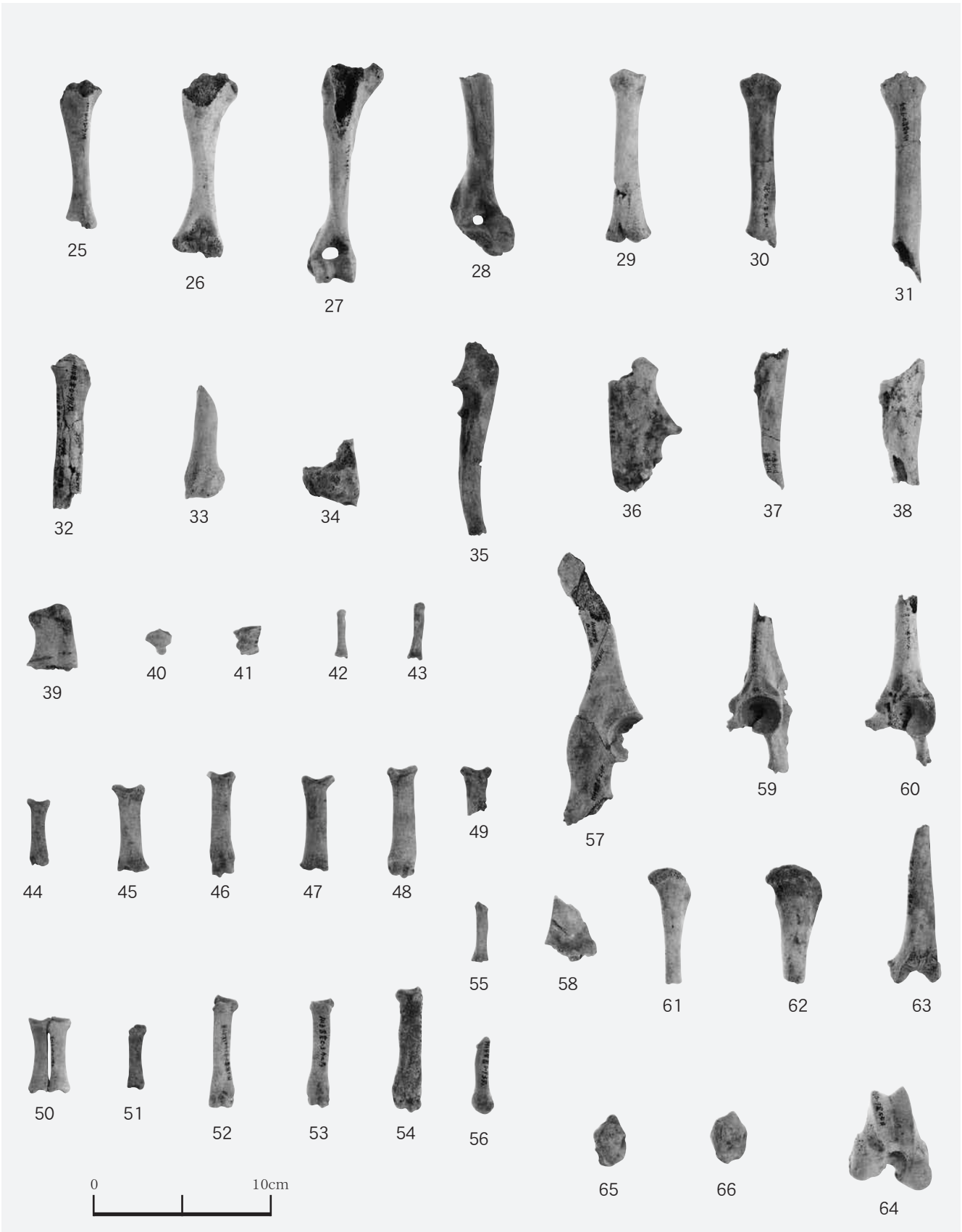




図版133　骨8

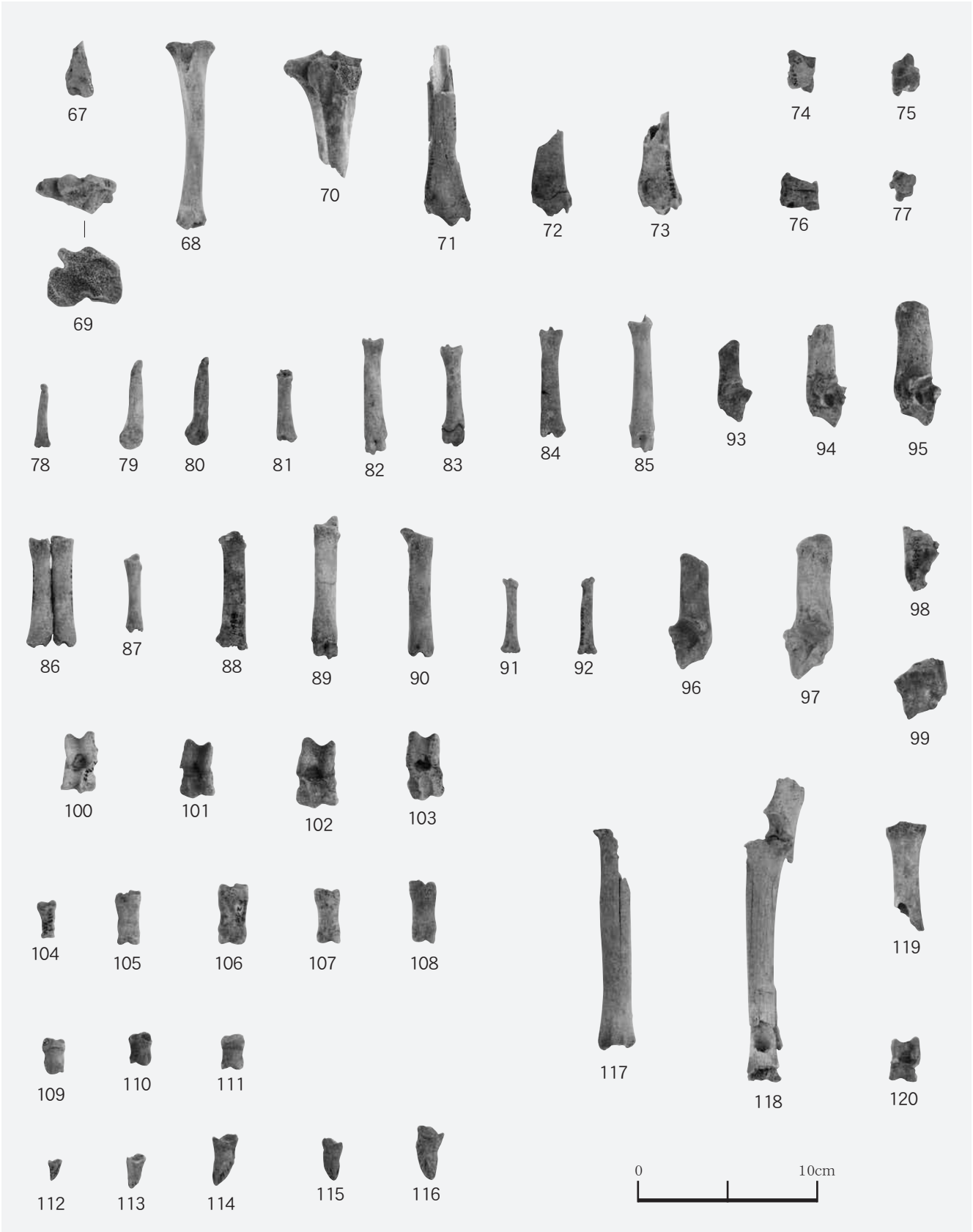
上：ウシ 1.左　上腕骨　2.右　上腕骨　3.左　尺骨　4.右　中間手根骨　5.右　大腿骨　6.左　膝蓋骨　7.右　中足骨　8.右　距骨　9.右　基節骨　10.左　基節骨　11.右　中節骨　12.左　中節骨　13.右　末節骨　14.左　末節骨

下：ブタ 1.右左　頭頂骨　2.右左　後頭顆　3.右　側頭骨　4.左　上顎骨　〈C〉$dm^{2.3.4}M^1$　5.右　上顎骨　M^2　6.左　上顎骨　M^3　7～10.左　下顎骨　犬歯♂　11.右　下顎骨　dm_4M_1　12.左　下顎骨　M_3　13.14環椎　15.脛椎　16.胸椎　17.腰椎　18.椎体　19.20.胸骨　21～24.右　肩甲骨



図版134　骨9

ブタ 25～28.右　上腕骨　29～31.右　橈骨　32.33.左　橈骨　34.右　橈骨　35.左　尺骨　36.右　尺骨　37.38.左　尺骨　39.右　尺骨　キズあり　40.右　第3手根骨　41.左　中間手根骨　42.43.左　中手骨Ⅱ　44～46.右 中手骨Ⅲ　47.48.左　中手骨Ⅲ　49.右　中手骨Ⅲ　50.左中手骨Ⅲ・Ⅳ　51.52.左　中手骨Ⅳ　53.54.右　中手骨Ⅳ　55.右　中手骨Ⅴ　56.左　中手骨Ⅴ　57.右　寛骨　58.左　寛骨　キズあり　59.60.左　寛骨　61～63.左　大腿骨　64.右　大腿骨　65.66.右　膝蓋骨



図版135　骨10

ブタ 67.左　腓骨　68～73.右　脛骨　74.右　第4足根骨　75.左　第4足根骨　76.左　第4足根骨　キズあり　77.左　中心足根骨　78.79.左　中足骨Ⅱ　80.右　中足骨Ⅱ　81.82.右　中足骨Ⅲ　83～85.左　中足骨Ⅲ　86.左　中足骨Ⅲ・Ⅳ　87～89.右　中足骨Ⅳ　90.左　中足骨Ⅳ　91.左　中足骨Ⅴ　92.右　中足骨Ⅴ　93～95.左　踵骨　96.97.右　踵骨　98.左　踵骨　キズあり　99.右　踵骨　キズあり　100.左　距骨　101.102.右　距骨　103.右　距骨　キズあり　104～106.左　基節骨　107.108.右　基節骨　109.右　中節骨　110.111.左　中節骨　112～114.左　末節骨　115.116.右　末節骨

ヤギ 117.左　橈骨　118.左　橈骨・尺骨　119.左　中手骨　120.左　距骨

第５章　結語

書院・鎖之間地区発掘調査の成果について、各地区ごとにまとめを行う。

１　詰所地区

詰所地区で一番古い遺構は、ヒレジャコを敷き詰めた貝殻敷きである。首里城内でこのような特殊な遺構が検出されたことはない。貝殻敷きの直下には、銭貨を多く含んだ土が堆積しており、ここから出土した最新銭は永楽通寶（初鋳年　1408 年）である。また貝殻敷きを覆っていた砂礫土からは 15・16 世紀頃の陶磁器が出土していることから、貝殻敷きの年代は 15・16 世紀頃と考えられる。

貝殻敷きの約 30 ㎝上には、石敷き２がある。石敷き２は、その形状から人が通行するための石畳道のようである。とすると石敷き２と同じ角度で南北に伸びる貝殻敷きも、石畳道と同じ機能を持っていた可能性がある。しかし貝殻をいかに密に敷き詰め、表面のヒレを取り除いたとしても人が普通に歩けるほど平坦ではなく、むしろ歩きにくい。現段階ではこの貝殻敷きの性格については不明である。

詰所地区には御物当詰所、奉行詰所と呼ばれる建物があったとされるが、礎石や柱穴など建物の存在を示す遺構は検出されなかった。「旧首里城図」を見ると、奉行詰所と御物当詰所は一連の建物として描かれている。また奉行詰所は書院と接しており、書院と同様に渡り廊下で南殿とつながっていたことがわかる。このことから、書院と奉行詰所・御物当詰所は、同じような高さの地盤に建てられた建物であったと考えられる。書院地区の岩盤が標高 131.2 ｍにならされており、この高さで書院のものと考えられる柱跡を検出した。また詰所地区においても岩盤が 131.3 ｍの高さで平坦にならされている部分がある。このことからもこれらの建物がほぼ同じような高さの地盤に建てられたと考えられる。詰所地区において柱穴等が検出されなかったのは、書院に比べて奉行詰所、御物当詰所がやや高い位置に建てられたためであろうか。

前述した石敷き２は南に行くにしたがって約 10° の勾配で上っていく石敷きであるが、南側へは 2.2 ｍしか残っておらず、どこまで伸びていたかは不明である。仮に詰所地区の岩盤がならされている 131.3 ｍの高さまで伸びていたとすると、石敷き２の南北の長さは約 6.8 ｍとなり、奉行詰所の南端付近に至る。ただし「旧首里城図」を見ると、石敷き２が位置する場所は奉行詰所の真下にあたる。また奉行詰所と石敷き２は方位が異なることから、一連の遺構であるかは不明である。

２　書院地区

書院地区では、書院の柱跡をはじめ庭園に関する遺構を検出した。書院の柱跡は平均 1.9 ｍの間隔で整然と並んでいる。柱跡の南側には岩山を背景に見立てた庭園がひろがっている。岩山の上や周辺にはやや深めに掘りこまれたピット群が検出されたが、これはソテツなどの植栽痕と考えられる。岩山と岩山との間には、岩盤を削って人が通れるような階段が見つかった。また書院と岩山との間には、飛び石もしくは観賞用として持ち込まれた石が複数見つかった。

以上のような遺構に伴う遺物はほとんどなく、時期については不明である。

岩山の南側の地表面には、サンゴ片が混じった暗褐色土があり、ここからは 16・17 世紀頃の陶磁器が出土した。

３　鎖之間北側地区

「旧首里城図」に描かれている鎖之間の柱跡などは検出されなかったが、鎖之間が建てられる以前の遺構を検出した。トレンチ調査の結果、主に 15 ～ 16 世紀頃の遺物を含む赤褐色の造成層を確認した。さらにその下から、石積みや 10 ㎝前後の扁平な玉石を敷き詰めた石敷き４など一連の遺構が検出された。石敷き４の南側には、30 ㎝前後の石灰岩礫を土留め状に積んだ造成層が確認され、この造成層の下にはさらに黒褐色土が堆積していることがわかった。

４　鎖之間南側地区

トレンチ調査の結果、庭園が出来上がるより以前の石積み１～４が検出された。石積み１～３は、内郭城壁（石積み７）に関連する、もしくは同じような機能を持つ可能性があり、時期はおおよそ 16 世紀頃である。石積

み１～４より新しい遺構として、過去の調査ですでに検出されている石列１がある。これは書院地区と京の内地区を分ける石積みであった可能性がある。

またトレンチを掘り下げる際、獣・魚骨や玉を大量に含んだ層を確認した。

５　城壁地区

ここで検出された城壁（石積み７・8）は、首里城の内郭を囲む城壁で、比較的残りは良かった。トレンチ調査の結果、石積み７の外面に接続して石積み８が造られていることが確認され、両者に新旧関係があることが判明した。

６　出土遺物

発掘調査で得られた出土遺物は、総点数約 46000 点、総重量約 990 kg、遺物収納コンテナに換算すると約 200 箱分である。陶磁器については中国産が最も多く、沖縄産・タイ産と続く。陶磁器以外では瓦・玉・金属製品が多く出土している。特に銭貨については、詰所地区から意図的に破砕された状態で大量に出土している。また竿ばかりと考えられるものが出土しているが、直径が４㎜にも満たなく非常に小さいことから、おのずと計量する対象も軽かったと考えられる。これらの製品以外にも、煙管・硯の未製品と考えられるものや、坩堝・鉄滓などの鍛冶関連遺物も少量出土している。また自然遺物も多く、特に脊椎動物遺体については多種多様である。

図版136　書院・鎖之間地区発掘調査　出土遺物

図版137　書院・鎖之間地区発掘調査　全景

石敷き１と貝殻敷き(南西から)

トレンチ26西壁土層(東から)

図版138　詰所地区調査状況(１)

トレンチ27東壁土層(西から)

トレンチ27東壁　遺物出土状況(西から)

図版139　詰所地区調査状況(２)

D－５グリッド　土層(西から)

D－３グリッド　土層(南西から)

トレンチ20南壁土層(北西から)

書院地区東側(北から)

図版140　書院地区調査状況(１)

書院地区　西側(北東から)

書院地区　西側(北東から)

図版141　書院地区調査状況(２)

柱跡と庭石跡(南から)

庭石跡と階段２(北から)

図版142　書院地区調査状況(３)

ピット群(東から)

ピット９(北から)

ピット３(北から)

階段２(東から)

図版143　書院地区調査状況(４)

階段２(南から)

トレンチ25東壁(西から)

図版144　書院地区調査状況(５)

トレンチ10(西から)

トレンチ24(東から)

トレンチ14(北から)

書院地区東端(上空より)

図版145　書院地区調査状況(６)

鎖之間北側(平成13年度調査分)　全景(西から)

石積５、石列２・３と石敷２(西から)

鎖之間北側(平成14年度調査分)　全景(北から)

図版146　鎖之間北側地区調査状況(１)

D－９グリッド　土層(北西から)

トレンチ１・２(南から)

トレンチ28南側(南西から)

トレンチ28北側(西から)

図版147　鎖之間北側地区調査状況(２)

階段１(北から)

階段１　北端破損部(北から)

階段１　検出途中状況(西から)

階段１　北端破損部(北西から)

階段１　南端(東から)

図版148　鎖之間北側地区調査状況(３)

石積１(手前)と石積７(北から)

左から石積３・２・１・７と(手前)石列１(西から)

図版149　鎖之間南側地区調査状況(１)

石積１～３・７(北西から)

トレンチ13西壁(南東から)

トレンチ13北壁(南から)

図版150　鎖之間南側地区調査状況(２)

トレンチ11西壁(東から)

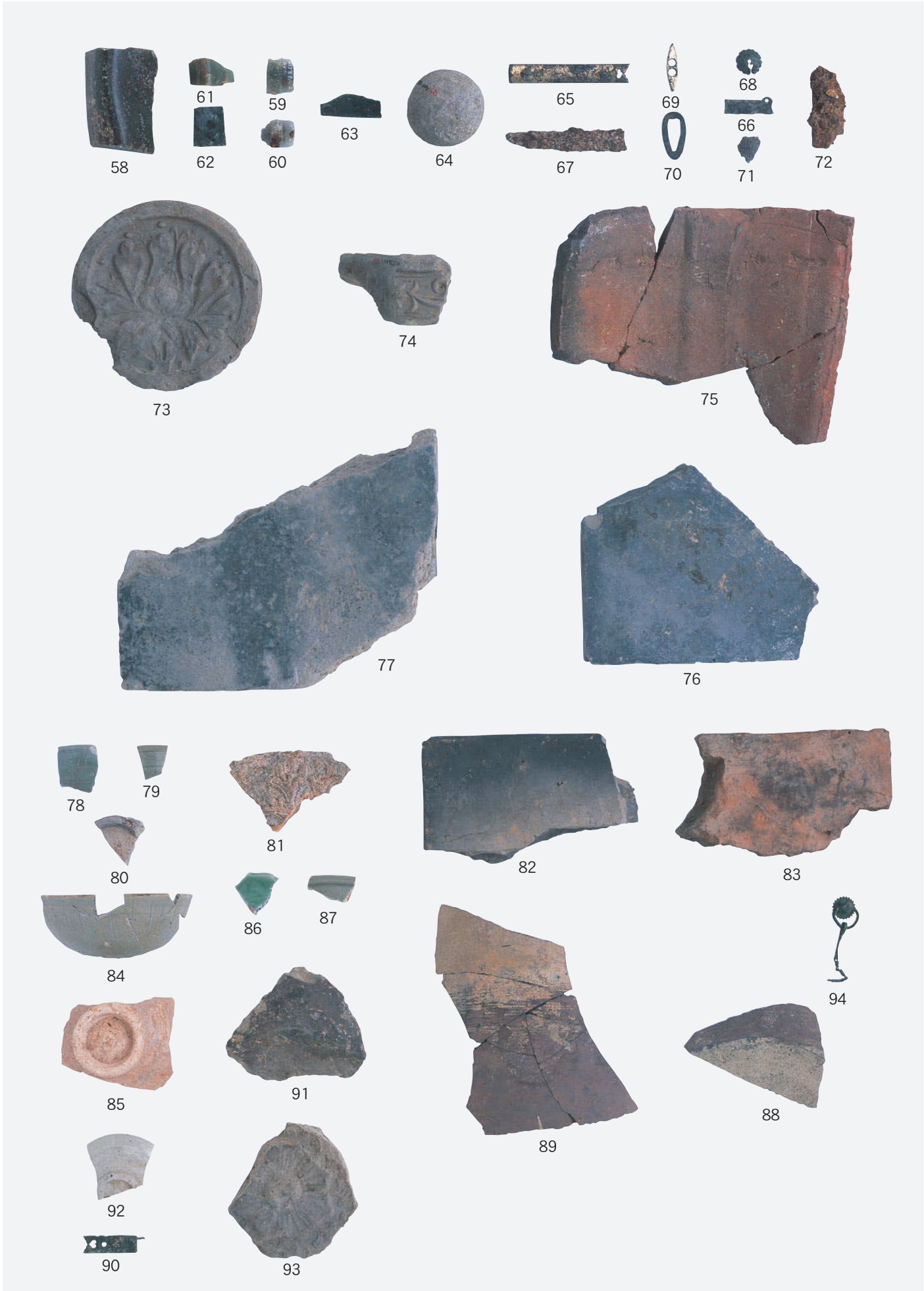
トレンチ13東壁と石積７(西から)

石積７・８(奥)と復元された城壁(手前)(南から)

図版151　鎖之間南側地区調査状況(３)

図版152　詰所地区出土遺物１　外面（砂礫土）

図版153　詰所地区出土遺物１　内面（砂礫土）



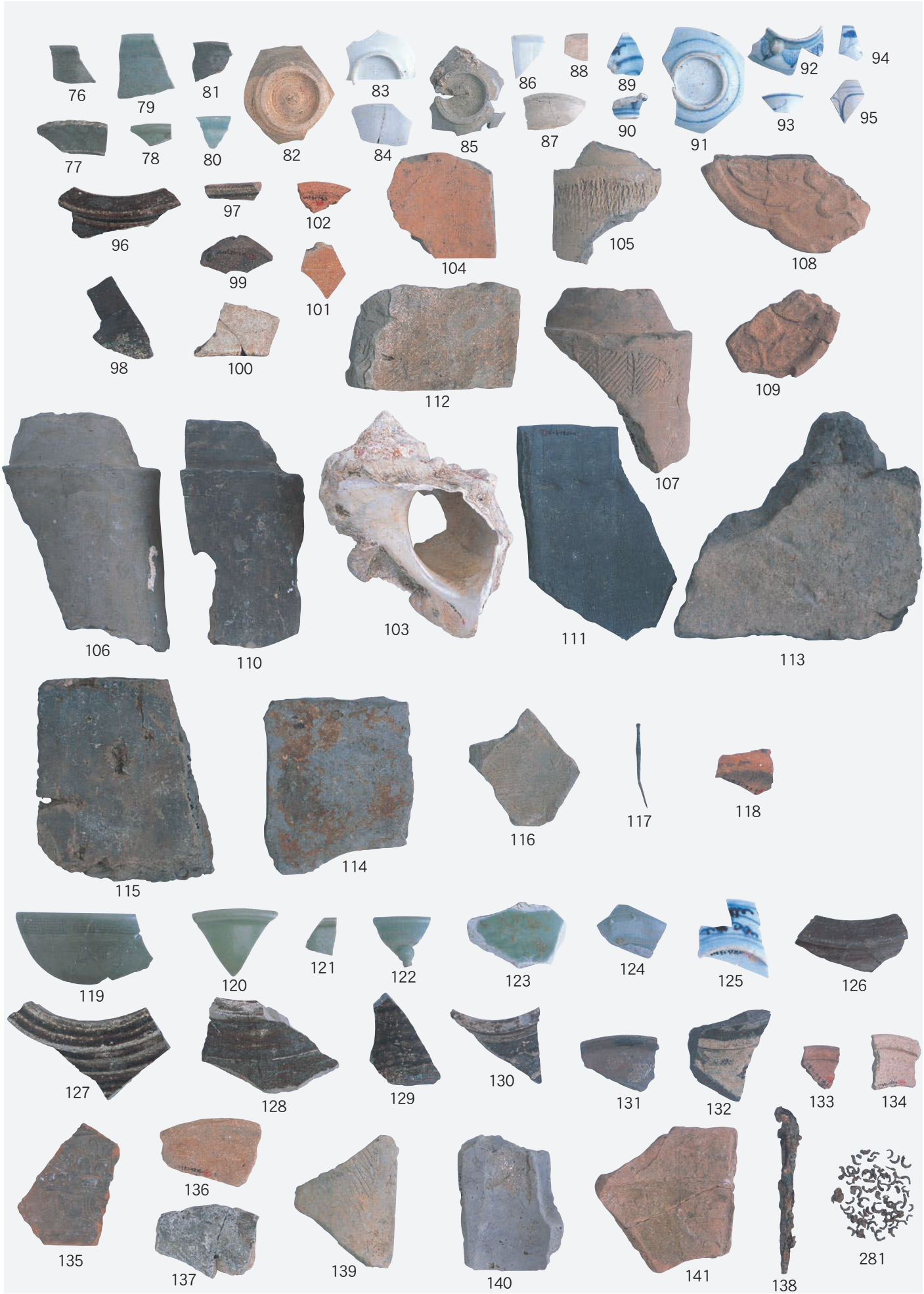
図版154　詰所地区出土遺物２　外面（58～77砂礫土、78～83　B–2　3層、84～91　B–2　4層、92～94　C–3　サンゴ片層）

図版155　詰所地区出土遺物２　内面（58～77砂礫土、78～83　B–2　3層、84～91　B–2　4層、92～94　C–3　サンゴ片層）

図版156　書院地区出土遺物　外面・内面 (1～3 1層、4～7 トレンチ4埋土、8～12 トレンチ5 暗褐色土・埋土、13 トレンチ14埋土、14・16 トレンチ24表土、15・17・18 トレンチ24サンゴ片層、19～21 トレンチ25サンゴ片層、22 トレンチ25赤褐色土、23 石敷き3黒色土、26砂礫土、27 ピット2埋土、28・29 ピット8埋土、30 ピット20埋土、31 ピット19埋土)

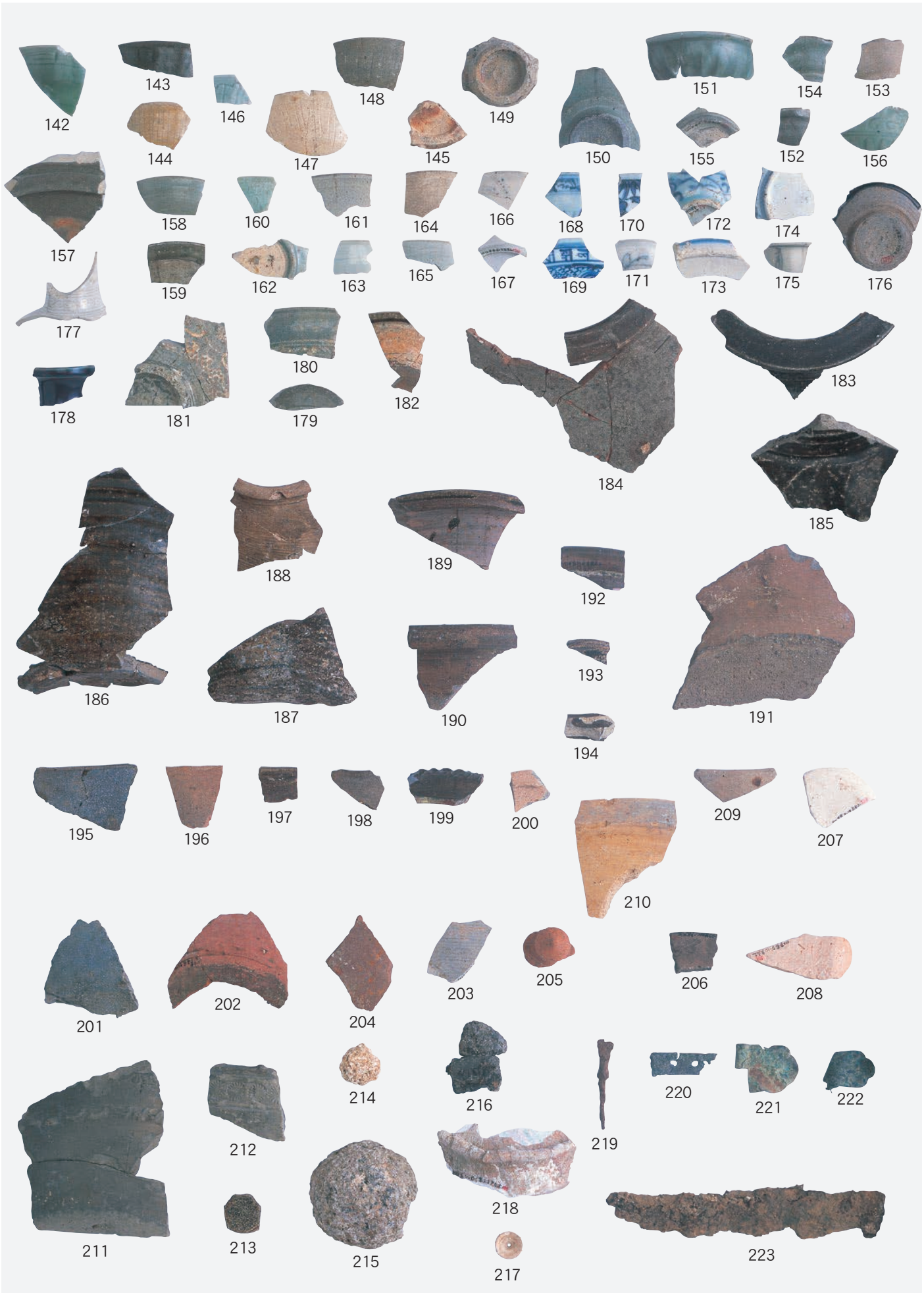
図版157　鎖之間北側地区出土遺物１　外面 (1～39　黒色砂礫土、40～75　3層)

図版158　鎖之間北側地区出土遺物１　内面（1～39　黒色砂礫土、40～75　3層）

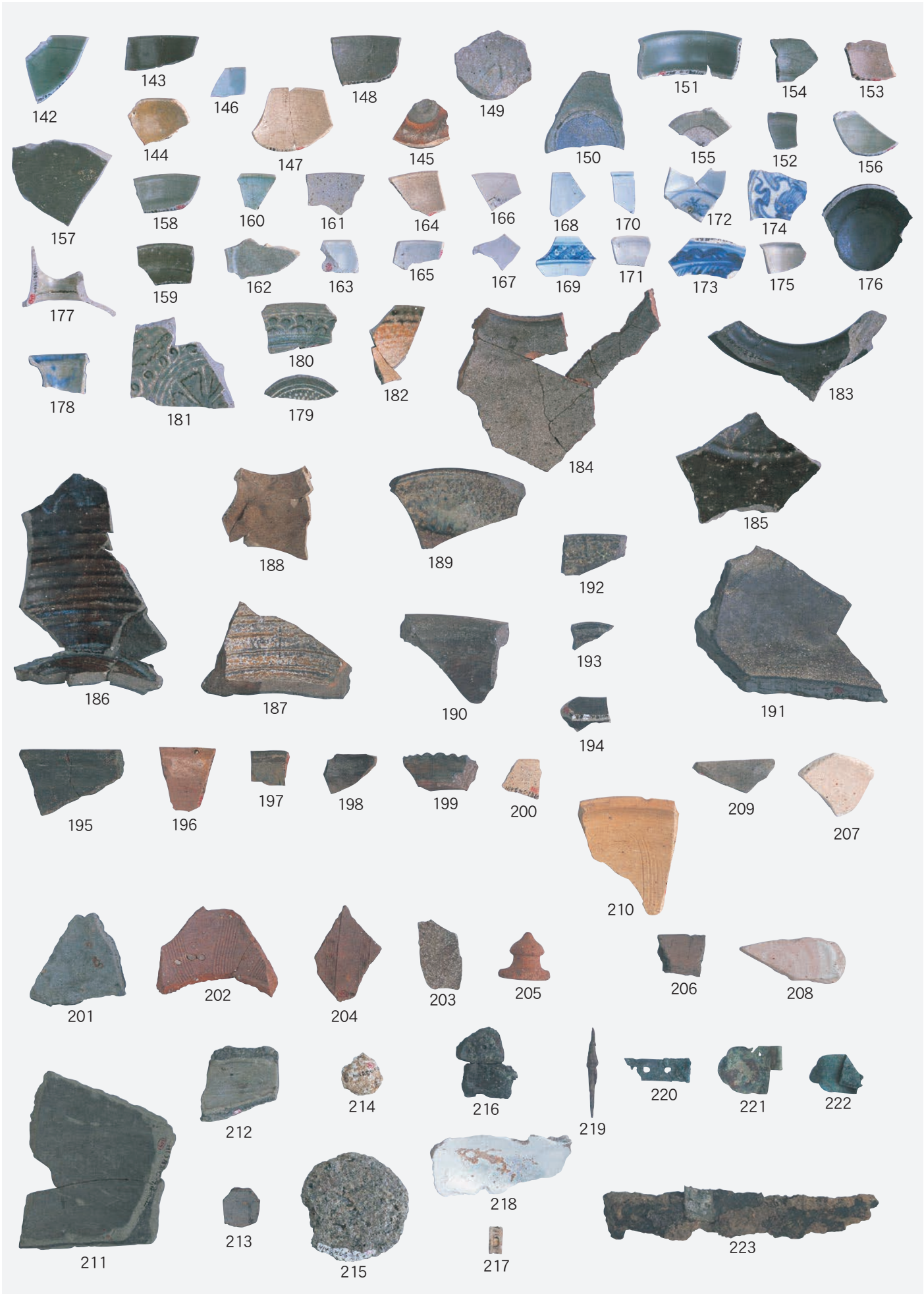


図版159　鎖之間北側地区出土遺物２　外面（76～115　4層、116～118　黒色土、119～141・281　黒褐色土）

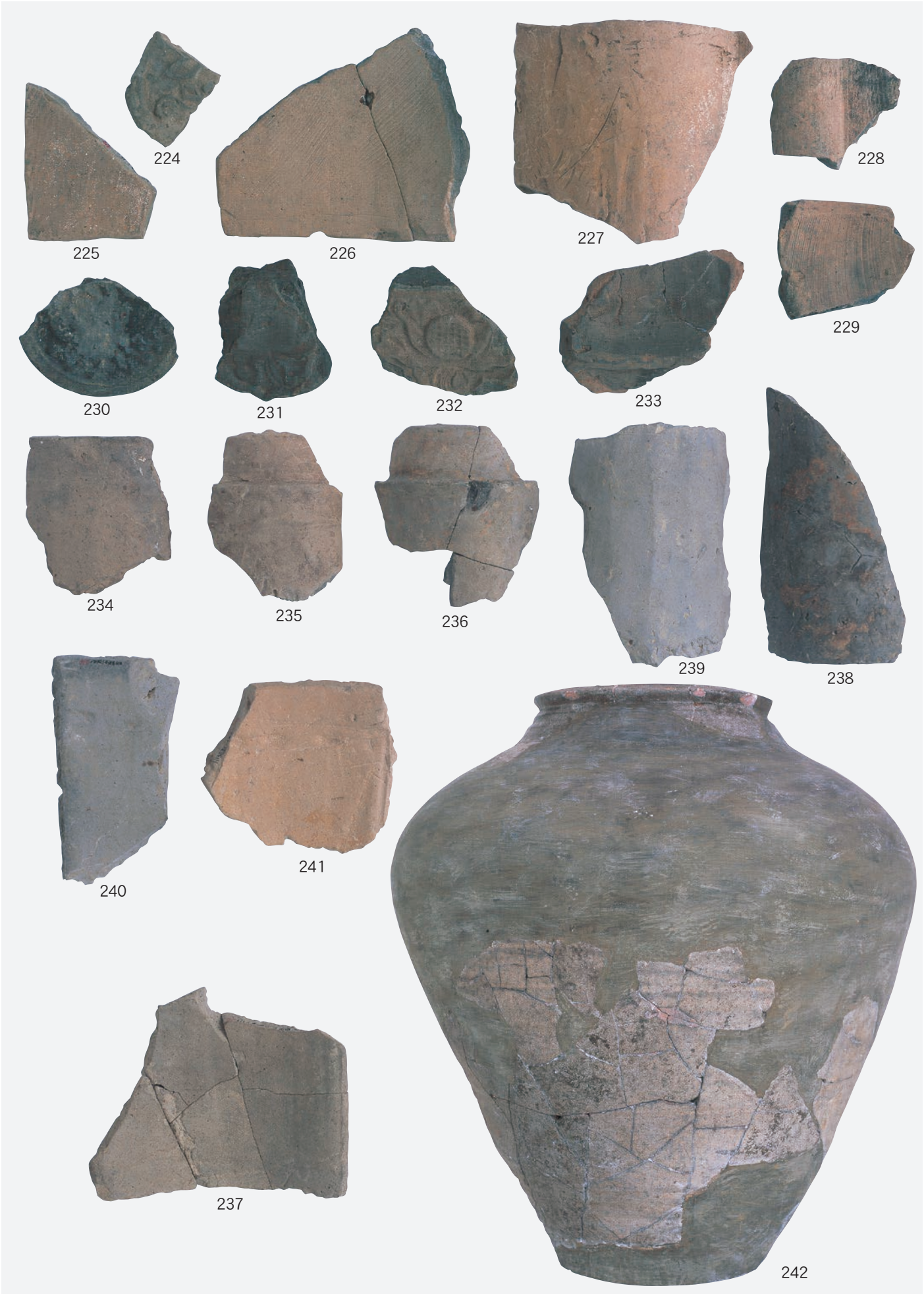
図版160　鎖之間北側地区出土遺物２　内面（76～115　4層、116～118　黒色土、119～141・281　黒褐色土）



図版161　鎖之間北側地区出土遺物３　外面（赤褐色土）



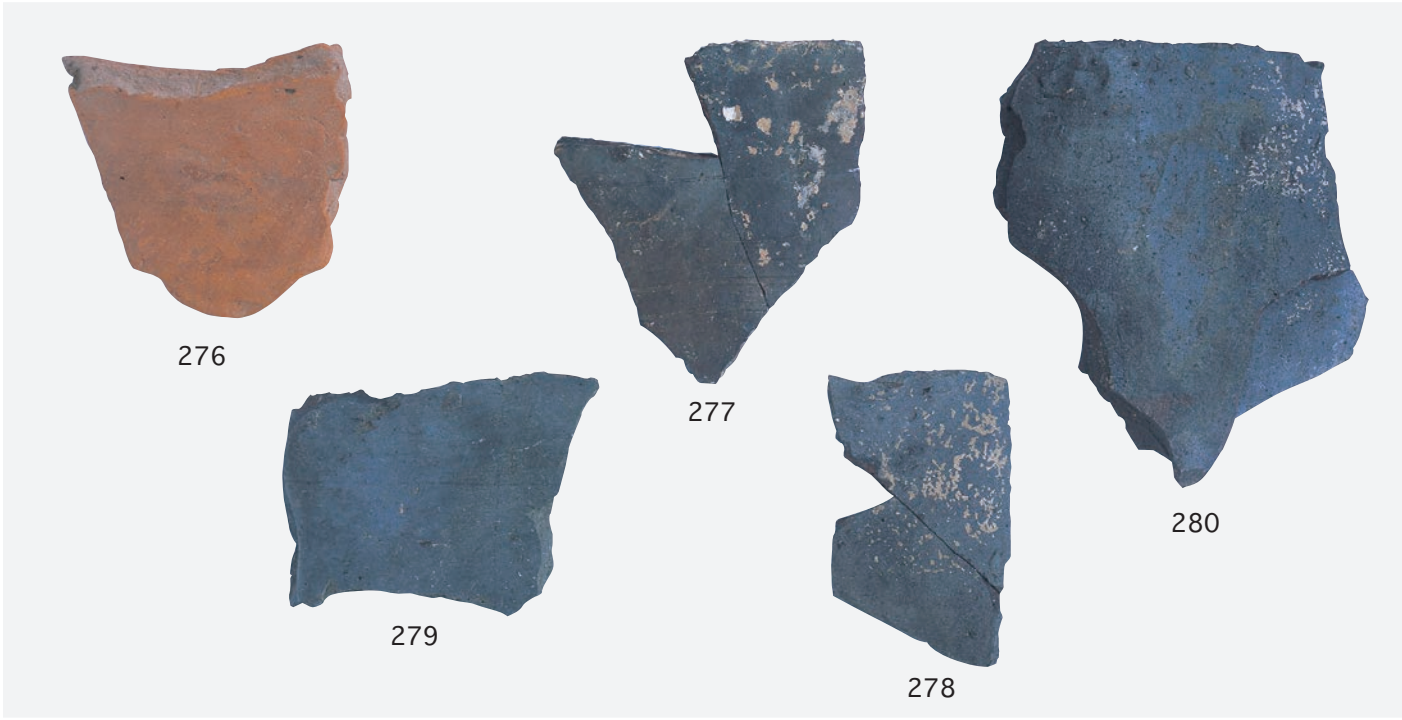
図版162　鎖之間北側地区出土遺物 3　内面（赤褐色土）



図版163　鎖之間北側地区出土遺物４　外面（224～241赤褐色土、242黒色砂礫土）

図版164　鎖之間北側地区出土遺物４　内面（224～241赤褐色土、242黒色砂礫土）

図版165　鎖之間北側地区出土遺物５　外面・内面（243・246・248・249 トレンチ1埋土、244・245・247・250・253・255・256 トレンチ2 1層、254 トレンチ3埋土、257～266赤トレンチ21 砂礫土・黒色砂礫土・埋土、267～272 砂礫土、273～275 ピット14埋土）



図版166　鎖之間北側地区出土遺物６　外面・内面・側面（階段1埋土）

図版167　鎖之間南側地区出土遺物１　外面（1～29 トレンチ11埋土、30～35 トレンチ12埋土、36～77 トレンチ13埋土）

図版168　鎖之間南側地区出土遺物１　内面（1～29 トレンチ11埋土、30～35 トレンチ12埋土、36～77 トレンチ13埋土）

図版169　鎖之間南側地区出土遺物２　外面・内面（78～80･97　石積3　裏込め土、81～96･98　石積2　裏込め土）

図版170　鎖之間南側地区出土遺物３　外面 (埋土)

図版171　鎖之間南側地区出土遺物３　内面（埋土）

図版172　攪乱層等の出土遺物１　外面

図版173　攪乱層等の出土遺物１　内面

図版174　攪乱層等の出土遺物２　外面

図版175　攪乱層等の出土遺物２　内面

図版176　玉　上面・側面

付編　書院・鎖之間地区の自然科学分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

1　はじめに

今回の報告では、遺構の年代観に関する情報を得ることを目的として、放射性炭素年代測定を実施した。また、庭園機能時の周辺における植生環境、および植物利用状況に関する情報を得ることを目的として、花粉分析・微細植物片分析を実施した。

2　分析方法

(1) 放射線炭素年代測定

測定は株式会社加速器研究所の協力を得て、AMS 法により行う。なお、放射性炭素の半減期は LIBBY の半減期 5568 年を使用する。測定年代は 1950 年を基点とした年代 (BP) であり、誤差は標準偏差 (One Sigma) に相当する年代である。測定年代の補正に用いた δ 13C の値は、加速器を用いて試料炭素の 13C 濃度 (13C/14C) を測定し、標準試料 PDB(白亜紀のベレムナイト類の化石) の測定値を基準として、それからのずれを計算し、千分偏差 (‰ : パーミル) で表したものである。また、暦年較正は、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV4.4(Copyright 1986-2002 M Stuiver and PJ Reimer) を用い、いずれの試料も北半球の大気圏における暦年校正曲線を用いる条件を与えて計算させている。

(2) 花粉分析

試料約 10 ｇについて、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液 (臭化亜鉛 : 比重 2.3) による有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトリシス (無水酢酸 9 : 濃硫酸 1 の混合液) 処理による植物遺体中のセルロースの分解を行い、物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作成し、400 倍の光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現する全ての種類について同定・計数する。

(3) 微細植物片分析

試料の状況としては、サンゴ片など基盤層の破片が多産する点、現生の根が含まれている点、炭化物は非常に少なく、かつ脆弱である点などがあげられる。以上のことから、土壌を年代測定にかけると現在の根などの影響を受けやすくなる、浮遊選別や水洗選別を行うと炭化物が破損する可能性が高い、炭化していない植物片や昆虫などは現生である可能性が高い、などが推測される。これらの点を考慮した結果、以下のような分析方法を考案して実施した。

土壌はほとんど乾燥した状態であったため、土壌を軽くほぐしながら、35-40℃で一昼夜乾燥させた。そのままの状態でルーペなどで観察し、同定可能と思われる炭化物などを抽出した。

3　分析結果

(1) 放射線炭素年代測定

測定結果を表 2 に、暦年較正結果を表 3 に示す。なお、試料番号 1 ～ 9 炭化物については、実体鏡による木材組織の観察で樹種の同定を実施した。結果は微細植物片分析と併せて述べる。

(2) 花粉分析

結果を表 4 に示す。いずれの試料からも花粉化石が検出されるものの、産出状況は良好といえず、保存状態もやや悪い。また、シダ類胞子が多産する。

ソテツの植栽痕とされるピット試料 (試料番号 1 ～ 6) についてみると、試料番号 1・2・4・6 では試料により多産する種類は異なるものの、群集組成はおおむね類似しており、木本花粉の割合がやや高い。木本花粉ではソテツ属、マツ属が多産する。その他ではハンノキ属、サカキカズラ属などを伴い、ヤシ科のクロツグ属なども検出される。草本花粉ではイネ科、カヤツリグサ科、キク亜科、タンポポ亜科などが認められる。一方、試料番号 3・5 では花粉化石の産出状況が悪く、定量解析を行えるだけの個体数を得ることが出来なかった。

表１　分析試料一覧および分析項目

試料番号	グリッド	遺構	層序	試料の質	分析項目			備考
					14C	P	S	
1	E-6	ピット５	１層中位	土壌	●	●	●	ソテツ植栽痕
2			２層下位		●	●	●	
3		ピット６	３層下位		●	●	●	
4		ピット８	１層中位			●	●	
5			２層下位			●	●	
6		ピット９	１層下位			●	●	
7	F-4	トレンチ５東壁	２層		●	●	●	－
8			６層		●	●	●	－
9			７層			●	●	－
10	D-9	トレンチ 29 東壁	２層			●		旧表土
11			３層			●		旧琉球大学の造成土
12			４層			●		
13			５層			●		
14			６層		●	●		
15			７層上位		●	●		首里城当時の造成層
16			７層下位		●	●		首里城当時の造成層
17			９層		●	●		
18			10 層			●		地山
19	C-10	トレンチ２	２層	骨	●			
20			１層		●			

注）分析項目　14C：放射性炭素年代測定　P：花粉分析　S：微細植物片分析

表２　放射性炭素年代測定結果

試料番号	グリッド	遺構	層序	試料の質	補正年代 BP	δ 13 C (‰)	測定年代 BP	Code.No.
1	E- 6	ピット５	１層中位	炭化材（タブノキ属）	200 ± 30	-24.24 ± 0.76	190 ± 30	IAAA-32025
2			２層下位	炭化材（マツ属複繊管束亜属）	180 ± 30	-23.88 ± 0.59	170 ± 30	IAAA-32026
3		ピット６	３層下位	炭化材（広葉樹）	140 ± 30	-25.19 ± 0.75	140 ± 30	IAAA-32027
7	F- 4	トレンチ５東壁	２層	炭化材（マツ属複繊管束亜属）	740 ± 30	-25.82 ± 0.71	780 ± 30	IAAA-32028
8			６層	炭化材（ヤマグルマ）	290 ± 30	-26.16 ± 0.67	310 ± 30	IAAA-32029
14	D- 9	トレンチ 29 東壁	６層	炭化物	410 ± 40	-26.71 ± 0.78	430 ± 30	IAAA-40313
15			７層上位		3580 ± 40	-26.90 ± 0.76	3610 ± 40	IAAA-40314
16			７層下位		370 ± 40	-31.83 ± 0.99	490 ± 30	IAAA-40315
17			９層		700 ± 40	-27.03 ± 0.74	740 ± 30	IAAA-40316
19	C-10	トレンチ２	２層	骨	650 ± 40	-8.18 ± 0.94	380 ± 30	IAAA-40317
20			１層		650 ± 40	-9.48 ± 0.72	390 ± 30	IAAA-40318

1）年代値の算出には、Libby の半減期 5568 年を使用。
2）BP 年代値は、1950 年を基点として何年前であるかを示す。
3）付記した誤差は、測定誤差σ（測定値の 68％が入る範囲）を年代値に換算した値。

しかし、検出される種類はソテツ属、マツ属、イネ科、キク亜科、タンポポ亜科など、他の試料と同様の種類が検出されている。また、いずれの試料においても、微細な炭化植物片が認められる。なお、試料番号６ではあまり分解を受けていない微細な植物片が多数検出され、寄生虫卵も認められた。

トレンチ５東壁の試料（試料番号７～９）についてみると、最下層の試料番号９では木本花粉と草本花粉がほぼ同率で検出されており、木本花粉ではソテツ属、マツ属が、草本花粉ではカヤツリグサ科、キク亜科が多産する。その他にもクロツグ属やタンポポ亜科なども認められる。試料番号８では木本花粉が優占し、ソテツ属とマツ属が多産する。試料番号７では定量解析が行えるだけの個体数を得られなかったが、ソテツ属、マツ属、イネ科、キク亜科などが認められる。

トレンチ 29 の試料番号 11 ～ 14・16 ～ 18 では花粉化石の産出状況が悪く、数個体が検出されるか、あるいは全く検出されない。検出される種類についてみると、木本花粉ではソテツ属、マツ属などが、草本花粉ではイネ科が検出される。試料番号 15 ではソテツ属とマツ属が多く認められる。その他ではイネ科がわずかに検出されるのみである。試料番号 10 をみると、木本花粉ではマツ属が最も多く産出し、アカメガシワ属が次いで認められる。その他ではソテツ属、ヤマモモ属、ギンゴウカン属などを伴う。草本花粉ではキク亜科、タンポポ亜科が多く認められ、イネ科、ガマ属、ナデシコ科も検出される。また、いずれの試料においてもシダ類胞子が多く産出する。

(3) 微細植物片分析

結果を表 5 に示す。各試料ともに、炭化材の破片はみられたものの、同定可能な種実は認められなかった。炭化材は、同定可能なものについては、種類を同定した。同一試料で年代測定を行うため、汚染を最小限にする必要があることから、できるだけ手で触らないようにした。また、断面を作成するための破壊も最小限に抑え、電子顕微鏡による写真撮影なども行っていない。樹種同定の結果、炭化材は針葉樹 1 種類（マツ属複維管束亜属）、広葉樹 4 種類（コナラ属アカガシ亜属、タブノキ属、ヤマグルマ、散孔材）に同定された。その他、現生と思われる蛹？も検出されている。また、炭化していない植物遺体は、現在のものとみられる植物根が若干みられた程度である。

表 3　暦年較正結果

試料番号	グリッド	遺構	層位	補正年代 (BP)	暦年較正年代（cal）		相対比	Code No.
1	E-6	ピット 5	1 層中位	203±32	cal AD 1,656 - cal AD 1,677	cal BP 294 - 273	0.305	IAAA-32025
					cal AD 1,760 - cal AD 1,803	cal BP 190 - 147	0.583	
					cal AD 1,937 - cal AD 1,946	cal BP 13 - 4	0.112	
2	E-6	ピット 5	2 層下位	184±32	cal AD 1,665 - cal AD 1,680	cal BP 285 - 270	0.170	IAAA-32026
					cal AD 1,737 - cal AD 1,784	cal BP 213 - 166	0.507	
					cal AD 1,788 - cal AD 1,805	cal BP 162 - 145	0.186	
					cal AD 1,934 - cal AD 1,947	cal BP 16 - 3	0.137	
3	E-6	ピット 6	3 層下位	136±32	cal AD 1,678 - cal AD 1,702	cal BP 272 - 248	0.173	IAAA-32027
					cal AD 1,721 - cal AD 1,760	cal BP 229 - 190	0.232	
					cal AD 1,803 - cal AD 1,815	cal BP 147 - 135	0.078	
					cal AD 1,830 - cal AD 1,881	cal BP 120 - 69	0.333	
					cal AD 1,914 - cal AD 1,937	cal BP 36 - 13	0.164	
					cal AD 1,946 - cal AD 1,949	cal BP 4 - 1	0.019	
7	F-4	トレンチ 5 東壁	2 層	739±32	cal AD 1,262 - cal AD 1,292	cal BP 688 - 658	1.000	IAAA-32028
8	F-4	トレンチ 5 東壁	6 層	289±33	cal AD 1,522 - cal AD 1,573	cal BP 428 - 377	0.637	IAAA-32029
					cal AD 1,627 - cal AD 1,653	cal BP 323 - 297	0.363	
14	D-9	トレンチ 29 東壁	6 層	405±34	cal AD 1,440 - cal AD 1,492	cal BP 510 - 458	0.493	IAAA-40313
					cal AD 1,602 - cal AD 1,611	cal BP 348 - 339	0.186	
15			7 層上位	3577±41	cal BC 2,009 - cal BC 2,002	cal BP 3,959 - 3,952	0.027	IAAA-40314
					cal BC 1,976 - cal BC 1,881	cal BP 3,926 - 3,831	0.045	
					cal BC 1,837 - cal BC 1,832	cal BP 3,787 - 3,782	0.973	
16			7 層下位	372±37	cal AD 1,453 - cal AD 1,520	cal BP 497 - 430	0.182	IAAA-40315
					cal AD 1,589 - cal AD 1,624	cal BP 361 - 326	0.020	
17			9 層	703±34	cal AD 1,276 - cal AD 1,301	cal BP 674 - 649	0.077	IAAA-40316
					cal AD 1,371 - cal AD 1,379	cal BP 579 - 571	0.567	
19	C-10	トレンチ 2	2 層	654±34	cal AD 1,294 - cal AD 1,315	cal BP 656 - 635	0.374	IAAA-40317
					cal AD 1,354 - cal AD 1,387	cal BP 596 - 563	0.626	
20			1 層	654±34	cal AD 1,294 - cal AD 1,315	cal BP 656 - 635	0.374	IAAA-40318
					cal AD 1,354 - cal AD 1,387	cal BP 596 - 563	0.626	

計算には、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV4.4（Copyright 1986-2002 M Stuiver and PJ Reimer）を使用
計算には表に示した丸める前の値を使用している。
付記した誤差は、測定誤差σ（測定値の 68％が入る範囲）を年代値に換算した値。

表４　花粉分析結果

種類	試料番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	遺構	ピット５		ピット６	ピット８		ピット９	トレンチ５東壁			トレンチ２９東壁								
	層序	１層	２層	３層	１層	２層	１層	２層	６層	７層	２層	３層	４層	５層	６層	７層上位	７層下位	９層	10層
木本花粉																			
ソテツ属		41	67	11	72	1	12	12	41	27	2		4	3		57	1		
ツガ属					1														
マツ属		7	30	20	33	2	90	8	60	22	38	7	2	4		44	6	1	
ヤマモモ属		1									4						1		
ハンノキ属		6							1										
ギンゴウカン属											2								
コナラ属アカガシ亜属		1			1														
シイノキ属									1										
アカメガシワ属									1		20	1							
イボタノキ属				1							1								
サカキカズラ属		1	3		1														
クロツグ属		1			2					2									
ノブドウ属											1								
小計		58	100	32	110	3	102	20	104	51	68	8	6	7	0	101	8	1	0
草本花粉																			
ガマ属											1								
イネ科		24	2	5	6		6	9	6	2	8	6		1		3	1	1	
カヤツリグサ科		3			60		3	5	6	22	1								
アカザ科－ヒユ科												1							
ユリ属										2									
クワ科		2			1	1	1												
タデ属										1									
アカザ科		1			1		2			1									
ナデシコ科		1									1								
キンポウゲ科								1											
カタバミ属									1										
キツネノマゴ属										1		1							
ヨモギ属								1	1	2									
キク亜科		8		11			1	27	4	22	13	2							
タンポポ亜科		16	8		15	1	5		2	6	13	1							
小計		55	10	16	83	2	18	43	20	59	37	11	0	1	0	3	1	1	0
シダ類胞子																			
ミズワラビ属				1								1							
他のシダ類胞子		304	313	82	508	30	239	74	511	57	128	139	53	88	22	162	26	4	1
小計		304	313	83	508	30	239	74	511	57	128	140	53	88	22	162	26	4	1
不明花粉		6	6	2	14		6	1	9	2	4	4		1	1	8			
合　計		423	429	133	715	35	365	138	644	169	237	163	59	97	23	274	35	6	1
その他																			
鞭虫卵							2												

表５　微細植物片同定結果

試料番号	遺構他番号	層位	分析量(g)	炭化物の状況			その他
				量(g)	樹種同定結果	推定樹種	
1	ピット５	１層中位	232	〉0.1	タブノキ属	タブノキ	
2		２層下位	168	〉0.1	マツ属複維管束亜属	リュウキュウマツ	
3	ピット６	３層下位	347	0.35	広葉樹（散孔材）		
4	ピット８	１層中位	405	〉0.1	コナラ属アカガシ亜属	オキナワウラジロガシ	
5		２層下位	183	〉0.1	-	-	
6	ピット９	１層下位	200	〉0.1	マツ属複維管束亜属	リュウキュウマツ	
7	トレンチ５東壁	２層	461	〉0.1	マツ属複維管束亜属	リュウキュウマツ	蛹？
8		６層	333	0.15	ヤマグルマ		
9		７層	158	〉0.1	-	-	

4　古植生の推定

花粉化石の産出状況は良好ではなかったが、植栽痕とされるピット内埋土とトレンチ５東壁より検出された花粉化石群集組成は、いずれも類似している。木本類ではソテツ属とマツ属が多産し、コナラ属アカガシ亜属、サカキカズラ属、クロツグ属なども伴う。微細植物片分析から得られた炭化材では、マツ属複維管束亜属(いわゆるニヨウマツ類)、アカガシ亜属、タブノキ属、ヤマグルマが検出されている。よって、当時の首里城周辺にはソテツ属、マツ属、アカガシ亜属などが生育していた可能性がある。

日本に生育する複維管束亜属には、アカマツ・クロマツ・リュウキュウマツの３種類がある。このうち、アカマツとクロマツは、沖縄には自生していない。一方、リュウキュウマツは沖縄特産で、広く生育している。これらのことから、今回の試料はリュウキュウマツである可能性が高い。また、アカガシ亜属は日本に８種が生育するが、沖縄島内にはオキナワウラジロガシ1種のみが分布している。そのため、アカガシ亜属についてもオキナワウラジロガシの可能性が高い。

一方、草本類についてみると、イネ科、カヤツリグサ科、キク亜科、タンポポ亜科などが多く認められる。これらの種類は開けた明るい場所を好む「人里植物」を多く含む分類群であり、クワ科、タデ属、アカザ科、ナデシコ科、キンポウゲ科なども同様であることから、これらの種類が当時の庭園内、あるいはその周辺の草地などに生育していた可能性がある。

なお、放射性炭素年代の結果からは、現代の影響が否定できない。検出される種類のいずれも、現在の周辺域に自生・植栽されていることから、得られた花粉化石などは現生のものに由来する可能性もある。これについては、発掘調査所見との確認作業が必要であり、今後さらに多くの資料を蓄積して検討していくことが望まれる。

庭園内に植栽されていた可能性のある種類では、ソテツ属(ソテツ)、マツ属複維管束亜属(リュウキュウマツ)、クロツグ属(クロツグ)などがあげられる。ソテツ属に関しては、ソテツの植栽痕とされる遺構が検出されていることから、当時植えられていた可能性が高い。マツ属については、やせた土地でも生育が可能で、生育も早いことなどから、本土でも庭園や城などに植栽されることが多い。また、ヤシ科の低木であるクロツグは、亜熱帯全域で観賞樹として栽培されている。

トレンチ29の10層、９層、７層下位、６層、５層、４層、３層では、花粉化石がほとんど、あるいは全く検出されず、僅かににソテツ属、マツ属、イネ科などが認められる程度である。一般的に花粉やシダ類胞子は、腐蝕に対する抵抗性が種類により異なっており、落葉広葉樹に由来する花粉よりも針葉樹に由来する花粉やシダ類胞子の方が酸化に対する抵抗性が高いとされている(中村,1967;徳永・山内,1971)。今回の結果でもマツ属やシダ類胞子が検出されおり、僅かに検出された花粉も壊れているものが多いことから、各層堆積時に取り込まれた花粉は、その後の経年変化により分解・消失した可能性がある。

トレンチ29の７層上位の試料からは、ソテツ属とマツ属が多産し僅かにイネ科を伴う。先に述べた本層を挟む上下層の年代を考慮すると、得られた花粉群集は書院・鎖之間建築時前後、あるいは機能時を示し、当時、ソテツ属、マツ属、イネ科などが生育していたと推測できる。同様の花粉群集は、ソテツの植栽痕とされるピット内埋土やトレンチ５の試料からも認められている。ただし、この７層上位層の年代測定の結果および本層が首里城当時の造成層であることを考慮すると、他からの土壌の混入の可能性があり必ずしも当時の植生を反映しているとはいえない。今後、珪藻分析などと共に堆積環境の検討を行うことも望まれる。

トレンチ29最上位の２層の結果を見ると、木本類ではマツ属、アカメガシワ属が多産し、ソテツ属、ヤマモモ属、ギンゴウカン属、ノブドウ属、イボタノキ属を伴う。よって、2層堆積時の周辺域にこれらの種類が生育していたと考えられる。検出された草本類のキク亜科、タンポポ亜科、イネ科、カヤツリグサ科、ナデシコ科は、開けた明るい場所を好む「人里植物」であることから、庭園内あるいは周囲の草地に生育していたと考えられる。なお、２層からは少ないながらもギンゴウカン属の花粉が検出された。沖縄で見られるギンゴウカン属ではギンゴウカン(別名:ギンネム)があげられる。ギンゴウカンは熱帯アメリカ原産の常緑小高木で、沖縄県には1910年(明治43年)にセイロン(現在のスリランカ)より畑の緑肥用として導入されたとされている。このことは、２層が現代の造成土の直下で旧地表面の可能性が指摘されていることとも調和的で、明治以降の植生を反映した可能性が考えられる。

引用文献

中村　純 ,1967, 花粉分析 . 古今書院 ,232p.

徳永　重元・山内　輝子 ,1971, 花粉・胞子 . 化石の研究法 , 共立出版株式会社 ,50-73.

沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第28集

首　里　城　跡

－書院・鎖之間地区発掘調査報告書－

発　行　年　　2005年（平成17）３月25日
編集・発行　　沖縄県立埋蔵文化財センター
〒901-0125　沖縄県中頭郡西原町字上原193番地の7
TEL　０９８（８３５）８７５１
印　　刷　　(株)尚生堂
〒901-2114　沖縄県浦添市安波茶１丁目６番３号
TEL　０９８（８７６）２２３２

©沖縄県立埋蔵文化財センター　2005　Printed in Japan
許可なく本書の無断複製、転載、複写を禁ずる。